

釧路市まちづくり基本構想等策定に向けた アンケート調査報告書

平成 28 年 11 月
釧 路 市

目次

<本編>

| | |
|---------------------------|-----|
| 1. 市民アンケート調査..... | 1 |
| (1) 調査概要..... | 1 |
| (2) 調査結果概要..... | 2 |
| (3) 調査結果..... | 12 |
| 2. 平成18年「まちの採点簿」との比較..... | 49 |
| 3. 中学生アンケート調査..... | 55 |
| (1) 調査概要..... | 55 |
| (2) 調査結果概要..... | 56 |
| (3) 調査結果..... | 62 |
| 4. 企業アンケート調査..... | 77 |
| (1) 調査概要..... | 77 |
| (2) 調査結果概要..... | 78 |
| (3) 調査結果..... | 83 |
| 5. 各種団体アンケート調査..... | 101 |
| (1) 調査概要..... | 101 |
| (2) 調査結果概要..... | 102 |
| (3) 調査結果..... | 105 |
| 6. 長期滞在者アンケート調査..... | 119 |
| (1) 調査概要..... | 119 |
| (2) 調査結果概要..... | 120 |
| (3) 調査結果..... | 122 |

<資料編>

| | |
|-------------------------|-----|
| 7. アンケート調査票..... | 131 |
| 8. 市民アンケート自由意見..... | 161 |
| 9. 中学生アンケート自由意見..... | 239 |
| 10. 企業アンケート自由意見..... | 243 |
| 11. 各種団体アンケート自由意見..... | 245 |
| 12. 長期滞在者アンケート自由意見..... | 251 |

1. 市民アンケート調査

(1) 調査概要

① 調査の目的

このアンケートは、「釧路市まちづくり基本構想」等の策定にあたり、市政に対する市民の意見を反映させ、市民が主体のまちづくりを一層発展させるために、市民を対象に実施したものです。

② 調査対象

平成28年4月1日現在、釧路市内に住所を有する満16歳以上の市民10,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

③ 調査時期

平成28年7月

④ 調査方法

郵送配付・郵送回収

⑤ 調査項目

ア 釧路市への愛着や居留意向、地域の強み・弱みについて

イ まちづくりについて

ウ 釧路市が重点的に取り組むべきもの

エ 釧路市の情報の入手方法

オ 自然災害について

カ 自由意見

キ 回答者の属性

⑥ 回答状況

配付数：10,000人

回答数：2,946人

回答率：29.5%

⑦ 集計・分析上の留意点

ア 図表中の上段は回答者数、下段は構成比（%）を表しています

イ 図表中の「SA」は単数回答、「MA」は複数回答を表しています

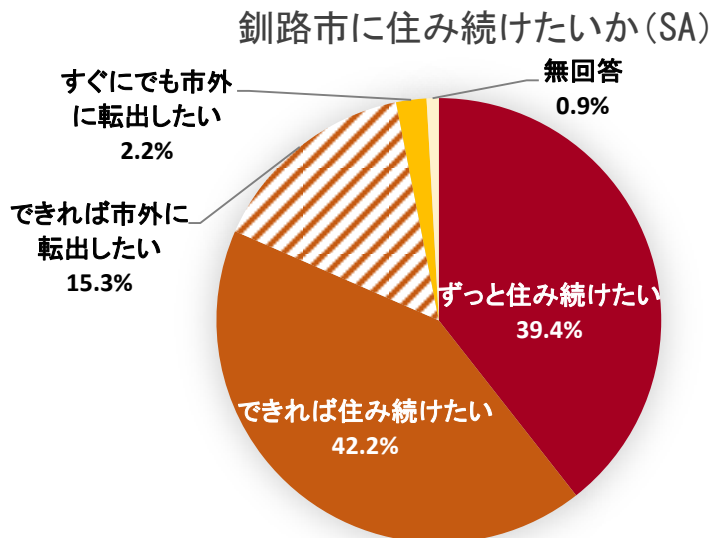
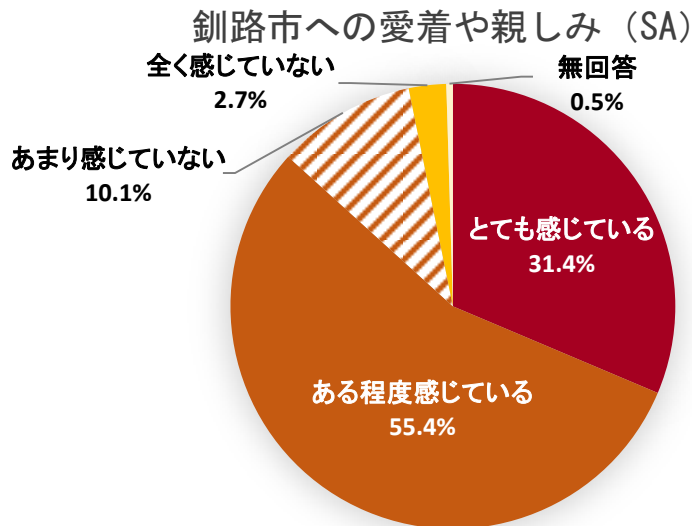
ウ 図表中の構成比（%）については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は100.0%にならない場合があります

(2) 調査結果概要

① 釧路市に対する愛着、住み続けたいか、地域の強み・弱みについて

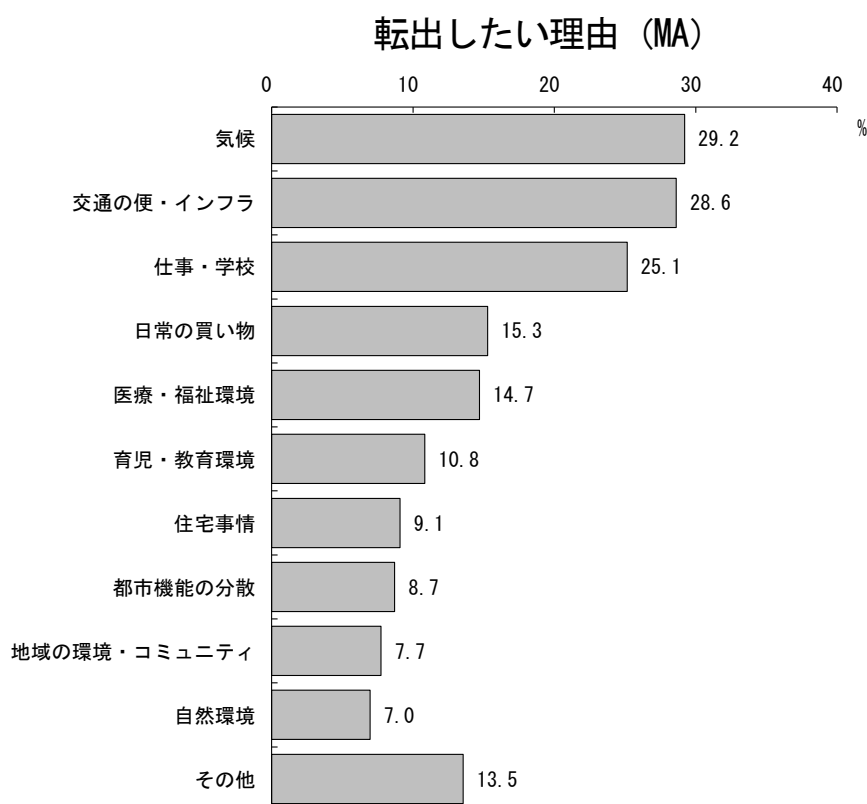
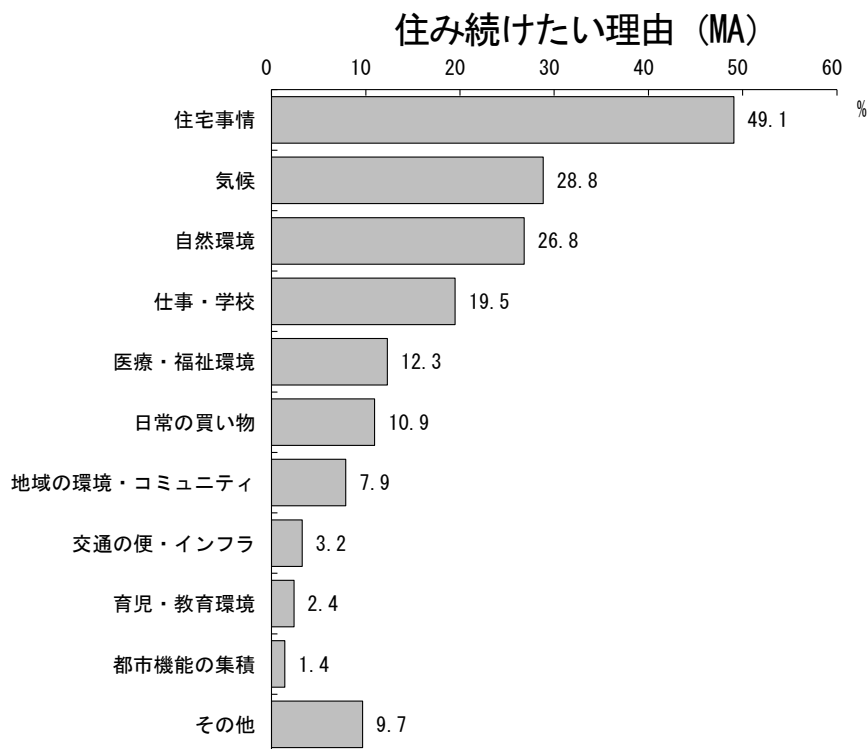
～8割を超える方が、愛着と親しみを感じ、

これからも住み続けたいと考えています～



- 愛着や親しみを「とても感じている」が31.4%、「ある程度感じている」が55.4%で、合わせて86.8%の方が釧路市に愛着を感じています。
- これからも住み続けたいかについても「ずっと住み続けたい」が39.4%、「できれば住み続けたい」が42.2%となっており、合わせて81.6%の方が釧路市に住み続けたいと考えています。

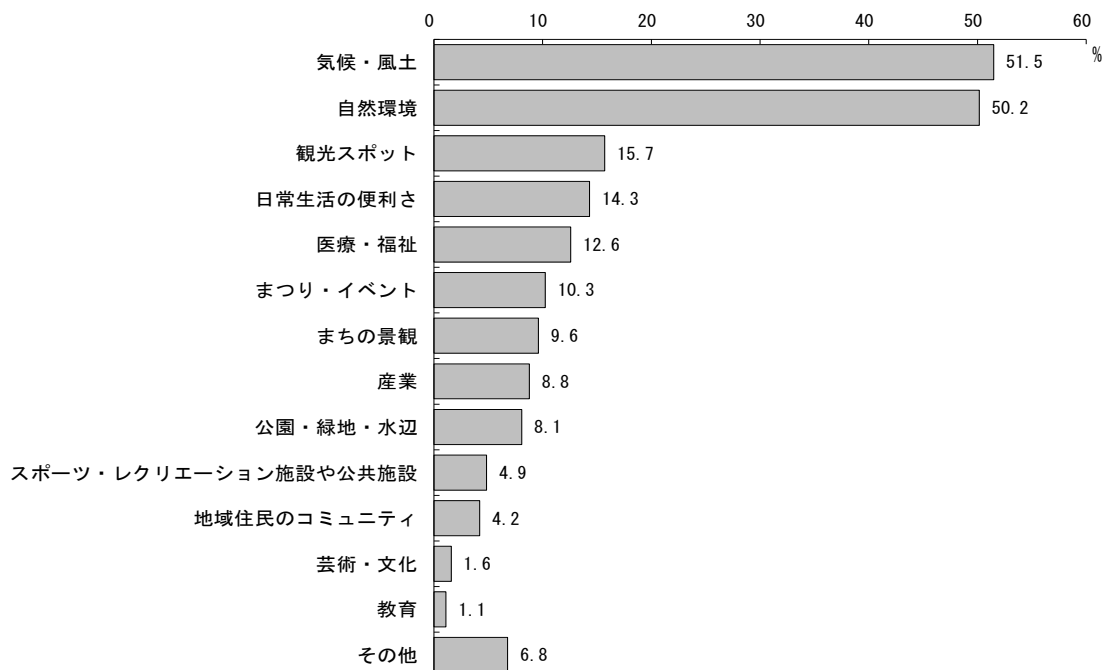
～住み続けたい主な理由は「住宅事情」、「気候」、「自然環境」、
 転居したい主な理由は「気候」、「交通の便・インフラ」、「仕事・学校」
 となっています～



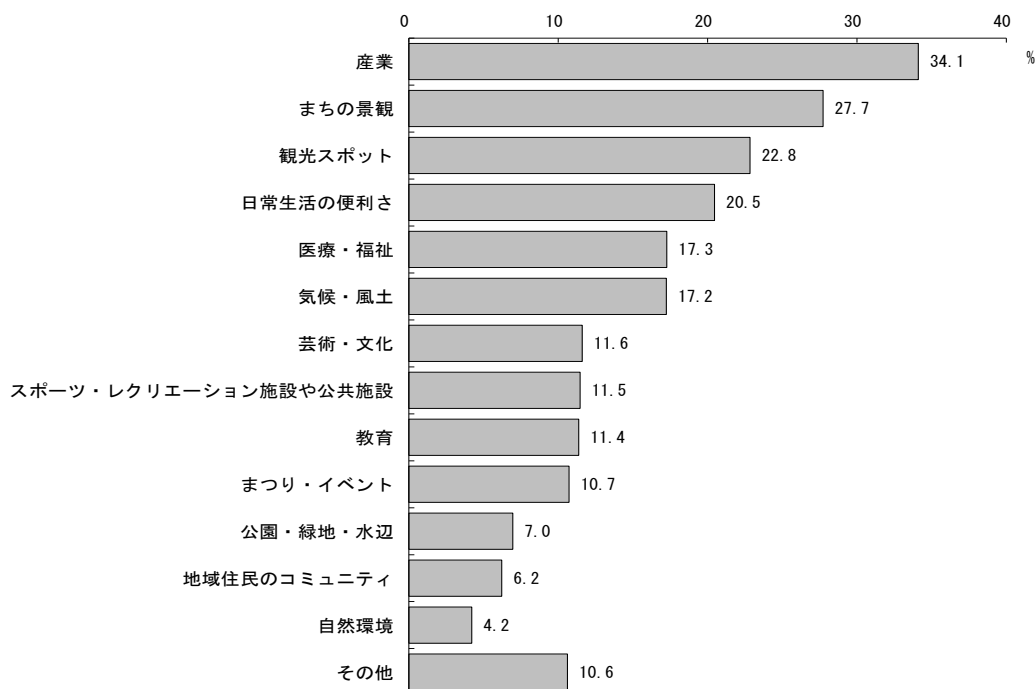
- 住み続けたい理由として、最も多かったのは「住宅事情」で49.1%、次いで「気候」が28.8%、「自然環境」が26.8%となっています。
- 一方で、市外に転出したい理由の中でも「気候」が29.2%で最も多く、以下「交通の便・インフラ」が28.6%、「仕事・学校」が25.1%などとなっています。

～市民が考える地域の強みは「気候・風土」、「自然環境」が多く、
地域の弱みは「産業」「まちの景観」「観光スポット」が多くなっています～

釧路市の「地域の強み」(MA)



釧路市の「地域の弱み」(MA)



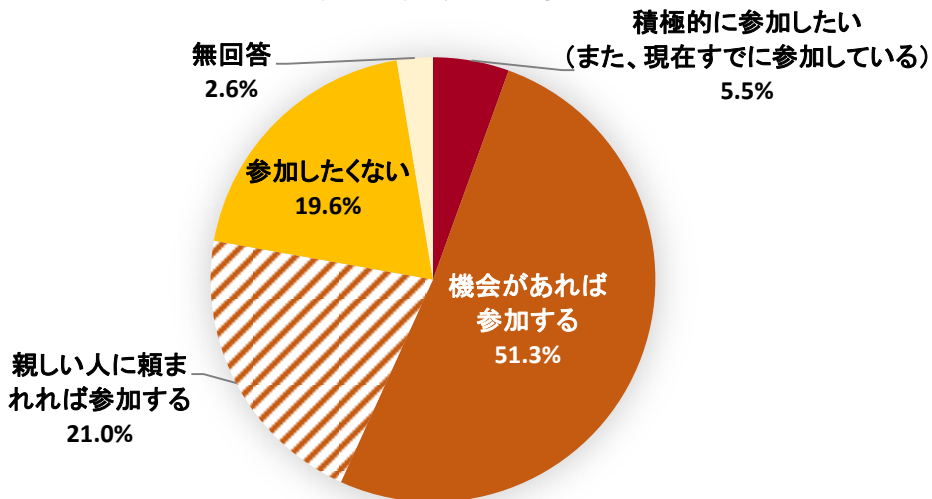
- 地域の強みで最も多かったのは「気候・風土」で51.4%、次いで「自然環境」が50.1%となっており、以下の選択肢と比べて非常に高い割合となりました。
- 地域の弱みで最も多かったのは「産業」で34.1%、次いで「まちの景観」が27.7%、「観光スポット」が22.8%などとなっています。

②まちづくりへの参加意識

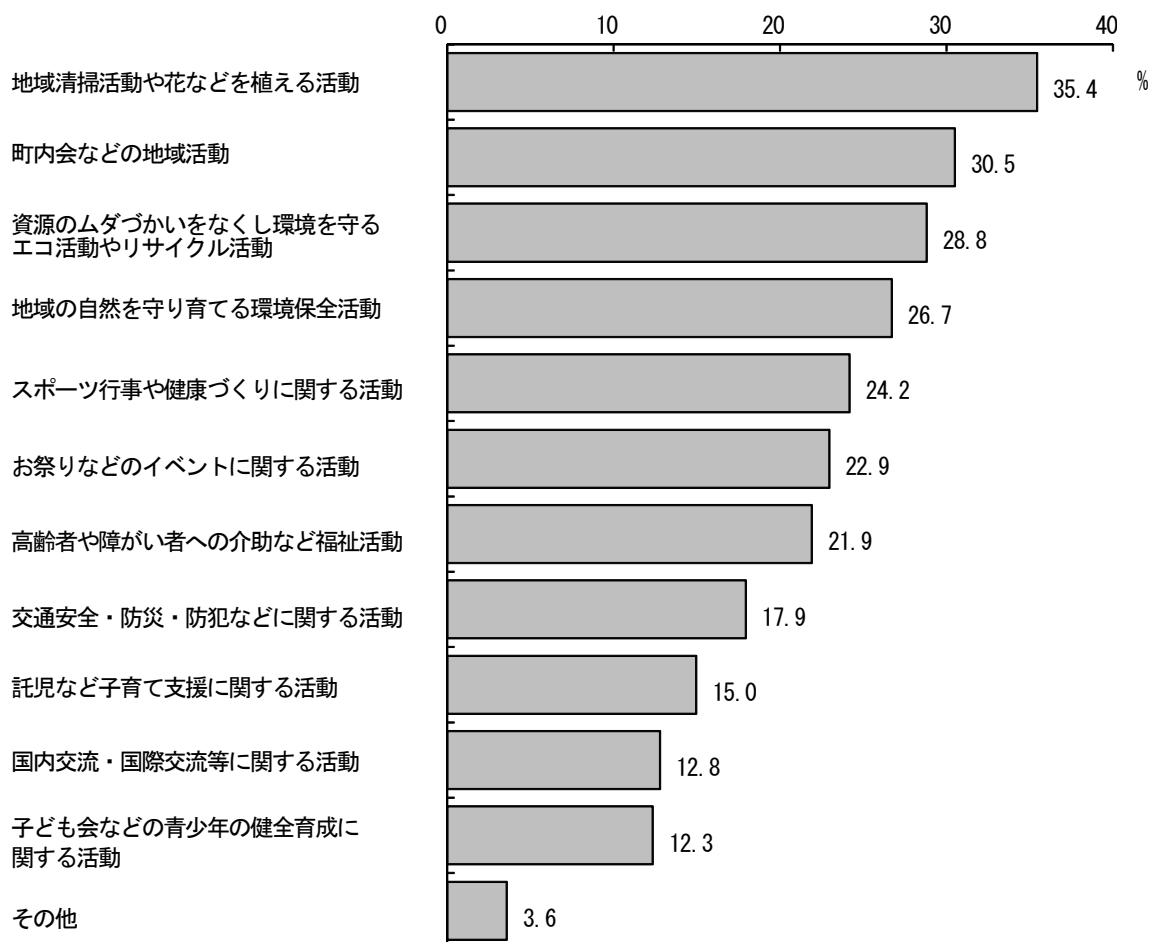
～市民のまちづくりへの参加意識は高く、

その活動に関心を寄せる市民が多くなっています～

まちづくりや住民活動への参加意向（SA）



参加したい活動の内容（MA）



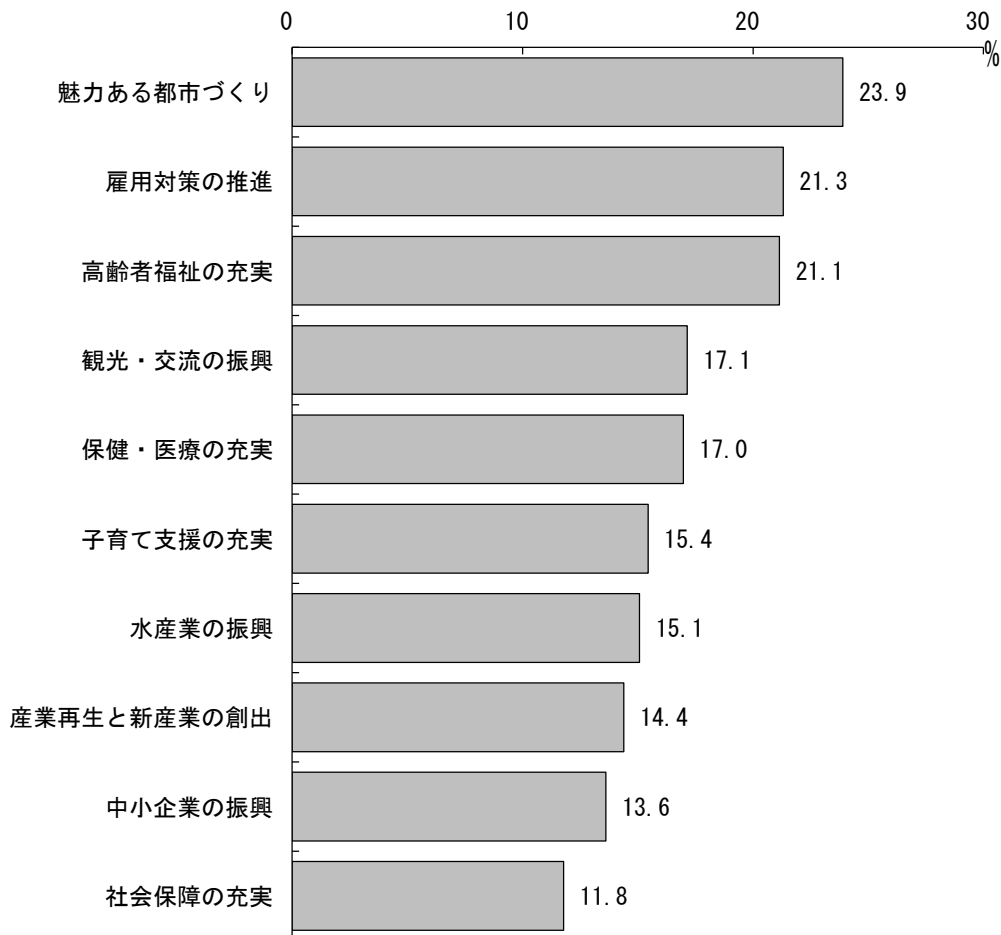
- まちづくりや住民活動への参加したいかについては、「機会があれば参加する」が51.3%、「親しい人に頼まれれば参加する」が21.0%、「積極的に参加したい（また、現在すでに参加している）」が5.5%であり、合わせて77.8%を占めています。
- 参加したい活動の内容については、「地域清掃活動や花などを植える活動」が35.4%、「町内会などの地域活動」が30.5%、「資源のムダづかいをなくし環境を守るエコ活動やリサイクル活動」が28.8%などとなっています。

③釧路市が重点的に取り組むべきもの

～魅力ある都市づくり、雇用対策の推進などへの期待が大きくなっています～

今後釧路市が特に重点的に取り組むべきだと思うもの（MA）

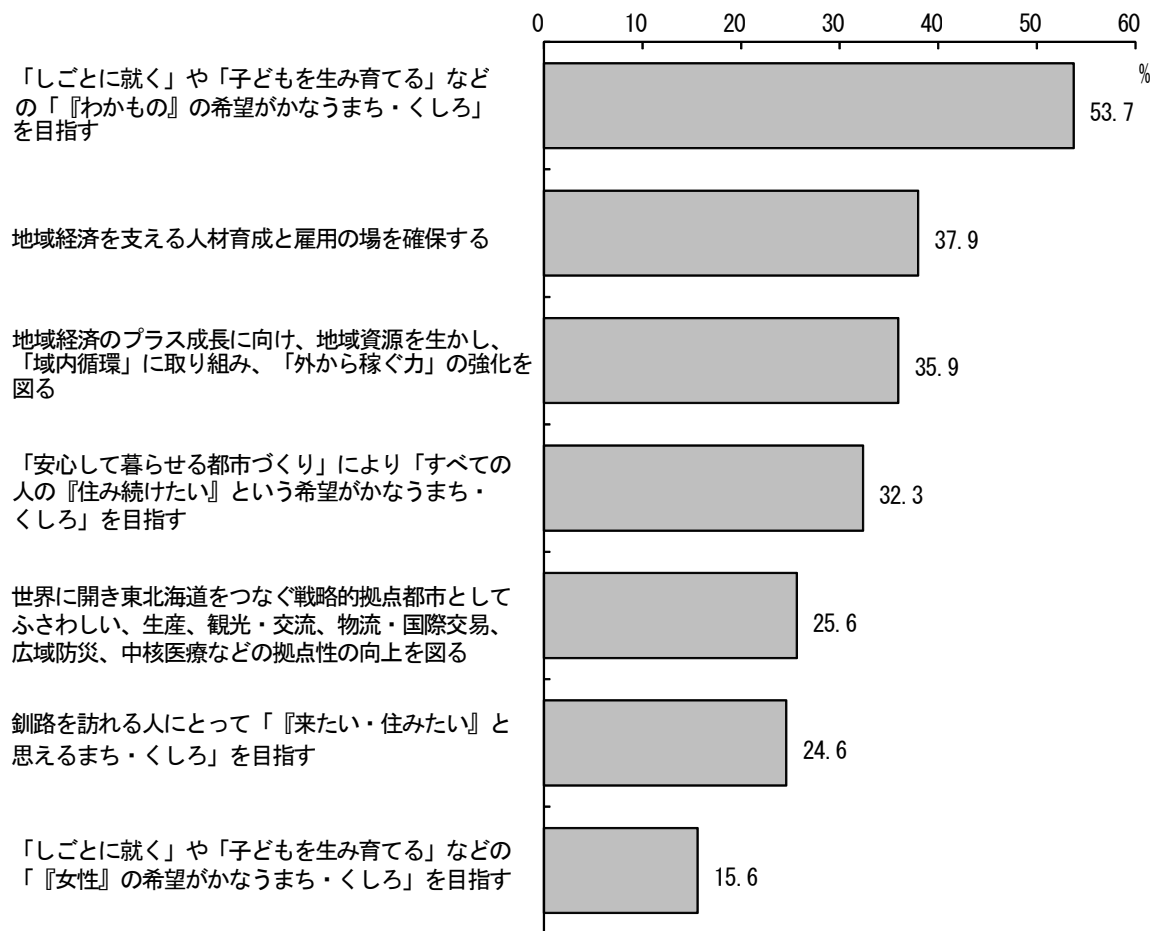
<上位 10 項目を掲載（全 36 項目）>



- 今後、特に力を入れて取り組むべきだと思うものについて、「魅力のある都市づくり」が23.9%で最も多く、次いで「雇用対策の推進」が21.3%、「高齢者福祉の充実」が21.1%、「観光・交流の振興」が17.1%、「保健・医療の充実」が17.0%、「子育て支援の充実」が15.4%、「水産業の振興」が15.1%、「産業再生と新産業の創出」が14.4%、「中小企業の振興」が13.6%、「社会保障の充実」が11.8%などであり、都市整備・産業経済・福祉などの分野の回答が多くなっています。

～『わかもの』の希望がかなうまちが最も重要と考える市民が多い～

釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、今後特に重要だと思うもの（MA）

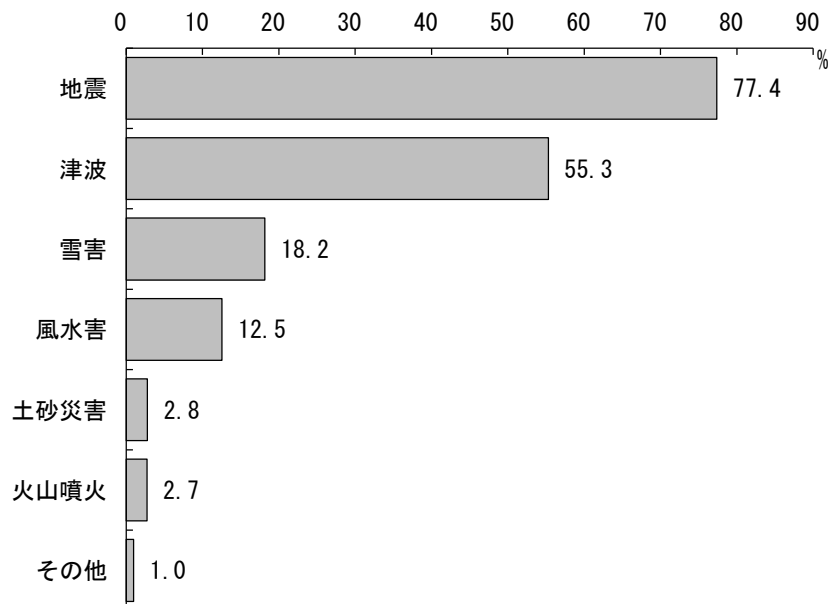


- 現在、重点的に取り組んでいる分野のうち、今後、特に力を入れて取り組むべきだと思うものについては、“「しごとに就く」や「子どもを育てる」などの『わかもの』の希望がかなうまち・くしろ」を目指す”が53.7%で最も多く、次いで“地域経済を支える人材育成と雇用の場を確保する”が37.9%、“地域経済のプラス成長に向け、地域資源を生かし、「域内循環」に取り組み、「外から稼ぐ力」の強化を図る”が35.9%などとなっています。

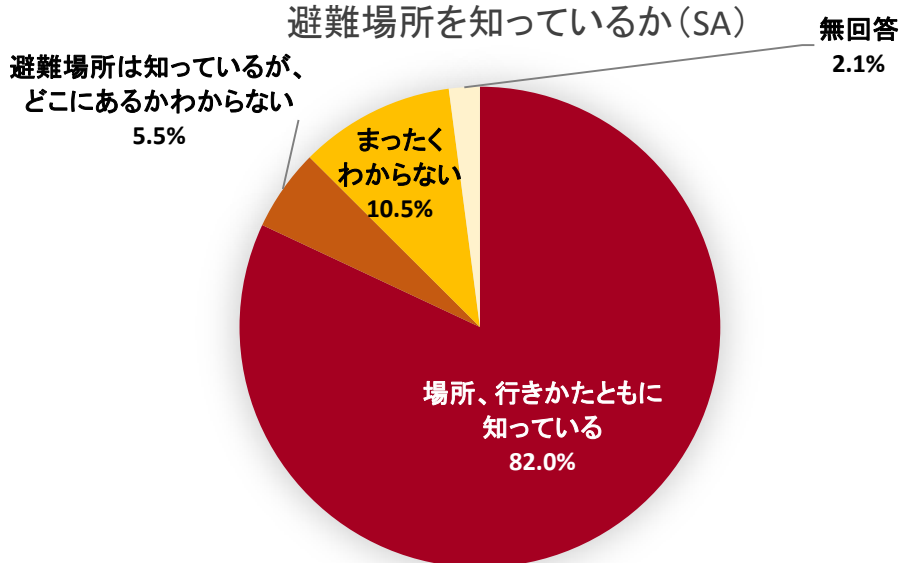
④災害への意識と備え

～地震や津波などに不安を感じる市民が多く、
避難場所を知っている市民は8割を超えています～

特に不安を感じる自然災害 (MA)



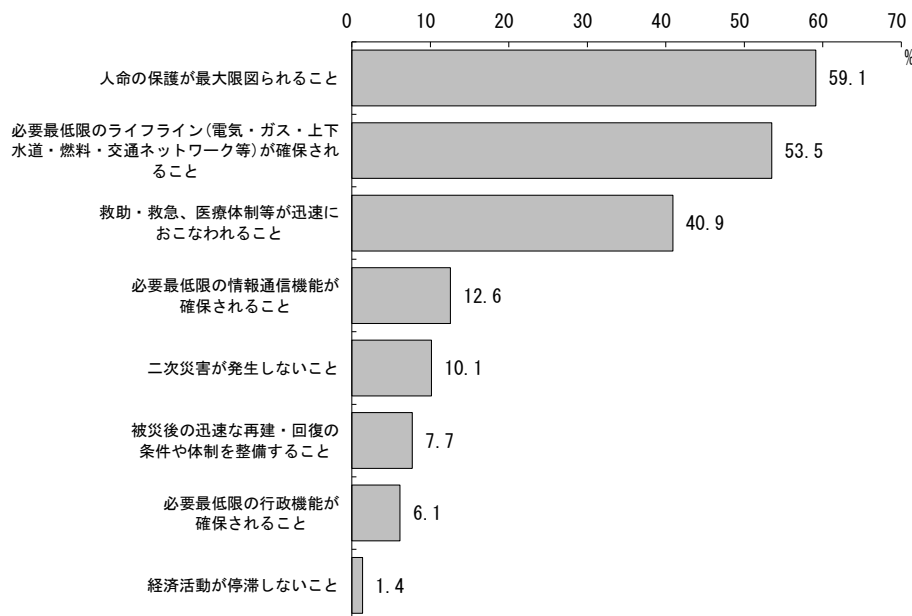
避難場所を知っているか (SA)



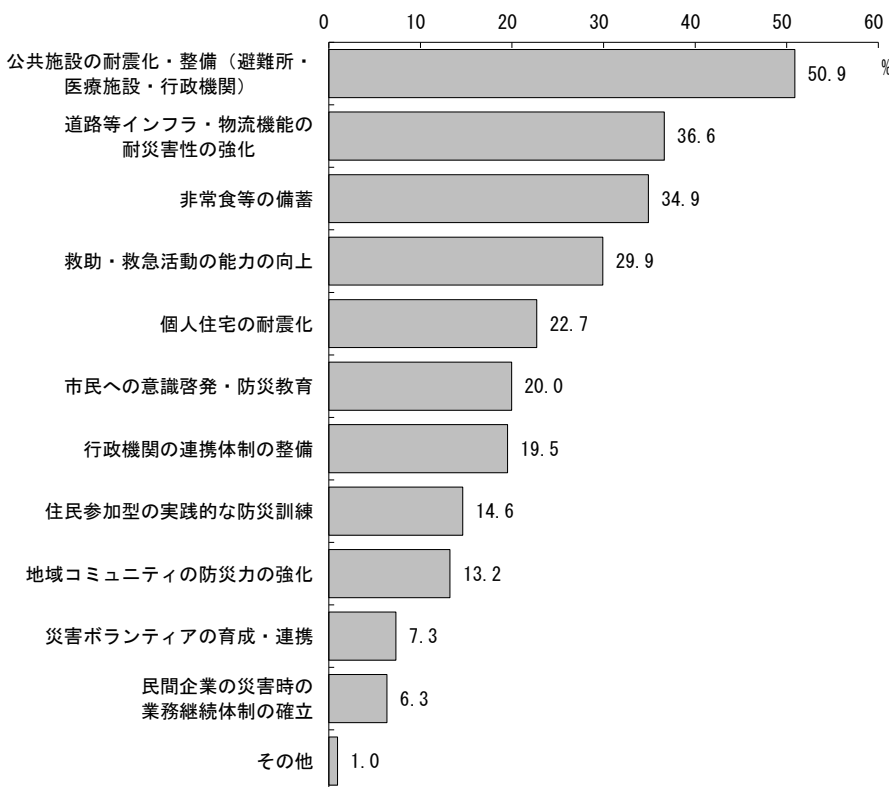
- 特に不安を感じる自然災害については、「地震」が77.4%で最も多く、次いで「津波」が55.3%、「雪害」が18.2%などとなっています。
- 災害時における避難場所を知っているかでは、「場所、行きかたともに知っている」が82.0%となっています。

～大規模自然災害に事前に備えるべき目標は「人命の保護」、「ライフラインの確保」、取り組むべき対策は「公共施設の耐震化」、「道路等インフラの強化」が多くなっています～

大規模自然災害に事前に備えるべき目標 (MA)



大規模自然災害に対して取り組むべき対策 (MA)



- 事前に備えるべき目標として優先度が高いと思われるものについては、「人命の保護が最大限図られること」が59.1%で最も多く、次いで「必要最低限のライフライン（電気・ガス・上下水道・燃料・交通ネットワーク等）が確保されること」が53.5%、「救助・救急、医療体制等が迅速におこなわれること」が40.9%などとなっています。
- また、取り組むべき対策では「公共施設の耐震化・整備（避難所・医療施設・行政機関）」が50.9%で最も多く、次いで「道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化」が36.6%、「非常食等の備蓄」が34.9%などとなっています。

(3) 調査結果

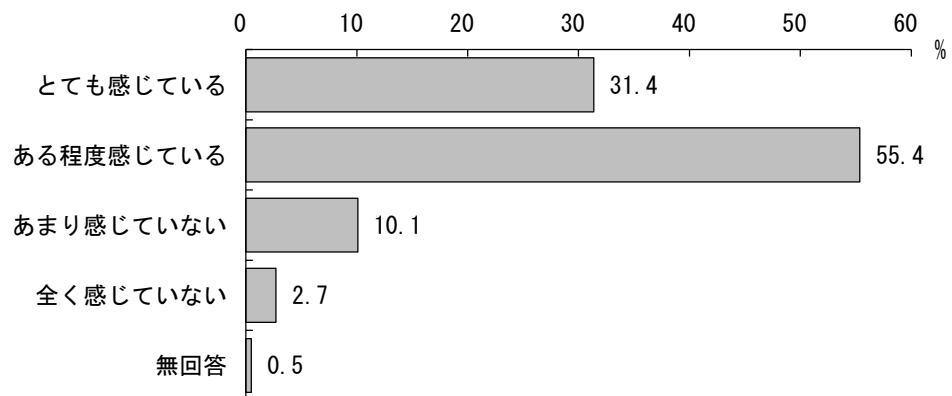
ア 釧路市への愛着や居住意向、地域の強み・弱みについて

問1 あなたは、釧路市に愛着や親しみを感じていますか。(○は1つ)

釧路市への愛着や親しみは、「とても感じている」が31.4%、「ある程度感じている」が55.4%で多く、合わせて86.8%の市民が愛着や親しみを感じていると回答しています。

また、年代が上がるにつれて、愛着や親しみを「とても感じている」と答える人の割合が高まっています。

図表 1-1 釧路市への愛着 (SA)



| | | とても感じている | ある程度感じている | あまり感じていない | 全く感じていない | 無回答 |
|------|--------|--------------------------|---------------|-------------|-----------|-----------|
| 全体 | | 924 (n=2,946) 31.4 | 1,631 55.4 | 297 10.1 | 80 2.7 | 14 0.5 |
| 性別 | 男性 | 431 (n=1,261) 34.2 | 666 52.8 | 120 9.5 | 42 3.3 | 2 0.2 |
| | 女性 | 481 (n=1,615) 29.8 | 926 57.3 | 165 10.2 | 34 2.1 | 9 0.6 |
| | 無回答 | 12 (n=70) 17.1 | 39 55.7 | 12 17.1 | 4 5.7 | 3 4.3 |
| 年代 | 16～19歳 | 30 (n=92) 32.6 | 47 51.1 | 12 13.0 | 2 2.2 | 1 1.1 |
| | 20～29歳 | 61 (n=318) 19.2 | 196 61.6 | 50 15.7 | 11 3.5 | 0 0.0 |
| | 30～39歳 | 73 (n=331) 22.1 | 194 58.6 | 45 13.6 | 19 5.7 | 0 0.0 |
| | 40～49歳 | 82 (n=369) 22.2 | 225 61.0 | 45 12.2 | 16 4.3 | 1 0.3 |
| | 50～59歳 | 125 (n=434) 28.8 | 240 55.3 | 51 11.8 | 15 3.5 | 3 0.7 |
| | 60～69歳 | 190 (n=549) 34.6 | 298 54.3 | 51 9.3 | 8 1.5 | 2 0.4 |
| | 70～79歳 | 202 (n=489) 41.3 | 254 51.9 | 25 5.1 | 6 1.2 | 2 0.4 |
| | 80歳以上 | 151 (n=324) 46.6 | 154 47.5 | 15 4.6 | 2 0.6 | 2 0.6 |
| | 無回答 | 10 (n=40) 25.0 | 23 57.5 | 3 7.5 | 1 2.5 | 3 7.5 |
| 居住地区 | 釧路東部地区 | 327 (n=952) 34.3 | 520 54.6 | 84 8.8 | 16 1.7 | 5 0.5 |
| | 釧路中部地区 | 321 (n=985) 32.6 | 530 53.8 | 107 10.9 | 25 2.5 | 2 0.2 |
| | 釧路西部地区 | 218 (n=774) 28.2 | 453 58.5 | 73 9.4 | 27 3.5 | 3 0.4 |
| | 阿寒地区 | 29 (n=125) 23.2 | 72 57.6 | 20 16.0 | 4 3.2 | 0 0.0 |
| | 音別地区 | 13 (n=53) 24.5 | 27 50.9 | 9 17.0 | 4 7.5 | 0 0.0 |
| | 無回答 | 16 (n=57) 28.1 | 29 50.9 | 4 7.0 | 4 7.0 | 4 7.0 |

問2 あなたは、これからも釧路市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

釧路市での居住意向については、「できれば住み続けたい」が最も多く42.2%、次いで「ずっと住み続けたい」が39.4%、「できれば市外に転出したい」が15.3%となっています。「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合計すると81.6%で、「釧路市に住み続けたい」と考えている市民が大部分を占めています。

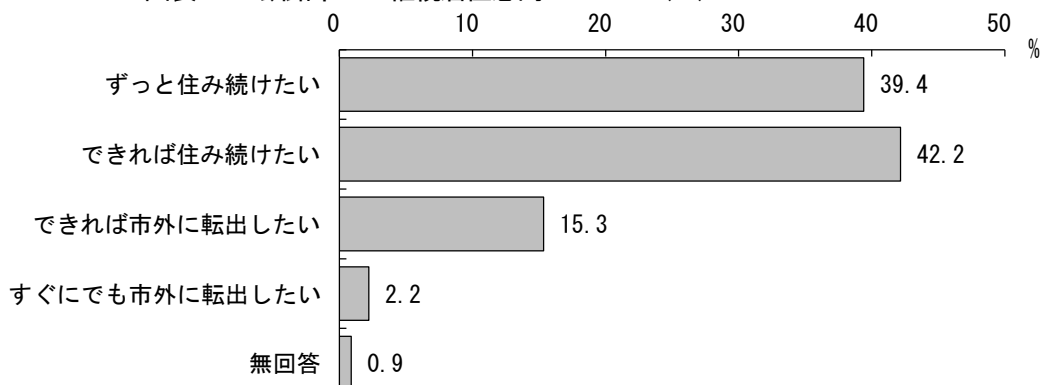
性別では、男性は女性よりも「ずっと住み続けたい」や「できれば住み続けたい」を合わせた割合が大きくなっています。

また年代別では上の年代ほど住み続けたいと考える人の割合が大きいことが分かり、60代以上では「ずっと住み続けたい」という回答数が「できれば住み続けたい」を上回りました。

一方で10代と20代は「できれば住み続けたい」が最も多かったものの、他の年代と異なり「できれば市外に転出したい」が「ずっと住み続けたい」を上回っています。

居住地区別では釧路東部地区のみ、「ずっと住み続けたい」とする回答数が「できれば住み続けたい」を上回りました。

図表1-2 釧路市での継続居住意向について (SA)



| | | ずっと住み続けたい | できれば住み続けたい | できれば市外に転出したい | すぐにでも市外に転出したい | 無回答 |
|----------------|----------------|----------------|---------------|--------------|---------------|-----------|
| 全体 (n=2,946) | | 1,161 39.4 | 1,242 42.2 | 452 15.3 | 65 2.2 | 26 0.9 |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 538 42.7 | 524 41.6 | 157 12.5 | 34 2.7 | 8 0.6 |
| | 女性 (n=1,615) | 601 37.2 | 695 43.0 | 280 17.3 | 27 1.7 | 12 0.7 |
| | 無回答 (n=70) | 22 31.4 | 23 32.9 | 15 21.4 | 4 5.7 | 6 8.6 |
| 年代 | 16～19歳 (n=92) | 14 15.2 | 38 41.3 | 35 38.0 | 3 3.3 | 2 2.2 |
| | 20～29歳 (n=318) | 44 13.8 | 161 50.6 | 94 29.6 | 15 4.7 | 4 1.3 |
| | 30～39歳 (n=331) | 85 25.7 | 157 47.4 | 76 23.0 | 11 3.3 | 2 0.6 |
| | 40～49歳 (n=369) | 104 28.2 | 177 48.0 | 73 19.8 | 12 3.3 | 3 0.8 |
| | 50～59歳 (n=434) | 128 29.5 | 212 48.8 | 80 18.4 | 12 2.8 | 2 0.5 |
| | 60～69歳 (n=549) | 264 48.1 | 231 42.1 | 49 8.9 | 4 0.7 | 1 0.2 |
| | 70～79歳 (n=489) | 277 56.6 | 176 36.0 | 28 5.7 | 6 1.2 | 2 0.4 |
| | 80歳以上 (n=324) | 229 70.7 | 77 23.8 | 12 3.7 | 0 0.0 | 6 1.9 |
| | 無回答 (n=40) | 16 40.0 | 13 32.5 | 5 12.5 | 2 5.0 | 4 10.0 |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=952) | 429 45.1 | 374 39.3 | 130 13.7 | 11 1.2 |
| 釧路中部地区 (n=985) | | 362 36.8 | 421 42.7 | 178 18.1 | 20 2.0 | 4 0.4 |
| 釧路西部地区 (n=774) | | 288 37.2 | 346 44.7 | 107 13.8 | 26 3.4 | 7 0.9 |
| 阿寒地区 (n=125) | | 37 29.6 | 64 51.2 | 21 16.8 | 2 1.6 | 1 0.8 |
| 音別地区 (n=53) | | 18 34.0 | 23 43.4 | 8 15.1 | 4 7.5 | 0 0.0 |
| 無回答 (n=57) | | 27 47.4 | 14 24.6 | 8 14.0 | 2 3.5 | 6 10.5 |

問3 【問2で「1. ずっと住み続けたい」または「2. できれば住み続けたい」とお答えした方におたずねします。】

住み続けたい理由は何ですか。(〇は2つまで)

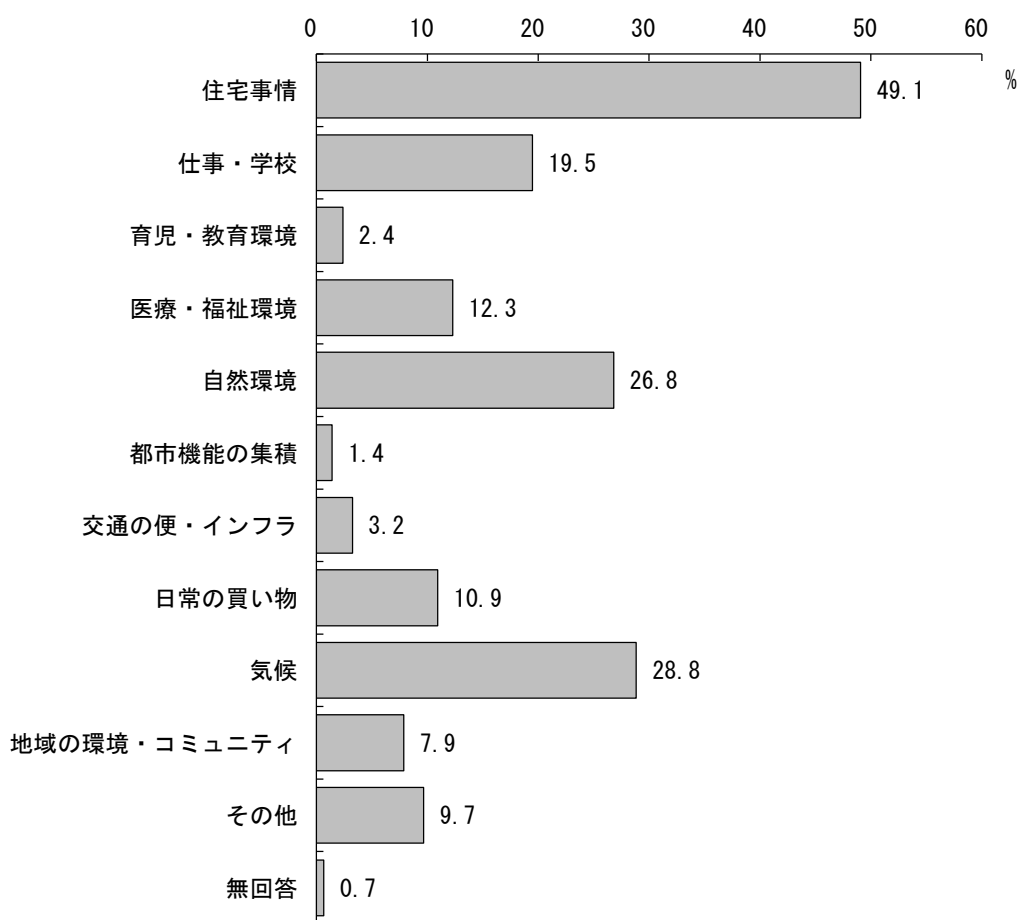
住み続けたい理由は、「住宅事情」が49.1%で最も多く、次いで「気候」が28.8%、「自然環境」が26.8%となっています。

年代別では、10代、60代、70代は「自然環境」の割合が他の年代に比べて高く、10代から50代にかけては「仕事・学校」が他の年代よりも高くなっています。

居住地区別に見ると、総じて「住宅事情」が最も高くなっていますが、阿寒地区のみ「自然環境」が「住宅事情」を上回っています。

なお、「その他」9.7%の回答には、「生まれ育った場所だから」、「親族や親戚、友人が住んでいるから」などが多くなっています。

図表1-3 釧路市に住み続けたい理由 (MA)



| | | 住宅事情 | 仕事 学校 | 育児 教育環境 | 医療 福祉環境 | 自然環境 | 都市機能 の集積 | 交通の便 インフラ | 日常の買 い物 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 全体 (n=2,403) | | 1,179 49.1 | 468 19.5 | 57 2.4 | 295 12.3 | 644 26.8 | 34 1.4 | 78 3.2 | 263 10.9 |
| 性別 | 男性 (n=1,062) | 518 48.8 | 224 21.1 | 19 1.8 | 148 13.9 | 317 29.8 | 23 2.2 | 36 3.4 | 109 10.3 |
| | 女性 (n=1,296) | 643 49.6 | 237 18.3 | 38 2.9 | 140 10.8 | 314 24.2 | 10 0.8 | 41 3.2 | 150 11.6 |
| | 無回答 (n=45) | 18 40.0 | 7 15.6 | 0 0.0 | 7 15.6 | 13 28.9 | 1 2.2 | 1 2.2 | 4 8.9 |
| 年代 | 16～19歳 (n=52) | 12 23.1 | 13 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 24 46.2 | 0 0.0 | 2 3.8 | 5 9.6 |
| | 20～29歳 (n=205) | 65 31.7 | 77 37.6 | 15 7.3 | 6 2.9 | 51 24.9 | 3 1.5 | 7 3.4 | 14 6.8 |
| | 30～39歳 (n=242) | 101 41.7 | 96 39.7 | 21 8.7 | 9 3.7 | 49 20.2 | 7 2.9 | 7 2.9 | 16 6.6 |
| | 40～49歳 (n=281) | 125 44.5 | 114 40.6 | 12 4.3 | 10 3.6 | 59 21.0 | 4 1.4 | 3 1.1 | 20 7.1 |
| | 50～59歳 (n=340) | 182 53.5 | 99 29.1 | 1 0.3 | 24 7.1 | 81 23.8 | 3 0.9 | 8 2.4 | 17 5.0 |
| | 60～69歳 (n=495) | 281 56.8 | 44 8.9 | 4 0.8 | 55 11.1 | 148 29.9 | 4 0.8 | 19 3.8 | 66 13.3 |
| | 70～79歳 (n=453) | 242 53.4 | 15 3.3 | 2 0.4 | 105 23.2 | 145 32.0 | 7 1.5 | 20 4.4 | 71 15.7 |
| | 80歳以上 (n=306) | 159 52.0 | 9 2.9 | 2 0.7 | 82 26.8 | 76 24.8 | 5 1.6 | 11 3.6 | 50 16.3 |
| | 無回答 (n=29) | 12 41.4 | 1 3.4 | 0 0.0 | 4 13.8 | 11 37.9 | 1 3.4 | 1 3.4 | 4 13.8 |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=803) | 425 52.9 | 132 16.4 | 16 2.0 | 101 12.6 | 221 27.5 | 10 1.2 | 25 3.1 |
| 釧路中部地区 (n=783) | | 374 47.8 | 154 19.7 | 22 2.8 | 106 13.5 | 193 24.6 | 9 1.1 | 28 3.6 | 94 12.0 |
| 釧路西部地区 (n=634) | | 302 47.6 | 145 22.9 | 17 2.7 | 74 11.7 | 152 24.0 | 13 2.1 | 21 3.3 | 79 12.5 |
| 阿寒地区 (n=101) | | 47 46.5 | 20 19.8 | 2 2.0 | 6 5.9 | 50 49.5 | 1 1.0 | 2 2.0 | 4 4.0 |
| 音別地区 (n=41) | | 19 46.3 | 11 26.8 | 0 0.0 | 1 2.4 | 13 31.7 | 0 0.0 | 1 2.4 | 2 4.9 |
| 無回答 (n=41) | | 12 29.3 | 6 14.6 | 0 0.0 | 7 17.1 | 15 36.6 | 1 2.4 | 1 2.4 | 6 14.6 |
| | | 気候 | 地域の環 境 コミュニ ティ | その他 | 無回答 | 非該当 | | | |
| 全体 (n=2,403) | | 693 28.8 | 189 7.9 | 232 9.7 | 16 0.7 | 543 | | | |
| 性別 | 男性 (n=1,062) | 289 27.2 | 85 8.0 | 94 8.9 | 6 0.6 | 199 | | | |
| | 女性 (n=1,296) | 390 30.1 | 101 7.8 | 132 10.2 | 10 0.8 | 319 | | | |
| | 無回答 (n=45) | 14 31.1 | 3 6.7 | 6 13.3 | 0 0.0 | 25 | | | |
| 年代 | 16～19歳 (n=52) | 21 40.4 | 7 13.5 | 2 3.8 | 0 0.0 | 40 | | | |
| | 20～29歳 (n=205) | 61 29.8 | 25 12.2 | 21 10.2 | 0 0.0 | 113 | | | |
| | 30～39歳 (n=242) | 64 26.4 | 13 5.4 | 23 9.5 | 4 1.7 | 89 | | | |
| | 40～49歳 (n=281) | 65 23.1 | 13 4.6 | 45 16.0 | 0 0.0 | 88 | | | |
| | 50～59歳 (n=340) | 113 33.2 | 25 7.4 | 35 10.3 | 0 0.0 | 94 | | | |
| | 60～69歳 (n=495) | 144 29.1 | 35 7.1 | 54 10.9 | 4 0.8 | 54 | | | |
| | 70～79歳 (n=453) | 126 27.8 | 47 10.4 | 30 6.6 | 4 0.9 | 36 | | | |
| | 80歳以上 (n=306) | 89 29.1 | 21 6.9 | 19 6.2 | 4 1.3 | 18 | | | |
| | 無回答 (n=29) | 10 34.5 | 3 10.3 | 3 10.3 | 0 0.0 | 11 | | | |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=803) | 233 29.0 | 67 8.3 | 88 11.0 | 6 0.7 | 149 | | |
| 釧路中部地区 (n=783) | | 221 28.2 | 54 6.9 | 80 10.2 | 4 0.5 | 202 | | | |
| 釧路西部地区 (n=634) | | 192 30.3 | 45 7.1 | 50 7.9 | 5 0.8 | 140 | | | |
| 阿寒地区 (n=101) | | 23 22.8 | 14 13.9 | 6 5.9 | 1 1.0 | 24 | | | |
| 音別地区 (n=41) | | 13 31.7 | 6 14.6 | 2 4.9 | 0 0.0 | 12 | | | |
| 無回答 (n=41) | | 11 26.8 | 3 7.3 | 6 14.6 | 0 0.0 | 16 | | | |

問4 【問2で「3. できれば市外に転出したい」または「4. すぐにでも市外に転出したい」とお答えした方のみにおたずねします。】

転出したい理由は何ですか。(〇は2つまで)

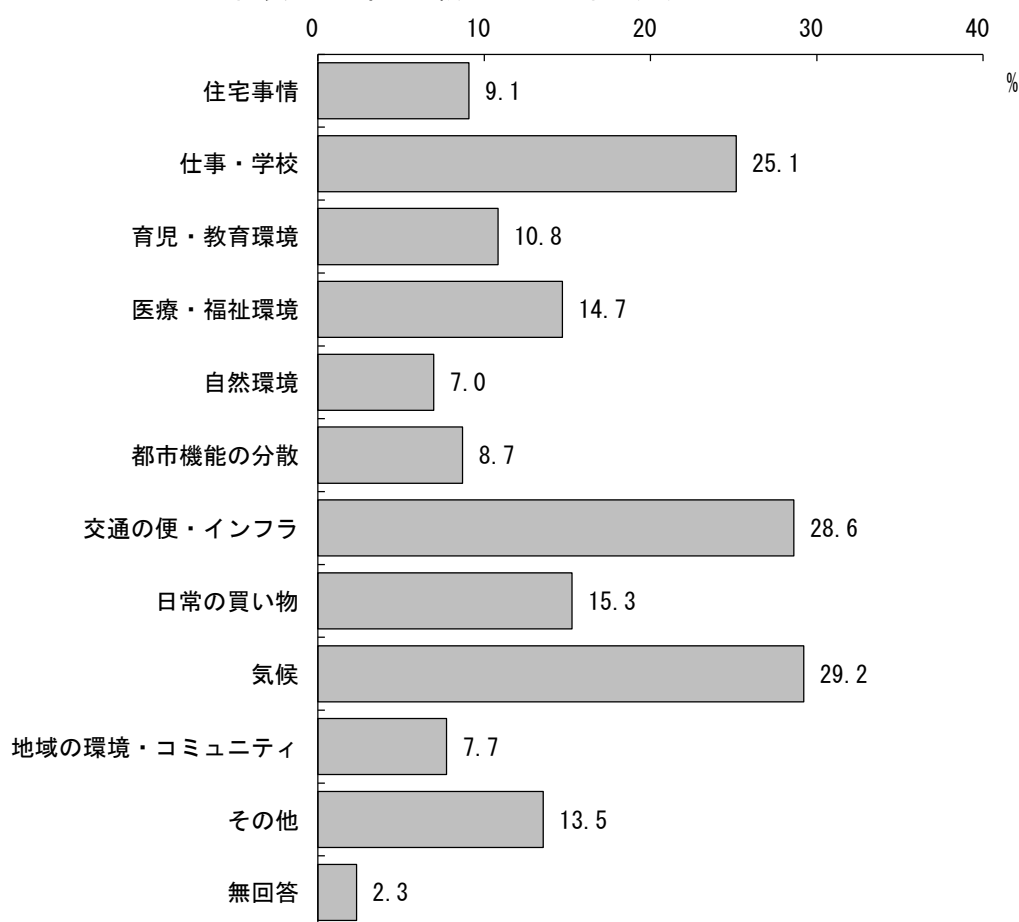
市外へ転出したい理由は「気候」が29.2%で最も多く、次いで「交通の便・インフラ」が28.6%、「仕事・学校」が25.1%となっています。

10代と20代では「仕事・学校」や「交通の便・インフラ」、「日常の買い物」が多く回答され、30代では「育児・教育環境」が他の年代に比べて割合が高くなっています。また50代では「交通の便・インフラ」が多く、それ以上の年代では「気候」が多く回答されています。

居住地区別では、阿寒地区で「交通の便・インフラ」や「日常の買い物」が、音別地区では「医療・福祉環境」や「仕事・学校」が多く回答されています。

なお、「その他」13.5%の回答では、「地元に戻りたい」「親族や親戚、友人がいないため」などがありました。

図表1-4 市外に転出したい理由 (MA)



| | | 住宅事情 | 仕事 学校 | 育児 教育環境 | 医療 福祉環境 | 自然環境 | 都市機能 の分散 | 交通の便 インフラ | 日常の買 い物 | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------------|------------|------------|------------|-------------|--------------|------------|------------|
| 全体 (n=517) | | 47 9.1 | 130 25.1 | 56 10.8 | 76 14.7 | 36 7.0 | 45 8.7 | 148 28.6 | 79 15.3 | |
| 性別 | 男性 (n=191) | 20 10.5 | 57 29.8 | 21 11.0 | 25 13.1 | 20 10.5 | 19 9.9 | 42 22.0 | 22 11.5 | |
| | 女性 (n=307) | 25 8.1 | 63 20.5 | 32 10.4 | 50 16.3 | 16 5.2 | 24 7.8 | 103 33.6 | 56 18.2 | |
| | 無回答 (n=19) | 2 10.5 | 10 52.6 | 3 15.8 | 1 5.3 | 0 0.0 | 2 10.5 | 3 15.8 | 1 5.3 | |
| 年代 | 16～19歳 (n=38) | 2 5.3 | 22 57.9 | 0 0.0 | 2 5.3 | 2 2.6 | 1 5.3 | 8 21.1 | 12 31.6 | |
| | 20～29歳 (n=109) | 8 7.3 | 36 33.0 | 10 9.2 | 5 4.6 | 6 5.5 | 12 11.0 | 41 37.6 | 19 17.4 | |
| | 30～39歳 (n=87) | 12 13.8 | 18 20.7 | 28 32.2 | 8 9.2 | 4 4.6 | 5 5.7 | 19 21.8 | 13 14.9 | |
| | 40～49歳 (n=85) | 6 7.1 | 24 28.2 | 13 15.3 | 20 23.5 | 4 4.7 | 6 7.1 | 25 29.4 | 7 8.2 | |
| | 50～59歳 (n=92) | 9 9.8 | 20 21.7 | 1 1.1 | 17 18.5 | 8 8.7 | 9 9.8 | 31 33.7 | 10 10.9 | |
| | 60～69歳 (n=53) | 4 7.5 | 6 11.3 | 1 1.9 | 14 26.4 | 8 15.1 | 6 11.3 | 17 32.1 | 10 18.9 | |
| | 70～79歳 (n=34) | 4 11.8 | 2 5.9 | 0 0.0 | 7 20.6 | 2 5.9 | 4 11.8 | 6 17.6 | 5 14.7 | |
| | 80歳以上 (n=12) | 1 8.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 25.0 | 3 25.0 | 1 8.3 | 1 8.3 | 2 16.7 | |
| | 無回答 (n=7) | 1 14.3 | 2 28.6 | 3 42.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 14.3 | |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=141) | 16 11.3 | 40 28.4 | 10 7.1 | 19 13.5 | 11 7.8 | 15 10.6 | 37 26.2 | 30 21.3 |
| | | 釧路中部地区 (n=198) | 17 8.6 | 50 25.3 | 23 11.6 | 32 16.2 | 14 7.1 | 17 8.6 | 65 32.8 | 21 10.6 |
| 釧路西部地区 (n=133) | | 11 8.3 | 26 19.5 | 18 13.5 | 17 12.8 | 9 6.8 | 10 7.5 | 35 26.3 | 16 12.0 | |
| 阿寒地区 (n=23) | | 2 8.7 | 6 26.1 | 1 4.3 | 4 17.4 | 1 4.3 | 2 8.7 | 8 34.8 | 8 34.8 | |
| 音別地区 (n=12) | | 0 0.0 | 4 33.3 | 1 8.3 | 4 33.3 | 1 8.3 | 0 0.0 | 2 16.7 | 3 25.0 | |
| 無回答 (n=10) | | 1 10.0 | 4 40.0 | 3 30.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 10.0 | 1 10.0 | 1 10.0 | |
| | | 気候 | 地域の環 境 コミュニ ティ | その他 | 無回答 | 非該当 | | | | |
| 全体 (n=517) | | 151 29.2 | 40 7.7 | 70 13.5 | 12 2.3 | 2,429 | | | | |
| 性別 | 男性 (n=191) | 53 27.7 | 11 5.8 | 27 14.1 | 4 2.1 | 1,070 | | | | |
| | 女性 (n=307) | 94 30.6 | 25 8.1 | 39 12.7 | 7 2.3 | 1,308 | | | | |
| | 無回答 (n=19) | 4 21.1 | 4 21.1 | 4 21.1 | 1 5.3 | 51 | | | | |
| 年代 | 16～19歳 (n=38) | 0 0.0 | 5 13.2 | 5 13.2 | 0 0.0 | 54 | | | | |
| | 20～29歳 (n=109) | 18 16.5 | 11 10.1 | 15 13.8 | 4 3.7 | 209 | | | | |
| | 30～39歳 (n=87) | 33 37.9 | 6 6.9 | 11 12.6 | 0 0.0 | 244 | | | | |
| | 40～49歳 (n=85) | 28 32.9 | 6 7.1 | 11 12.9 | 2 2.4 | 284 | | | | |
| | 50～59歳 (n=92) | 27 29.3 | 5 5.4 | 15 16.3 | 4 4.3 | 342 | | | | |
| | 60～69歳 (n=53) | 24 45.3 | 3 5.7 | 5 9.4 | 0 0.0 | 496 | | | | |
| | 70～79歳 (n=34) | 14 41.2 | 2 5.9 | 3 8.8 | 2 5.9 | 455 | | | | |
| | 80歳以上 (n=12) | 6 50.0 | 1 8.3 | 1 8.3 | 0 0.0 | 312 | | | | |
| | 無回答 (n=7) | 1 14.3 | 1 14.3 | 4 57.1 | 0 0.0 | 33 | | | | |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=141) | 43 30.5 | 8 5.7 | 11 7.8 | 4 2.8 | 811 | | | |
| 釧路中部地区 (n=198) | | 50 25.3 | 14 7.1 | 31 15.7 | 6 3.0 | 787 | | | | |
| 釧路西部地区 (n=133) | | 51 38.3 | 14 10.5 | 18 13.5 | 2 1.5 | 641 | | | | |
| 阿寒地区 (n=23) | | 3 13.0 | 3 13.0 | 4 17.4 | 0 0.0 | 102 | | | | |
| 音別地区 (n=12) | | 2 16.7 | 0 0.0 | 2 16.7 | 0 0.0 | 41 | | | | |
| 無回答 (n=10) | | 2 20.0 | 1 10.0 | 4 40.0 | 0 0.0 | 47 | | | | |

問5 あなたが釧路市の「地域の強み」だと思う事は何ですか。
また具体的な例をお答えください。(〇は3つまで)

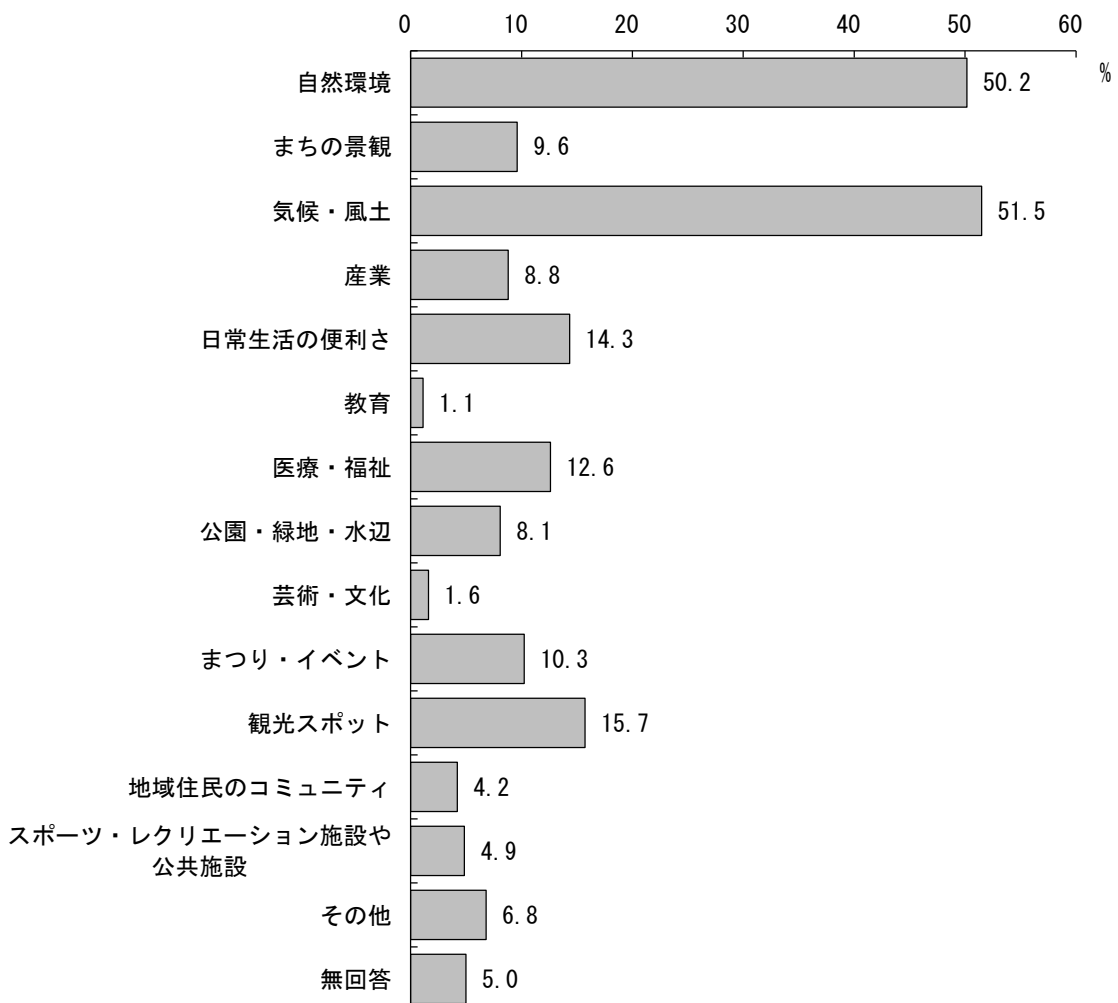
市民が考える地域の強みは、「気候・風土」が51.5%、「自然環境」が50.2%と高い割合となっており、「気候・風土」についての具体的な例では「夏が涼しい」や「雪が少ない」とする意見が大半を占めていることから、移住や長期滞在などの気候を生かした交流人口の拡大を図る取組等により、釧路市の気候を過ごしやすく感じ、地域の強みとして考える市民が多いのではないかと推察されます。

年代別では、10代と20代は他の年代に比べ、「まつり・イベント」の割合が高くなっており、具体的な例では、「釧路大漁どんぱく」や「くしろ港まつり」、「くしろ霧フェスティバル」などの多くの人が集まるイベントの回答が大半を占めています。

また、60代以上では他の年代と比べ、「日常生活の便利さ」、「医療・福祉環境」、「地域住民のコミュニティ」の割合が高くなっています。

居住地区別で見ると、釧路東部地区・釧路中部地区・釧路西部地区では、「日常生活の便利さ」の割合が他の地区よりも高く、阿寒地区では「自然環境」、「観光スポット」、音別地区では「地域住民のコミュニティ」の割合が高いなどの傾向がありました。

図表 1-5 釧路市の強み (MA)



| | | 自然環境 | まちの景観 | 気候風土 | 産業 | 日常生活の 利便さ | 教育 | 医療 福祉 | 公園 緑地 水辺 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------|---------------|---------------------|--|-------------|-------------|----------------|
| 全体 (n=2,946) | | 1,478 50.2 | 283 9.6 | 1,517 51.5 | 259 8.8 | 422 14.3 | 33 1.1 | 371 12.6 | 238 8.1 |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 666 52.8 | 112 8.9 | 653 51.8 | 112 8.9 | 168 13.3 | 16 1.3 | 177 14.0 | 104 8.2 |
| | 女性 (n=1,615) | 787 48.7 | 166 10.3 | 831 51.5 | 143 8.9 | 243 15.0 | 16 1.0 | 189 11.7 | 131 8.1 |
| | 無回答 (n=70) | 25 35.7 | 5 7.1 | 33 47.1 | 4 5.7 | 11 15.7 | 1 1.4 | 5 7.1 | 3 4.3 |
| 年代 | 16～19歳 (n=92) | 48 52.2 | 11 12.0 | 40 43.5 | 9 9.8 | 3 3.3 | 3 3.3 | 1 1.1 | 9 9.8 |
| | 20～29歳 (n=318) | 135 42.5 | 42 13.2 | 163 51.3 | 44 13.8 | 24 7.5 | 2 0.6 | 13 4.1 | 25 7.9 |
| | 30～39歳 (n=331) | 139 42.0 | 27 8.2 | 187 56.5 | 49 14.8 | 27 8.2 | 4 1.2 | 19 5.7 | 28 8.5 |
| | 40～49歳 (n=369) | 185 50.1 | 25 6.8 | 199 53.9 | 36 9.8 | 30 8.1 | 7 1.9 | 18 4.9 | 24 6.5 |
| | 50～59歳 (n=434) | 227 52.3 | 42 9.7 | 240 55.3 | 43 9.9 | 44 10.1 | 5 1.2 | 36 8.3 | 24 5.5 |
| | 60～69歳 (n=549) | 311 56.6 | 47 8.6 | 278 50.6 | 34 6.2 | 102 18.6 | 5 0.9 | 74 13.5 | 48 8.7 |
| | 70～79歳 (n=489) | 262 53.6 | 48 9.8 | 237 48.5 | 26 5.3 | 104 21.3 | 2 0.4 | 119 24.3 | 44 9.0 |
| | 80歳以上 (n=324) | 149 46.0 | 38 11.7 | 154 47.5 | 17 5.2 | 80 24.7 | 5 1.5 | 88 27.2 | 34 10.5 |
| | 無回答 (n=40) | 22 55.0 | 3 7.5 | 19 47.5 | 1 2.5 | 8 20.0 | 0 0.0 | 3 7.5 | 2 5.0 |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=952) | 487 51.2 | 110 11.6 | 502 52.7 | 77 8.1 | 127 13.3 | 10 1.1 | 135 14.2 |
| 釧路中部地区 (n=985) | | 491 49.8 | 94 9.5 | 505 51.3 | 91 9.2 | 158 16.0 | 11 1.1 | 128 13.0 | 84 8.5 |
| 釧路西部地区 (n=774) | | 363 46.9 | 58 7.5 | 397 51.3 | 68 8.8 | 116 15.0 | 8 1.0 | 83 10.7 | 50 6.5 |
| 阿寒地区 (n=125) | | 85 68.0 | 11 8.8 | 62 49.6 | 13 10.4 | 6 4.8 | 2 1.6 | 9 7.2 | 6 4.8 |
| 音別地区 (n=53) | | 26 49.1 | 5 9.4 | 26 49.1 | 6 11.3 | 2 3.8 | 1 1.9 | 8 15.1 | 5 9.4 |
| 無回答 (n=57) | | 26 45.6 | 5 8.8 | 25 43.9 | 4 7.0 | 13 22.8 | 1 1.8 | 8 14.0 | 4 7.0 |
| | | 芸術 文化 | まつり イベント | 観光ス ポット | 地域住民 のコミュ ニティ | スポー ツ・レク リエー ション施 設や公共 施設 | その他 | 無回答 | |
| 全体 (n=2,946) | | 47 1.6 | 302 10.3 | 463 15.7 | 124 4.2 | 143 4.9 | 200 6.8 | 147 5.0 | |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 17 1.3 | 109 8.6 | 244 19.3 | 51 4.0 | 77 6.1 | 83 6.6 | 53 4.2 | |
| | 女性 (n=1,615) | 29 1.8 | 191 11.8 | 210 13.0 | 72 4.5 | 65 4.0 | 109 6.7 | 82 5.1 | |
| | 無回答 (n=70) | 1 1.4 | 2 2.9 | 9 12.9 | 1 1.4 | 1 1.4 | 8 11.4 | 12 17.1 | |
| 年代 | 16～19歳 (n=92) | 2 2.2 | 25 27.2 | 17 18.5 | 2 2.2 | 7 7.6 | 5 5.4 | 0 0.0 | |
| | 20～29歳 (n=318) | 9 2.8 | 56 17.6 | 31 9.7 | 1 0.3 | 8 2.5 | 33 10.4 | 17 5.3 | |
| | 30～39歳 (n=331) | 2 0.6 | 41 12.4 | 43 13.0 | 3 0.9 | 16 4.8 | 36 10.9 | 11 3.3 | |
| | 40～49歳 (n=369) | 6 1.6 | 50 13.6 | 52 14.1 | 5 1.4 | 17 4.6 | 32 8.7 | 11 3.0 | |
| | 50～59歳 (n=434) | 10 2.3 | 53 12.2 | 72 16.6 | 8 1.8 | 24 5.5 | 38 8.8 | 25 5.8 | |
| | 60～69歳 (n=549) | 7 1.3 | 35 6.4 | 96 17.5 | 26 4.7 | 30 5.5 | 32 5.8 | 30 5.5 | |
| | 70～79歳 (n=489) | 6 1.2 | 25 5.1 | 103 21.1 | 45 9.2 | 29 5.9 | 11 2.2 | 30 6.1 | |
| | 80歳以上 (n=324) | 4 1.2 | 16 4.9 | 43 13.3 | 33 10.2 | 12 3.7 | 9 2.8 | 15 4.6 | |
| | 無回答 (n=40) | 1 2.5 | 1 2.5 | 6 15.0 | 1 2.5 | 0 0.0 | 4 10.0 | 8 20.0 | |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=952) | 14 1.5 | 90 9.5 | 160 16.8 | 44 4.6 | 36 3.8 | 62 6.5 | 49 5.1 |
| 釧路中部地区 (n=985) | | 18 1.8 | 114 11.6 | 143 14.5 | 32 3.2 | 60 6.1 | 77 7.8 | 36 3.7 | |
| 釧路西部地区 (n=774) | | 9 1.2 | 79 10.2 | 117 15.1 | 25 3.2 | 38 4.9 | 48 6.2 | 49 6.3 | |
| 阿寒地区 (n=125) | | 5 4.0 | 8 6.4 | 32 25.6 | 12 9.6 | 5 4.0 | 5 4.0 | 4 3.2 | |
| 音別地区 (n=53) | | 0 0.0 | 6 11.3 | 5 9.4 | 9 17.0 | 3 5.7 | 3 5.7 | 2 3.8 | |
| 無回答 (n=57) | | 1 1.8 | 5 8.8 | 6 10.5 | 2 3.5 | 1 1.8 | 5 8.8 | 7 12.3 | |

＜釧路市の強みの具体的な例についての主な回答内容＞

○自然環境（選択した1,478人のうち672人が回答）

回答内容：釧路湿原（270件）、海（72件）、国立公園（58件）、山（46件）、湖（36件） など

○まちの景観（選択した282人のうち140人が回答）

回答内容：夕日（61件）、幣舞橋（30件）、釧路川（9件）、高台からの街並み（9件）、夜景（7件） など

○気候・風土（選択した1,517人のうち872人が回答）

回答内容：夏が涼しい（538件）、雪が少ない（269件）、過ごしやすい気候（136件）、霧（16件）、災害が少ない（14件） など

○産業（選択した259人のうち172人が回答）

回答内容：漁業（水産業）（155件）、製紙工場（12件）、炭鉱（9件）、農業（9件）、酪農業（6件） など

○日常生活の便利さ（選択した422人のうち167人が回答）

回答内容：スーパーが近い（買い物が便利）（73件）、車で移動しやすい（32件）、お店が近い（28件）、病院が近い（24件）、コンパクトなまち（9件） など

○教育（選択した33人のうち16人が回答）

回答内容：高校・大学・専門学校（10件） など

○医療・福祉（選択した371人のうち120人が回答）

回答内容：大小の病院がある（病院数が多い）（117件）、介護施設が多い（10件）、ドクターヘリの導入（4件） など

○公園・緑地・水辺（選択した238人のうち84人が回答）

回答内容：公園が多い（34件）、自然（緑）が多い（13件）、湿原（8件）、春採湖（8件）、釧路川（7件） など

○芸術・文化（選択した47人のうち20人が回答）

回答内容：美術館（5件）、芸術館（4件）、アイヌ文化（2件） など

○まつり・イベント（選択した302人のうち163人が回答）

回答内容：どんばく（88件）、港まつり（27件）、霧フェス（27件）、イベントが多い（19件）、花火大会（12件） など

○観光スポット（選択した453人のうち251人が回答）

回答内容：釧路湿原（80件）、夕日（幣舞橋、MOOからの眺め含む）（58件）、阿寒湖（51件）、（2つの）国立公園（50件）、観光地が近郊に多い（12件） など

○地域住民のコミュニティ（選択した124人のうち39人が回答）

回答内容：町内会が充実している（16件）、近所のつながり（8件）、親戚等がいる（4件） など

○スポーツ・レクリエーション施設や公共施設（選択した143人のうち69人が回答）

回答内容：アイスホッケーリンク（17件）、湿原の風アリーナ（13件）、運動公園（9件）、施設が多い（8件） など

○その他（選択した200人のうち189人が回答）

回答内容：食べ物が美味しい（78件）、交通手段が多い（高速道路、空港、港）（11件）、人柄がいい（10件）、まちの規模（9件） など

問6 あなたが釧路市の「地域の弱み」だと思う事は何ですか。
また具体的な例をお答えください。(〇は3つまで)

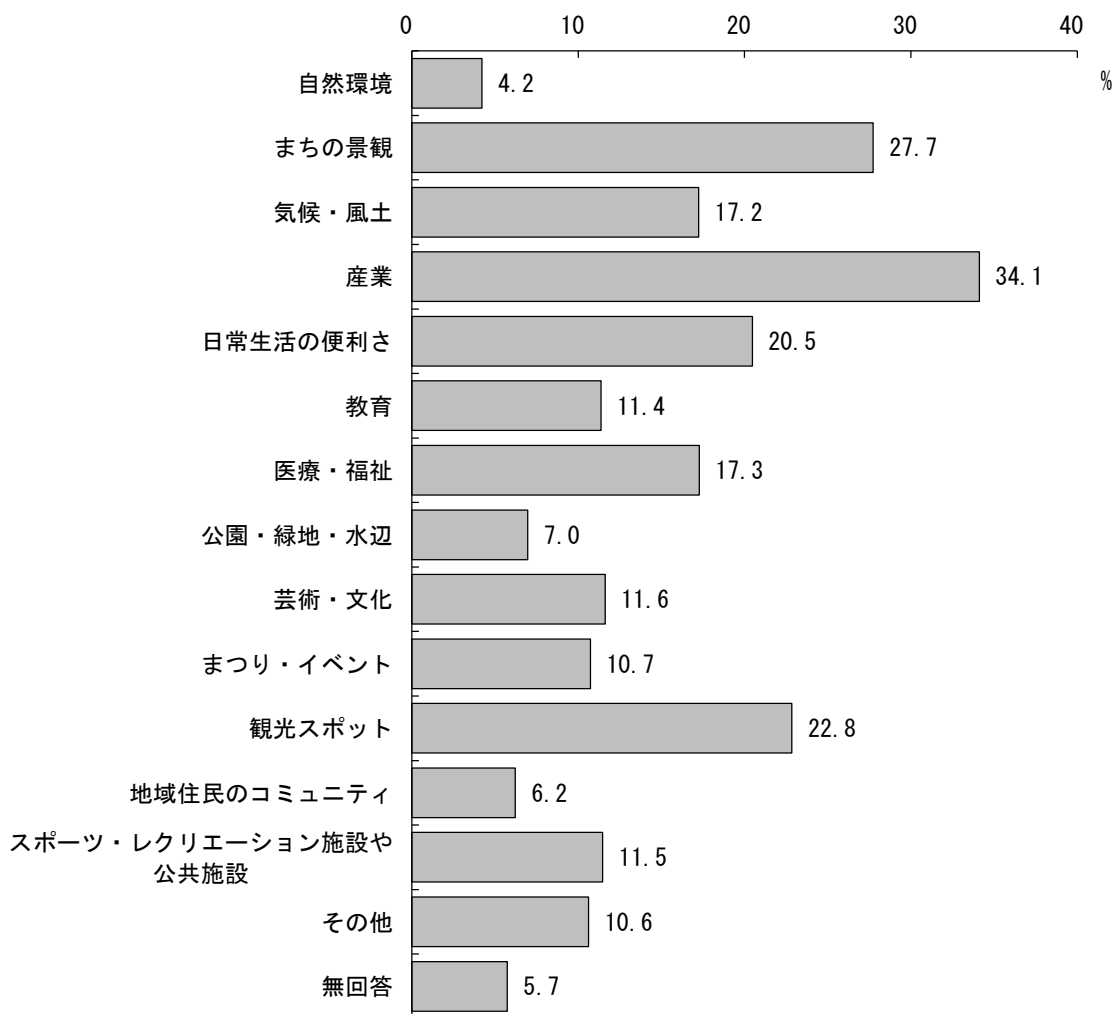
市民が考える地域の弱みは、「産業」が34.1%で最も多く、以下「まちの景観」が27.7%、「観光スポット」が22.8%となっています。

性別では、男性の42.0%が「産業」を挙げている一方、女性は「まちの景観」の28.4%が最も多く、以下「産業」が28.2%、「観光スポット」が24.0%、「日常生活の便利さ」が22.4%となっています。

また年代別では、30代以下では「日常生活の便利さ」、「観光スポット」、「まちの景観」が多くなっています。「まちの景観」は10代を除く各年代で回答数が上位であり、「産業」は50代以上の年代で多くの回答を集めています。

居住地区別では釧路東部地区・釧路中部地区・釧路西部地区では「産業」が最も多いが、阿寒地区では「日常生活の便利さ」、音別地区では「医療・福祉」と「観光スポット」が最も多く回答されています。

図表 1-6 釧路市の弱み (MA)



| | | 自然環境 | まちの景観 | 気候風土 | 産業 | 日常生活の 便利さ | 教育 | 医療 福祉 | 公園 緑地 水辺 |
|-----------------|-------------------|------------------|-------------|-------------|---------------|---------------------|--|-------------|----------------|
| 全体 (n=2,946) | | 124 4.2 | 817 27.7 | 508 17.2 | 1,005 34.1 | 603 20.5 | 335 11.4 | 509 17.3 | 205 7.0 |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 53 4.2 | 337 26.7 | 217 17.2 | 529 42.0 | 225 17.8 | 143 11.3 | 197 15.6 | 88 7.0 |
| | 女性 (n=1,615) | 70 4.3 | 459 28.4 | 282 17.5 | 456 28.2 | 361 22.4 | 184 11.4 | 303 18.8 | 113 7.0 |
| | 無回答 (n=70) | 1 1.4 | 21 30.0 | 9 12.9 | 20 28.6 | 17 24.3 | 8 11.4 | 9 12.9 | 4 5.7 |
| | 年代 | 16～19歳 (n=92) | 1 1.1 | 18 19.6 | 10 10.9 | 17 18.5 | 27 29.3 | 21 22.8 | 6 6.5 |
| | 20～29歳 (n=318) | 12 3.8 | 93 29.2 | 46 14.5 | 45 14.2 | 102 32.1 | 36 11.3 | 37 11.6 | 18 5.7 |
| | 30～39歳 (n=331) | 12 3.6 | 88 26.6 | 64 19.3 | 68 20.5 | 74 22.4 | 62 18.7 | 74 22.4 | 21 6.3 |
| | 40～49歳 (n=369) | 11 3.0 | 121 32.8 | 63 17.1 | 100 27.1 | 92 24.9 | 54 14.6 | 77 20.9 | 30 8.1 |
| | 50～59歳 (n=434) | 23 5.3 | 137 31.6 | 71 16.4 | 137 31.6 | 86 19.8 | 57 13.1 | 84 19.4 | 32 7.4 |
| | 60～69歳 (n=549) | 19 3.5 | 156 28.4 | 92 16.8 | 253 46.1 | 85 15.5 | 37 6.7 | 102 18.6 | 38 6.9 |
| | 70～79歳 (n=489) | 21 4.3 | 113 23.1 | 101 20.7 | 229 46.8 | 76 15.5 | 39 8.0 | 84 17.2 | 34 7.0 |
| | 80歳以上 (n=324) | 24 7.4 | 80 24.7 | 54 16.7 | 141 43.5 | 53 16.4 | 24 7.4 | 37 11.4 | 21 6.5 |
| | 無回答 (n=40) | 1 2.5 | 11 27.5 | 7 17.5 | 15 37.5 | 8 20.0 | 5 12.5 | 8 20.0 | 3 7.5 |
| 居住地区 | 鉦路東部地区 (n=952) | 40 4.2 | 285 29.9 | 167 17.5 | 341 35.8 | 222 23.3 | 93 9.8 | 158 16.6 | 55 5.8 |
| | 鉦路中部地区 (n=985) | 43 4.4 | 284 28.8 | 178 18.1 | 333 33.8 | 186 18.9 | 116 11.8 | 149 15.1 | 67 6.8 |
| | 鉦路西部地区 (n=774) | 27 3.5 | 197 25.5 | 135 17.4 | 263 34.0 | 128 16.5 | 97 12.5 | 147 19.0 | 59 7.6 |
| | 阿寒地区 (n=125) | 9 7.2 | 21 16.8 | 12 9.6 | 39 31.2 | 43 34.4 | 18 14.4 | 29 23.2 | 14 11.2 |
| | 音別地区 (n=53) | 3 5.7 | 15 28.3 | 8 15.1 | 12 22.6 | 13 24.5 | 6 11.3 | 18 34.0 | 5 9.4 |
| | 無回答 (n=57) | 2 3.5 | 15 26.3 | 8 14.0 | 17 29.8 | 11 19.3 | 5 8.8 | 8 14.0 | 5 8.8 |
| | | 芸術文化 | | まつり イベント | 観光ス ポット | 地域住民 のコミュ ニティ | スポー ツ・レク リエー ション施 設や公共 施設 | その他 | 無回答 |
| 全体 (n=2,946) | | 342 11.6 | 316 10.7 | 673 22.8 | 183 6.2 | 338 11.5 | 313 10.6 | 169 5.7 | |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 146 11.6 | 138 10.9 | 274 21.7 | 86 6.8 | 144 11.4 | 139 11.0 | 74 5.9 | |
| | 女性 (n=1,615) | 192 11.9 | 171 10.6 | 388 24.0 | 93 5.8 | 189 11.7 | 165 10.2 | 85 5.3 | |
| | 無回答 (n=70) | 4 5.7 | 7 10.0 | 11 15.7 | 4 5.7 | 5 7.1 | 9 12.9 | 10 14.3 | |
| | 年代 | 16～19歳 (n=92) | 4 4.3 | 13 14.1 | 22 23.9 | 3 3.3 | 10 10.9 | 17 18.5 | 1 1.1 |
| | 20～29歳 (n=318) | 16 5.0 | 45 14.2 | 91 28.6 | 12 3.8 | 52 16.4 | 51 16.0 | 15 4.7 | |
| | 30～39歳 (n=331) | 22 6.6 | 38 11.5 | 88 26.6 | 9 2.7 | 49 14.8 | 43 13.0 | 11 3.3 | |
| | 40～49歳 (n=369) | 35 9.5 | 39 10.6 | 100 27.1 | 14 3.8 | 40 10.8 | 41 11.1 | 8 2.2 | |
| | 50～59歳 (n=434) | 62 14.3 | 48 11.1 | 106 24.4 | 14 3.2 | 46 10.6 | 47 10.8 | 19 4.4 | |
| | 60～69歳 (n=549) | 100 18.2 | 59 10.7 | 122 22.2 | 39 7.1 | 60 10.9 | 48 8.7 | 32 5.8 | |
| | 70～79歳 (n=489) | 64 13.1 | 44 9.0 | 87 17.8 | 51 10.4 | 53 10.8 | 43 8.8 | 39 8.0 | |
| | 80歳以上 (n=324) | 36 11.1 | 26 8.0 | 53 16.4 | 38 11.7 | 25 7.7 | 19 5.9 | 36 11.1 | |
| | 無回答 (n=40) | 3 7.5 | 4 10.0 | 4 10.0 | 3 7.5 | 3 7.5 | 4 10.0 | 8 20.0 | |
| 居住地区 | 鉦路東部地区 (n=952) | 128 13.4 | 91 9.6 | 189 19.9 | 74 7.8 | 104 10.9 | 85 8.9 | 63 6.6 | |
| | 鉦路中部地区 (n=985) | 118 12.0 | 125 12.7 | 241 24.5 | 50 5.1 | 116 11.8 | 127 12.9 | 39 4.0 | |
| | 鉦路西部地区 (n=774) | 81 10.5 | 83 10.7 | 202 26.1 | 44 5.7 | 95 12.3 | 76 9.8 | 45 5.8 | |
| | 阿寒地区 (n=125) | 8 6.4 | 5 4.0 | 17 13.6 | 5 4.0 | 10 8.0 | 16 12.8 | 10 8.0 | |
| | 音別地区 (n=53) | 4 7.5 | 4 7.5 | 18 34.0 | 6 11.3 | 5 9.4 | 3 5.7 | 2 3.8 | |
| | 無回答 (n=57) | 3 5.3 | 8 14.0 | 6 10.5 | 4 7.0 | 8 14.0 | 6 10.5 | 10 17.5 | |

＜釧路市の弱みの具体的な例についての主な回答内容＞

○自然環境（選択した124人のうち53人が回答）

回答内容：地震が心配（10件）、寒い（夏がない）（10件）、津波（8件）、冬道（7件）、霧が多い（3件）、天気が悪い（3件） など

○まちの景観（選択した817人のうち466人が回答）

回答内容：駅の周りに何も無い（115件）、中心がシャッター街（51件）、北大通りがさびしい（46件）、空き店舗が多い（37件）、街が汚い（19件） など

○気候・風土（選択した508人のうち281人が回答）

回答内容：気温が低い（85件）、霧が多い（69件）、冷夏（31件）、いつも天気が悪い（25件）、冬は寒い（22件） など

○産業（選択した1,005人のうち373人が回答）

回答内容：水産業が衰退（106件）、雇用がない（若者）（78件）、基幹産業がない（33件）、大企業がない（31件）、石炭産業の衰退（18件） など

○日常生活の便利さ（選択した603人のうち382人が回答）

回答内容：公共交通機関が不便（139件）、車が欠かせない（66件）、スーパーが遠い（24件）、デパートがない（13件）、施設がない（10件） など

○教育（選択した335人のうち136人が回答）

回答内容：子どもの学力低下（43件）、大学が少ない（38件）、医大・理系の大学が無い（13件） など

○医療・福祉（選択した509人のうち174人が回答）

回答内容：病院が少ない（40件）、先進医療の遅れ（専門医などが少ないを含む）（23件）、子どもの医療費が高い（11件）、産科が少ない（10件）、介護施設が少ない（9件） など

○公園・緑地・水辺（選択した205人のうち81人が回答）

回答内容：公園が少ない（28件）、公園が古い（遊具も）（8件）、室内公園が無い（6件）、緑が少ない（6件）、公園の遊具が少ない（5件）、公園の衛生面が行き届いていない（5件） など

○芸術・文化（選択した342人のうち106人が回答）

回答内容：イベントが少ない（11件）、有名アーティストが来ない（10件）、コンサートが少ない（10件）、展覧会（移動展、美術展など）が少ない（7件）、美術館が充実していない（5件） など

○まつり・イベント（選択した316人のうち154人が回答）

回答内容：少ない（28件）、規模が小さい（25件）、活気が無い（つまらない）（25件）、大きいイベントが無い（24件）、マンネリ化（14件） など

○観光スポット（選択した673人のうち298人が回答）

回答内容：目立ったものが少ない（164件）、市内に無い（遠い）（33件）、宣伝不足（21件）、自然に頼りすぎ（19件）、水族館がない（9件） など

○地域住民のコミュニティ（選択した183人のうち59人が回答）

回答内容：近所づきあいが少ない（15件）、町内会員が少ない（9件）、活動が活発ではない（9件）、集まる場所がない（5件）、高齢化（2件） など

○スポーツ・レクリエーション施設や公共施設（選択した338人のうち158人が回答）

回答内容：施設が少ない（無い）（77件）、プロ野球が来ない（27件）、
施設までの交通の便が悪い（14件）、老朽化（7件）、芝のサッカー場が無い（5件） など

○その他（選択した313人のうち305人が回答）

回答内容：交通の便が悪い（27件）、レジャー施設が少ない（12件）、百貨店が無い（10件）、
冬の除雪が悪い（9件）、若い人に魅力的な仕事が無い（7件） など

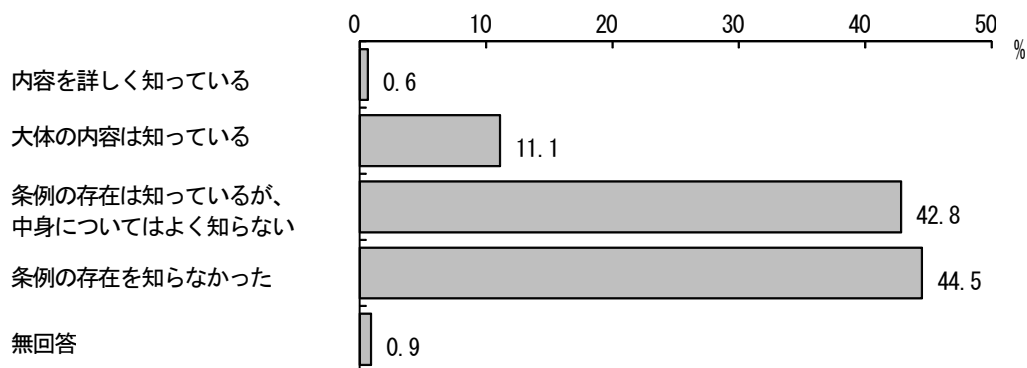
イ まちづくりについて

問7 あなたは、「釧路市まちづくり基本条例」をご存知ですか。(○は1つ)

「釧路市まちづくり基本条例」の認知度については、存在を知らない市民が多く、特に若い年代ほどその傾向が顕著です。全体では「条例の存在を知らなかった」が44.5%で、「条例は知っているが、中身についてはよく知らない」が42.8%となっています。

ただし、60代以上の年代では「条例の存在は知っているが、中身についてはよく知らない」の割合が、「条例の存在を知らなかった」を上回っています。

図表 1-7 「釧路市まちづくり基本条例」の認知度 (SA)



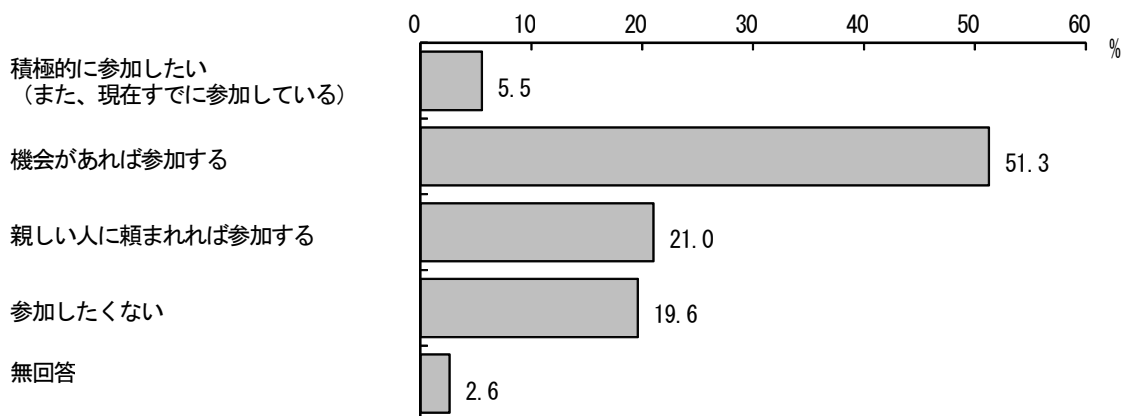
| | | 内容を詳しく知っている | 大体的内容は知っている | 条例の存在は知っているが、中身についてはよく知らない | 条例の存在を知らなかった | 無回答 | |
|----------------|----------------|----------------|-------------|----------------------------|---------------|-------------|-----------|
| 全体 (n=2,946) | | 19 0.6 | 327 11.1 | 1,262 42.8 | 1,311 44.5 | 27 0.9 | |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 14 1.1 | 180 14.3 | 595 47.2 | 466 37.0 | 6 0.5 | |
| | 女性 (n=1,615) | 4 0.2 | 139 8.6 | 646 40.0 | 809 50.1 | 17 1.1 | |
| | 無回答 (n=70) | 1 1.4 | 8 11.4 | 21 30.0 | 36 51.4 | 4 5.7 | |
| 年代 | 16~19歳 (n=92) | 0 0.0 | 3 3.3 | 17 18.5 | 71 77.2 | 1 1.1 | |
| | 20~29歳 (n=318) | 2 0.6 | 7 2.2 | 84 26.4 | 225 70.8 | 0 0.0 | |
| | 30~39歳 (n=331) | 2 0.6 | 20 6.0 | 91 27.5 | 218 65.9 | 0 0.0 | |
| | 40~49歳 (n=369) | 3 0.8 | 33 8.9 | 141 38.2 | 192 52.0 | 0 0.0 | |
| | 50~59歳 (n=434) | 1 0.2 | 42 9.7 | 182 41.9 | 208 47.9 | 1 0.2 | |
| | 60~69歳 (n=549) | 4 0.7 | 87 15.8 | 272 49.5 | 183 33.3 | 3 0.5 | |
| | 70~79歳 (n=489) | 3 0.6 | 82 16.8 | 289 59.1 | 106 21.7 | 9 1.8 | |
| | 80歳以上 (n=324) | 2 0.6 | 48 14.8 | 172 53.1 | 93 28.7 | 9 2.8 | |
| | 無回答 (n=40) | | 2 5.0 | 5 12.5 | 14 35.0 | 15 37.5 | 4 10.0 |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=952) | 6 0.6 | 116 12.2 | 438 46.0 | 382 40.1 | 10 1.1 |
| 釧路中部地区 (n=985) | | 8 0.8 | 103 10.5 | 423 42.9 | 444 45.1 | 7 0.7 | |
| 釧路西部地区 (n=774) | | 1 0.1 | 83 10.7 | 305 39.4 | 380 49.1 | 5 0.6 | |
| 阿寒地区 (n=125) | | 2 1.6 | 11 8.8 | 55 44.0 | 57 45.6 | 0 0.0 | |
| 音別地区 (n=53) | | 1 1.9 | 4 7.5 | 24 45.3 | 24 45.3 | 0 0.0 | |
| 無回答 (n=57) | | 1 1.8 | 10 17.5 | 17 29.8 | 24 42.1 | 5 8.8 | |

問8 「釧路市まちづくり基本条例」では、「市民は、まちづくりの主体であることを認識するとともに、まちづくりに参加するよう努めなければならない。」と定めております。
あなたは、まちづくりや住民活動に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

まちづくりや住民活動への参加意向については、「機会があれば参加する」が51.3%で最も多く、次いで「親しい人に頼まれれば参加する」が21.0%、「参加したくない」が19.6%、「積極的に参加したい(また、現在すでに参加している)」が5.5%となっています。

参加する内容の回答を合わせると77.8%であり、多くの市民がまちづくりへの参加と関心を寄せていることがわかります。

図表 1-8 まちづくりや住民活動への参加意向 (SA)



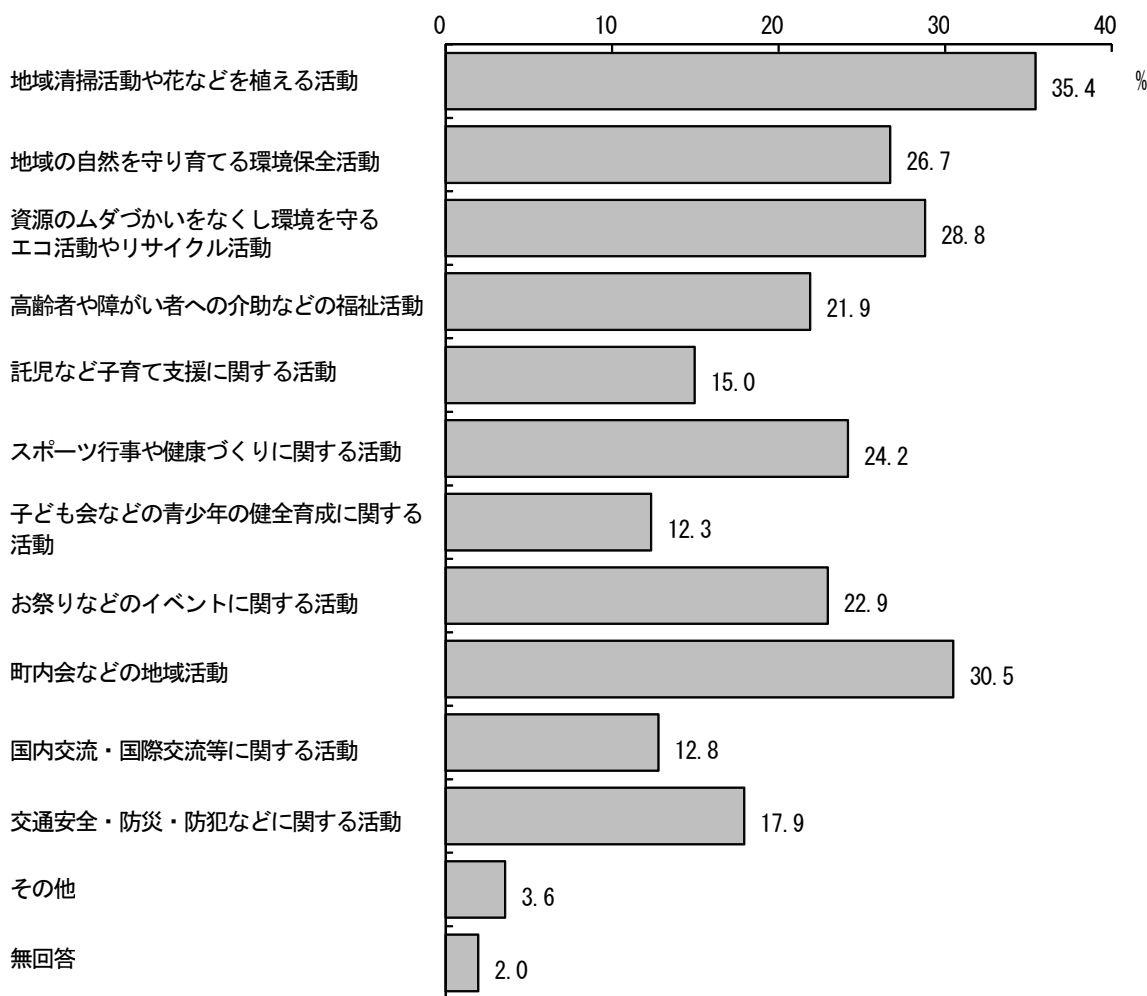
| | | 積極的に参加したい(また、現在すでに参加している) | 機会があれば参加する | 親しい人に頼まれれば参加する | 参加したくない | 無回答 |
|--------------|----------------|---------------------------|---------------|----------------|-------------|------------|
| 全体 (n=2,946) | | 163 5.5 | 1,510 51.3 | 619 21.0 | 577 19.6 | 77 2.6 |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 84 6.7 | 669 53.1 | 256 20.3 | 227 18.0 | 25 2.0 |
| | 女性 (n=1,615) | 78 4.8 | 814 50.4 | 349 21.6 | 329 20.4 | 45 2.8 |
| | 無回答 (n=70) | 1 1.4 | 27 38.6 | 14 20.0 | 21 30.0 | 7 10.0 |
| 年代 | 16~19歳 (n=92) | 5 5.4 | 53 57.6 | 22 23.9 | 11 12.0 | 1 1.1 |
| | 20~29歳 (n=318) | 13 4.1 | 138 43.4 | 93 29.2 | 72 22.6 | 2 0.6 |
| | 30~39歳 (n=331) | 15 4.5 | 157 47.4 | 90 27.2 | 68 20.5 | 1 0.3 |
| | 40~49歳 (n=369) | 11 3.0 | 191 51.8 | 90 24.4 | 74 20.1 | 3 0.8 |
| | 50~59歳 (n=434) | 13 3.0 | 236 54.4 | 87 20.0 | 94 21.7 | 4 0.9 |
| | 60~69歳 (n=549) | 31 5.6 | 319 58.1 | 96 17.5 | 98 17.9 | 5 0.9 |
| | 70~79歳 (n=489) | 46 9.4 | 257 52.6 | 86 17.6 | 79 16.2 | 21 4.3 |
| | 80歳以上 (n=324) | 26 8.0 | 141 43.5 | 50 15.4 | 72 22.2 | 35 10.8 |
| | 無回答 (n=40) | 3 7.5 | 18 45.0 | 5 12.5 | 9 22.5 | 5 12.5 |
| 居住地区 | 釧路東部地区 (n=952) | 57 6.0 | 493 51.8 | 184 19.3 | 186 19.5 | 32 3.4 |
| | 釧路中部地区 (n=985) | 51 5.2 | 521 52.9 | 231 23.5 | 164 16.6 | 18 1.8 |
| | 釧路西部地区 (n=774) | 40 5.2 | 385 49.7 | 150 19.4 | 184 23.8 | 15 1.9 |
| | 阿寒地区 (n=125) | 10 8.0 | 57 45.6 | 35 28.0 | 21 16.8 | 2 1.6 |
| | 音別地区 (n=53) | 2 3.8 | 27 50.9 | 11 20.8 | 11 20.8 | 2 3.8 |
| | 無回答 (n=57) | 3 5.3 | 27 47.4 | 8 14.0 | 11 19.3 | 8 14.0 |

問9 【問8で「1. 積極的に参加したい（また、現在すでに参加している）」または「2. 機会があれば参加する」または「3. 親しい人に頼まれれば参加する」とお答えした方のみにおたずねします。】今後どのような活動に参加したいですか。（〇はいくつでも）

参加したいまちづくりの活動は、「地域清掃活動や花などを植える活動」が35.4%で最も多く、「町内会などの地域活動」が30.5%、「資源のムダづかいをなくし環境を守るエコ活動やリサイクル活動」が28.8%と続いています。

年代別では、10代から30代では「お祭りなどのイベントに関する活動」が、50代以上の年代では「地域清掃活動や花などを植える活動」が多くなっています。その他、20代と30代では「託児など子育て支援に関する活動」が30%以上となっており、60代以上では「町内会などの地域活動」が他の年代を上回っているなどの傾向が見られます。

図表 1-9 参加したい活動の内容 (MA)



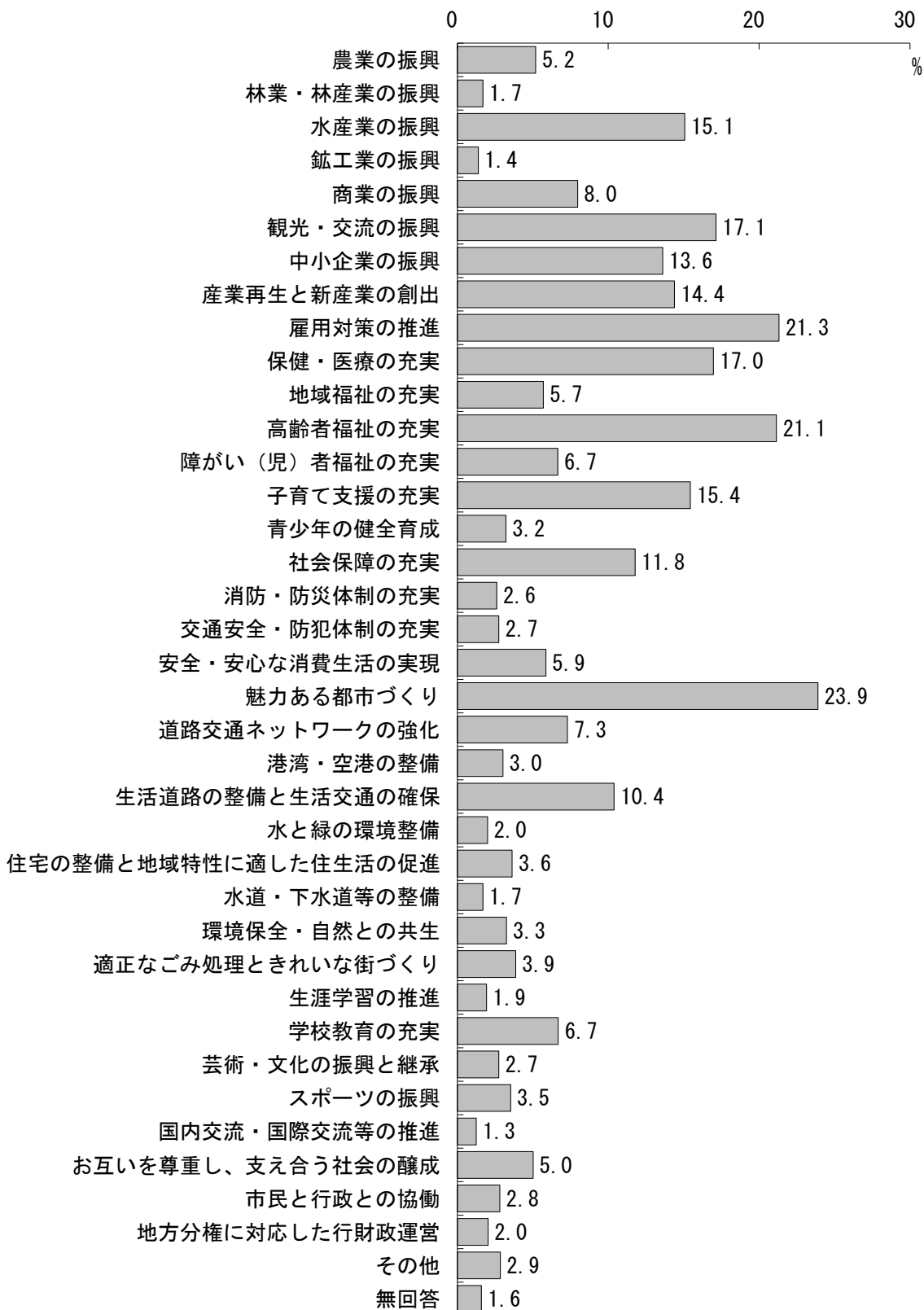
| | | 地域清掃活動や花などを植える活動 | 地域の自然を守り育てる環境保全活動 | 資源のムダづかいをなくし環境を守るエコ活動やリサイクル活動 | 高齢者や障害がい者への介助などの福祉活動 | 託児など子育て支援に関する活動 | スポーツ行事や健康づくりに関する活動 | 子ども会などの青少年の健全育成に関する活動 | お祭りなどのイベントに関する活動 |
|----------------|----------------|------------------|-------------------|-------------------------------|----------------------|-----------------|--------------------|-----------------------|------------------|
| 全体 (n=2,292) | | 812 35.4 | 612 26.7 | 660 28.8 | 502 21.9 | 343 15.0 | 554 24.2 | 283 12.3 | 526 22.9 |
| 性別 | 男性 (n=1,009) | 336 33.3 | 328 32.5 | 258 25.6 | 184 18.2 | 69 6.8 | 275 27.3 | 118 11.7 | 225 22.3 |
| | 女性 (n=1,241) | 462 37.2 | 270 21.8 | 387 31.2 | 306 24.7 | 269 21.7 | 270 21.8 | 159 12.8 | 291 23.4 |
| | 無回答 (n=42) | 14 33.3 | 14 33.3 | 15 35.7 | 12 28.6 | 5 11.9 | 9 21.4 | 6 14.3 | 10 23.8 |
| 年代 | 16～19歳 (n=80) | 21 26.3 | 20 25.0 | 22 27.5 | 13 16.3 | 8 10.0 | 22 27.5 | 9 11.3 | 54 67.5 |
| | 20～29歳 (n=244) | 62 25.4 | 60 24.6 | 49 20.1 | 55 22.5 | 75 30.7 | 64 26.2 | 51 20.9 | 124 50.8 |
| | 30～39歳 (n=262) | 66 25.2 | 50 19.1 | 46 17.6 | 47 17.9 | 80 30.5 | 65 24.8 | 55 21.0 | 83 31.7 |
| | 40～49歳 (n=292) | 62 21.2 | 72 24.7 | 80 27.4 | 51 17.5 | 50 17.1 | 70 24.0 | 38 13.0 | 72 24.7 |
| | 50～59歳 (n=336) | 108 32.1 | 94 28.0 | 97 28.9 | 85 25.3 | 55 16.4 | 86 25.6 | 28 8.3 | 74 22.0 |
| | 60～69歳 (n=446) | 193 43.3 | 155 34.8 | 156 35.0 | 102 22.9 | 44 9.9 | 112 25.1 | 41 9.2 | 55 12.3 |
| | 70～79歳 (n=389) | 185 47.6 | 102 26.2 | 137 35.2 | 86 22.1 | 17 4.4 | 84 21.6 | 34 8.7 | 37 9.5 |
| | 80歳以上 (n=217) | 105 48.4 | 49 22.6 | 63 29.0 | 56 25.8 | 10 4.6 | 41 18.9 | 22 10.1 | 20 9.2 |
| | 無回答 (n=26) | 10 38.5 | 10 38.5 | 10 38.5 | 7 26.9 | 4 15.4 | 10 38.5 | 5 19.2 | 7 26.9 |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=734) | 270 36.8 | 193 26.3 | 211 28.7 | 163 22.2 | 94 12.8 | 162 22.1 | 87 11.9 |
| 釧路中部地区 (n=803) | | 264 32.9 | 223 27.8 | 210 26.2 | 172 21.4 | 125 15.6 | 215 26.8 | 107 13.3 | 195 24.3 |
| 釧路西部地区 (n=575) | | 192 33.4 | 140 24.3 | 179 31.1 | 124 21.6 | 104 18.1 | 138 24.0 | 67 11.7 | 138 24.0 |
| 阿寒地区 (n=102) | | 52 51.0 | 33 32.4 | 31 30.4 | 23 22.5 | 15 14.7 | 17 16.7 | 15 14.7 | 29 28.4 |
| 音別地区 (n=40) | | 17 42.5 | 11 27.5 | 17 42.5 | 10 25.0 | 0 0.0 | 11 27.5 | 2 5.0 | 8 20.0 |
| 無回答 (n=38) | | 17 44.7 | 12 31.6 | 12 31.6 | 10 26.3 | 5 13.2 | 11 28.9 | 5 13.2 | 10 26.3 |
| | | | 町内会などの地域活動 | 国内交流・国際交流等に関する活動 | 交通安全・防災・防犯などに関する活動 | その他 | 無回答 | 非該当 | |
| 全体 (n=2,292) | | 699 30.5 | 293 12.8 | 411 17.9 | 82 3.6 | 45 2.0 | 654 | | |
| 性別 | 男性 (n=1,009) | 326 32.3 | 131 13.0 | 217 21.5 | 37 3.7 | 14 1.4 | 252 | | |
| | 女性 (n=1,241) | 364 29.3 | 156 12.6 | 189 15.2 | 41 3.3 | 28 2.3 | 374 | | |
| | 無回答 (n=42) | 9 21.4 | 6 14.3 | 5 11.9 | 4 9.5 | 3 7.1 | 28 | | |
| 年代 | 16～19歳 (n=80) | 17 21.3 | 17 21.3 | 12 15.0 | 2 2.5 | 0 0.0 | 12 | | |
| | 20～29歳 (n=244) | 42 17.2 | 52 21.3 | 40 16.4 | 9 3.7 | 1 0.4 | 74 | | |
| | 30～39歳 (n=262) | 61 23.3 | 46 17.6 | 43 16.4 | 10 3.8 | 5 1.9 | 69 | | |
| | 40～49歳 (n=292) | 55 18.8 | 46 15.8 | 58 19.9 | 15 5.1 | 5 1.7 | 77 | | |
| | 50～59歳 (n=336) | 83 24.7 | 55 16.4 | 63 18.8 | 6 1.8 | 3 0.9 | 98 | | |
| | 60～69歳 (n=446) | 155 34.8 | 40 9.0 | 75 16.8 | 14 3.1 | 9 2.0 | 103 | | |
| | 70～79歳 (n=389) | 177 45.5 | 23 5.9 | 77 19.8 | 13 3.3 | 11 2.8 | 100 | | |
| | 80歳以上 (n=217) | 102 47.0 | 10 4.6 | 40 18.4 | 11 5.1 | 10 4.6 | 107 | | |
| | 無回答 (n=26) | 7 26.9 | 4 15.4 | 3 11.5 | 2 7.7 | 1 3.8 | 14 | | |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=734) | 223 30.4 | 89 12.1 | 135 18.4 | 35 4.8 | 14 1.9 | 218 | |
| 釧路中部地区 (n=803) | | 224 27.9 | 122 15.2 | 142 17.7 | 24 3.0 | 17 2.1 | 182 | | |
| 釧路西部地区 (n=575) | | 184 32.0 | 55 9.6 | 112 19.5 | 17 3.0 | 10 1.7 | 199 | | |
| 阿寒地区 (n=102) | | 43 42.2 | 16 15.7 | 13 12.7 | 3 2.9 | 2 2.0 | 23 | | |
| 音別地区 (n=40) | | 14 35.0 | 6 15.0 | 7 17.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 13 | | |
| 無回答 (n=38) | | 11 28.9 | 5 13.2 | 2 5.3 | 3 7.9 | 2 5.3 | 19 | | |

ウ 釧路市が重点的に取り組むべきもの

問10 今後釧路市が特に力を入れて取り組むべきだと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

釧路市が特に力を入れて取り組むべきだと思うものについては、「魅力のある都市づくり」が23.9%で最も多く、次いで、「雇用対策の推進」が21.3%、「高齢者福祉の充実」が21.1%、「観光・交流の振興」が17.1%、「保健・医療の充実」が17.0%などとなっています。

図表 1-10 今後釧路市が特に重点的に取り組むべきだと思うもの (MA)



| | | 農業の振興 | 林業・林産業の振興 | 水産業の振興 | 鉱工業の振興 | 商業の振興 | 観光・交流の振興 | 中小企業の振興 | 産業再生と新産業の創出 | 雇用対策の推進 | 保健・医療の充実 |
|-----------------|-----------------|---------------|---------------------------|-----------------|-------------------|----------------------|----------------|-------------|-----------------|---------------------------|---------------------------|
| 全体 (n=2,946) | | 153 5.2 | 50 1.7 | 444 15.1 | 41 1.4 | 235 8.0 | 505 17.1 | 401 13.6 | 424 14.4 | 628 21.3 | 500 17.0 |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 79 6.3 | 27 2.1 | 227 18.0 | 24 1.9 | 102 8.1 | 228 18.1 | 195 15.5 | 237 18.8 | 269 21.3 | 172 13.6 |
| | 女性 (n=1,615) | 67 4.1 | 22 1.4 | 210 13.0 | 17 1.1 | 130 8.0 | 270 16.7 | 198 12.3 | 182 11.3 | 337 20.9 | 323 20.0 |
| | 無回答 (n=70) | 7 10.0 | 1 1.4 | 7 10.0 | 0 0.0 | 3 4.3 | 7 10.0 | 8 11.4 | 5 7.1 | 22 31.4 | 5 7.1 |
| | | 地域福祉の充実 | 高齢者福祉の充実 | 障がい(児)者福祉の充実 | 子育て支援の充実 | 青少年の健全育成 | 社会保障の充実 | 消防・防災体制の充実 | 交通安全・防犯体制の充実 | 安全・安心な消費生活の実現 | 魅力ある都市づくり |
| 全体 (n=2,946) | | 168 5.7 | 623 21.1 | 196 6.7 | 455 15.4 | 95 3.2 | 347 11.8 | 77 2.6 | 81 2.7 | 173 5.9 | 704 23.9 |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 62 4.9 | 240 19.0 | 72 5.7 | 152 12.1 | 39 3.1 | 133 10.5 | 24 1.9 | 37 2.9 | 59 4.7 | 271 21.5 |
| | 女性 (n=1,615) | 100 6.2 | 373 23.1 | 121 7.5 | 294 18.2 | 52 3.2 | 203 12.6 | 51 3.2 | 42 2.6 | 111 6.9 | 413 25.6 |
| | 無回答 (n=70) | 6 8.6 | 10 14.3 | 3 4.3 | 9 12.9 | 4 5.7 | 11 15.7 | 2 2.9 | 2 2.9 | 3 4.3 | 20 28.6 |
| | | 道路交通ネットワークの強化 | 港湾・空港の整備 | 生活道路の整備と生活交通の確保 | 水と緑の環境整備 | 住宅の整備と地域特性に適した住生活の促進 | 水道・下水道等の整備 | 環境保全・自然との共生 | 適正なごみ処理と美しい街づくり | 生涯学習の推進 | 学校教育の充実 |
| 全体 (n=2,946) | | 215 7.3 | 89 3.0 | 306 10.4 | 59 2.0 | 107 3.6 | 50 1.7 | 96 3.3 | 114 3.9 | 57 1.9 | 197 6.7 |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 127 10.1 | 60 4.8 | 135 10.7 | 22 1.7 | 47 3.7 | 22 1.7 | 45 3.6 | 52 4.1 | 24 1.9 | 71 5.6 |
| | 女性 (n=1,615) | 84 5.2 | 28 1.7 | 164 10.2 | 34 2.1 | 56 3.5 | 28 1.7 | 51 3.2 | 61 3.8 | 31 1.9 | 122 7.6 |
| | 無回答 (n=70) | 4 5.7 | 1 1.4 | 7 10.0 | 3 4.3 | 4 5.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 1.4 | 2 2.9 | 4 5.7 |
| | | 芸術・文化の振興と継承 | スポーツの振興 | 国内交流・国際交流等の推進 | お互いを尊重し、支え合う社会の醸成 | 市民と行政との協働 | 地方分権に対応した行財政運営 | その他 | 無回答 | | |
| 全体 (n=2,946) | | 81 2.7 | 104 3.5 | 37 1.3 | 148 5.0 | 83 2.8 | 60 2.0 | 84 2.9 | 47 1.6 | | |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 31 2.5 | 67 5.3 | 22 1.7 | 55 4.4 | 34 2.7 | 34 2.7 | 46 3.6 | 17 1.3 | | |
| | 女性 (n=1,615) | 49 3.0 | 36 2.2 | 14 0.9 | 87 5.4 | 45 2.8 | 26 1.6 | 35 2.2 | 24 1.5 | | |
| | 無回答 (n=70) | 1 1.4 | 1 1.4 | 1 1.4 | 6 8.6 | 4 5.7 | 0 0.0 | 3 4.3 | 6 8.6 | | |

問11 現在、釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、今後、特に力を入れて取り組むべき分野だと思うものはどれですか（〇は3つまで）

現在、釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、今後、特に力を入れて取り組むべきだと思うものについては、「しごとに就く」や「子どもを生み育てる」などの『わかもの』の希望がかなうまち・くしろを目指す”が53.7%で最も多く、次に“地域経済を支える人材育成と雇用の場を確保する”が37.9%、“地域経済のプラス成長に向け、地域資源を生かし、「域内循環」に取り組み、「外から稼ぐ力」の強化を図る”が35.9%となっています。

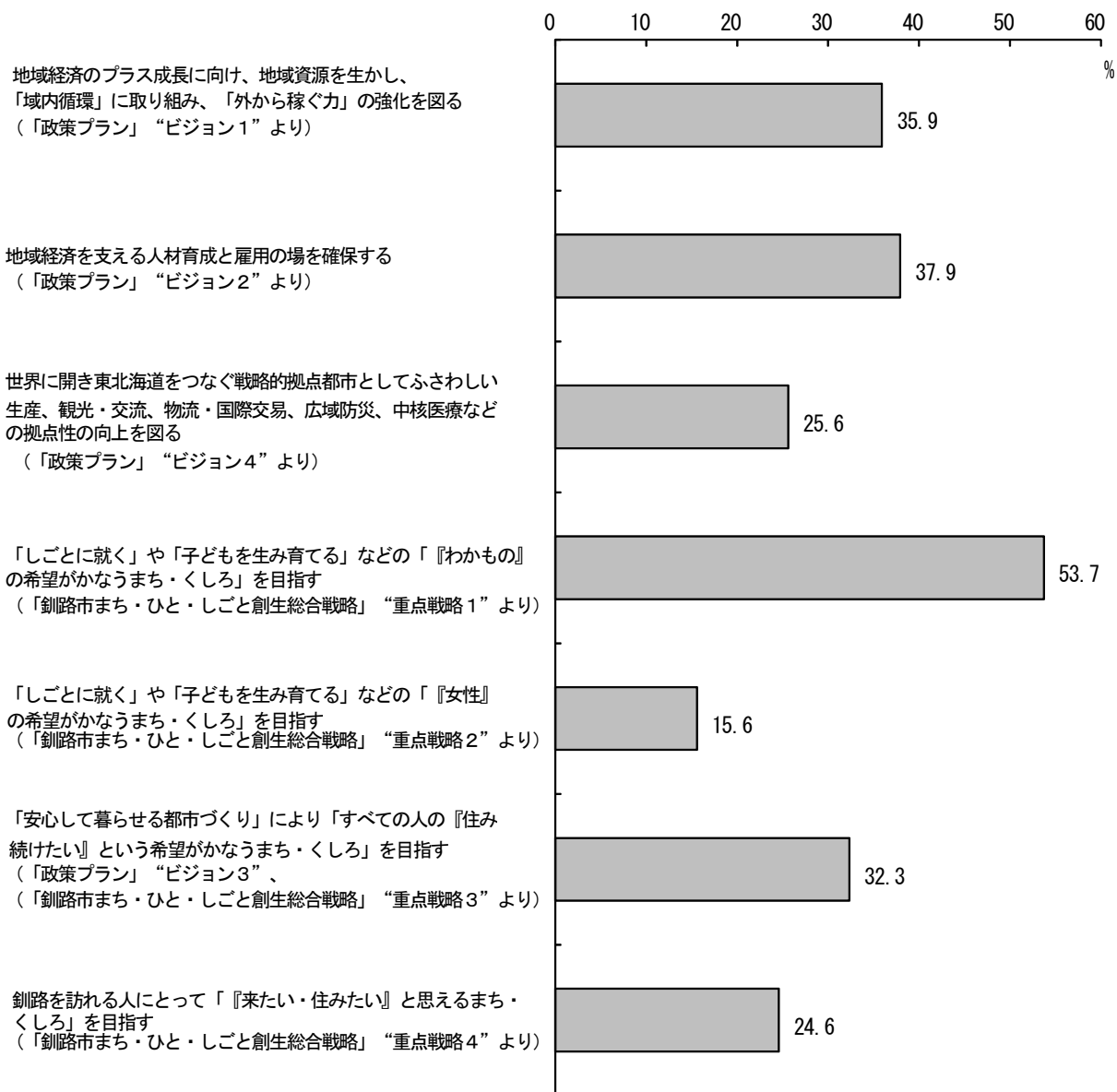
この結果は、「域内循環」や「外から稼ぐ」といった経済政策が中心である“政策プラン”や“釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略”の最優先課題“「域内循環」と「外から稼ぐ」取組の推進などにより、力強い経済基盤を構築し雇用の創出などを図り、親になる世代を確保して急激な人口減少に歯止めをかける”という内容と一致しています。

性別や年代別に見た場合、男性・女性ともに、また、幅広い年代で“「しごとに就く」や「子どもを生み育てる」などの『わかもの』の希望がかなうまち・くしろ”を目指す”の割合が最も高くなっています。

また、男性は女性に比べ、“地域経済のプラス成長に向け、地域資源を生かし、「域内循環」に取り組み、「外から稼ぐ力」の強化を図る”や“世界に開き東北海道をつなぐ戦略的拠点都市としてふさわしい、生産、観光・交流、物流・国際交易、広域防災、中核医療などの拠点性の向上を図る”といった経済政策に関する分野を回答する割合が高いのに対し、女性では、“しごとに就く”や「子どもを生み育てる」などの『女性』の希望がかなうまち・くしろ”を目指す”の割合が男性よりも高くなっています。

年代別では、10代は“釧路を訪れる人にとって『来たい・住みたい』と思えるまち・くしろ”を目指す”の割合が他の年代よりも高く、20代と30代では“しごとに就く”や「子どもを生み育てる」などの『女性』の希望がかなうまち・くしろ”を目指す”の割合が高く、40代から60代では“安心して暮らせる都市づくり”により「すべての人の『住み続けたい』という希望がかなうまち・くしろを目指す”の割合が高いなどの傾向が見られます。

図表 1-11 釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、今後特に重要だと思うもの (MA)



| | | 地域経済のプラス成長に向け、地域資源を生かし、「域内循環」に 取り組む、「外から稼ぐ力」の強化を図る（「政策プラン」に 「ビジョン1」より） | “地域経済を支える人材育成と雇用の場を確保する（「政策プラン」 「ビジョン2」より） | 世界に開き東北海道をつなぐ戦略的拠点都市としてふさわしい、生 産、観光・交流、物流・国際交易、広域防災、中核医療などの拠点 性の向上を図る（「政策プラン」“ビジョン4”より） | 「しごとに就く」や「子どもを生み育てる」などの「わかもの」 の希望がかなうまち・くしろ」を指す（「釧路市まち・ひと・しごと 創生総合戦略」“重点戦略1”より） | 「しごとに就く」や「子どもを生み育てる」などの「女性」の希 望がかなうまち・くしろ」を指す（「釧路市まち・ひと・しごと 創生総合戦略」“重点戦略2”より） | 「しごとに就く」や「子どもを生み育てる」などの「女性」の希 望がかなうまち・くしろ」を指す（「釧路市まち・ひと・しごと 創生総合戦略」“重点戦略3”より） | 「安心して暮らせる都市づくり」により「すべての人の『住み続け たい』という希望がかなうまち・くしろ」を指す（「政策プラン」 「ビジョン3」）、「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 “重点戦略4”より） | 釧路を訪れる人にとって「来たい・住みたい」と思えるまち・く しろ」を指す（「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」“重 点戦略4”より） | 無回答 |
|-------------------|-------------------|--|---|---|---|---|---|---|--|-------------|
| 全体 | (n=2,946) | 1,059 35.9 | 1,118 37.9 | 755 25.6 | 1,583 53.7 | 459 15.6 | 953 32.3 | 725 24.6 | 378 12.8 | |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 515 40.8 | 473 37.5 | 394 31.2 | 643 51.0 | 134 10.6 | 393 31.2 | 327 25.9 | 137 10.9 | |
| | 女性 (n=1,615) | 524 32.4 | 619 38.3 | 349 21.6 | 905 56.0 | 312 19.3 | 539 33.4 | 379 23.5 | 227 14.1 | |
| | 無回答 (n=70) | 20 28.6 | 26 37.1 | 12 17.1 | 35 50.0 | 13 18.6 | 21 30.0 | 19 27.1 | 14 20.0 | |
| 年代 | 16～19歳 (n=92) | 33 35.9 | 32 34.8 | 24 26.1 | 56 60.9 | 17 18.5 | 27 29.3 | 40 43.5 | 4 4.3 | |
| | 20～29歳 (n=318) | 95 29.9 | 129 40.6 | 76 23.9 | 217 68.2 | 85 26.7 | 94 29.6 | 89 28.0 | 15 4.7 | |
| | 30～39歳 (n=331) | 104 31.4 | 132 39.9 | 78 23.6 | 207 62.5 | 106 32.0 | 93 28.1 | 92 27.8 | 15 4.5 | |
| | 40～49歳 (n=369) | 138 37.4 | 124 33.6 | 91 24.7 | 210 56.9 | 63 17.1 | 136 36.9 | 113 30.6 | 15 4.1 | |
| | 50～59歳 (n=434) | 164 37.8 | 165 38.0 | 114 26.3 | 238 54.8 | 62 14.3 | 195 44.9 | 131 30.2 | 21 4.8 | |
| | 60～69歳 (n=549) | 223 40.6 | 232 42.3 | 137 25.0 | 311 56.6 | 67 12.2 | 202 36.8 | 116 21.1 | 69 12.6 | |
| | 70～79歳 (n=489) | 176 36.0 | 192 39.3 | 127 26.0 | 214 43.8 | 40 8.2 | 129 26.4 | 81 16.6 | 124 25.4 | |
| | 80歳以上 (n=324) | 115 35.5 | 98 30.2 | 98 30.2 | 113 34.9 | 14 4.3 | 68 21.0 | 55 17.0 | 102 31.5 | |
| | 無回答 (n=40) | 11 27.5 | 14 35.0 | 10 25.0 | 17 42.5 | 5 12.5 | 9 22.5 | 8 20.0 | 13 32.5 | |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=952) | 354 37.2 | 366 38.4 | 262 27.5 | 509 53.5 | 116 12.2 | 312 32.8 | 228 23.9 | 135 14.2 |
| 釧路中部地区 (n=985) | | 359 36.4 | 367 37.3 | 264 26.8 | 512 52.0 | 165 16.8 | 329 33.4 | 270 27.4 | 109 11.1 | |
| 釧路西部地区 (n=774) | | 268 34.6 | 305 39.4 | 186 24.0 | 432 55.8 | 144 18.6 | 247 31.9 | 170 22.0 | 89 11.5 | |
| 阿寒地区 (n=125) | | 43 34.4 | 46 36.8 | 25 20.0 | 71 56.8 | 21 16.8 | 39 31.2 | 37 29.6 | 17 13.6 | |
| 音別地区 (n=53) | | 22 41.5 | 19 35.8 | 9 17.0 | 33 62.3 | 7 13.2 | 16 30.2 | 10 18.9 | 6 11.3 | |
| 無回答 (n=57) | | 13 22.8 | 15 26.3 | 9 15.8 | 26 45.6 | 6 10.5 | 10 17.5 | 10 17.5 | 22 38.6 | |

エ 釧路市の情報の入手方法

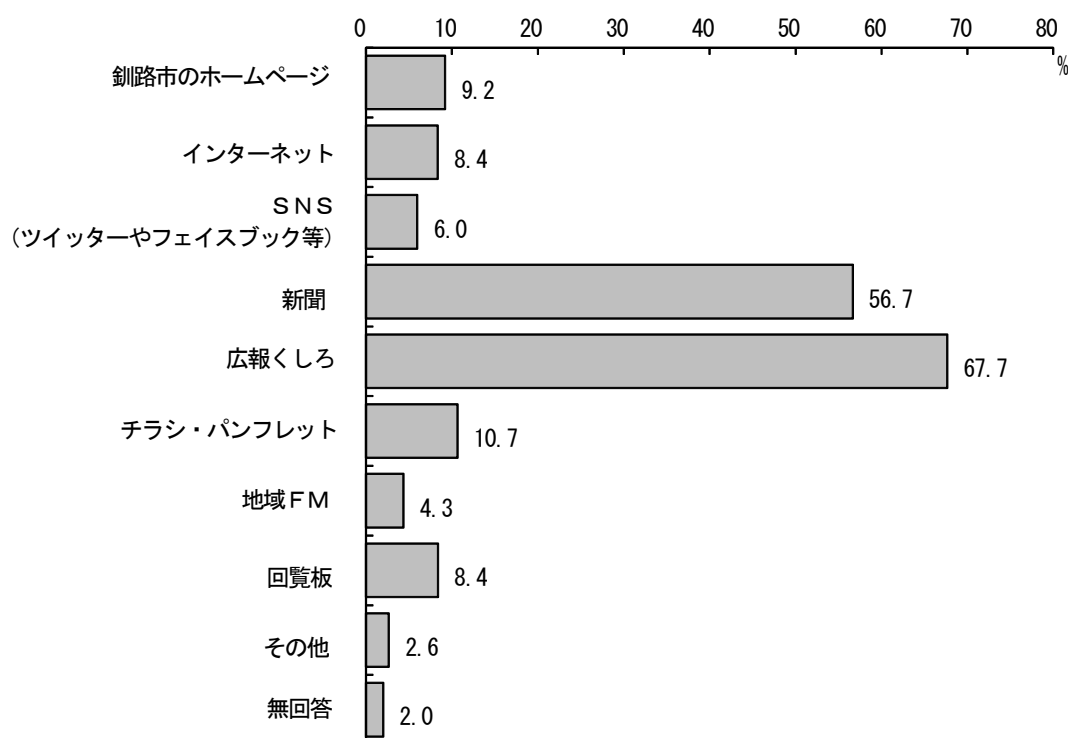
問12 あなたは、釧路市の情報を主に何から得ていますか。(〇は2つまで)

釧路市の情報の入手方法は、「広報くしろ」が67.7%で最も多く、「新聞」が56.7%、「チラシ・パンフレット」が10.7%となっています。

年代別では、10代から30代までは「インターネット」や「SNS（ツイッターやフェイスブック等）」の割合が他の年代より高くなっています。「広報くしろ」は10代では13.0%であるのに対し、20代以上の各年代では最も多く、特に60代と70代では80%以上と、上の年代の方がより高くなっています。また60代以上の各年代では「回覧板」が10%を超えており、他の年代よりも高くなっています。

居住地区別では、いずれの地区も「広報くしろ」、「新聞」が多く、阿寒地区、音別地区は他の3地区に比べると「回覧板」の割合が高くなっています。

図表 1-12 釧路市の情報の入手方法 (MA)



| | | 釧路市の ホームページ | インター ネット | SNS (ツイ ターや フェイス ブック 等) | 新聞 | 広報くし ろ | チラシ・ パンフ レット | 地域FM | 回覧板 | その他 | 無回答 |
|-----------------|-------------------|----------------|-------------|--|---------------|---------------|--------------------|------------|------------|------------|------------|
| 全体 (n=2,946) | | 271 9.2 | 246 8.4 | 176 6.0 | 1,669 56.7 | 1,993 67.7 | 314 10.7 | 128 4.3 | 247 8.4 | 78 2.6 | 59 2.0 |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 153 12.1 | 124 9.8 | 61 4.8 | 713 56.5 | 817 64.8 | 119 9.4 | 65 5.2 | 94 7.5 | 27 2.1 | 22 1.7 |
| | 女性 (n=1,615) | 114 7.1 | 117 7.2 | 111 6.9 | 921 57.0 | 1,144 70.8 | 187 11.6 | 59 3.7 | 145 9.0 | 46 2.8 | 27 1.7 |
| | 無回答 (n=70) | 4 5.7 | 5 7.1 | 4 5.7 | 35 50.0 | 32 45.7 | 8 11.4 | 4 5.7 | 8 11.4 | 5 7.1 | 10 14.3 |
| 年代 | 16～19歳 (n=92) | 8 8.7 | 26 28.3 | 24 26.1 | 36 39.1 | 12 13.0 | 13 14.1 | 7 7.6 | 3 3.3 | 10 10.9 | 3 3.3 |
| | 20～29歳 (n=318) | 37 11.6 | 79 24.8 | 75 23.6 | 93 29.2 | 104 32.7 | 66 20.8 | 22 6.9 | 14 4.4 | 25 7.9 | 2 0.6 |
| | 30～39歳 (n=331) | 42 12.7 | 46 13.9 | 51 15.4 | 124 37.5 | 185 55.9 | 56 16.9 | 18 5.4 | 12 3.6 | 9 2.7 | 11 3.3 |
| | 40～49歳 (n=369) | 35 9.5 | 41 11.1 | 16 4.3 | 183 49.6 | 242 65.6 | 47 12.7 | 30 8.1 | 21 5.7 | 8 2.2 | 10 2.7 |
| | 50～59歳 (n=434) | 53 12.2 | 30 6.9 | 4 0.9 | 249 57.4 | 325 74.9 | 36 8.3 | 21 4.8 | 43 9.9 | 7 1.6 | 5 1.2 |
| | 60～69歳 (n=549) | 41 7.5 | 14 2.6 | 5 0.9 | 372 67.8 | 445 81.1 | 36 6.6 | 18 3.3 | 57 10.4 | 4 0.7 | 2 0.4 |
| | 70～79歳 (n=489) | 32 6.5 | 7 1.4 | 0 0.0 | 352 72.0 | 414 84.7 | 33 6.7 | 6 1.2 | 58 11.9 | 6 1.2 | 7 1.4 |
| | 80歳以上 (n=324) | 22 6.8 | 3 0.9 | 1 0.3 | 241 74.4 | 243 75.0 | 24 7.4 | 3 0.9 | 35 10.8 | 7 2.2 | 11 3.4 |
| | 無回答 (n=40) | 1 2.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 19 47.5 | 23 57.5 | 3 7.5 | 3 7.5 | 4 10.0 | 2 5.0 | 8 20.0 |
| 居住地区 | 釧路東部地区 (n=952) | 93 9.8 | 67 7.0 | 53 5.6 | 575 60.4 | 668 70.2 | 100 10.5 | 35 3.7 | 68 7.1 | 21 2.2 | 15 1.6 |
| | 釧路中部地区 (n=985) | 90 9.1 | 96 9.7 | 64 6.5 | 538 54.6 | 656 66.6 | 113 11.5 | 51 5.2 | 72 7.3 | 23 2.3 | 12 1.2 |
| | 釧路西部地区 (n=774) | 66 8.5 | 66 8.5 | 44 5.7 | 442 57.1 | 536 69.3 | 85 11.0 | 31 4.0 | 63 8.1 | 27 3.5 | 13 1.7 |
| | 阿寒地区 (n=125) | 11 8.8 | 9 7.2 | 8 6.4 | 63 50.4 | 77 61.6 | 10 8.0 | 5 4.0 | 28 22.4 | 4 3.2 | 3 2.4 |
| | 音別地区 (n=53) | 8 15.1 | 5 9.4 | 4 7.5 | 24 45.3 | 29 54.7 | 0 0.0 | 4 7.5 | 10 18.9 | 1 1.9 | 5 9.4 |
| | 無回答 (n=57) | 3 5.3 | 3 5.3 | 3 5.3 | 27 47.4 | 27 47.4 | 6 10.5 | 2 3.5 | 6 10.5 | 2 3.5 | 11 19.3 |

オ 自然災害について

問13 あなたの住んでいる地域で、特に心配な自然災害は何ですか。(〇は2つまで)

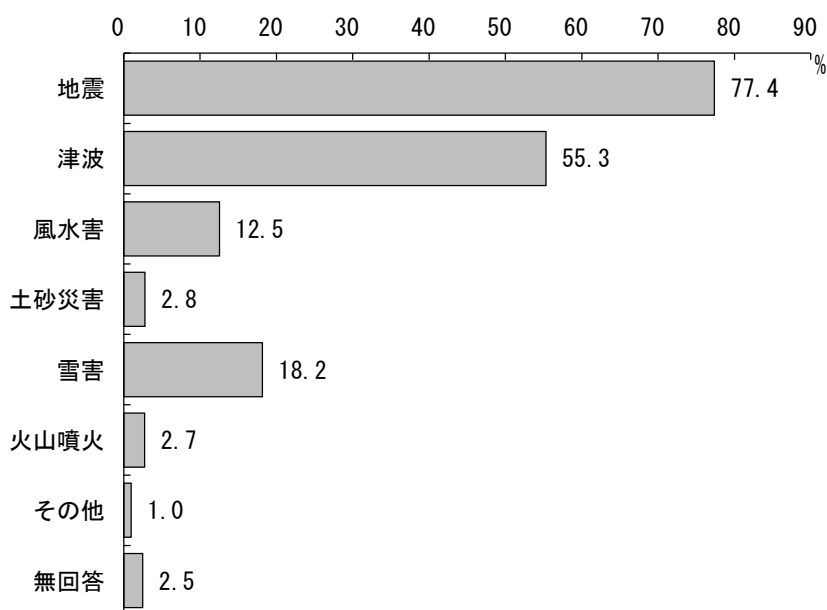
市民が特に心配な自然災害は、「地震」が77.4%と最も多く、「津波」が55.3%、「雪害」が18.2%となっています。

居住地区別では、各地区で「地震」とする回答が最も多く見られました。

釧路東部地区と阿寒地区では「津波」の割合が他地区より低く、特に海に面していない阿寒地区は6.4%にとどまっています。

阿寒地区は火山が存在することから、「火山噴火」が43.2%と「地震」の次に高く、また、「雪害」も35.2%と他地区よりも割合が高くなっています。

図表 1-13 特に不安に感じる自然災害 (MA)

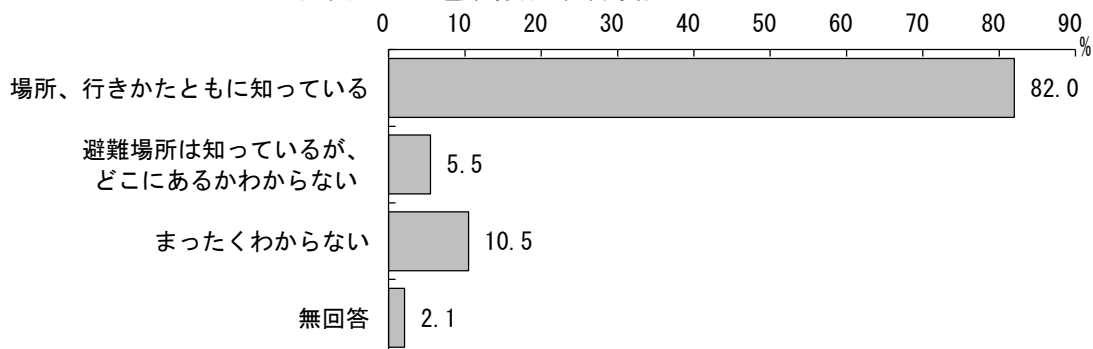


| | | 地震 | 津波 | 風水害 | 土砂災害 | 雪害 | 火山噴火 | その他 | 無回答 |
|-----------------|-------------------|---------------|---------------|-------------|-----------|-------------|------------|-----------|------------|
| 全体 (n=2,946) | | 2,279 77.4 | 1,629 55.3 | 369 12.5 | 82 2.8 | 535 18.2 | 80 2.7 | 29 1.0 | 73 2.5 |
| 居住地区 | 釧路東部地区 (n=952) | 759 79.7 | 311 32.7 | 124 13.0 | 72 7.6 | 256 26.9 | 4 0.4 | 7 0.7 | 33 3.5 |
| | 釧路中部地区 (n=985) | 768 78.0 | 683 69.3 | 121 12.3 | 3 0.3 | 139 14.1 | 11 1.1 | 11 1.1 | 11 1.1 |
| | 釧路西部地区 (n=774) | 594 76.7 | 571 73.8 | 95 12.3 | 3 0.4 | 76 9.8 | 9 1.2 | 6 0.8 | 11 1.4 |
| | 阿寒地区 (n=125) | 81 64.8 | 8 6.4 | 17 13.6 | 3 2.4 | 44 35.2 | 54 43.2 | 3 2.4 | 3 2.4 |
| | 音別地区 (n=53) | 45 84.9 | 31 58.5 | 4 7.5 | 0 0.0 | 10 18.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 7.5 |
| | 無回答 (n=57) | 32 56.1 | 25 43.9 | 8 14.0 | 1 1.8 | 10 17.5 | 2 3.5 | 2 3.5 | 11 19.3 |

問 14 あなたは、災害時におけるお近くの避難場所をご存知ですか。(○は1つ)

避難場所の認知度合いは、「場所、行きかたともに知っている」が82.0%と最も多く、どの年代でも、またどの地区でも概ね80%以上を占めています。一方で「まったくわからない」が10.5%となっており、特に20代と30代は15%以上となっています。

図表 1-14 避難場所の認知度合い (SA)



| | | 場所、行きかたともに知っている | 避難場所は知っているが、どこにあるかわからない | まったくわからない | 無回答 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------------|-------------|------------|
| 全体 (n=2,946) | | 2,415 82.0 | 162 5.5 | 308 10.5 | 61 2.1 |
| 年代 | 16～19歳 (n=92) | 81 88.0 | 5 5.4 | 6 6.5 | 0 0.0 |
| | 20～29歳 (n=318) | 235 73.9 | 24 7.5 | 59 18.6 | 0 0.0 |
| | 30～39歳 (n=331) | 267 80.7 | 10 3.0 | 51 15.4 | 3 0.9 |
| | 40～49歳 (n=369) | 304 82.4 | 18 4.9 | 42 11.4 | 5 1.4 |
| | 50～59歳 (n=434) | 358 82.5 | 19 4.4 | 53 12.2 | 4 0.9 |
| | 60～69歳 (n=549) | 469 85.4 | 27 4.9 | 38 6.9 | 15 2.7 |
| | 70～79歳 (n=489) | 420 85.9 | 26 5.3 | 29 5.9 | 14 2.9 |
| | 80歳以上 (n=324) | 256 79.0 | 30 9.3 | 26 8.0 | 12 3.7 |
| | 無回答 (n=40) | 25 62.5 | 3 7.5 | 4 10.0 | 8 20.0 |
| | 居住地区 | 釧路東部地区 (n=952) | 798 83.8 | 46 4.8 | 89 9.3 |
| 釧路中部地区 (n=985) | | 791 80.3 | 62 6.3 | 117 11.9 | 15 1.5 |
| 釧路西部地区 (n=774) | | 650 84.0 | 36 4.7 | 77 9.9 | 11 1.4 |
| 阿寒地区 (n=125) | | 99 79.2 | 8 6.4 | 16 12.8 | 2 1.6 |
| 音別地区 (n=53) | | 43 81.1 | 5 9.4 | 2 3.8 | 3 5.7 |
| 無回答 (n=57) | | 34 59.6 | 5 8.8 | 7 12.3 | 11 19.3 |

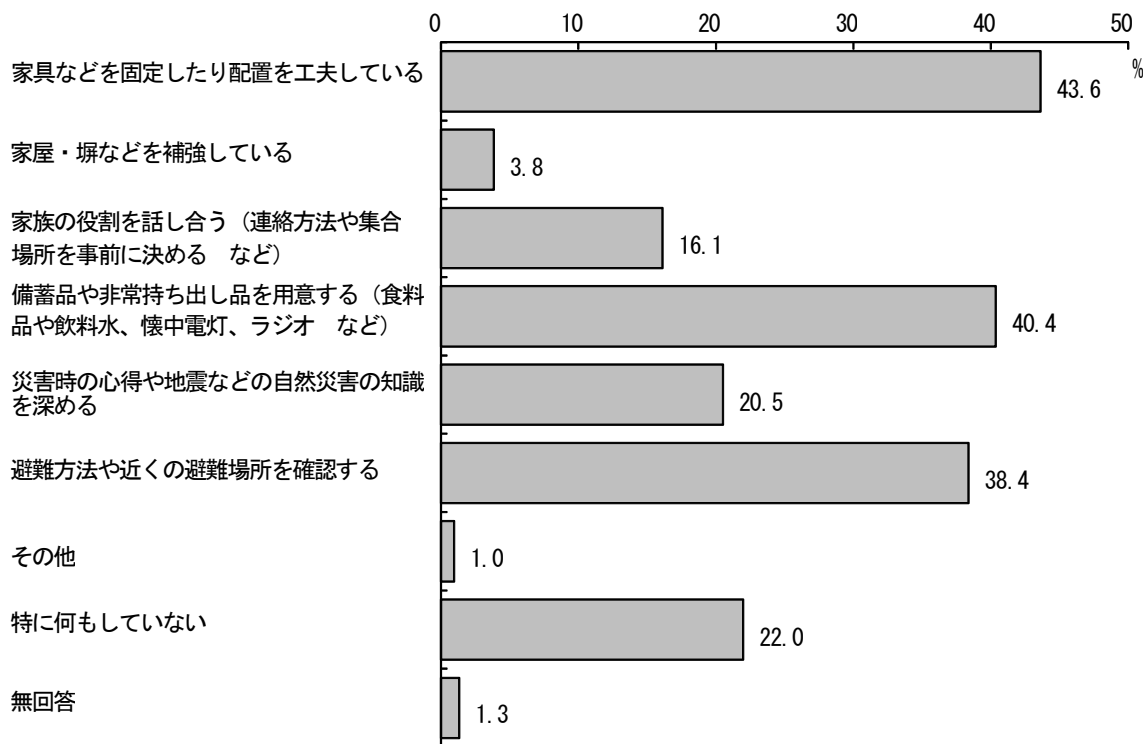
問15 あなたの家庭では、地震などの災害に備えてどのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

各家庭で地震などの災害に備えてとっている対策は、「家具などを固定したり配置を工夫している」が43.6%で最も多く、「備蓄品や非常持ち出し品を用意する」が40.4%、「避難方法や近くの避難場所を確認する」が38.4%となっています。

居住地区別で見ると、いずれの地区も「家具などを固定したり配置を工夫している」が最も多く、次いで多かったのが、釧路東部地区、阿寒地区、音別地区では「備蓄品や非常持ち出し品を用意する」であり、残りの2地区では「避難方法や近くの避難場所を確認する」となっています。

また、ほとんどの地区で「特に何もしていない」が20.0%を超えましたが、音別地区は5.7%に留まっています。

図表1-15 地震などの災害に備えてとっている対策 (MA)



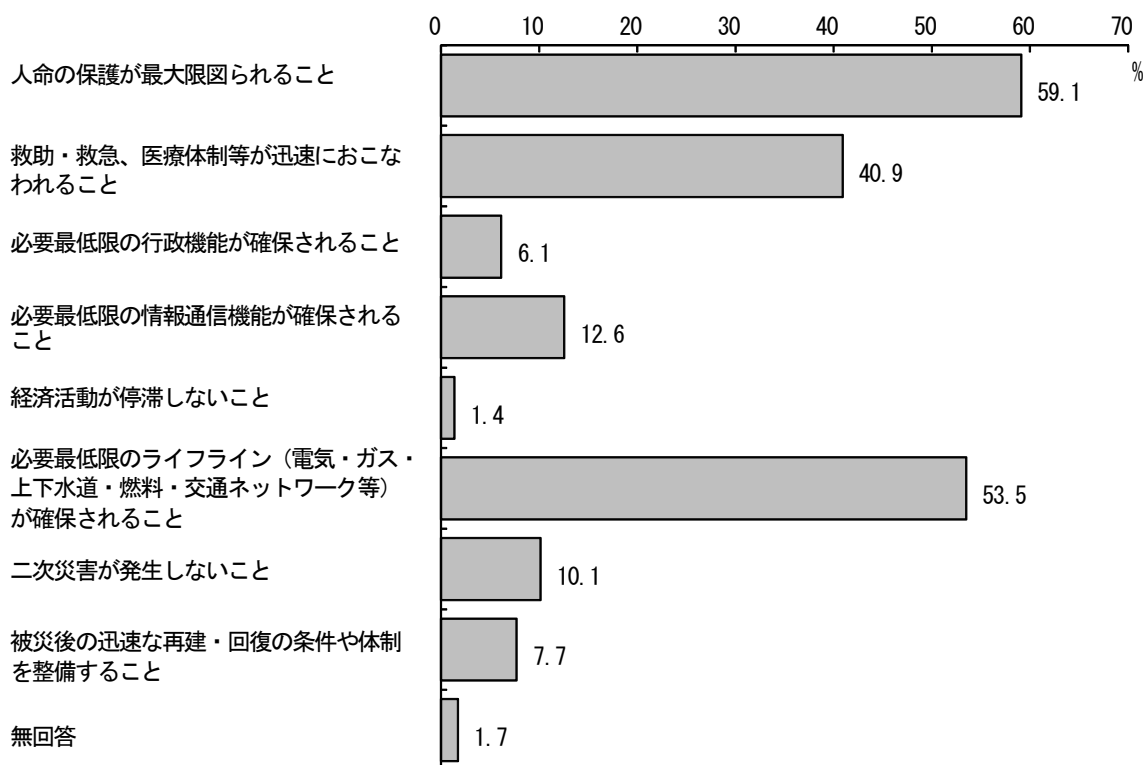
| | 家具などを固定したり配置を工夫している | 家屋・塀などを補強している | 家族の役割を話し合う (連絡方法や集合場所を事前に決める など) | 備蓄品や非常持ち出し品を用意する (食料品や飲料水、懐中電灯、ラジオ など) | 災害時の心得や地震などの自然災害の知識を深める | 避難方法や近くの避難場所を確認する | その他 | 特に何もしていない | 無回答 |
|----------------|---------------------|---------------|----------------------------------|--|-------------------------|-------------------|-----------|-------------|------------|
| 全体 (n=2,946) | 1,285 43.6 | 113 3.8 | 475 16.1 | 1,189 40.4 | 604 20.5 | 1,131 38.4 | 28 1.0 | 648 22.0 | 39 1.3 |
| 居住地区 | | | | | | | | | |
| 釧路東部地区 (n=952) | 443 46.5 | 56 5.9 | 154 16.2 | 403 42.3 | 230 24.2 | 338 35.5 | 7 0.7 | 196 20.6 | 10 1.1 |
| 釧路中部地区 (n=985) | 430 43.7 | 24 2.4 | 166 16.9 | 385 39.1 | 176 17.9 | 408 41.4 | 12 1.2 | 224 22.7 | 7 0.7 |
| 釧路西部地区 (n=774) | 313 40.4 | 31 4.0 | 127 16.4 | 308 39.8 | 155 20.0 | 311 40.2 | 7 0.9 | 185 23.9 | 8 1.0 |
| 阿寒地区 (n=125) | 51 40.8 | 1 0.8 | 11 8.8 | 45 36.0 | 24 19.2 | 39 31.2 | 1 0.8 | 29 23.2 | 1 0.8 |
| 音別地区 (n=53) | 31 58.5 | 0 0.0 | 10 18.9 | 29 54.7 | 10 18.9 | 25 47.2 | 0 0.0 | 3 5.7 | 3 5.7 |
| 無回答 (n=57) | 17 29.8 | 1 1.8 | 7 12.3 | 19 33.3 | 9 15.8 | 10 17.5 | 1 1.8 | 11 19.3 | 10 17.5 |

問16 大規模自然災害に事前に備えるべき目標として優先度が高いと思われるものはどれですか。
(〇は2つまで)

大規模自然災害に事前に備えるべき目標として優先度が高いと思われるものは、「人命の保護が最大限図られること」が59.1%で最も多く、「必要最低限のライフラインが確保されること」が53.5%、「医療体制等が迅速におこなわれること」が40.9%となっています。

居住地区別に見た場合でも、各地区とも同じ傾向が見られました。

図表 1-16 大規模自然災害に事前に備えるべき目標 (MA)



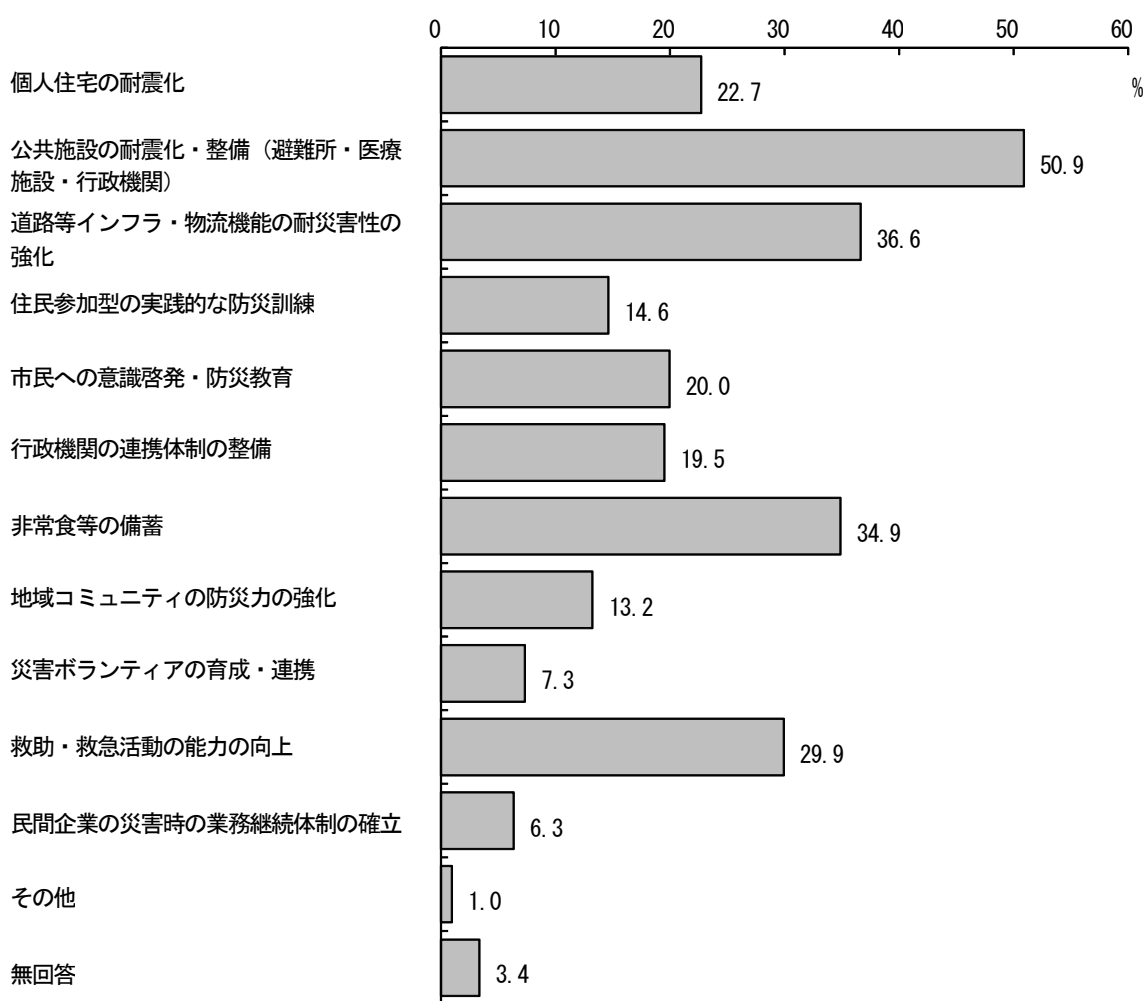
| | | 人命の保護が最大限図られること | 救助・救急、医療体制等が迅速におこなわれること | 必要最低限の行政機能が確保されること | 必要最低限の情報通信機能が確保されること | 経済活動が停滞しないこと | 必要最低限のライフライン（電気・ガス・上下水道・燃料・交通ネットワーク等）が確保されること | 二次災害が発生しないこと | 被災後の迅速な再建・回復の条件や体制を整備すること | 無回答 |
|--------------|----------------|-----------------|-------------------------|--------------------|----------------------|--------------|---|--------------|---------------------------|------------|
| 全体 (n=2,946) | | 1,741 59.1 | 1,205 40.9 | 181 6.1 | 370 12.6 | 40 1.4 | 1,576 53.5 | 299 10.1 | 227 7.7 | 51 1.7 |
| 居住地区 | 釧路東部地区 (n=952) | 551 57.9 | 420 44.1 | 62 6.5 | 98 10.3 | 9 0.9 | 526 55.3 | 101 10.6 | 68 7.1 | 12 1.3 |
| | 釧路中部地区 (n=985) | 578 58.7 | 402 40.8 | 58 5.9 | 126 12.8 | 12 1.2 | 541 54.9 | 104 10.6 | 81 8.2 | 9 0.9 |
| | 釧路西部地区 (n=774) | 474 61.2 | 302 39.0 | 47 6.1 | 113 14.6 | 14 1.8 | 398 51.4 | 72 9.3 | 67 8.7 | 11 1.4 |
| | 阿寒地区 (n=125) | 77 61.6 | 50 40.0 | 6 4.8 | 21 16.8 | 4 3.2 | 62 49.6 | 12 9.6 | 5 4.0 | 3 2.4 |
| | 音別地区 (n=53) | 28 52.8 | 17 32.1 | 4 7.5 | 11 20.8 | 1 1.9 | 25 47.2 | 7 13.2 | 4 7.5 | 3 5.7 |
| | 無回答 (n=57) | 33 57.9 | 14 24.6 | 4 7.0 | 1 1.8 | 0 0.0 | 24 42.1 | 3 5.3 | 2 3.5 | 13 22.8 |

問 17 大規模自然災害に対する対策として優先度が高いと思われるものはどれですか。(〇は3つまで)

大規模自然災害への対策として優先度が高いと思われるものは、「公共施設の耐震化・整備」が50.9%で最も多く、「道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化」が36.6%、「非常食等の備蓄」が34.9%となっています。

居住地区別に見ると、全ての地区で「公共施設の耐震化・整備」が多く、音別地区では「道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化」が同数となっています。釧路東部地区と釧路中部地区、釧路西部地区では「道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化」が次に多く、阿寒地区は「非常食等の備蓄」が次に多くなっています。

図表 1-17 大規模自然災害に対して取り組むべき対策 (MA)



| | | 個人住宅の耐震化 | 公共施設の耐震化・整備(避難所・医療施設・行政機関) | 道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化 | 住民参加型の実践的な防災訓練 | 市民への意識啓発・防災教育 | 行政機関の連携体制の整備 | 非常食等の備蓄 |
|-----------|---------|-----------------|----------------------------|----------------------|--------------------|---------------|--------------|---------|
| 全体 | | 669 | 1,499 | 1,079 | 431 | 588 | 575 | 1,028 |
| (n=2,946) | | 22.7 | 50.9 | 36.6 | 14.6 | 20.0 | 19.5 | 34.9 |
| 居住地区 | 鉦路東部地区 | 237 | 500 | 372 | 147 | 166 | 186 | 346 |
| | (n=952) | 24.9 | 52.5 | 39.1 | 15.4 | 17.4 | 19.5 | 36.3 |
| | 鉦路中部地区 | 195 | 502 | 359 | 142 | 213 | 197 | 338 |
| | (n=985) | 19.8 | 51.0 | 36.4 | 14.4 | 21.6 | 20.0 | 34.3 |
| | 鉦路西部地区 | 175 | 409 | 276 | 114 | 166 | 139 | 272 |
| | (n=774) | 22.6 | 52.8 | 35.7 | 14.7 | 21.4 | 18.0 | 35.1 |
| | 阿寒地区 | 39 | 54 | 43 | 19 | 27 | 31 | 45 |
| (n=125) | 31.2 | 43.2 | 34.4 | 15.2 | 21.6 | 24.8 | 36.0 | |
| 音別地区 | 13 | 22 | 22 | 6 | 9 | 18 | 18 | |
| (n=53) | 24.5 | 41.5 | 41.5 | 11.3 | 17.0 | 34.0 | 34.0 | |
| 無回答 | 10 | 12 | 7 | 3 | 7 | 4 | 9 | |
| (n=57) | 17.5 | 21.1 | 12.3 | 5.3 | 12.3 | 7.0 | 15.8 | |
| | | 地域コミュニティの防災力の強化 | 災害ボランティアの育成・連携 | 救助・救急活動の能力の向上 | 民間企業の災害時の業務継続体制の確立 | その他 | 無回答 | |
| 全体 | | 390 | 216 | 881 | 187 | 28 | 99 | |
| (n=2,946) | | 13.2 | 7.3 | 29.9 | 6.3 | 1.0 | 3.4 | |
| 居住地区 | 鉦路東部地区 | 113 | 68 | 298 | 52 | 13 | 17 | |
| | (n=952) | 11.9 | 7.1 | 31.3 | 5.5 | 1.4 | 1.8 | |
| | 鉦路中部地区 | 134 | 76 | 314 | 64 | 8 | 27 | |
| | (n=985) | 13.6 | 7.7 | 31.9 | 6.5 | 0.8 | 2.7 | |
| | 鉦路西部地区 | 110 | 55 | 215 | 59 | 6 | 24 | |
| | (n=774) | 14.2 | 7.1 | 27.8 | 7.6 | 0.8 | 3.1 | |
| | 阿寒地区 | 20 | 12 | 31 | 6 | 0 | 2 | |
| (n=125) | 16.0 | 9.6 | 24.8 | 4.8 | 0.0 | 1.6 | | |
| 音別地区 | 9 | 2 | 13 | 5 | 0 | 1 | | |
| (n=53) | 17.0 | 3.8 | 24.5 | 9.4 | 0.0 | 1.9 | | |
| 無回答 | 4 | 3 | 10 | 1 | 1 | 28 | | |
| (n=57) | 7.0 | 5.3 | 17.5 | 1.8 | 1.8 | 49.1 | | |

カ 自由意見

問18 鉏路市のこれからのまちづくりについて、ご意見やご提案を自由にお書きください。

1,007人の方からご意見・ご提案がありました。

いただいたご意見・ご提案を内容別に分類した件数は、下表のとおりとなっています。

図表 1-18 自由意見 (FA)

| | | 経済・産業について | 福祉・防災について | 都市整備について | 環境・教育・文化などについて | 市民協働・行財政運営などについて | その他 |
|-----------------|-------------------|-------------|-------------|-------------|----------------|------------------|------------|
| 全体 (n=1,007) | | 352 35.0 | 259 25.7 | 535 53.1 | 140 13.9 | 105 10.4 | 100 9.9 |
| 性別 | 男性 (n=421) | 148 35.2 | 103 24.5 | 216 51.3 | 70 16.6 | 53 12.6 | 35 8.3 |
| | 女性 (n=564) | 197 34.9 | 152 27.0 | 306 54.3 | 66 11.7 | 49 8.7 | 63 11.2 |
| | 無回答 (n=22) | 7 31.8 | 4 18.2 | 13 59.1 | 4 18.2 | 3 13.6 | 2 9.1 |
| 年代 | 16～19歳 (n=29) | 9 31.0 | 6 20.7 | 14 48.3 | 8 27.6 | 6 20.7 | 2 6.9 |
| | 20～29歳 (n=128) | 51 39.8 | 34 26.6 | 72 56.3 | 17 13.3 | 13 10.2 | 11 8.6 |
| | 30～39歳 (n=117) | 43 36.8 | 33 28.2 | 62 53.0 | 16 13.7 | 9 7.7 | 8 6.8 |
| | 40～49歳 (n=120) | 38 31.7 | 35 29.2 | 67 55.8 | 13 10.8 | 13 10.8 | 10 8.3 |
| | 50～59歳 (n=151) | 58 38.4 | 37 24.5 | 75 49.7 | 22 14.6 | 16 10.6 | 20 13.2 |
| | 60～69歳 (n=195) | 69 35.4 | 55 28.2 | 116 59.5 | 28 14.4 | 19 9.7 | 12 6.2 |
| | 70～79歳 (n=159) | 52 32.7 | 38 23.9 | 76 47.8 | 24 15.1 | 12 7.5 | 21 13.2 |
| | 80歳以上 (n=96) | 28 29.2 | 19 19.8 | 45 46.9 | 10 10.4 | 14 14.6 | 14 14.6 |
| | 無回答 (n=12) | 4 33.3 | 2 16.7 | 8 66.7 | 2 16.7 | 3 25.0 | 2 16.7 |

<主な意見>

○経済・産業について

- ・商業施設の誘致や空き店舗の活用など中心市街地の活性化に関する事、企業誘致や産業振興などによる若者の雇用対策に関する事、自然環境や食文化など鉏路ならではの地域特性を生かすなど観光振興に関する事が多くなっています。

○福祉・防災について

- ・働きながら子育てしやすい環境の整備や子どもが遊べる施設をつくってほしいなど子育てに関する事、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに関する事、住民参加型の防災訓練の実施や災害時の避難路や避難場所の整備など防災に関する事が多くなっています。

○都市整備について

- ・駅舎建替や鉄道高架化など鉏路駅周辺の整備や北大通の廃ビルの解体などの都市整備に関する事、路線バスの本数や時刻の見直しなど公共交通機関に関する事、道路の整備や除雪に関する事が多くなっています。

○環境・教育・文化などについて

- ・子どもの学力向上や大学の誘致などによる高等教育の充実に関する事、空家を活用し宿泊先を確保するなど長期滞在事業の推進、大漁どんぱくや霧フェスティバルといったイベントなどの交流人口の拡大に関する事、通年使用できるリンクを生かしたスピードスケートやアイスホッケーなどのスポーツの振興に関する事が多くなっています。

○市民協働・行財政運営などについて

- ・ SNS を利用するなど市の情報発信に関すること、市民と行政の話し合いの場を設けるなど協働のまちづくりに関する意見などとなっています。

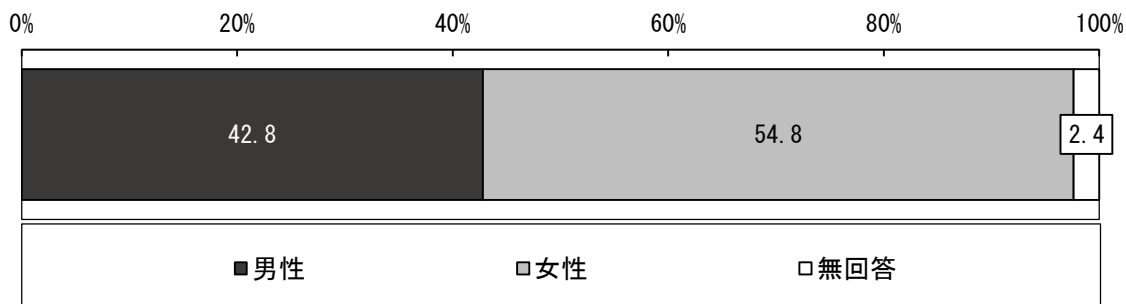
なお、自由記述意見の一覧については、資料編に掲載しています。

キ 回答者の属性

問 19 性別をお答えください。

性別は、男性が42.8%で女性が54.8%でした。

図表1-19 性別 (SA)

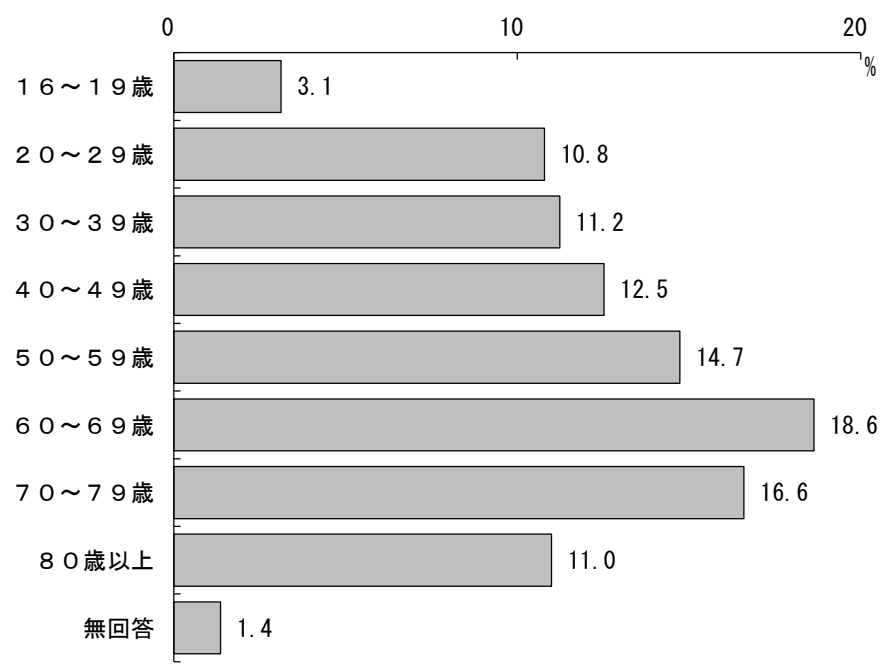


| | | 男性 | 女性 | 無回答 |
|-----------|---------|-------|-------|-----|
| 全体 | | 1,261 | 1,615 | 70 |
| (n=2,946) | | 42.8 | 54.8 | 2.4 |
| 年代 | 16～19歳 | 36 | 56 | 0 |
| | (n=92) | 39.1 | 60.9 | 0.0 |
| | 20～29歳 | 113 | 197 | 8 |
| | (n=318) | 35.5 | 61.9 | 2.5 |
| | 30～39歳 | 120 | 204 | 7 |
| | (n=331) | 36.3 | 61.6 | 2.1 |
| | 40～49歳 | 146 | 216 | 7 |
| | (n=369) | 39.6 | 58.5 | 1.9 |
| | 50～59歳 | 186 | 243 | 5 |
| | (n=434) | 42.9 | 56.0 | 1.2 |
| | 60～69歳 | 255 | 289 | 5 |
| (n=549) | 46.4 | 52.6 | 0.9 | |
| 70～79歳 | 223 | 263 | 3 | |
| (n=489) | 45.6 | 53.8 | 0.6 | |
| 80歳以上 | 177 | 144 | 3 | |
| (n=324) | 54.6 | 44.4 | 0.9 | |
| 無回答 | 5 | 3 | 32 | |
| (n=40) | 12.5 | 7.5 | 80.0 | |

問20 平成28年7月1日現在の年齢をお答えください。

年代は60代が18.6%と最も多く、以下70代が16.6%、50代が14.7%となっています。

図表1-20 年齢 (SA)

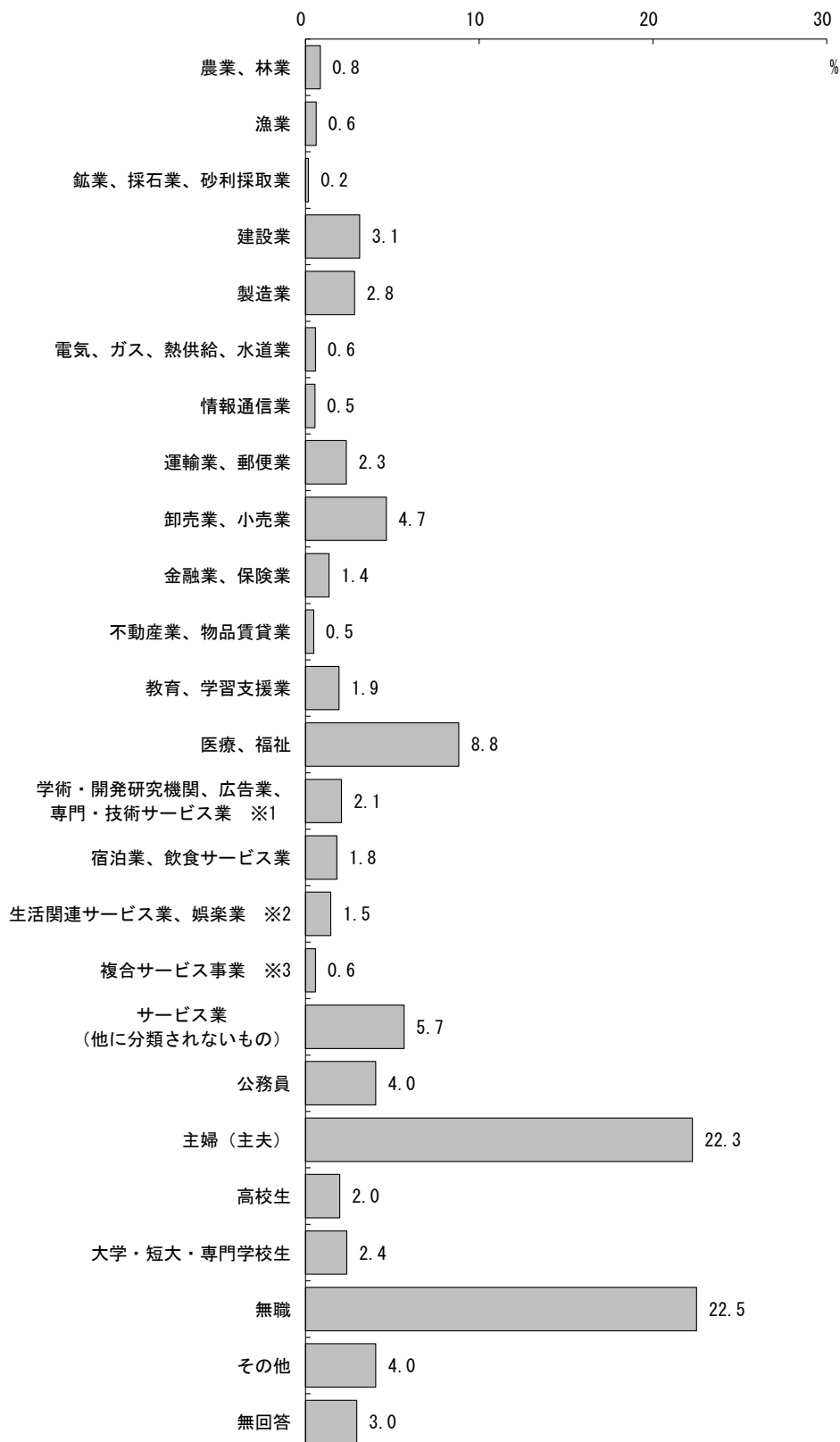


| | | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70～79歳 | 80歳以上 | 無回答 |
|-----------|-----------|--------|-------------|--------|--------|--------|-------------|-------------|-------|-------------|
| 全体 | | 92 | 318 | 331 | 369 | 434 | 549 | 489 | 324 | 40 |
| (n=2,946) | | 3.1 | 10.8 | 11.2 | 12.5 | 14.7 | 18.6 | 16.6 | 11.0 | 1.4 |
| 性別 | 男性 | 36 | 113 | 120 | 146 | 186 | 255 | 223 | 177 | 5 |
| | (n=1,261) | 2.9 | 9.0 | 9.5 | 11.6 | 14.8 | 20.2 | 17.7 | 14.0 | 0.4 |
| | 女性 | 56 | 197 | 204 | 216 | 243 | 289 | 263 | 144 | 3 |
| (n=1,615) | | 3.5 | 12.2 | 12.6 | 13.4 | 15.0 | 17.9 | 16.3 | 8.9 | 0.2 |
| 無回答 | | 0 | 8 | 7 | 7 | 5 | 5 | 3 | 3 | 32 |
| (n=70) | | 0.0 | 11.4 | 10.0 | 10.0 | 7.1 | 7.1 | 4.3 | 4.3 | 45.7 |

問21 主な職業（職種）をお答えください。

職業は、「無職」が22.5%で最も多く、以下「主婦（主夫）」が22.3%、「医療、福祉」が8.8%となっています。

図表1-21 職業（SA）



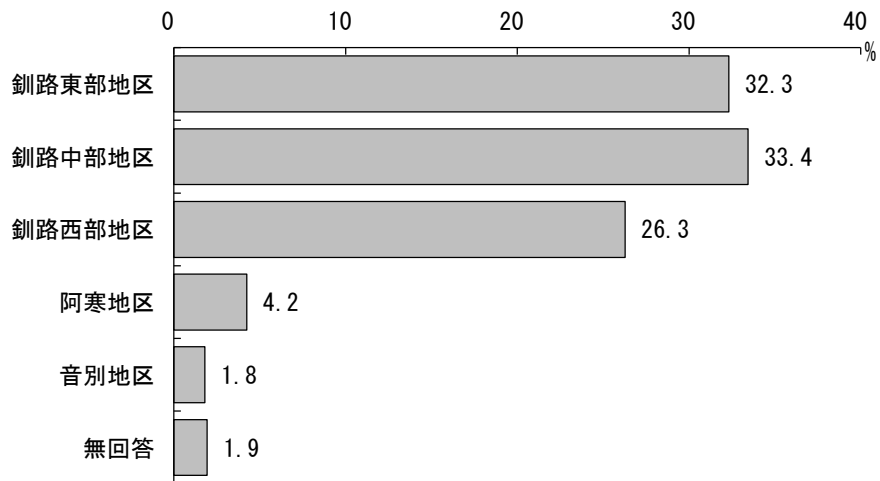
| | | 農業、林業 | 漁業 | 鉱業、採石業、砂利採取業 | 建設業 | 製造業 | 電気、ガス、熱供給、水道業 | 情報通信業 | 運輸業、郵便業 | 卸売業、小売業 |
|--------------|--------------|------------|---------------------------|--------------|-------------------------|-----------------------------|---------------|--------------------------|-------------|-------------------------|
| 全体 (n=2,946) | | 25 0.8 | 18 0.6 | 5 0.2 | 92 3.1 | 83 2.8 | 17 0.6 | 16 0.5 | 69 2.3 | 137 4.7 |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 14 1.1 | 10 0.8 | 5 0.4 | 71 5.6 | 53 4.2 | 13 1.0 | 11 0.9 | 54 4.3 | 71 5.6 |
| | 女性 (n=1,615) | 10 0.6 | 8 0.5 | 0 0.0 | 18 1.1 | 29 1.8 | 4 0.2 | 5 0.3 | 13 0.8 | 66 4.1 |
| | 無回答 (n=70) | 1 1.4 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 4.3 | 1 1.4 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 2.9 | 0 0.0 |
| | | 金融業、保険業 | 不動産業、物品賃貸業 | 教育、学習支援業 | 医療、福祉 | 学術・開発研究機関、広告業、専門・技術サービス業 ※1 | 宿泊業、飲食サービス業 | 生活関連サービス業、娯楽業 ※2 | 複合サービス事業 ※3 | サービス業 (他に分類されないもの) |
| 全体 (n=2,946) | | 40 1.4 | 14 0.5 | 57 1.9 | 260 8.8 | 61 2.1 | 53 1.8 | 43 1.5 | 17 0.6 | 167 5.7 |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 21 1.7 | 7 0.6 | 24 1.9 | 59 4.7 | 36 2.9 | 19 1.5 | 21 1.7 | 10 0.8 | 74 5.9 |
| | 女性 (n=1,615) | 18 1.1 | 6 0.4 | 33 2.0 | 197 12.2 | 21 1.3 | 33 2.0 | 22 1.4 | 7 0.4 | 92 5.7 |
| | 無回答 (n=70) | 1 1.4 | 1 1.4 | 0 0.0 | 4 5.7 | 4 5.7 | 1 1.4 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 1.4 |
| | | 公務員 | 主婦 (主夫) | 高校生 | 大学・短大・専門学校生 | 無職 | その他 | 無回答 | | |
| 全体 (n=2,946) | | 119 4.0 | 656 22.3 | 58 2.0 | 70 2.4 | 663 22.5 | 119 4.0 | 87 3.0 | | |
| 性別 | 男性 (n=1,261) | 89 7.1 | 9 0.7 | 23 1.8 | 33 2.6 | 441 35.0 | 68 5.4 | 25 2.0 | | |
| | 女性 (n=1,615) | 29 1.8 | 643 39.8 | 35 2.2 | 35 2.2 | 217 13.4 | 49 3.0 | 25 1.5 | | |
| | 無回答 (n=70) | 1 1.4 | 4 5.7 | 0 0.0 | 2 2.9 | 5 7.1 | 2 2.9 | 37 52.9 | | |

- ※1 (法律事務所、税理士事務所、デザイン業、経営コンサルタント業、不動産鑑定業、獣医業、土木建築サービス業、機械設計業、計量証明業、写真業 等)
- ※2 (洗濯業、理容業、美容業、浴場業、旅行業、冠婚葬祭業、映画館、遊技場 等)
- ※3 (郵便局、協同組合 (他に分類されないもの))

問 22 現在お住まいの地区についてお答えください。

居住地区は、「釧路中部地区」が33.4%で最も多く、以下「釧路東部地区」が32.3%、「釧路西部地区」が26.3%となっています。

図表1-22 居住地区 (SA)



| | | 釧路東部地区 | 釧路中部地区 | 釧路西部地区 | 阿寒地区 | 音別地区 | 無回答 |
|---------|-----------|-------------|-------------|-------------|------------|-----------|-----------|
| 全体 | (n=2,946) | 952 32.3 | 985 33.4 | 774 26.3 | 125 4.2 | 53 1.8 | 57 1.9 |
| 年代 | 16～19歳 | 28 | 24 | 34 | 2 | 1 | 3 |
| | (n=92) | 30.4 | 26.1 | 37.0 | 2.2 | 1.1 | 3.3 |
| | 20～29歳 | 77 | 132 | 83 | 15 | 7 | 4 |
| | (n=318) | 24.2 | 41.5 | 26.1 | 4.7 | 2.2 | 1.3 |
| | 30～39歳 | 81 | 122 | 103 | 20 | 2 | 3 |
| | (n=331) | 24.5 | 36.9 | 31.1 | 6.0 | 0.6 | 0.9 |
| | 40～49歳 | 109 | 126 | 114 | 11 | 7 | 2 |
| | (n=369) | 29.5 | 34.1 | 30.9 | 3.0 | 1.9 | 0.5 |
| | 50～59歳 | 122 | 161 | 122 | 20 | 8 | 1 |
| | (n=434) | 28.1 | 37.1 | 28.1 | 4.6 | 1.8 | 0.2 |
| 60～69歳 | 200 | 189 | 127 | 21 | 11 | 1 | |
| (n=549) | 36.4 | 34.4 | 23.1 | 3.8 | 2.0 | 0.2 | |
| 70～79歳 | 203 | 131 | 117 | 22 | 12 | 4 | |
| (n=489) | 41.5 | 26.8 | 23.9 | 4.5 | 2.5 | 0.8 | |
| 80歳以上 | 129 | 98 | 69 | 14 | 5 | 9 | |
| (n=324) | 39.8 | 30.2 | 21.3 | 4.3 | 1.5 | 2.8 | |
| 無回答 | 3 | 2 | 5 | 0 | 0 | 30 | |
| (n=40) | 7.5 | 5.0 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | 75.0 | |

2. 平成18年「まちの採点簿」との比較

平成18年に行われたアンケート「まちの採点簿」と今回のアンケート調査では、一部に共通する設問があります。

ここでは両調査結果を比較し、この10年間での市民の意識の変化を比較しています。

(1) 平成18年釧路市「まちの採点簿」調査概要

① 実施方法

- ア 調査地域：釧路市全域
- イ 調査対象：平成18年2月1日現在、釧路市内に住所を有する満18歳以上の市民2,000人（住民基本台帳から無作為抽出）
- ウ 調査方法：郵送配付・郵送回収
- エ 調査期間：平成18年2月1日～2月24日

② 回答状況

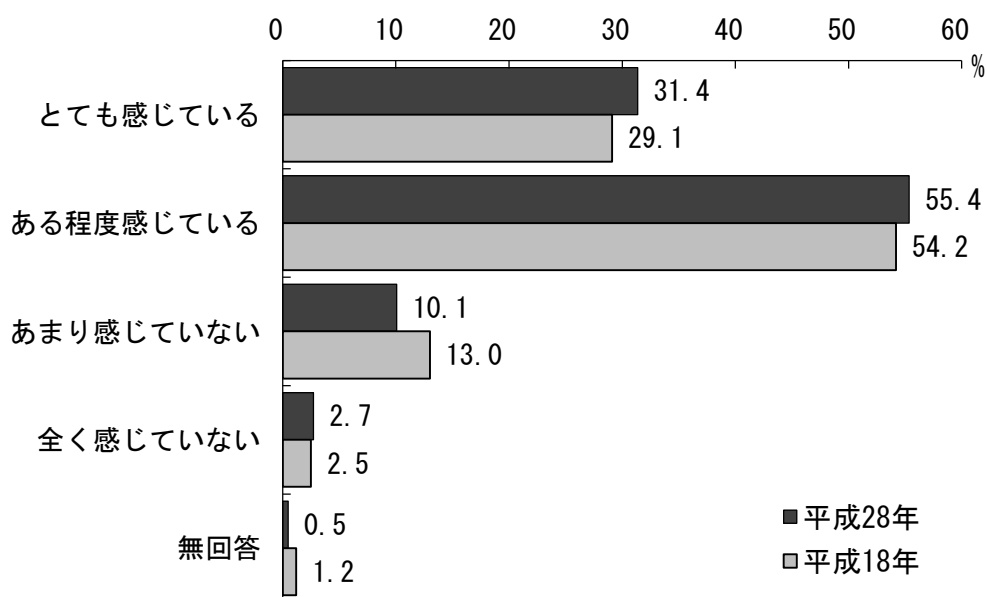
| 地区名 | 配布数（人） | 回答数（人） | 回答率（%） |
|------|--------|--------|--------|
| 釧路地区 | 1,600 | 579 | 36.2 |
| 阿寒地区 | 200 | 69 | 34.5 |
| 音別地区 | 200 | 80 | 40.0 |
| 無回答 | - | 25 | - |
| 全体 | 2,000 | 753 | 37.7 |

(2) 調査結果比較

あなたは、釧路市に愛着や親しみを感じていますか。（○は1つ）

「とても感じている」と「ある程度感じている」の割合の合計は、平成18年と比較して3.5ポイント上昇しています。

図表2-1 釧路市への愛着 (SA)

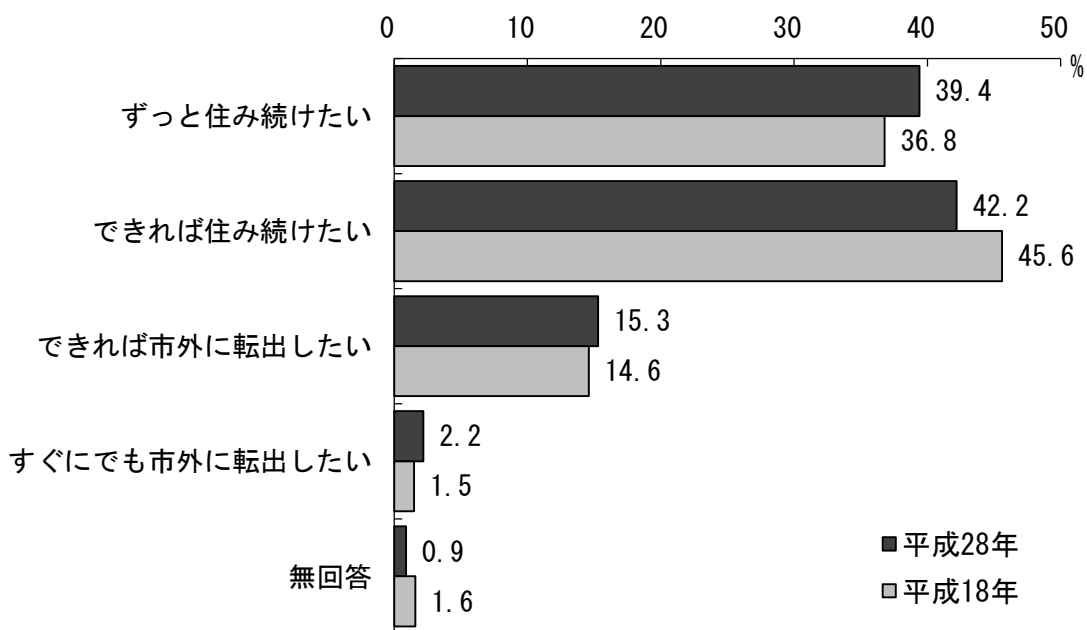


| | とても感じている | ある程度感じている | あまり感じていない | 全く感じていない | 無回答 |
|--------------------|-------------|---------------|-------------|-----------|-----------|
| 平成28年 (n=2,946) | 924 31.4 | 1,631 55.4 | 297 10.1 | 80 2.7 | 14 0.5 |
| 平成18年 (n=753) | 219 29.1 | 408 54.2 | 98 13.0 | 19 2.5 | 9 1.2 |

あなたは、これからも釧路市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

これからの釧路市への居留意向は、「ずっと住み続けたい」が2.6ポイント上昇した一方で、「できれば住み続けたい」が3.4ポイント下降しました。

図表2-2 釧路市での継続居留意向について (SA)

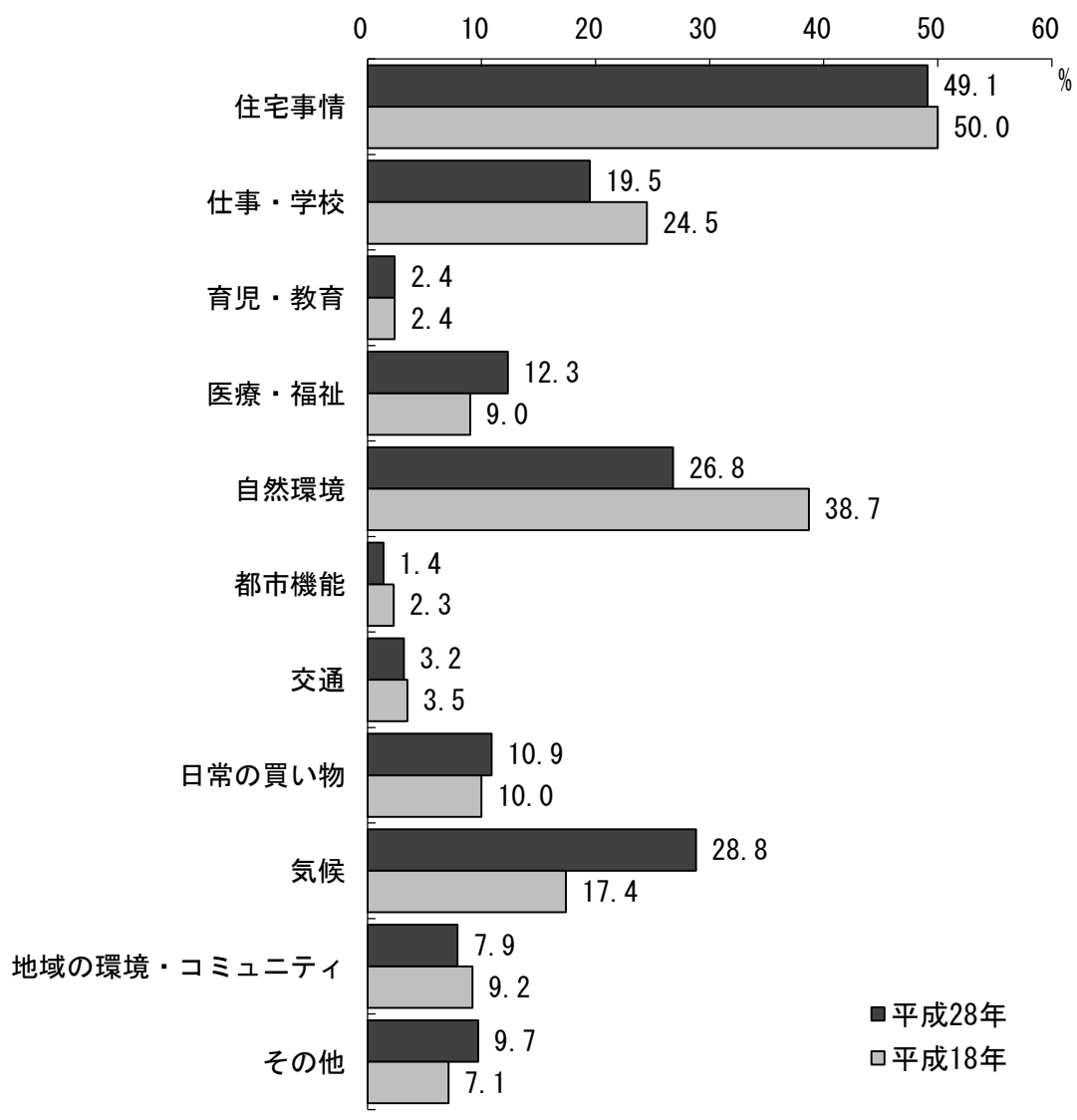


| | ずっと住み続けたい | できれば住み続けたい | できれば市外に転出したい | すぐにでも市外に転出したい | 無回答 |
|--------------------|---------------|---------------|--------------|---------------|-----------|
| 平成28年 (n=2,946) | 1,161 39.4 | 1,242 42.2 | 452 15.3 | 65 2.2 | 26 0.9 |
| 平成18年 (n=753) | 277 36.8 | 343 45.6 | 110 14.6 | 11 1.5 | 12 1.6 |

住み続けたい理由は何ですか。(〇は2つまで)

住み続けたい理由は、平成18年も今回も「住宅事情」を挙げる人が約半数に上り最も多くなっています。一方で、平成18年は38.7%の人が挙げていた「自然環境」が今回は26.8%にとどまったのに対し、「気候」が11.4ポイント上昇しています。

図表2-3 釧路市に住み続けたい理由 (MA)



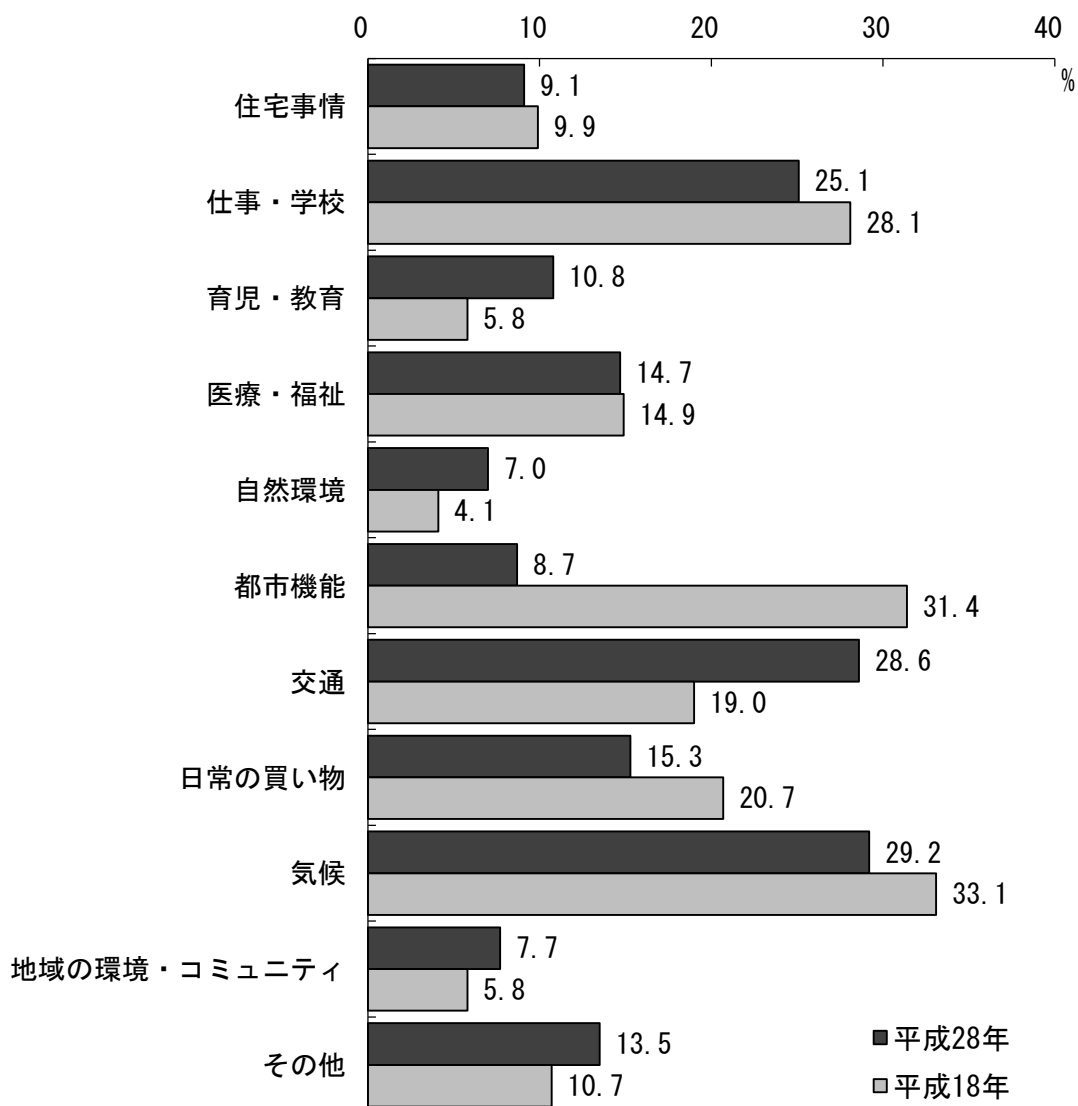
| | 住宅事情 | 仕事 学校 | 育児 教育 | 医療 福祉 | 自然環境 | 都市機能 |
|--------------------|----------------------|-------------|--------------------|-----------------------------|--------------------|-----------|
| 平成28年 (n=2,403) | 1,179 49.1 | 468 19.5 | 57 2.4 | 295 12.3 | 644 26.8 | 34 1.4 |
| 平成18年 (n=620) | 310 50.0 | 152 24.5 | 15 2.4 | 56 9.0 | 240 38.7 | 14 2.3 |
| | 交通 | 日常の買 い物 | 気候 | 地域の環 境 コミュ ニ ティ | その他 | 非該当 |
| 平成28年 (n=2,403) | 78 3.2 | 263 10.9 | 693 28.8 | 189 7.9 | 232 9.7 | 543 |
| 平成18年 (n=620) | 22 3.5 | 62 10.0 | 108 17.4 | 57 9.2 | 45 7.1 | 133 |

転出したい理由は何ですか。(〇は2つまで)

転出したい理由は、平成18年も今回も「気候」を挙げる人が最も多くなっています。一方で前回は31.4%を占めていた「都市機能」が今回は8.7%にとどまり、大きく下降しています。

それに対し、「交通」が9.6ポイント上昇しており、他に「育児・教育」や「自然環境」を挙げる人の割合も増えています。

図表2-4 市外に転出したい理由 (MA)



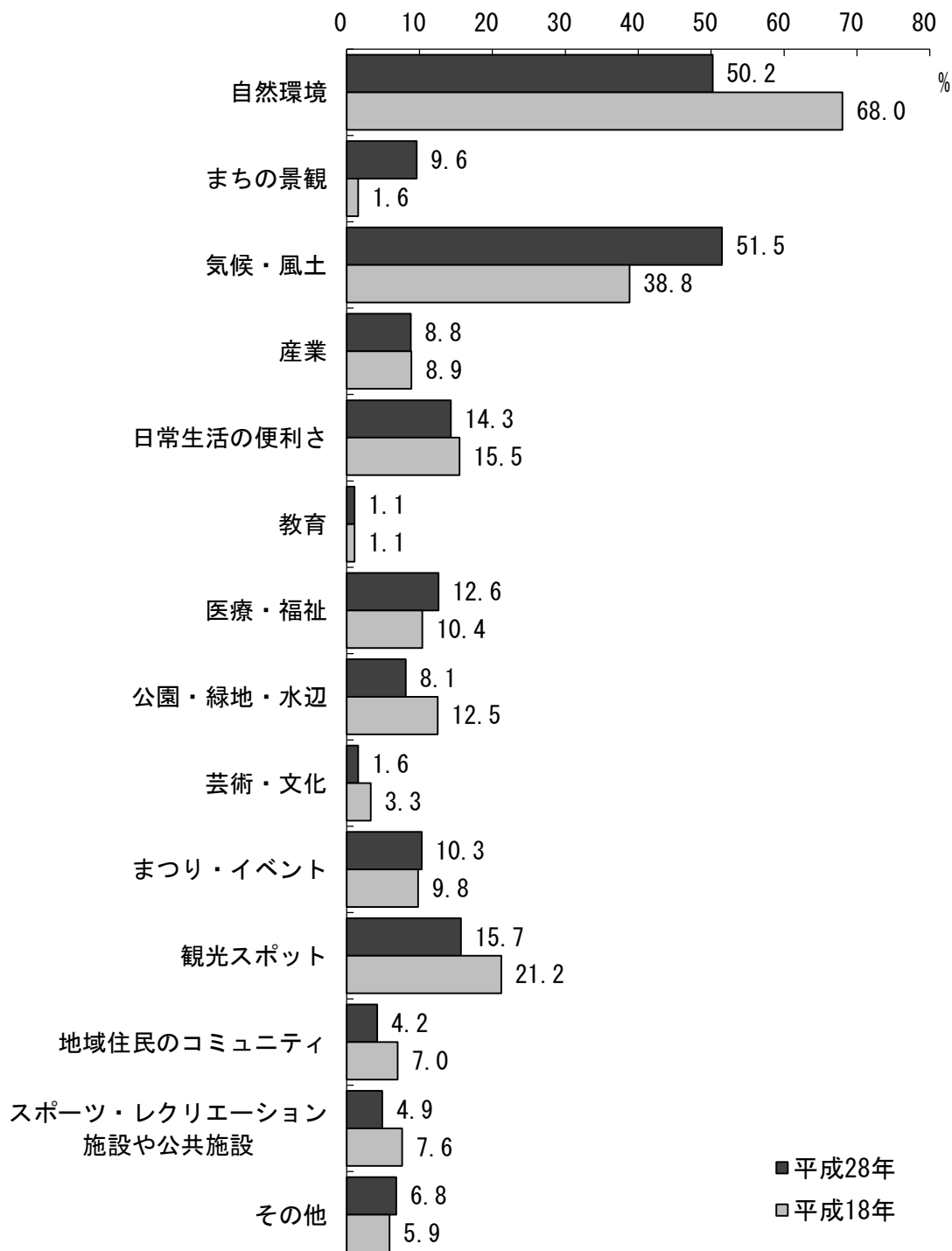
| | 住宅事情 | 仕事 学校 | 育児 教育 | 医療 福祉 | 自然環境 | 都市機能 |
|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------|------------|------------|
| 平成28年 (n=517) | 47 9.1 | 130 25.1 | 56 10.8 | 76 14.7 | 36 7.0 | 45 8.7 |
| 平成18年 (n=121) | 12 9.9 | 34 28.1 | 7 5.8 | 18 14.9 | 5 4.1 | 38 31.4 |
| | 交通 | 日常の買 い物 | 気候 | 地域の環 境 コミュニ ティ | その他 | 非該当 |
| 平成28年 (n=517) | 148 28.6 | 79 15.3 | 151 29.2 | 40 7.7 | 70 13.5 | 2,403 |
| 平成18年 (n=121) | 23 19.0 | 25 20.7 | 40 33.1 | 7 5.8 | 13 10.7 | 620 |

あなたが釧路市の「地域の強み」だと思う事は何ですか。また具体的な例をお答えください。(〇は3つまで)

「自然環境」と「気候・風土」の割合は、平成18年度も今回も上位を占めており、2つの合計はほぼ同じ割合で推移しています。

他では、「観光スポット」が21.2%から15.7%に下降した一方で、「まちの景観」が1.6%から9.6%に上昇しています。

図表 2-5 釧路市の強み (MA)

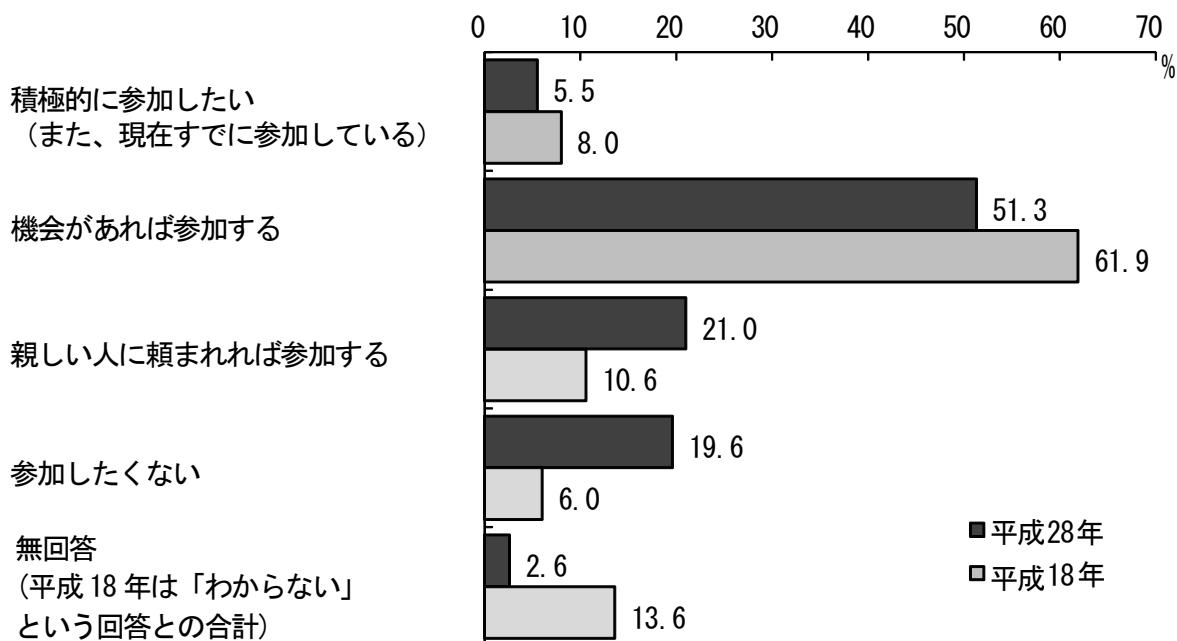


| | 自然環境 | まちの景観 | 気候風土 | 産業 | 日常生活の便利さ | 教育 | 医療福祉 |
|--------------------|----------------|------------|---------------|-------------|---------------------|--|-------------|
| 平成28年 (n=2,946) | 1,478 50.2 | 283 9.6 | 1,517 51.5 | 259 8.8 | 422 14.3 | 33 1.1 | 371 12.6 |
| 平成18年 (n=632) | 430 68.0 | 10 1.6 | 245 38.8 | 56 8.9 | 98 15.5 | 7 1.1 | 66 10.4 |
| | 公園 緑地 水辺 | 芸術 文化 | まつり イベント | 観光ス ポット | 地域住民 のコミュ ニティ | スポー ツ・レク リエー ション 施設や公 共施設 | その他 |
| 平成28年 (n=2,946) | 238 8.1 | 47 1.6 | 302 10.3 | 463 15.7 | 124 4.2 | 143 4.9 | 200 6.8 |
| 平成18年 (n=632) | 79 12.5 | 21 3.3 | 62 9.8 | 134 21.2 | 44 7.0 | 48 7.6 | 37 5.9 |

「釧路市まちづくり基本条例」では、「市民は、まちづくりの主体であることを認識するとともに、まちづくりに参加するよう努めなければならない。」と定めております。
あなたは、まちづくりや住民活動に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

「積極的に参加したい(また、現在すでに参加している)」、「機会があれば参加する」、「親しい人に頼まれれば参加する」の割合の合計は、平成18年の80.5%から今回の77.8%と2.7ポイント下降しています。

図表 2-6 まちづくりや住民活動への参加意向 (SA)



| | 積極的に参加したい (また、現在すでに参加している) | 機会があれば参加する | 親しい人に頼まれれば参加する | 参加したくない | 無回答 (平成18年は「わからない」という回答との合計) |
|--------------------|-------------------------------|---------------|----------------|-------------|---------------------------------|
| 平成28年 (n=2,946) | 163 5.5 | 1,510 51.3 | 619 21.0 | 577 19.6 | 77 2.6 |
| 平成18年 (n=753) | 60 8.0 | 466 61.9 | 80 10.6 | 45 6.0 | 102 13.6 |

3. 中学生アンケート調査

(1) 調査概要

① 調査の目的

このアンケートは、「釧路市まちづくり基本構想」等の策定にあたり、市政に対する市民の意見を反映させ、市民が主体のまちづくりを一層発展させるために、中学生を対象に実施したものです。

② 調査対象

釧路市内各中学校の代表生徒 51 人

③ 調査時期

平成 28 年 7 月

④ 調査方法

各中学校を通じ配付・回収

⑤ 調査項目

- ア 釧路市への愛着や居留意向、自慢に思うこと
- イ まちづくりについて
- ウ 自由意見
- エ 釧路市の情報の入手方法
- オ 回答者の属性

⑥ 回答状況

配付数：51人
回答数：51人
回答率：100.0%

⑦ 集計・分析上の留意点

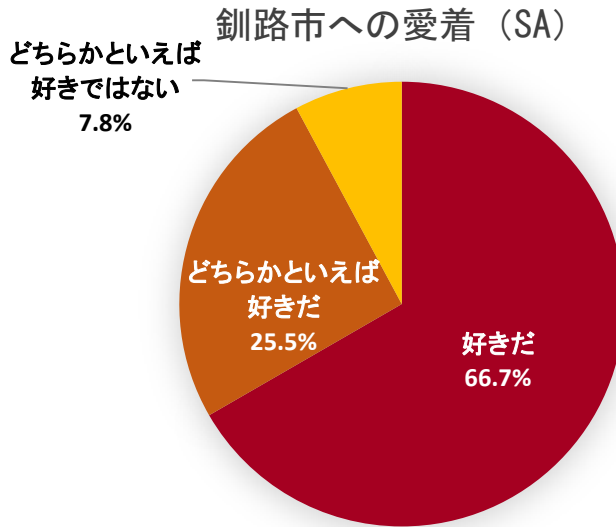
- ア 図表中の上段は回答者数、下段は構成比 (%) を表しています
- イ 図表中の「SA」は単数回答、「MA」は複数回答を表しています
- ウ 図表中の構成比 (%) については、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計は100.0%にならない場合があります

(2) 調査結果概要

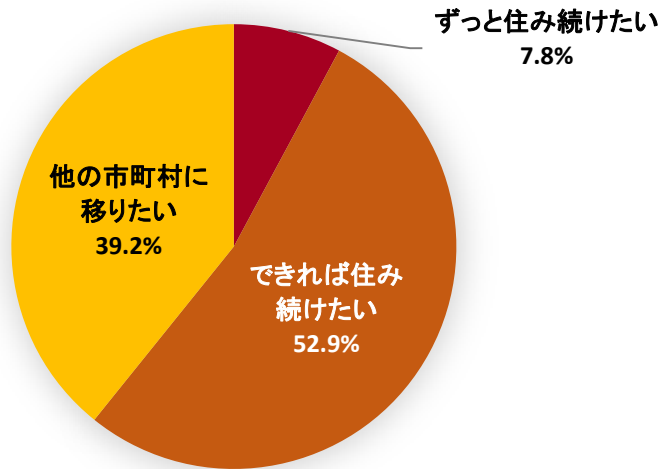
① 釧路市への愛着、住み続けたいか、自慢に思うこと

～愛着を感じている中学生は9割を超え、

「自然環境」や「気候・風土」を自慢に思っています～

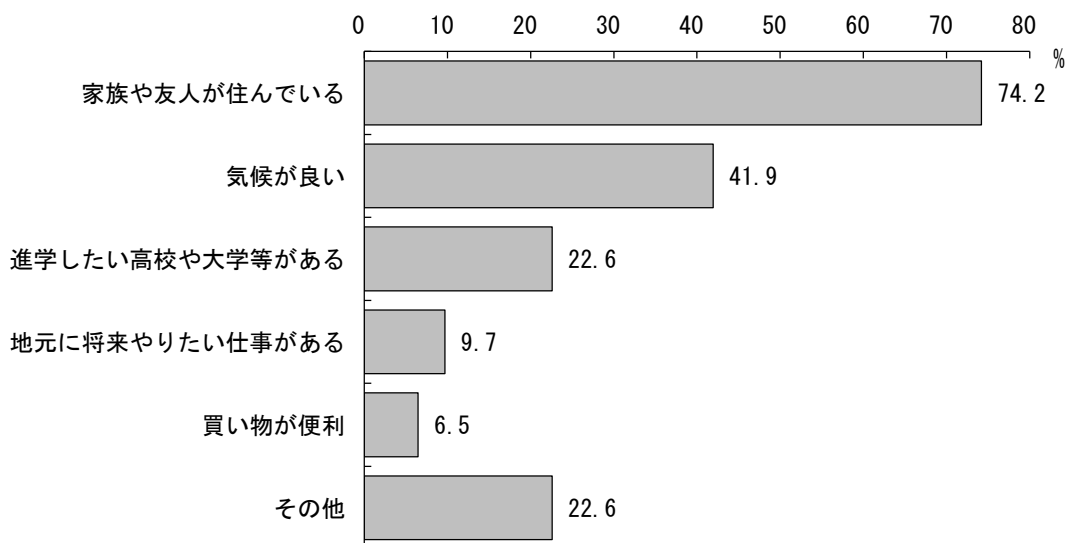


釧路市に住み続けたいか (SA)

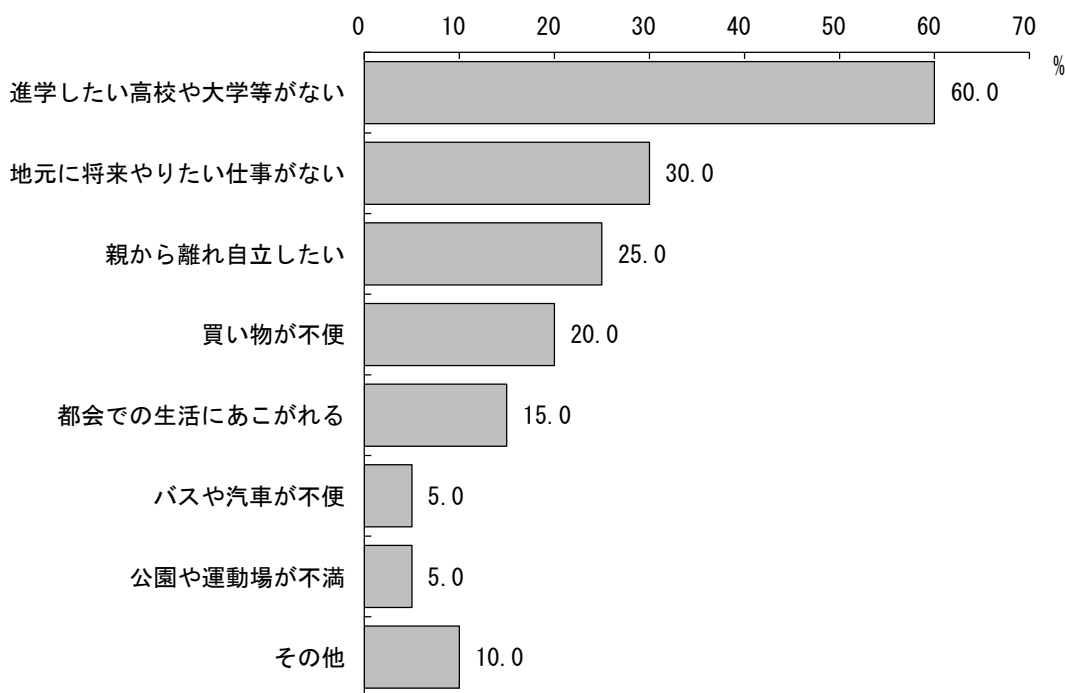


- 釧路市が「好きだ」が 66.7%、「どちらかといえば好きだ」が 25.5%、合わせて 93.2%が「釧路市が好きだ」と答えています。
- これからも住み続けたいかでは「できれば住み続けたい」が 52.9%で最も多く、次いで「他の市町村に移りたい」が 39.2%、「ずっと住み続けたい」が 7.8%となっています。

住み続けたい理由 (MA)

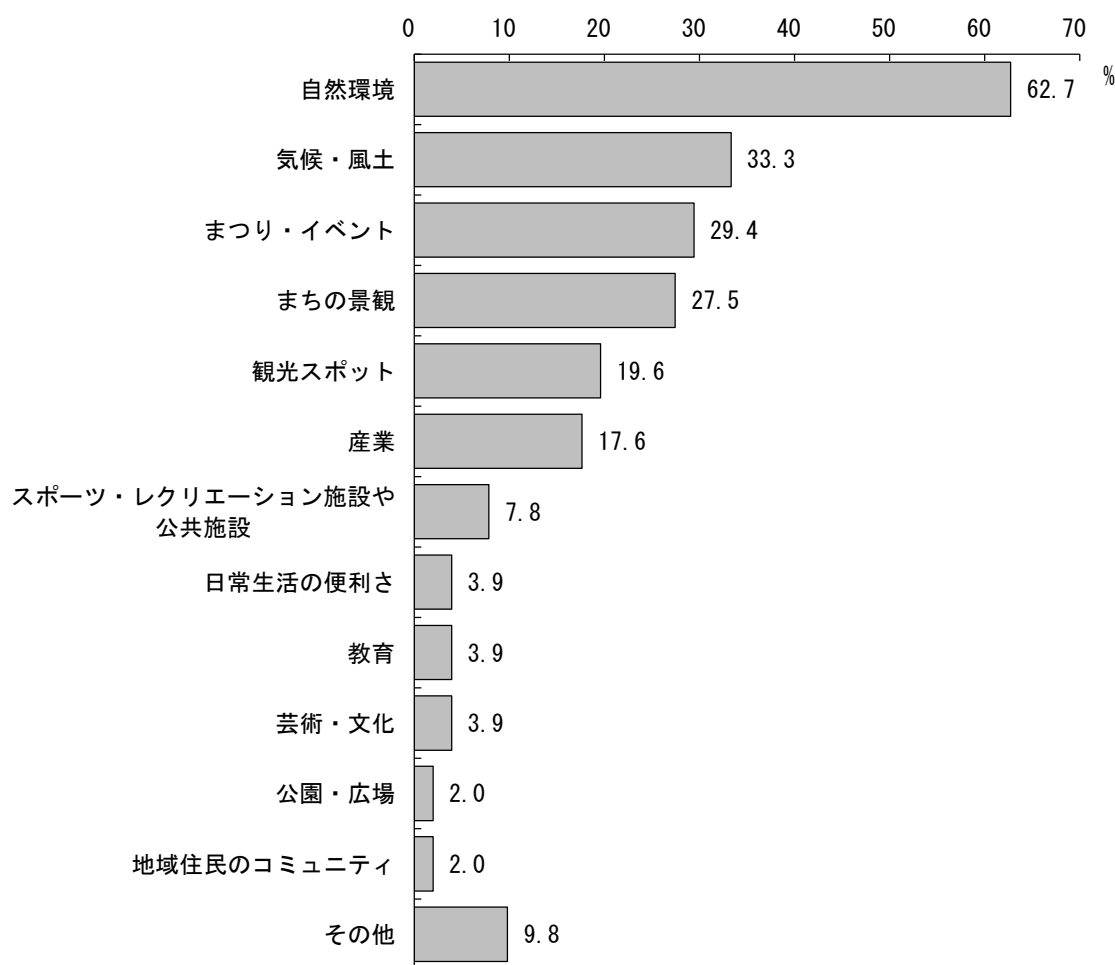


転出したい理由 (MA)



- 住み続けたい理由として、最も多いのは「家族や友人が住んでいる」が 74.2%、次いで「気候が良い」が 41.9%、「進学したい高校や大学等がある」が 22.6%などとなっています。
- 転出したい理由では、最も多いのは「進学したい高校や大学等がない」で 60.0%、次いで「地元で将来やりたい仕事がない」が 30.0%、「親から離れ自立したい」が 25.0%などとなっています。

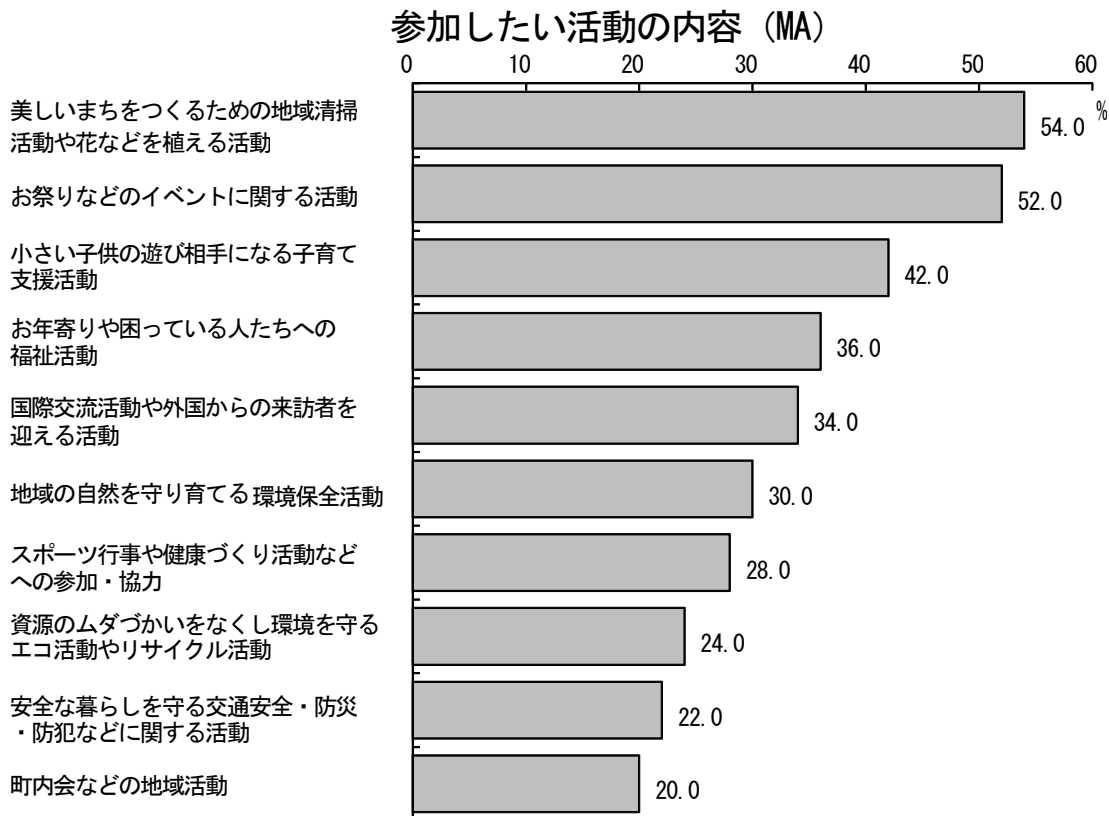
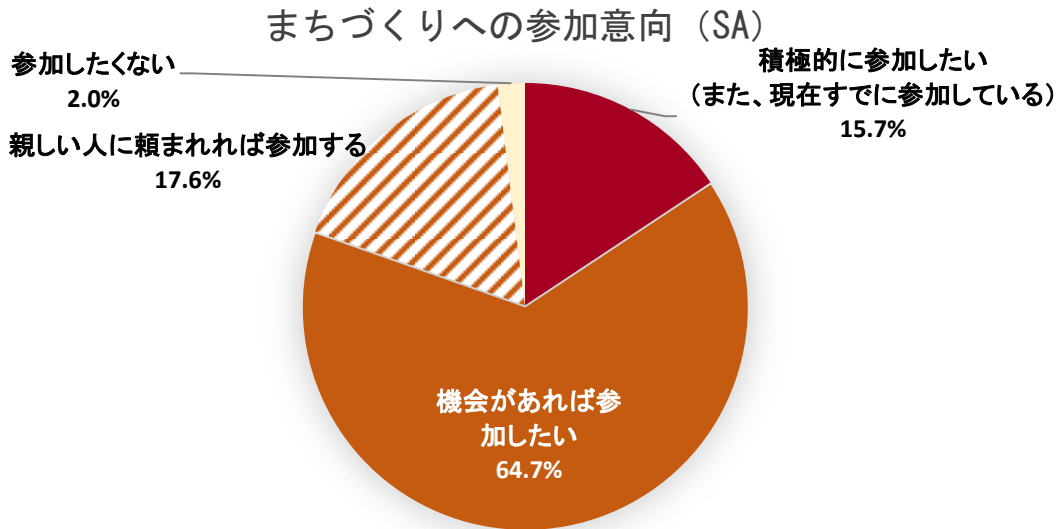
釧路市で自慢に思うこと (MA)



- 自慢に思うことは「自然環境」が62.7%で最も多く、次いで「気候・風土」が33.3%、「まつり・イベント」が29.4%、「まちの景観」が27.5%、「観光スポット」が19.6%などとなっています。

② 釧路市のまちづくりへの参加意識

～多くの中学生がまちづくりへの関心を持っています～

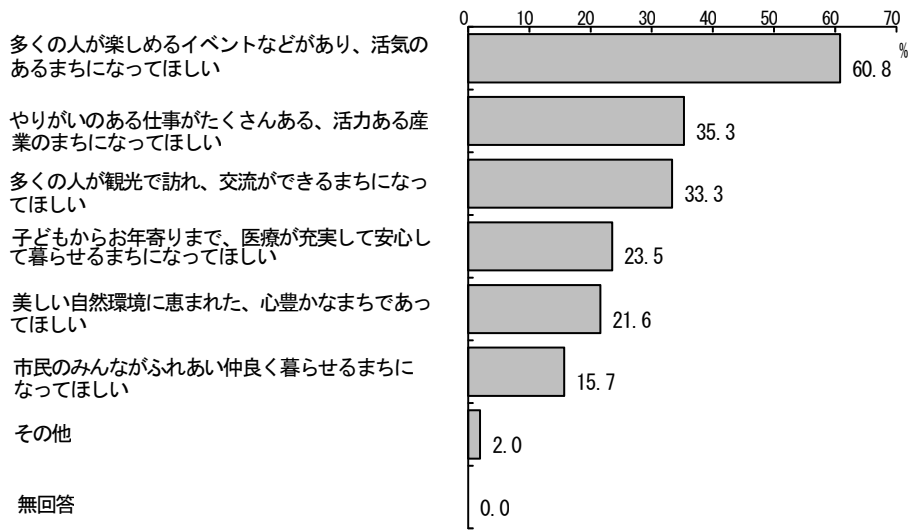


- まちづくりに参加したいかについては、「機会があれば参加したい」が 64.7%、「親しい人に頼まれれば参加する」が 17.6%、「積極的に参加したい (また、現在すでに参加している)」が 15.7%であり、合わせて 98.0%の中学生がまちづくりに参加したいと回答しています。
- 参加したい活動の内容については、「美しいまちをつくるための地域清掃活動や花などを植える活動」が 54.0%が最も多く、次いで「お祭りなどのイベントに関する活動」が 52.0%、「小さい子どもの遊び相手になる子育て支援」が 42.0%などとなっています。

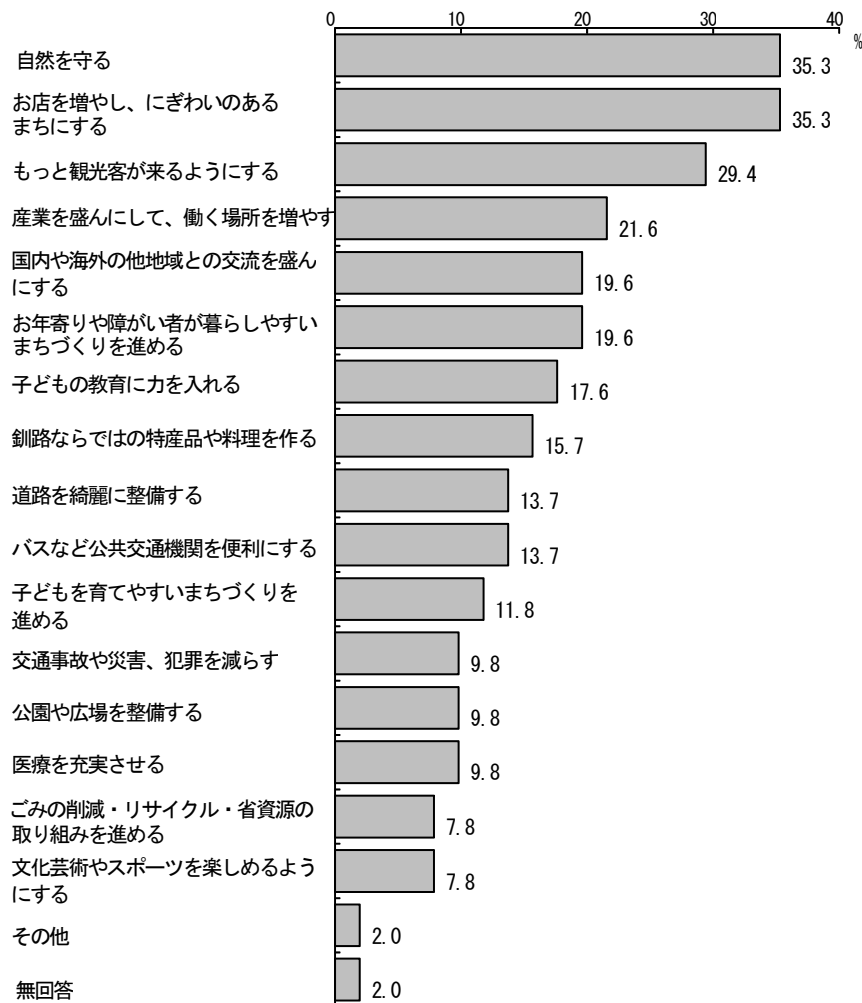
③これからの釧路市について

～「活気のあるまちになってほしい」との思いが強い～

釧路市にどうあってほしいかという希望 (MA)



釧路市が力を入れるべきだと考える事 (MA)



- どのようなまちになってほしいかについては「多くの人を楽しめるイベントなどがあり、活気のあるまちになってほしい」が60.8%で最も多く、次いで「やりがいのある仕事がたくさんある、活力ある産業のまちになってほしい」が35.3%、「多くの人観光で訪れ、交流ができるまちになってほしい」が33.3%などとなっています。
- また、釧路市が特に力を入れるべき課題は、「自然を守る」と「お店を増やし、にぎわいのあるまちにする」が35.3%で並び、「もっと観光客が来るようにする」29.4%などとなっています。

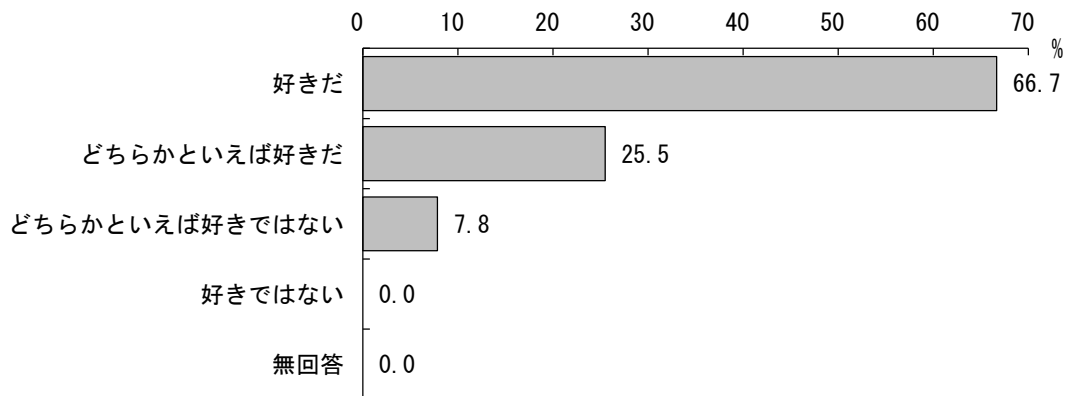
(3) 調査結果

ア 釧路市への愛着や居留意向、自慢に思うこと

問1 あなたは釧路市が好きですか。(○は1つ)

釧路市への愛着について、「好きだ」、「どちらかといえば好きだ」の合計は92.2%となっています。

図表3-1 釧路市への愛着 (SA)



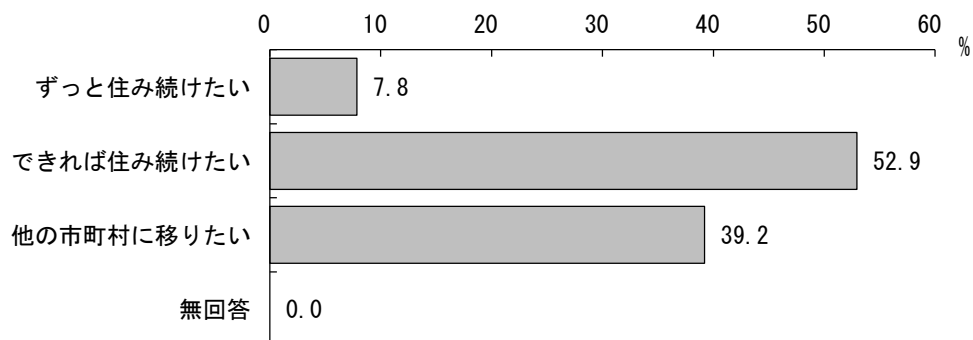
| | | 好きだ | どちらか といえば 好きだ | どちらか といえば 好きでは ない | 好きでは ない | 無回答 |
|--------------|--------------|------------|---------------------|----------------------------|------------|----------|
| 全体 (n=51) | | 34 66.7 | 13 25.5 | 4 7.8 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 性別 | 男性 (n=24) | 17 70.8 | 5 20.8 | 2 8.3 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 女性 (n=26) | 16 61.5 | 8 30.8 | 2 7.7 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=1) | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問2 あなたは、これからも釧路市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

今後の釧路市での居留意向について、「できれば住み続けたい」が52.9%で最も多く、「他の市町村に移りたい」が39.2%、「ずっと住み続けたい」が7.8%となっています。

「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせると60.7%となっています。

図表3-2 釧路市での継続居留意向 (SA)



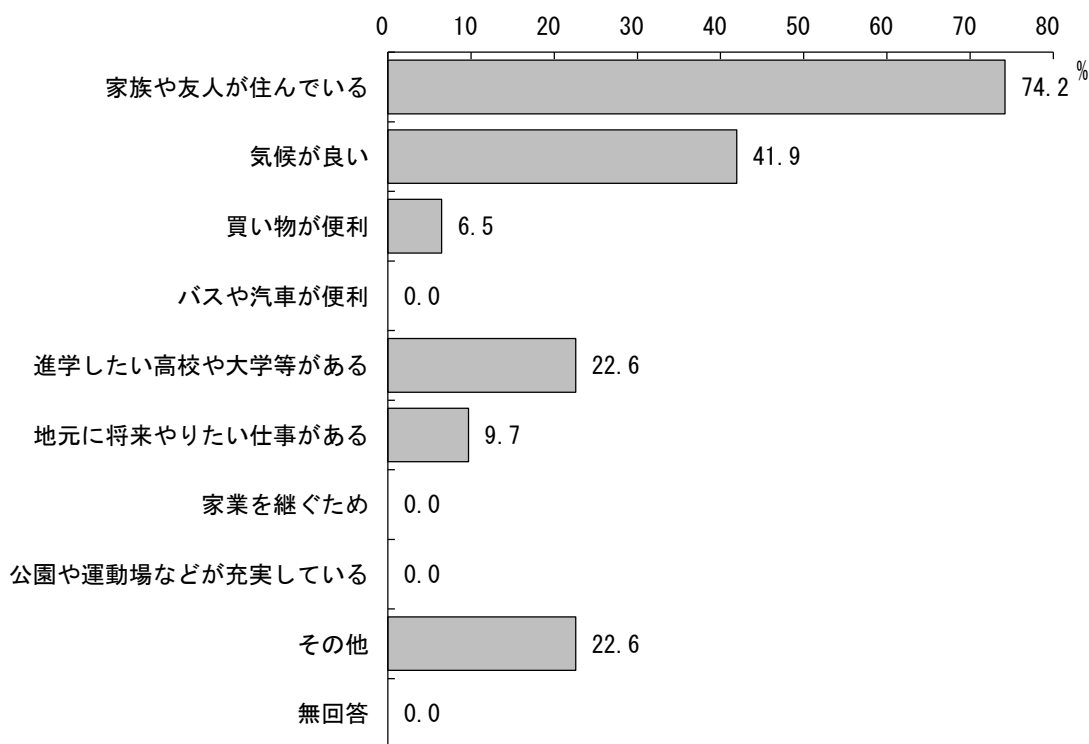
| | | ずっと住み続けたい | できれば住み続けたい | 他の市町村に移りたい | 無回答 |
|--------------|--------------|-----------|------------|------------|-----|
| 全体 (n=51) | | 7.8 | 52.9 | 39.2 | 0.0 |
| 性別 | 男性 (n=24) | 4.2 | 70.8 | 25.0 | 0.0 |
| | 女性 (n=26) | 7.7 | 38.5 | 53.8 | 0.0 |
| | 無回答 (n=1) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

問3 【問2で「1. ずっと住みたい」または「2. できれば住みたい」とお答えした方におたずねします。】その理由は何ですか。(〇は2つまで)

釧路市に住みたい理由は、「家族や友人が住んでいる」が74.2%と最も多く、以下、「気候が良い」が41.9%、「進学したい高校や大学等がある」が22.6%となっています。

なお、「その他」の22.6%の回答では、「自然がたくさんあり、住みやすい」、「愛着がある」などが挙げられています。

図表3-3 住みたい理由 (MA)

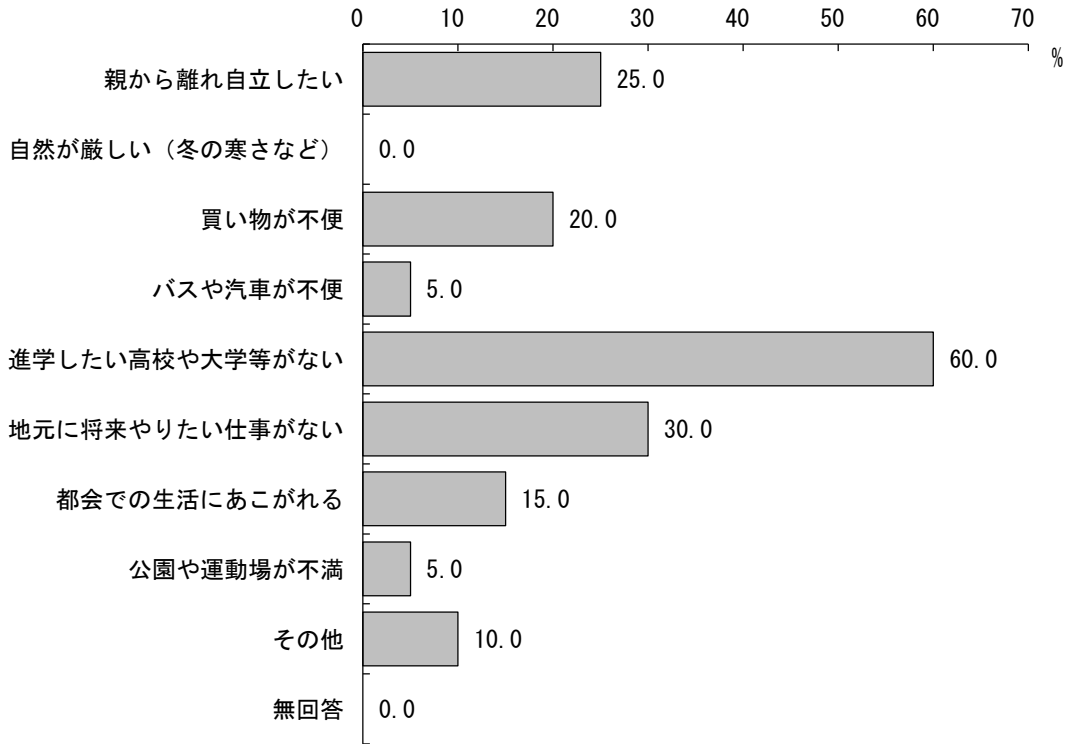


| | | 家族や友人が住んでいる | 気候が良い | 買い物が便利 | バスや車が便利 | 進学したい高校や大学等がある | 地元で将来やりたい仕事がある | 家業を継ぐため | 公園や運動場などが充実している |
|-----------|-----------|-------------|------------|----------|----------|----------------|----------------|----------|-----------------|
| 全体 (n=31) | | 23 74.2 | 13 41.9 | 2 6.5 | 0 0.0 | 7 22.6 | 3 9.7 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 性別 | 男性 (n=18) | 12 66.7 | 6 33.3 | 1 5.6 | 0 0.0 | 6 33.3 | 2 11.1 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 女性 (n=12) | 10 83.3 | 7 58.3 | 1 8.3 | 0 0.0 | 1 8.3 | 1 8.3 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=1) | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | その他 | 無回答 | 非該当 | | | | | |
| 全体 (n=31) | | 7 22.6 | 0 0.0 | 20 | | | | | |
| 性別 | 男性 (n=18) | 5 27.8 | 0 0.0 | 6 | | | | | |
| | 女性 (n=12) | 2 16.7 | 0 0.0 | 14 | | | | | |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 | | | | | |

問4 【問2で「3. 他の市町村に移りたい」とお答えした方のみにおたずねします。】その理由は何ですか。(〇は2つまで)

釧路市から転居したい理由は、「進学したい高校や大学等がない」が60.0%で最も多く、「地元で将来やりたい仕事がない」が30.0%、「親から離れ自立したい」が25.0%となっています。

図表3-4 転居したい理由 (MA)

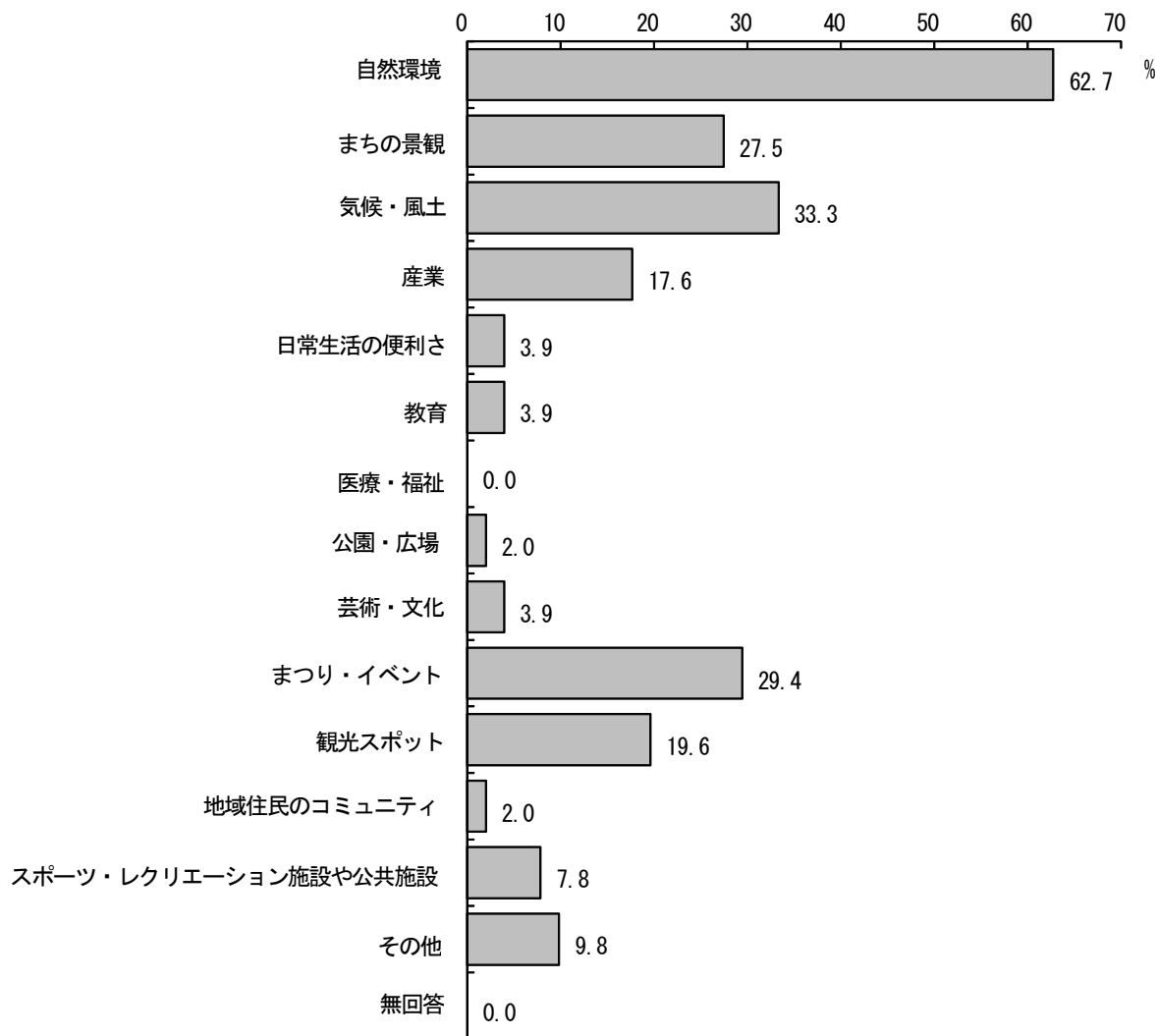


| | | 親から離れ自立したい | 自然が厳しい (冬の寒さなど) | 買い物が不便 | バスや汽車が不便 | 進学したい高校や大学等がない | 地元で将来やりたい仕事がない | 都会での生活にあこがれる | 公園や運動場が不満 |
|-----------|-----------|------------|-----------------|-----------|----------|----------------|----------------|--------------|-----------|
| 全体 (n=20) | | 5 25.0 | 0 0.0 | 4 20.0 | 1 5.0 | 12 60.0 | 6 30.0 | 3 15.0 | 1 5.0 |
| 性別 | 男性 (n=6) | 3 50.0 | 0 0.0 | 1 16.7 | 0 0.0 | 5 83.3 | 3 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 女性 (n=14) | 2 14.3 | 0 0.0 | 3 21.4 | 1 7.1 | 7 50.0 | 3 21.4 | 3 21.4 | 1 7.1 |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | その他 | 無回答 | 非該当 | | | | | |
| 全体 (n=20) | | 2 10.0 | 0 0.0 | 31 | | | | | |
| 性別 | 男性 (n=6) | 0 0.0 | 0 0.0 | 18 | | | | | |
| | 女性 (n=14) | 2 14.3 | 0 0.0 | 12 | | | | | |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 | | | | | |

問5 あなたが釧路市で自慢に思う事は何ですか。また具体的な例をお答えください。(〇は3つまで)

釧路市で自慢に思うことについては、「自然環境」が62.7%で最も多く、以下、「気候・風土」が33.3%、「まつり・イベント」が29.4%となっています。市民アンケート調査結果(問5、本報告書の18ページ参照)での16歳～19歳及び20代と傾向が類似していますが、「自然環境」の回答の割合がこれらの年代よりも10ポイント以上高く、「気候・風土」がやや低いという結果になっています。

図表3-5 釧路市で自慢に思う事 (MA)



| | | 自然環境 | まちの景観 | 気候風土 | 産業 | 日常生活の便利さ | 教育 | 医療福祉 | 公園広場 |
|--------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|----------------------|------------|----------|----------|
| 全体 (n=51) | | 32 62.7 | 14 27.5 | 17 33.3 | 9 17.6 | 2 3.9 | 2 3.9 | 0 0.0 | 1 2.0 |
| 性別 | 男性 (n=24) | 13 54.2 | 5 20.8 | 10 41.7 | 4 16.7 | 2 8.3 | 1 4.2 | 0 0.0 | 1 4.2 |
| | 女性 (n=26) | 18 69.2 | 8 30.8 | 7 26.9 | 5 19.2 | 0 0.0 | 1 3.8 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=1) | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | 芸術文化 | まつりイベント | 観光スポット | 地域住民のコミュニティ | スポーツ・レクリエーション施設や公共施設 | その他 | 無回答 | |
| 全体 (n=51) | | 2 3.9 | 15 29.4 | 10 19.6 | 1 2.0 | 4 7.8 | 5 9.8 | 0 0.0 | |
| 性別 | 男性 (n=24) | 0 0.0 | 6 25.0 | 3 12.5 | 0 0.0 | 4 16.7 | 3 12.5 | 0 0.0 | |
| | 女性 (n=26) | 2 7.7 | 9 34.6 | 7 26.9 | 1 3.8 | 0 0.0 | 1 3.8 | 0 0.0 | |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | |

＜釧路市で自慢に思う事についての主な回答内容＞

○自然環境（選択した32人のうち30人が回答）

回答内容：釧路湿原（17件）、夕日（7件）、自然が身近（7件）、夏が涼しい（5件） など

○まちの景観（選択した14人から回答）

回答内容：夕日がきれい（12件） など

○気候・風土（選択した17人のうち15人が回答）

回答内容：夏が涼しい（15件）

○産業（選択した9人から回答）

回答内容：漁業（7件） など

○日常生活の便利さ（選択した2人から回答）

回答内容：大型店舗がある（1件）、バスの充実（1件）

○教育（選択した2人から回答）

回答内容：まなぼつとなどの施設（1件）、アイヌ文化（1件）

○医療・福祉

選択者なし

○公園・広場

回答内容：なし

○芸術・文化（選択した2人から回答）

回答内容：映画（1件）、アイヌ文化（1件）

○まつり・イベント（選択した15人のうち14人が回答）

回答内容：どんぱく（8件）、港まつり（7件）、霧フェス（2件） など

○観光スポット（選択した10人から回答）

回答内容：釧路湿原（6件）、夕日（4件）、幣舞橋（2件）、阿寒湖（2件） など

○地域住民のコミュニティ（選択した1人から回答）

回答内容：挨拶ができています（1件）

○スポーツ・レクリエーション施設や公共施設（選択した4人から回答）

回答内容：施設が多い（2件）、ホッケーが盛ん（2件）

○その他（選択した5人から回答）

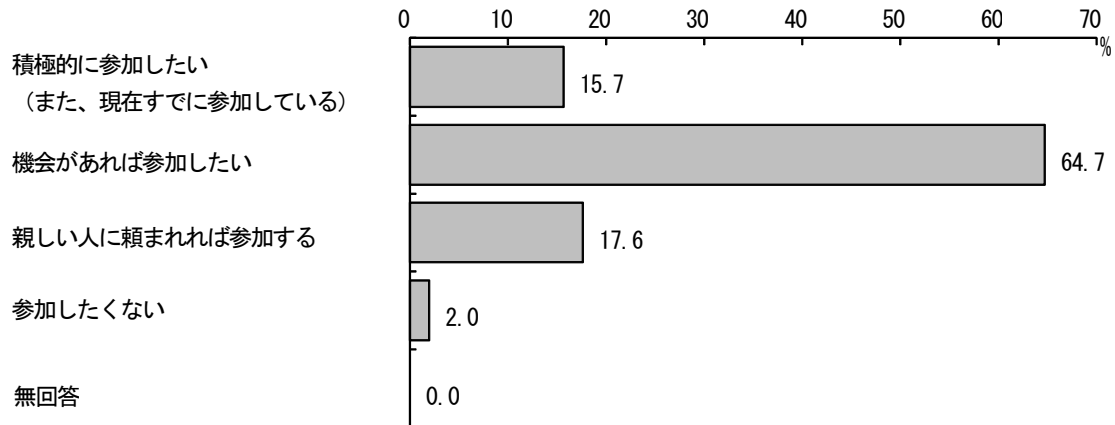
回答内容：魚がおいしい（5件）

イ まちづくりについて

問6 あなたは、まちづくりに参加したいと思いますか。(○は1つ)

まちづくりへの参加意向は、「機会があれば参加したい」が64.7%で最も多く、次いで「親しい人に頼まれれば参加する」が17.6%、「積極的に参加したい（また、現在すでに参加している）」が15.7%となっています。参加したいとの回答を合わせると98.0%となっています。

図表3-6 まちづくりへの参加意向 (SA)

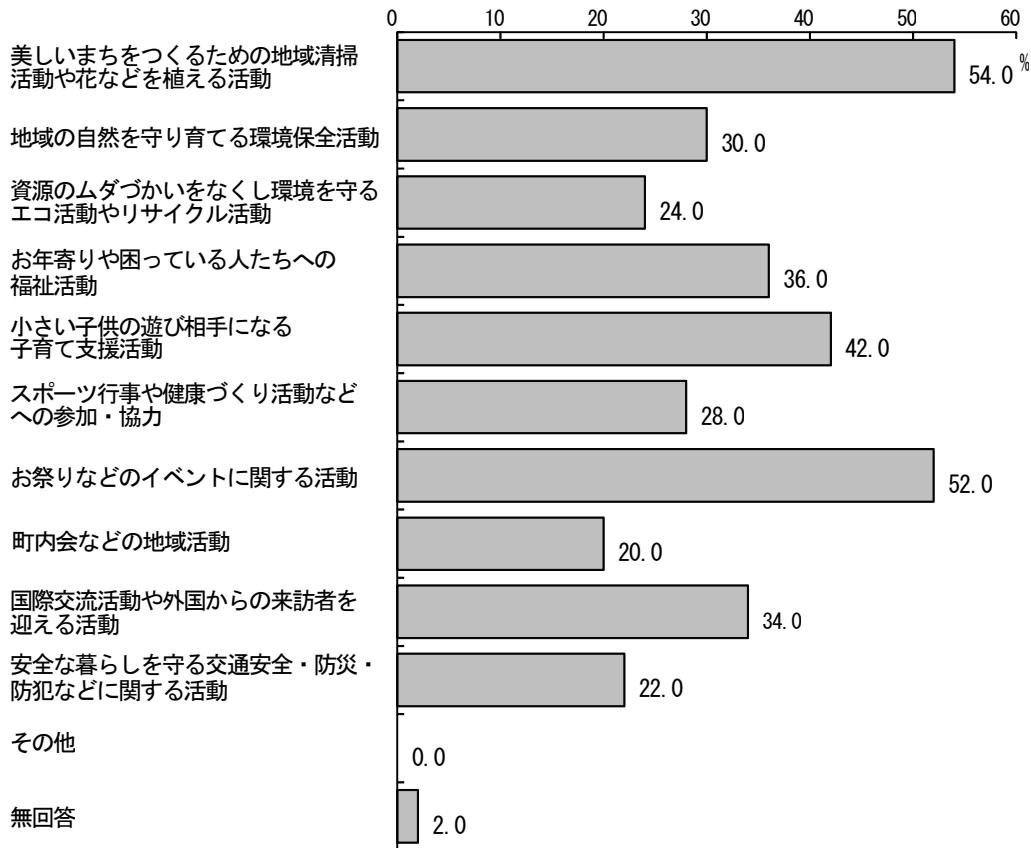


| | | 積極的に参加したい (また、現在すでに参加している) | 機会があれば参加したい | 親しい人に頼まれれば参加する | 参加したくない | 無回答 |
|----|--------------|-------------------------------|-------------|----------------|----------|----------|
| 全体 | (n=51) | 8 15.7 | 33 64.7 | 9 17.6 | 1 2.0 | 0 0.0 |
| 性別 | 男性 (n=24) | 0 0.0 | 19 79.2 | 4 16.7 | 1 4.2 | 0 0.0 |
| | 女性 (n=26) | 8 30.8 | 14 53.8 | 4 15.4 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問7 【問6で「1. 積極的に参加したい」または「2. 機会があれば参加する」または「3. 親しい人に頼まれれば参加する」とお答えした方のみにおたずねします。】
 どのような活動に参加したいですか。(〇はいくつでも)

まちづくりで参加したい活動の内容は、「美しいまちをつくるための地域清掃活動や花などを植える活動」が54.0%で最も多く、以下、「お祭りなどのイベントに関する活動」が52.0%、「小さい子供の遊び相手になる子育て支援活動」が42.0%となっています。

図表 3-7 参加したい活動の内容 (MA)

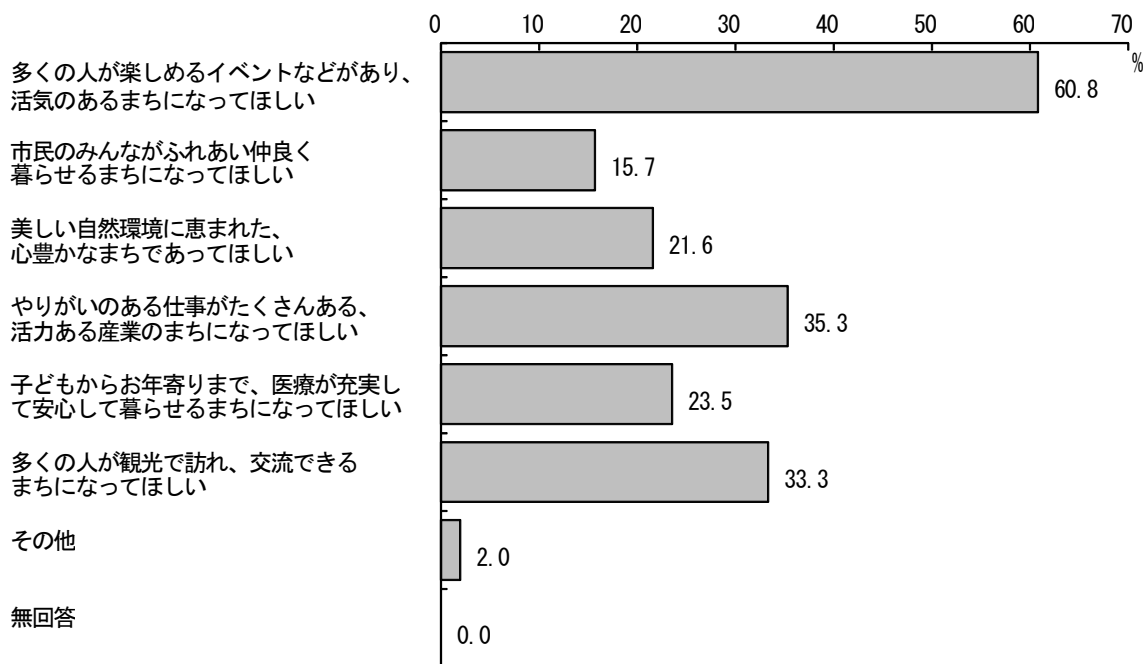


| | | 美しいまちをつくるための地域清掃活動や花などを植える活動 | 地域の自然を守り育てる環境保全活動 | 資源のムダづかいをなくし環境を守るエコ活動やリサイクル活動 | お年寄りや困っている人たちへの福祉活動 | 小さい子供の遊び相手になる子育て支援活動 | スポーツ行事や健康づくり活動などへの参加・協力 | お祭りなどのイベントに関する活動 | 町内会などの地域活動 |
|--------------|--------------|------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------------|----------------------|-------------------------|------------------|------------|
| 全体 (n=50) | | 27 54.0 | 15 30.0 | 12 24.0 | 18 36.0 | 21 42.0 | 14 28.0 | 26 52.0 | 10 20.0 |
| 性別 | 男性 (n=23) | 10 43.5 | 7 30.4 | 5 21.7 | 5 21.7 | 5 21.7 | 5 21.7 | 11 47.8 | 5 21.7 |
| | 女性 (n=26) | 16 61.5 | 8 30.8 | 6 23.1 | 12 46.2 | 15 57.7 | 8 30.8 | 14 53.8 | 5 19.2 |
| | 無回答 (n=1) | 1 100.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 |
| | | 国際交流活動や外国からの来訪者を迎える活動 | 安全な暮らしを守る交通安全・防災・防犯などに関する活動 | その他 | 無回答 | 非該当 | | | |
| 全体 (n=50) | | 17 34.0 | 11 22.0 | 0 0.0 | 1 2.0 | 1 2.0 | | | |
| 性別 | 男性 (n=23) | 6 26.1 | 3 13.0 | 0 0.0 | 1 4.3 | 1 4.3 | | | |
| | 女性 (n=26) | 11 42.3 | 8 30.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | | |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | | |

問8 あなたは、これからの鉦路市にどうなってほしいですか。(〇は2つまで)

鉦路市にどうなってほしいかについては、「多くの人を楽しめるイベントなどがあり、活気のあるまちになってほしい」が60.8%で最も多く、以下、「やりがいのある仕事がたくさんある、活力ある産業のまちになってほしい」が35.3%、「多くの人観光で訪れ、交流ができるまちになってほしい」が33.3%となっています。

図表3-8 鉦路市にどうあってほしいかという希望 (MA)

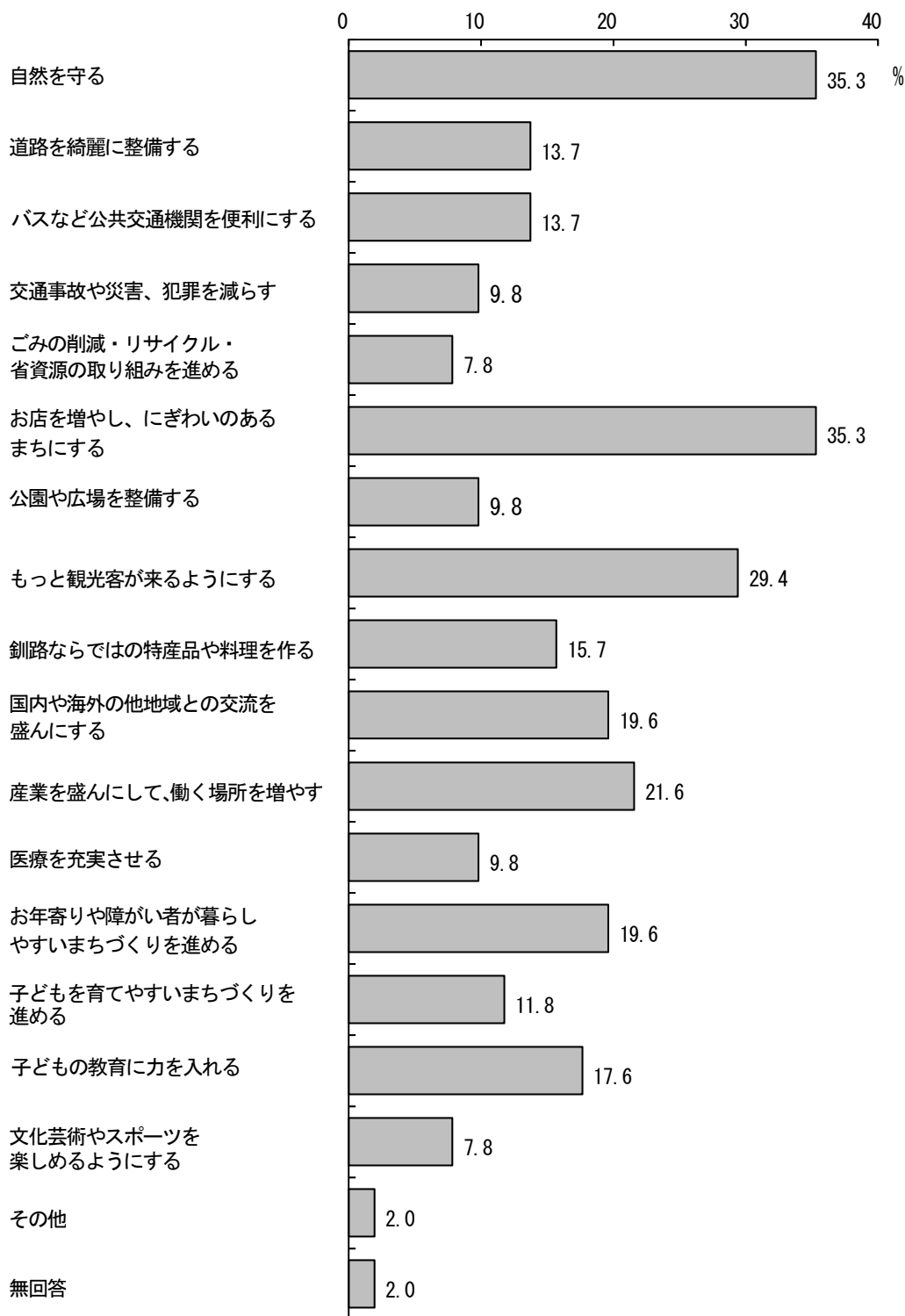


| | | 多くの人 が楽しめ るイベン トなどが あり、活 気のある まちに なってほ しい | 市民のみ んながふ れあい仲 良く暮ら せるまち になって ほしい | 美しい自 然環境に 恵まれ た、心豊 かなまち であって ほしい | やりがい のある仕 事がたく さんあ る、活力 ある産業 のまちに なってほ しい | 子どもか らお年寄 りまで、 医療が充 実して安 心して暮 らせるま ちになっ てほしい | 多くの人 が観光で 訪れ、交 流ができ るまちに なってほ しい | その他 | 無回答 |
|----|--------------|---|---|--|---|--|--|----------|----------|
| 全体 | (n=51) | 31 60.8 | 8 15.7 | 11 21.6 | 18 35.3 | 12 23.5 | 17 33.3 | 1 2.0 | 0 0.0 |
| 性別 | 男性 (n=24) | 15 62.5 | 3 12.5 | 2 8.3 | 11 45.8 | 3 12.5 | 9 37.5 | 1 4.2 | 0 0.0 |
| | 女性 (n=26) | 15 57.7 | 5 19.2 | 9 34.6 | 6 23.1 | 9 34.6 | 8 30.8 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=1) | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問9 釧路市がよりよいまちになるために、これから特に力を入れるべき事は何だと思いますか。(〇は3つまで)

釧路市が特に力を入れるべきだと思う事は、「自然を守る」と「お店を増やし、にぎわいのあるまちにする」が35.3%で並び、「もっと観光客が来るようにする」が29.4%となっています。

図表3-9 釧路市が力を入れるべきだと思う事 (MA)



| | 自然を守る | 道路を綺麗に整備する | バスなど公共交通機関を便利にする | 交通事故や災害、犯罪を減らす | ごみの削減・リサイクル・省資源の取り組みを進める | お店を増やし、にぎわいのあるまちにする | 公園や広場を整備する | もっと観光客が来るようにする | 釧路ならではの特産品や料理を作る | 国内や海外の他地域との交流を盛んにする |
|--------------|-------------------|------------|---------------------------|--------------------|--------------------------|---------------------|------------|----------------|------------------|---------------------|
| 全体 (n=51) | 18 35.3 | 7 13.7 | 7 13.7 | 5 9.8 | 4 7.8 | 18 35.3 | 5 9.8 | 15 29.4 | 8 15.7 | 10 19.6 |
| 性別 | | | | | | | | | | |
| 男性 (n=24) | 7 29.2 | 3 12.5 | 4 16.7 | 2 8.3 | 2 8.3 | 7 29.2 | 2 8.3 | 5 20.8 | 4 16.7 | 4 16.7 |
| 女性 (n=26) | 11 42.3 | 3 11.5 | 3 11.5 | 3 11.5 | 2 7.7 | 11 42.3 | 3 11.5 | 10 38.5 | 4 15.4 | 6 23.1 |
| 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 産業を盛んにして、働く場所を増やす | 医療を充実させる | お年寄りや障がい者が暮らしやすいまちづくりを進める | 子どもを育てやすいまちづくりを進める | 子どもの教育に力を入れる | 文化芸術やスポーツを楽しめるようにする | その他 | 無回答 | | |
| 全体 (n=51) | 11 21.6 | 5 9.8 | 10 19.6 | 6 11.8 | 9 17.6 | 4 7.8 | 1 2.0 | 1 2.0 | | |
| 性別 | | | | | | | | | | |
| 男性 (n=24) | 6 25.0 | 1 4.2 | 4 16.7 | 4 16.7 | 5 20.8 | 2 8.3 | 0 0.0 | 1 4.2 | | |
| 女性 (n=26) | 4 15.4 | 4 15.4 | 6 23.1 | 2 7.7 | 4 15.4 | 1 3.8 | 1 3.8 | 0 0.0 | | |
| 無回答 (n=1) | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |

ウ 自由意見

問10 釧路市がよりよいまちになるために、これからどんな事に力を入れるべきだと思いますか。意見やアイデアを、自由に記入してください。

50人から、延べ80件のご意見・ご提案がありました。頂いたご意見・ご提案を内容別に分類した件数と主な意見は、下記のとおりとなっています。

<主な意見>

○経済・産業について 33件

・自然環境や食文化など釧路ならではの地域特性を生かすなど観光振興に関する事などとなっています。

○福祉・防災について 10件

・高齢者が安心してらせるまちづくりに関する事などとなっています。

○都市整備について 20件

・バスの本数を増やすなど公共交通機関の整備に関する事、道路の整備に関する事などとなっています。

○環境・教育・文化などについて 14件

・釧路ならではの行事やお祭りや年齢に関わらず楽しめるイベントを増やすなど交流に関する事などとなっています。

○市民協働・行財政運営などについて 1件

・市の情報発信に関する事となっています。

○上記に該当しないもの 2件

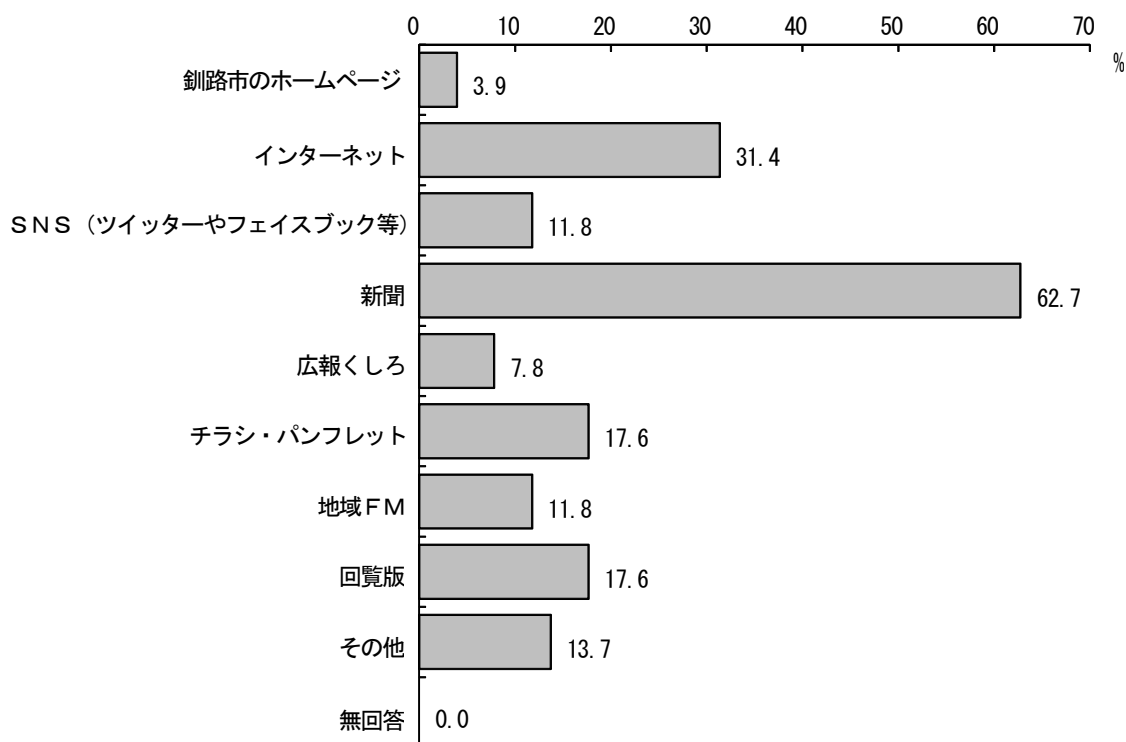
なお、自由記述意見の一覧については、資料編に掲載しています。

エ 釧路市の情報の入手方法

問 11 あなたは、釧路市の情報を主に何から得ていますか。(〇は2つまで)

釧路市の情報の入手方法は、「新聞」が62.7%で最も多く、以下「インターネット」が31.4%、「チラシ・パンフレット」と「回覧版」が17.6%となっています。市民アンケート調査で最も回答数が多かった「広報くしろ」は7.8%にとどまりました。

図表 3-11 釧路市の情報の入手方法 (MA)



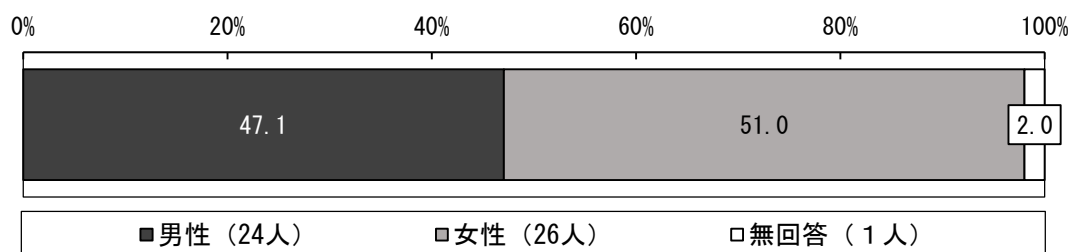
| | | 釧路市のホームページ | インターネット | SNS (ツイッターやフェイスブック等) | 新聞 | 広報くしろ | チラシ・パンフレット | 地域FM | 回覧版 | その他 | 無回答 |
|----|--------|------------|------------|----------------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|----------|
| 全体 | (n=51) | 2 3.9 | 16 31.4 | 6 11.8 | 32 62.7 | 4 7.8 | 9 17.6 | 6 11.8 | 9 17.6 | 7 13.7 | 0 0.0 |
| 性別 | 男性 | 1 4.2 | 8 33.3 | 2 8.3 | 15 62.5 | 1 4.2 | 5 20.8 | 2 8.3 | 4 16.7 | 3 12.5 | 0 0.0 |
| | 女性 | 1 3.8 | 8 30.8 | 4 15.4 | 16 61.5 | 3 11.5 | 4 15.4 | 4 15.4 | 4 15.4 | 4 15.4 | 0 0.0 |
| | 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 |

オ 回答者の属性

問 12 性別をお答えください。

男性が47.1%、女性が51.0%となっています。

図表 3-12 性別 (SA)



4. 企業アンケート調査

(1) 調査概要

① 調査の目的

このアンケートは、「釧路市まちづくり基本構想」等の策定にあたり、市政に対する市民の意見を反映させ、市民が主体のまちづくりを一層発展させるために、企業を対象に実施したものです。

② 調査対象

釧路市内に事業所を有する企業の中から 104 社

③ 調査時期

平成 28 年 7 月

④ 調査方法

郵送配付・郵送回収

⑤ 調査項目

- ア 回答者の属性
- イ まちづくりについて
- ウ 釧路市が重点的に取り組むべきもの
- エ 自然災害について
- オ 自由意見

⑥ 回答状況

配付数：104社
回答数：56社
回答率：53.8%

⑦ 集計・分析上の留意点

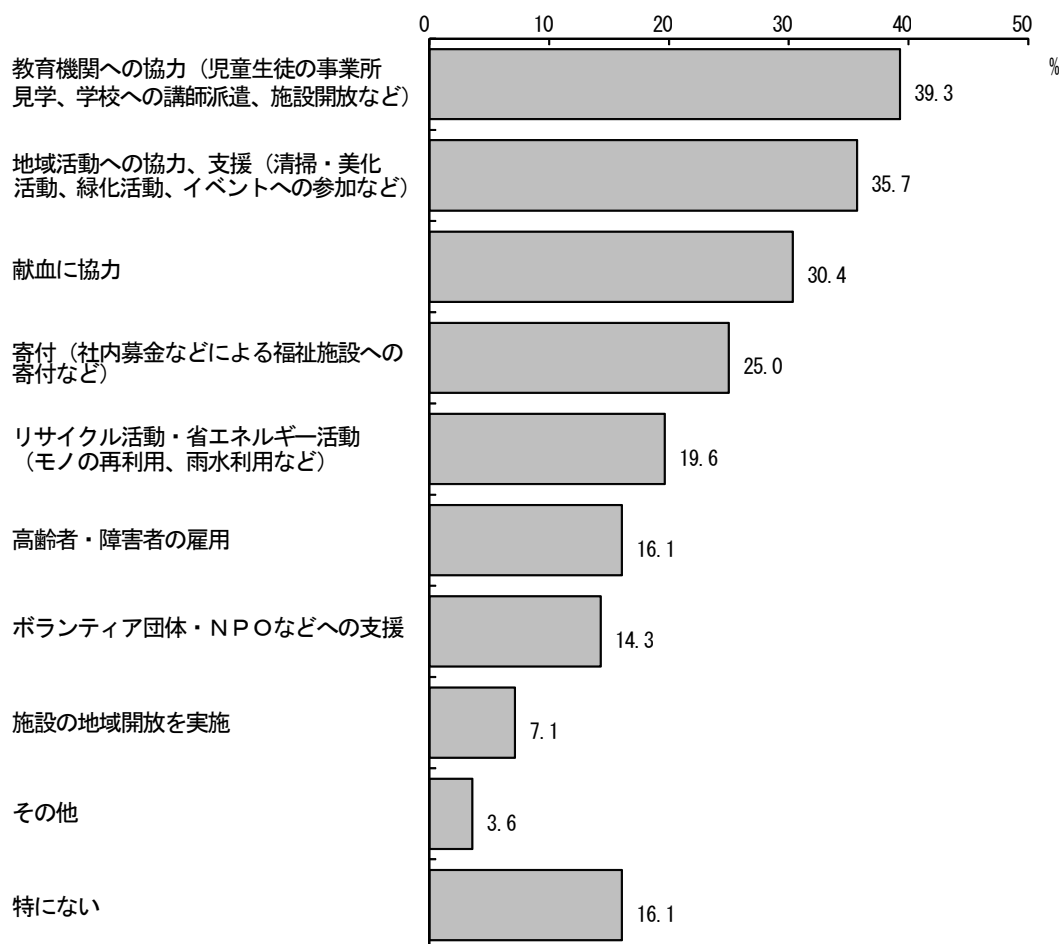
- ア 図表中の上段は回答者数、下段は構成比 (%) を表しています
- イ 図表中の「SA」は単数回答、「MA」は複数回答を表しています
- ウ 図表中の構成比 (%) については、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計は 100.0% にならない場合があります

(2) 調査結果概要

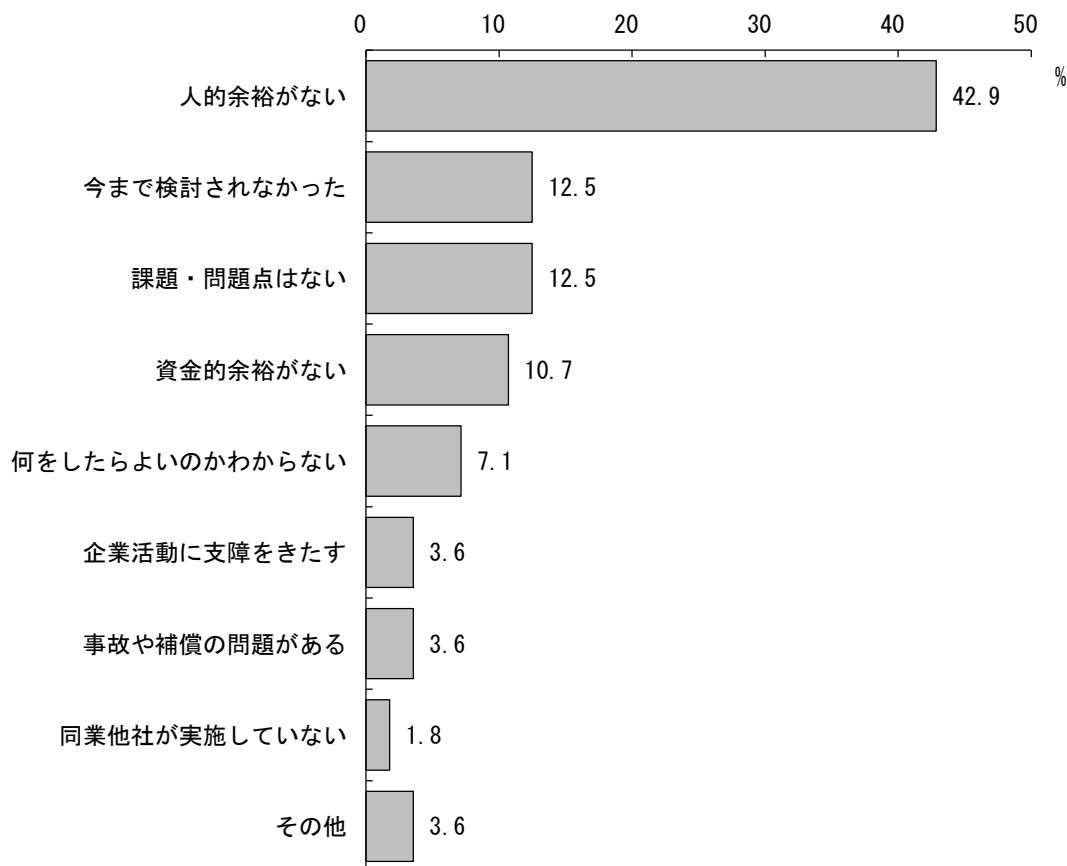
①地域社会への貢献活動について

～多くの企業が地域社会への貢献活動に取り組んでいます～

取り組んでいる地域社会への貢献活動 (MA)



社会貢献活動を行うにあたっての課題や問題点 (MA)



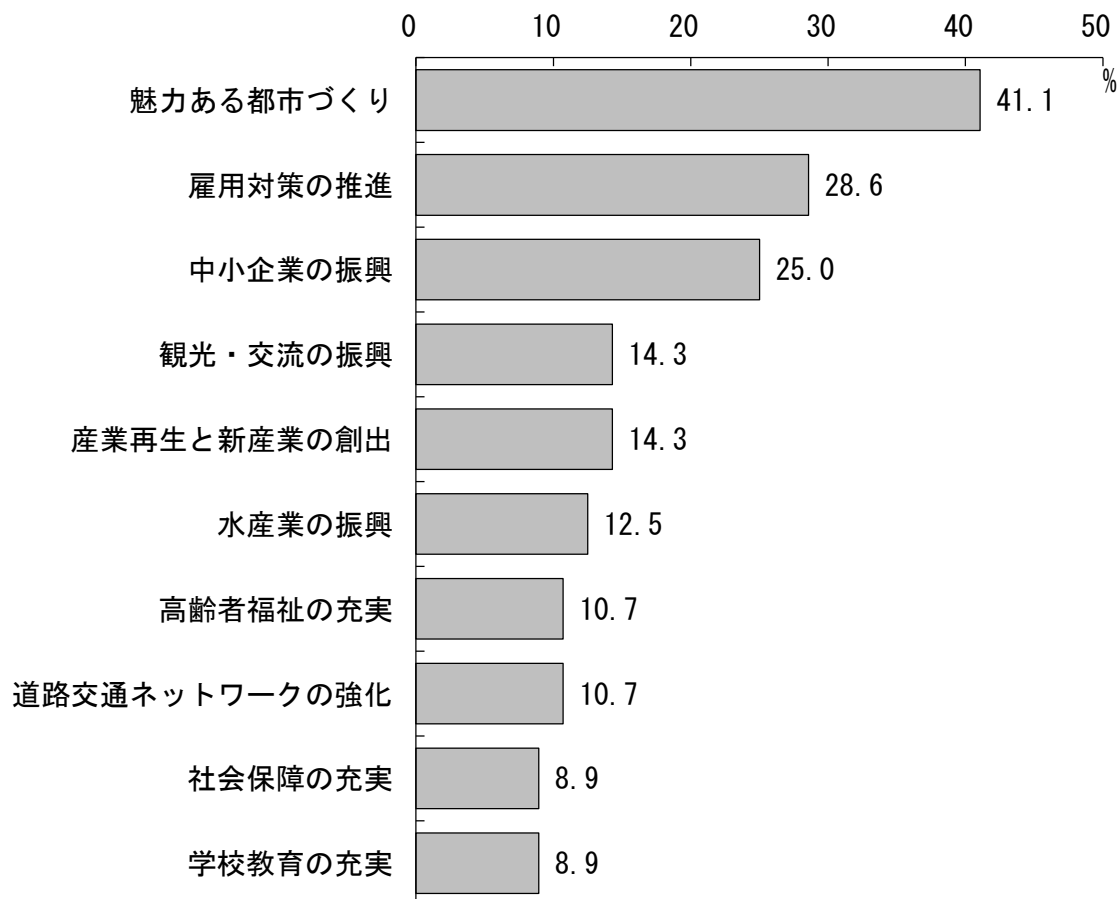
- 現在取り組んでいる社会貢献活動については、「教育機関への協力（児童生徒の事業所見学、学校への講師派遣、施設開放など）」が 39.3%で最も多く、「地域活動への協力、支援（清掃・美化活動、緑化活動、イベントへの参加など）」が 35.7%、「献血に協力」が 30.4%、「寄付（社内募金などによる福祉施設への寄付など）」が 25.0%、「リサイクル活動・省エネルギー活動（モノの再利用、雨水利用など）」が 19.6%などとなっており、多くの企業が社会貢献活動に取り組んでいます。
- また、社会貢献活動を行うにあたっての課題や問題点については、「人的余裕がない」が 42.9%と最も多くなっています。

②釧路市が重点的に取り組むべきもの

～魅力ある都市づくりや雇用対策の推進、

「『わかもの』の希望がかなうまち」が重要との回答が多くなっています～

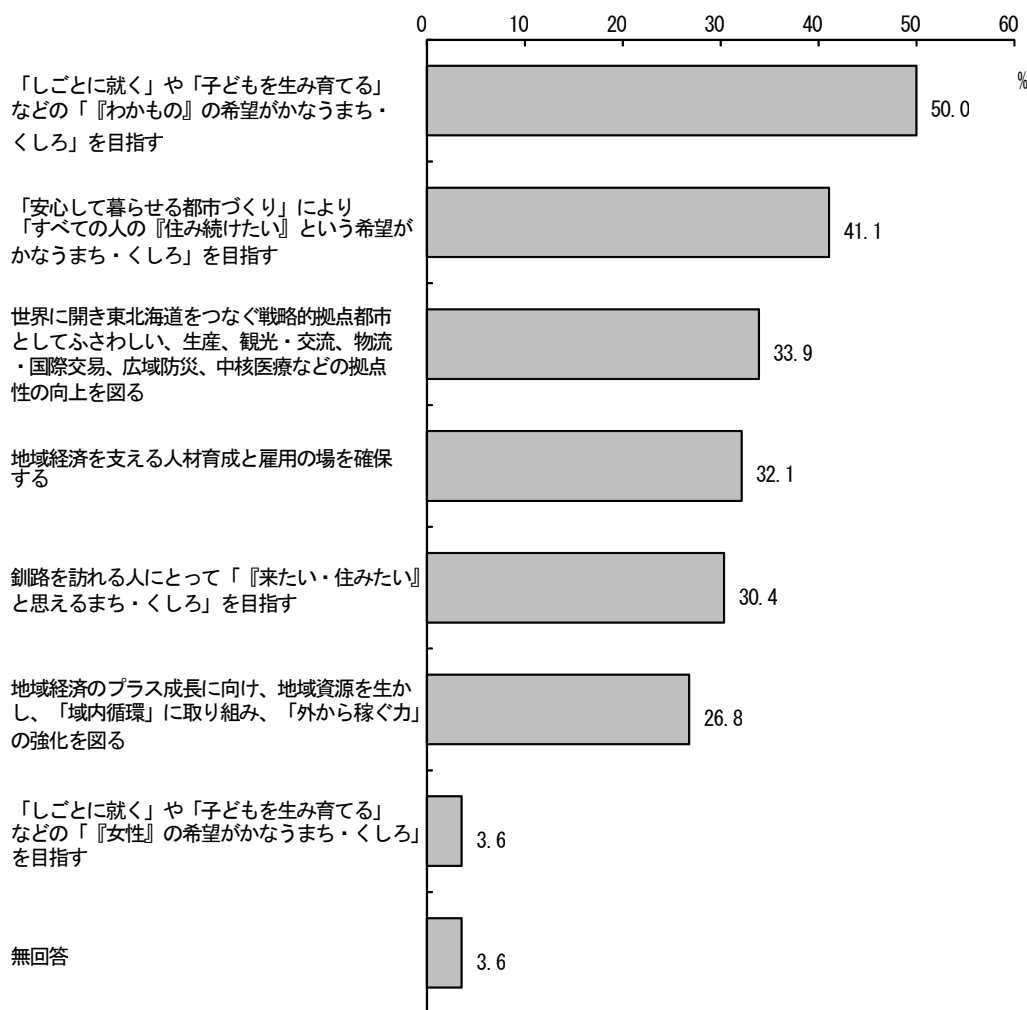
今後釧路市が重点的に取り組むべきだと思うもの（MA）
＜上位10項目を掲載（全36項目）＞



- 今後、特に力を入れて取り組むべきだと思うものは、「魅力ある都市づくり」が41.1%で最も多く、次いで「雇用対策の推進」が28.6%、「中小企業の振興」が25.0%などとなっています。

釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、今後、特に重要だと思うもの

(MA)



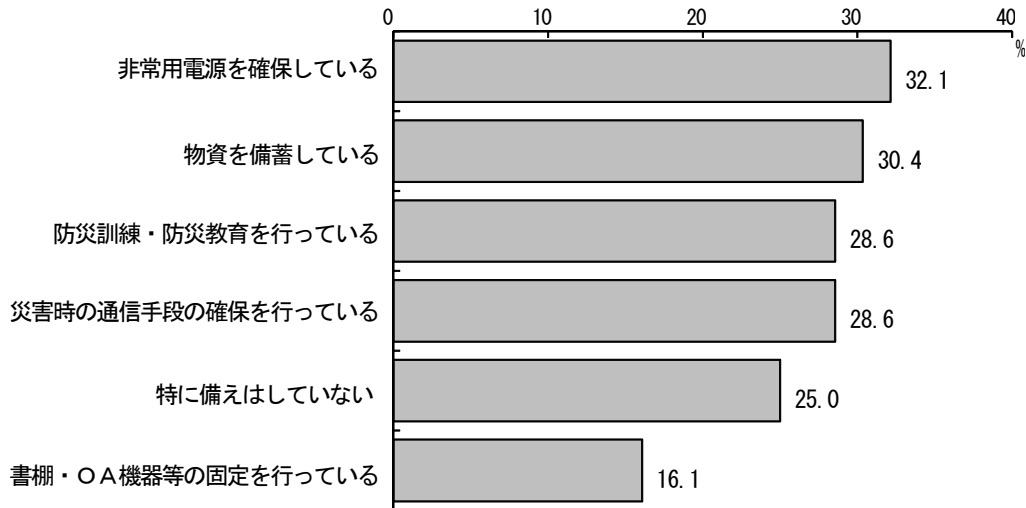
- 現在、重点的に取り組んでいる分野のうち、今後、特に力を入れて取り組むべきだと思うものについては、“「しごとに就く」や「子どもを育てる」などの「『わかもの』の希望がかなうまち・くしろ」を目指す”が50.0%で最も多く、次いで“「安心して暮らせる都市づくり」により「すべての人の『住み続けたい』という希望がかなうまち・くしろ」を目指す”が41.1%、“世界に開き東北海道をつなぐ戦略的拠点都市としてふさわしい、生産、観光・交流、物流・国際交易、広域防災、中核医療などの拠点性の向上を図る”が33.9%となっています。

③自然災害への対策や地域との連携・協力について

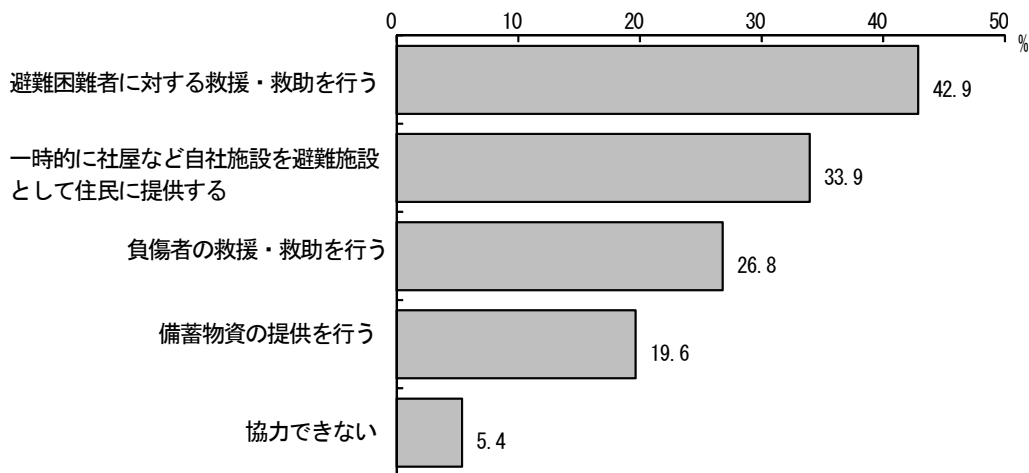
～約7割の企業が何らかの対策を行っており、

9割を超える企業が地域との連携・協力について回答しています～

自然災害等に備え、導入している対策 (MA)



大規模自然災害に対する地域との連携・協力 (MA)



- 導入している対策については、「非常用電源を確保している」が32.1%で最も多く、「物資を備蓄している」が30.4%、「防災訓練・防災教育を行っている」と「災害時の通信手段の確保を行っている」が28.6%などとなっています。
- 一方で、「特に備えはしていない」は25.0%となっています。
- 大規模自然災害の際に地域との連携・協力についてどのようなことが行えるかについては、「避難困難者への救援・救助を行う」が42.9%で最も多く、「一時的に社屋など自社施設を避難施設として住民に提供する」が33.9%、「負傷者の救援・救助を行う」が26.8%、「備蓄物資の提供を行う」が19.6%などとなっており、多くの企業が地域との連携・協力について回答しています。

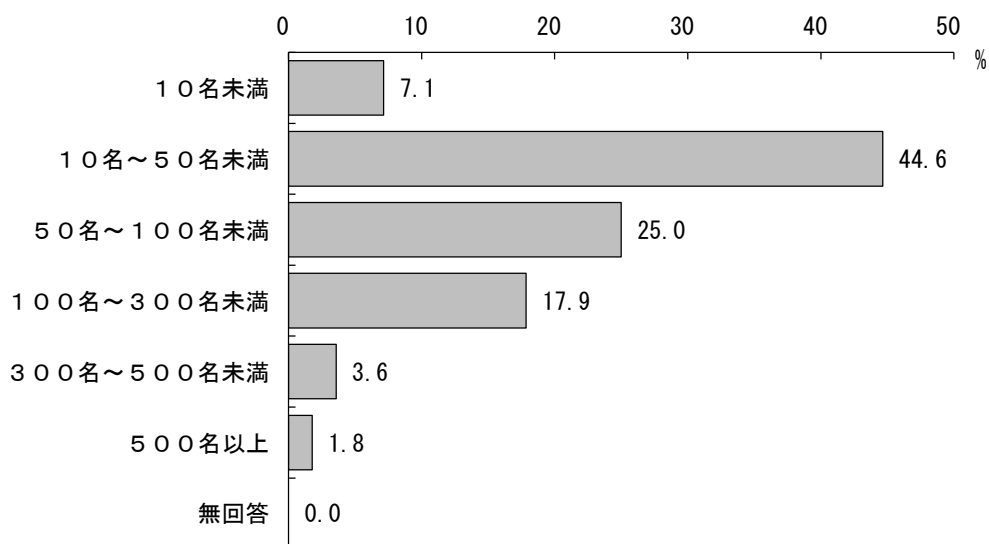
(3) 調査結果

ア 回答者の属性

問1 今年4月1日現在の従業員数（市内の事業所のみ）をお答えください。

従業員数は、「10名～50名未満」が44.6%と最も多く、「50名～100名未満」が25.0%、「100名～300名未満」が17.9%となっています。

図表 4-1 従業員数 (SA)

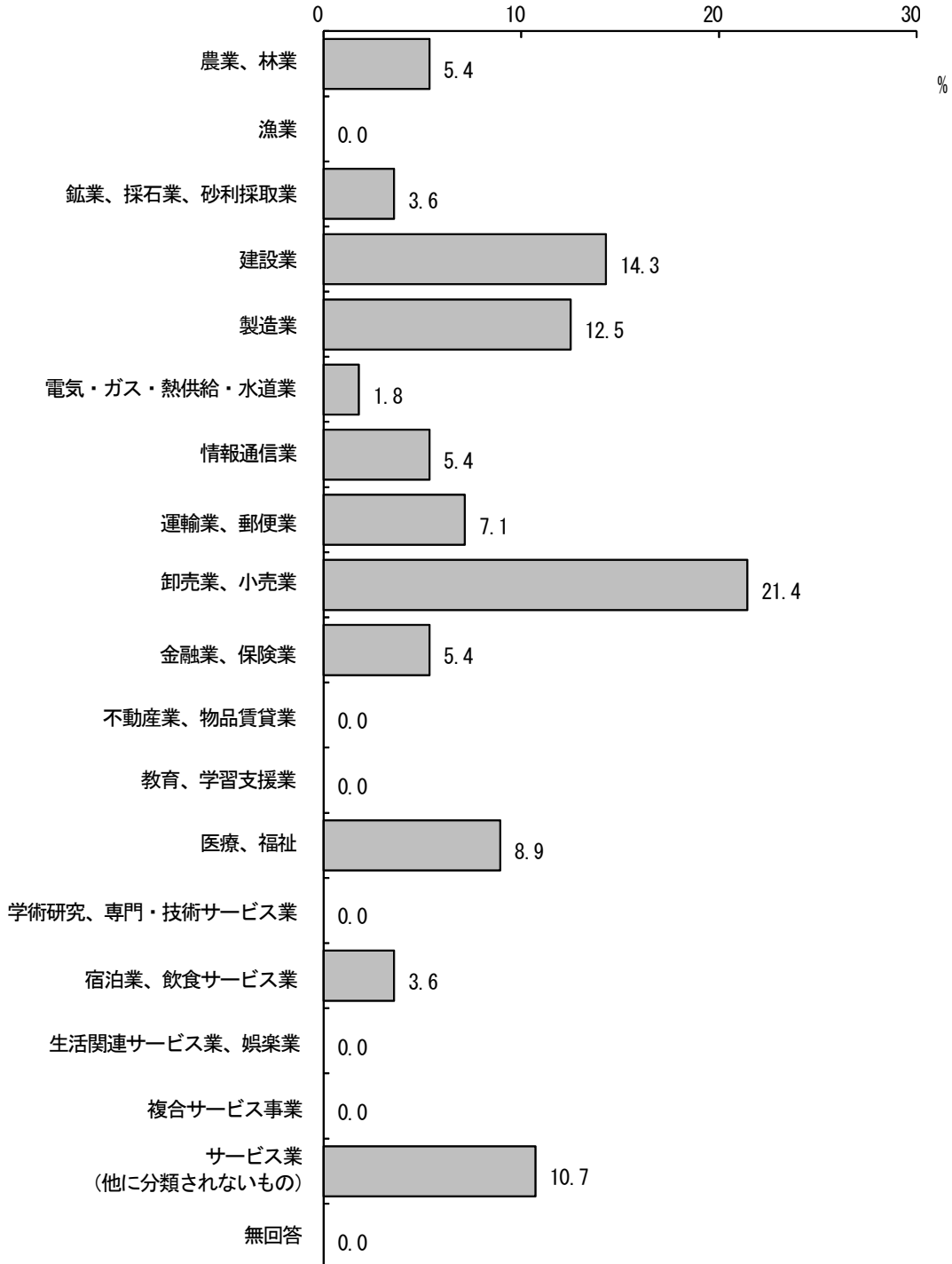


| | 10名未満 | 10名～50名未満 | 50名～100名未満 | 100名～300名未満 | 400名～500名未満 | 500名以上 | 無回答 |
|--------------|----------|------------|------------|-------------|-------------|----------|----------|
| 全体 (n=56) | 4 7.1 | 25 44.6 | 14 25.0 | 10 17.9 | 2 3.6 | 1 1.8 | 0 0.0 |

問2 主な業種をお答えください。(〇は1つ)

回答者の業種は、「卸売業、小売業」が21.4%で最も多く、「建設業」が14.3%、「製造業」が12.5%となっています。

図表 4-2 業種 (SA)



| | | 農業、林業 | 漁業 | 鉱業、採石業、砂利採取業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | 情報通信業 | 運輸業、郵便業 | 卸売業、小売業 | 金融業、保険業 |
|-------------|-------------|-------|------|--------------|-------|------|---------------|-------|---------|---------|---------|
| 全体 | | 3 | 0 | 2 | 8 | 7 | 1 | 3 | 4 | 12 | 3 |
| (n=56) | | 5.4 | 0.0 | 3.6 | 14.3 | 12.5 | 1.8 | 5.4 | 7.1 | 21.4 | 5.4 |
| 従業員数 | 10名未満 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| | (n=4) | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| | 10名～50名未満 | 2 | 0 | 1 | 4 | 2 | 0 | 2 | 1 | 9 | 0 |
| | (n=25) | 8.0 | 0.0 | 4.0 | 16.0 | 8.0 | 0.0 | 8.0 | 4.0 | 36.0 | 0.0 |
| | 50名～100名未満 | 0 | 0 | 0 | 3 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | (n=14) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 21.4 | 28.6 | 7.1 | 7.1 | 7.1 | 7.1 | 7.1 |
| | 100名～300名未満 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| | (n=10) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 |
| 300名～500名未満 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (n=2) | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 500名以上 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (n=1) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (n=0) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 全体 | | 0 | 0 | 5 | 0 | 2 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 |
| (n=56) | | 0.0 | 0.0 | 8.9 | 0.0 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 10.7 | 0.0 | 0.0 |
| 従業員数 | 10名未満 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | (n=4) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10名～50名未満 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| | (n=25) | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 50名～100名未満 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | (n=14) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 |
| | 100名～300名未満 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (n=10) | 0.0 | 0.0 | 30.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 300名～500名未満 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (n=2) | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 500名以上 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (n=1) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (n=0) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |

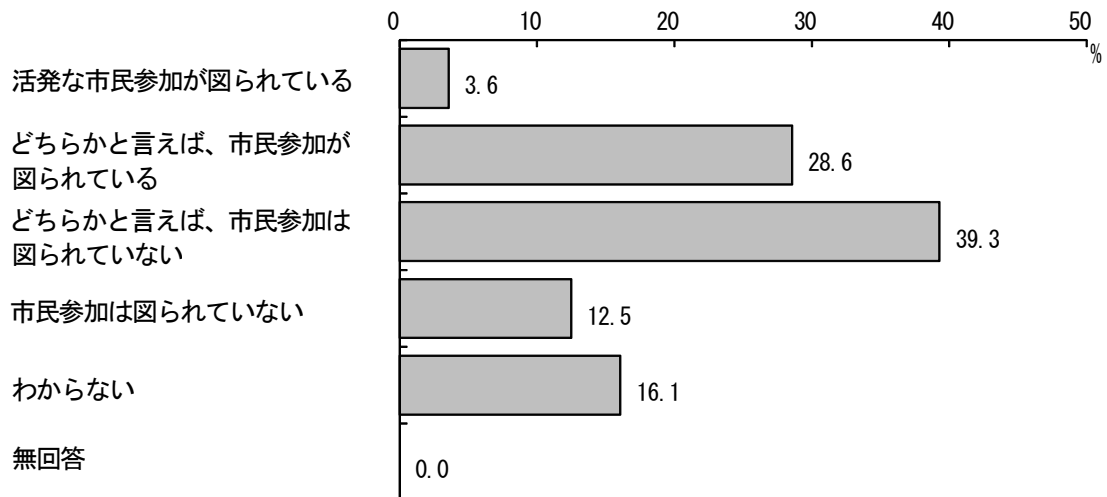
イ まちづくりについて

問3 現在、まちづくりへの市民参加の状況についてどう感じていますか。(〇は1つ)

まちづくりへの市民参加の状況は、「どちらかと言えば、市民参加は図られていない」が39.3%で最も多く、「どちらかと言えば、市民参加が図られている」の28.6%、「わからない」の16.1%となっています。

「活発な市民参加が図られている」と「どちらかと言えば、市民参加が図られている」の合計は32%となっています。

図表 4-3 市民参加の状況 (SA)

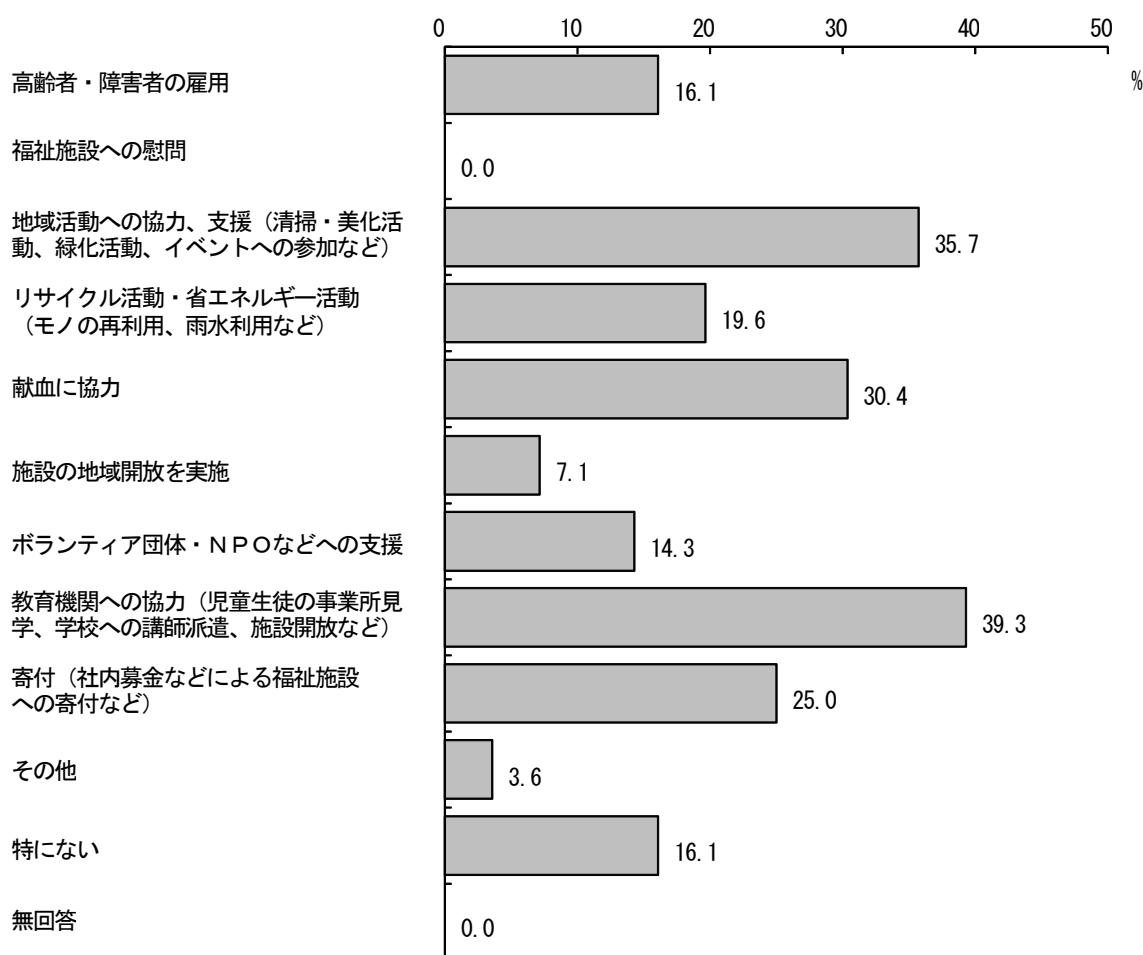


| | | 活発な市民参加が図られている | どちらかと言えば、市民参加が図られている | どちらかと言えば、市民参加は図られていない | 市民参加は図られていない | わからない | 無回答 |
|-----------|--------------------|----------------|----------------------|-----------------------|--------------|-------|-----|
| 全体 (n=56) | | 3.6 | 28.6 | 39.3 | 12.5 | 16.1 | 0.0 |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 0.0 | 24.0 | 40.0 | 8.0 | 28.0 | 0.0 |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 7.1 | 21.4 | 50.0 | 14.3 | 7.1 | 0.0 |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 0.0 | 40.0 | 30.0 | 20.0 | 10.0 | 0.0 |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 500名以上 (n=1) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 無回答 (n=0) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

問4 地域社会への貢献活動の中で、貴社や貴社の従業員が取り組んでいるものは何ですか。(〇はいくつでも)

現在取り組んでいる地域社会への貢献活動の内容は、「教育機関への協力（児童生徒の事業所見学、学校への講師派遣、施設開放など）」が39.3%で最も多く、「地域活動への協力、支援（清掃・美化活動、緑化活動、イベントへの参加など）」が35.7%、「献血に協力」が30.4%となっており、多くの企業が地域貢献活動に取り組んでいます。

図表 4-4 取り組んでいる地域社会への貢献活動（MA）

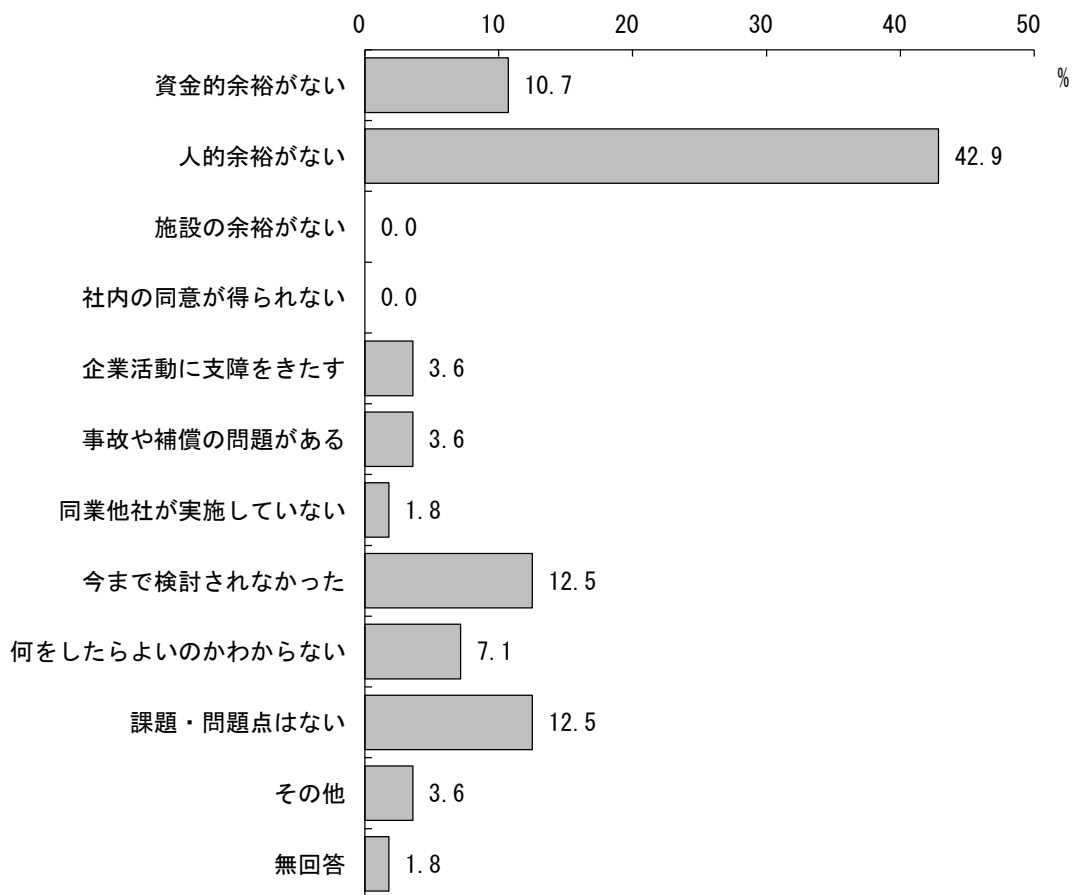


| | | 高齢者・障害者の雇用 | 福祉施設への慰問 | 地域活動への協力、支援（清掃・美化活動、緑化活動、イベントへの参加など） | リサイクル活動・省エネルギー活動（モノの再利用、雨水利用など） | 献血に協力 | 施設の地域開放を実施 | ボランティア団体・NPOなどへの支援 |
|-----------|--------------------|------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|------------|------------|--------------------|
| 全体 (n=56) | | 9 16.1 | 0 0.0 | 20 35.7 | 11 19.6 | 17 30.4 | 4 7.1 | 8 14.3 |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 25.0 |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 2 8.0 | 0 0.0 | 7 28.0 | 3 12.0 | 4 16.0 | 1 4.0 | 4 16.0 |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 3 21.4 | 0 0.0 | 6 42.9 | 4 28.6 | 6 42.9 | 2 14.3 | 0 0.0 |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 3 30.0 | 0 0.0 | 4 40.0 | 1 10.0 | 5 50.0 | 0 0.0 | 1 10.0 |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100.0 | 2 100.0 | 1 50.0 | 1 50.0 |
| | 500名以上 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | 教育機関への協力（児童生徒の事業所見学、学校への講師派遣、施設開放など） | 寄付（社内募金などによる福祉施設への寄付など） | その他 | 特になし | 無回答 | |
| 全体 (n=56) | | 22 39.3 | 14 25.0 | 2 3.6 | 9 16.1 | 0 0.0 | | |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 1 25.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | | |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 7 28.0 | 2 8.0 | 1 4.0 | 6 24.0 | 0 0.0 | | |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 5 35.7 | 4 28.6 | 1 7.1 | 2 14.3 | 0 0.0 | | |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 6 60.0 | 4 40.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 2 100.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 500名以上 (n=1) | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |

問5 社会貢献活動を行うにあたっての課題や問題点は何ですか。(〇は1つ)

社会貢献活動を行う上での課題や問題点は、「人的余裕がない」が42.9%で最も多く、次いで「今まで検討されなかった」と「課題・問題点はない」となっています。

図表 4-5 社会貢献活動を行うにあたっての課題や問題点 (SA)



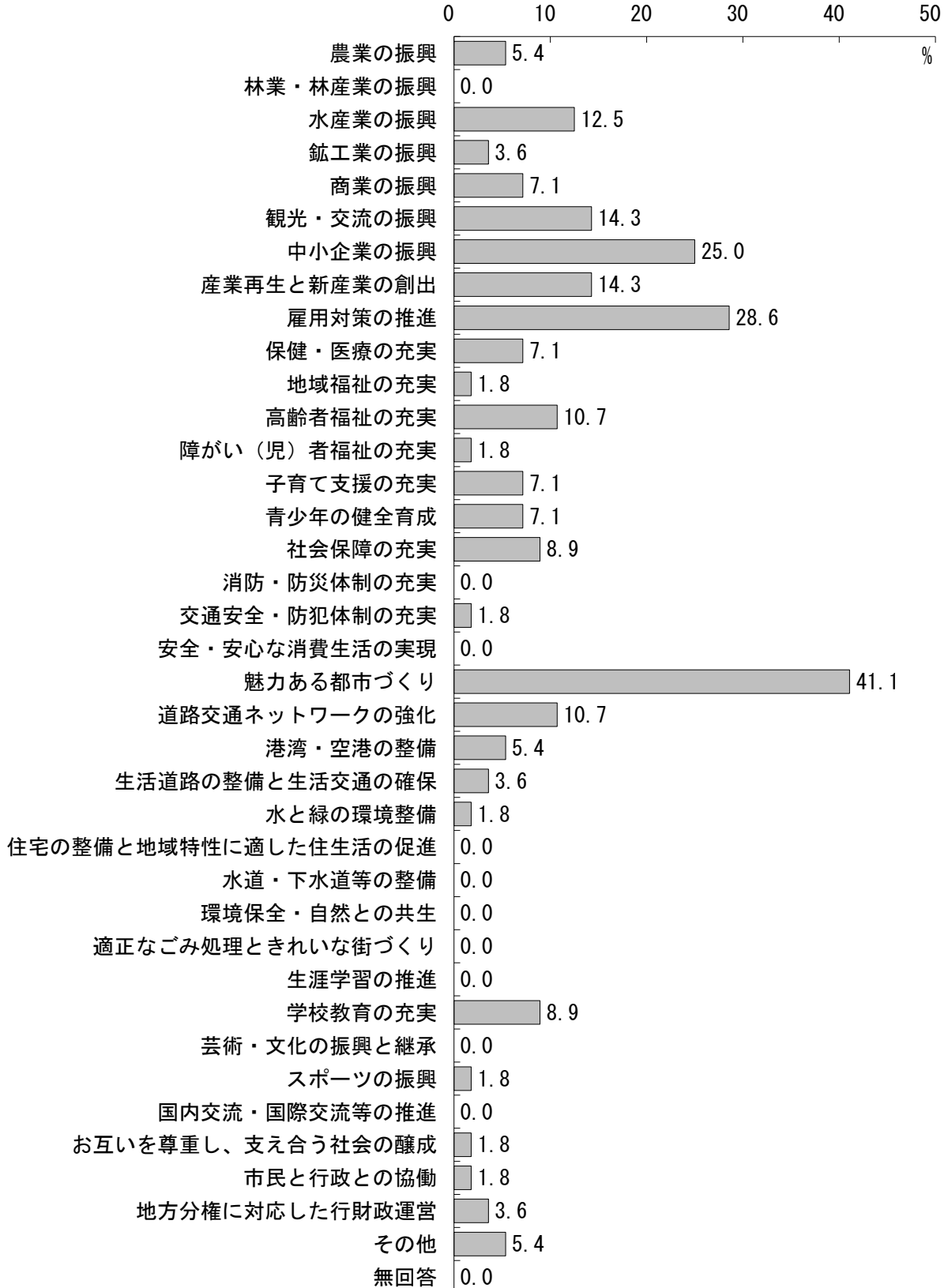
| | | 資金的余裕がない | 人的余裕がない | 施設の余裕がない | 社内の同意が得られない | 企業活動に支障をきたす | 事故や補償の問題がある | 同業他社が実施していない |
|-----------|--------------------|-----------|-------------|---------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 全体 (n=56) | | 6 10.7 | 24 42.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 3.6 | 2 3.6 | 1 1.8 |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 3 12.0 | 10 40.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 4.0 | 1 4.0 | 0 0.0 |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 1 7.1 | 6 42.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 7.1 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 1 10.0 | 5 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 10.0 | 1 10.0 |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 500名以上 (n=1) | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | 今まで検討されなかった | 何をしたらよいかわからない | 課題・問題点はない | その他 | 無回答 | |
| 全体 (n=56) | | 7 12.5 | 4 7.1 | 7 12.5 | 2 3.6 | 1 1.8 | | |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 1 25.0 | 1 25.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 4 16.0 | 3 12.0 | 2 8.0 | 0 0.0 | 1 4.0 | | |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 2 14.3 | 0 0.0 | 3 21.4 | 1 7.1 | 0 0.0 | | |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 10.0 | 1 10.0 | 0 0.0 | | |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 500名以上 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |

ウ 釧路市が重点的に取り組むべきもの

問6 今後釧路市が特に力を入れて取り組むべきだと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

今後釧路市が特に力を入れて取り組むべきだと思うものは、「魅力ある都市づくり」が41.1%で最も多く、「雇用対策の推進」が28.6%、「中小企業の振興」が25.0%となっています。

図表 4-6 今後釧路市が特に重点的に取り組むべきだと思うもの (MA)

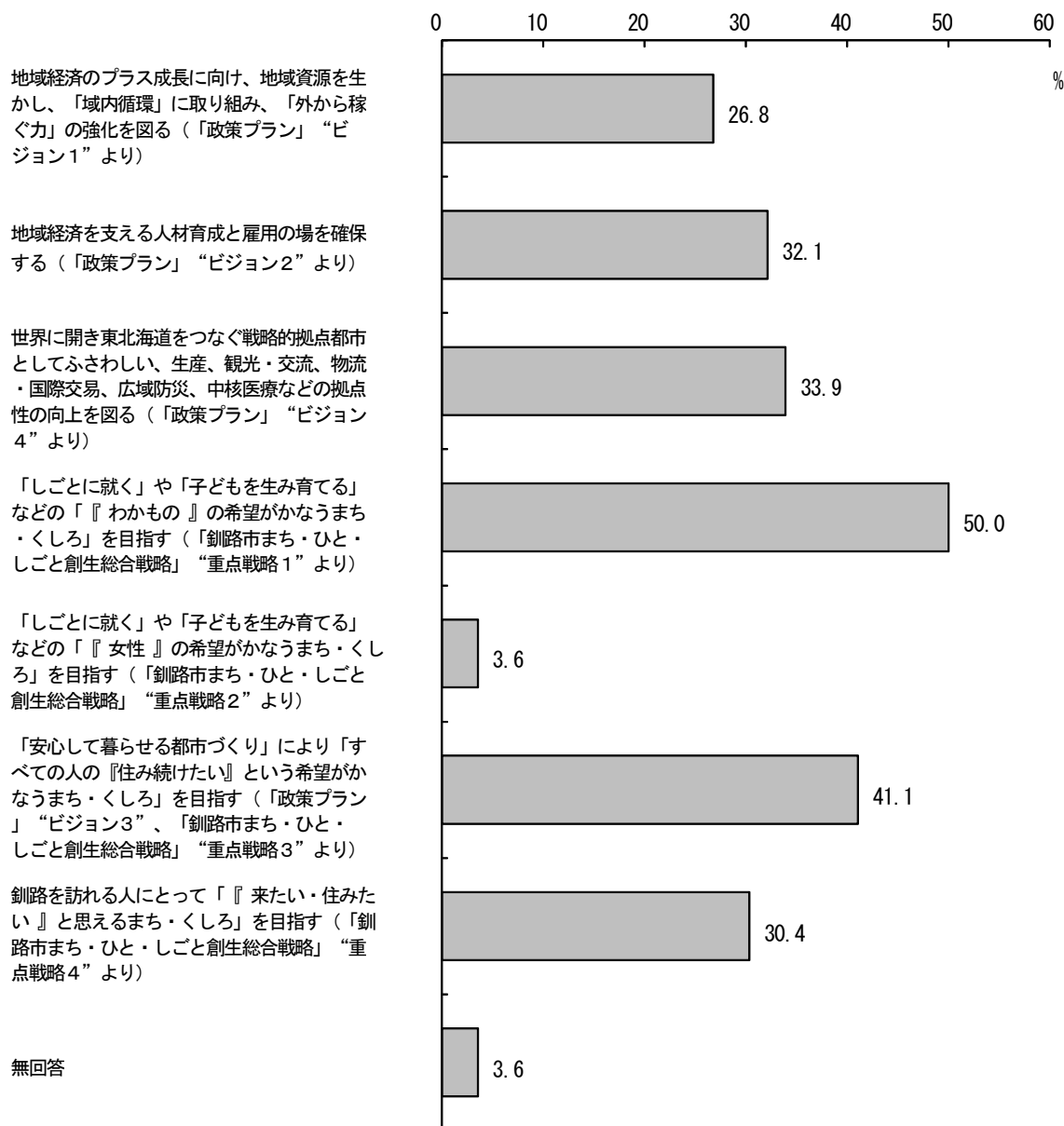


| | | 農業の振興 | 林業・林産業の振興 | 水産業の振興 | 鉱工業の振興 | 商業の振興 | 観光・交流の振興 | 中小企業の振興 | 産業再生と新産業の創出 | 雇用対策の推進 | 保健・医療の充実 |
|-----------|--------------------|-----------|---------------|-----------|-----------------|-------------------|----------------------|----------------|-------------|-----------------|---------------|
| 全体 (n=56) | | 3 5.4 | 0 0.0 | 7 12.5 | 2 3.6 | 4 7.1 | 8 14.3 | 14 25.0 | 8 14.3 | 16 28.6 | 4 7.1 |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | 2 50.0 | 0 0.0 |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 2 8.0 | 0 0.0 | 3 12.0 | 1 4.0 | 3 12.0 | 4 16.0 | 6 24.0 | 5 20.0 | 7 28.0 | 2 8.0 |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 14.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 7.1 | 3 21.4 | 2 14.3 | 3 21.4 | 1 7.1 |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 10.0 | 0 0.0 | 1 10.0 | 3 30.0 | 3 30.0 | 1 10.0 | 3 30.0 | 1 10.0 |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 |
| | 500名以上 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | 地域福祉の充実 | 高齢者福祉の充実 | 障がい(児)者福祉の充実 | 子育て支援の充実 | 青少年の健全育成 | 社会保障の充実 | 消防・防災体制の充実 | 交通安全・防犯体制の充実 | 安全・安心な消費生活の実現 |
| 全体 (n=56) | | 1 1.8 | 6 10.7 | 1 1.8 | 4 7.1 | 4 7.1 | 5 8.9 | 0 0.0 | 1 1.8 | 0 0.0 | 23 41.1 |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 50.0 |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 1 4.0 | 1 4.0 | 0 0.0 | 2 8.0 | 4 16.0 | 2 8.0 | 0 0.0 | 1 4.0 | 0 0.0 | 10 40.0 |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 0 0.0 | 2 14.3 | 0 0.0 | 1 7.1 | 0 0.0 | 1 7.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 7 50.0 |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 0 0.0 | 2 20.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 10.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 30.0 |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 500名以上 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | 道路交通ネットワークの強化 | 港湾・空港の整備 | 生活道路の整備と生活交通の確保 | 水と緑の環境整備 | 住宅の整備と地域特性に適した住生活の促進 | 水道・下水道等の整備 | 環境保全・自然との共生 | 適正なごみ処理と美しい街づくり | 生涯学習の推進 |
| 全体 (n=56) | | 6 10.7 | 3 5.4 | 2 3.6 | 1 1.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 5 8.9 |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 4 16.0 | 1 4.0 | 0 0.0 | 1 4.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 4.0 |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 2 14.3 | 1 7.1 | 1 7.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 14.3 |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 0 0.0 | 1 10.0 | 1 10.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 20.0 |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 500名以上 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | 芸術・文化の振興と継承 | スポーツの振興 | 国内交流・国際交流等の推進 | お互いを尊重し、支え合う社会の醸成 | 市民と行政との協働 | 地方分権に対応した行財政運営 | その他 | 無回答 | |
| 全体 (n=56) | | 0 0.0 | 1 1.8 | 0 0.0 | 1 1.8 | 1 1.8 | 2 3.6 | 3 5.4 | 0 0.0 | | |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | | |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 0 0.0 | 1 4.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 7.1 | 0 0.0 | 1 7.1 | 2 14.3 | 0 0.0 | | |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 10.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 500名以上 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |

問7 現在、釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、今後、特に力を入れて取り組むべきだと思うものはどれですか（〇は3つまで）

釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、特に重要だと思うものは、“「しごとに就く」や「子どもを生み育てる」などの『わかもの』の希望がかなうまち・くしろ」を目指す”が50.0%で最も多く、“「安心して暮らせる都市づくり」により「すべての人の『住み続けたい』という希望がかなうまち・くしろ」を目指す”が41.1%、「世界に開き東北海道をつなぐ戦略的拠点都市としてふさわしい、生産、観光・交流、物流・国際交易、広域防災、中核医療などの拠点性の向上を図る」が33.9%となっています。

図表 4-7 釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、今後、特に重要だと思うもの（MA）



| | | 「ビジョン1」より | 「ビジョン2」より | 「ビジョン3」より | 「ビジョン4」より | 「重点戦略1」より | 「重点戦略2」より | 「重点戦略3」より | 「重点戦略4」より | 無回答 |
|-----------|--------------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-----|
| 全体 (n=56) | | 15 26.8 | 18 32.1 | 19 33.9 | 28 50.0 | 2 3.6 | 23 41.1 | 17 30.4 | 2 3.6 | |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | 4 100.0 | 0 0.0 | 2 50.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 7 28.0 | 7 28.0 | 8 32.0 | 9 36.0 | 1 4.0 | 9 36.0 | 10 40.0 | 1 4.0 | |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 3 21.4 | 7 50.0 | 4 28.6 | 9 64.3 | 0 0.0 | 6 42.9 | 2 14.3 | 1 7.1 | |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 4 40.0 | 2 20.0 | 5 50.0 | 5 50.0 | 1 10.0 | 5 50.0 | 3 30.0 | 0 0.0 | |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | |
| | 500名以上 (n=1) | 0 0.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | |

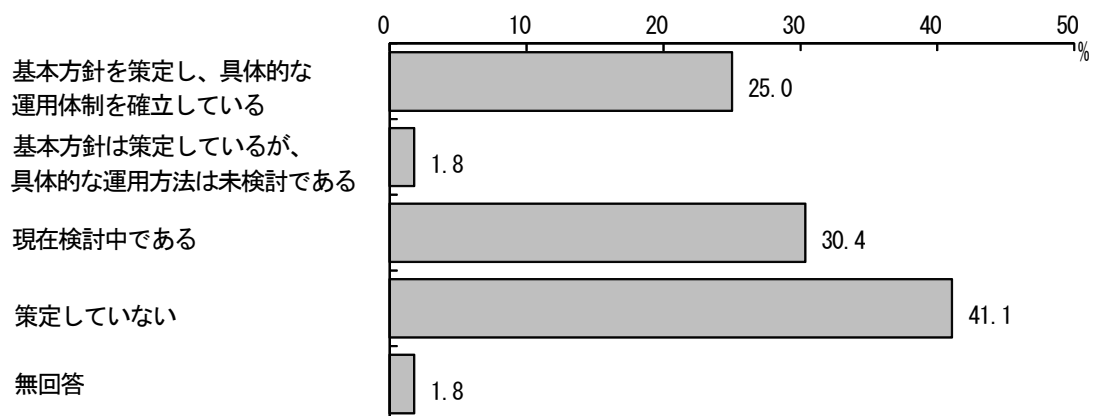
エ 自然災害について

問8 貴社は、自然災害等の緊急事態に備え、BCP（災害時事業継続計画）を策定していますか。（○は1つ）

BCPの策定状況は、「策定していない」が41.1%で最も多く、「現在検討中である」が30.4%となっています。

「基本方針を策定し、具体的な運用体制を確立している」は25.0%で、「基本方針は策定しているが、具体的な運用方法は未検討である」と合わせると26.8%となっています。

図表 4-8 BCPの策定状況 (SA)

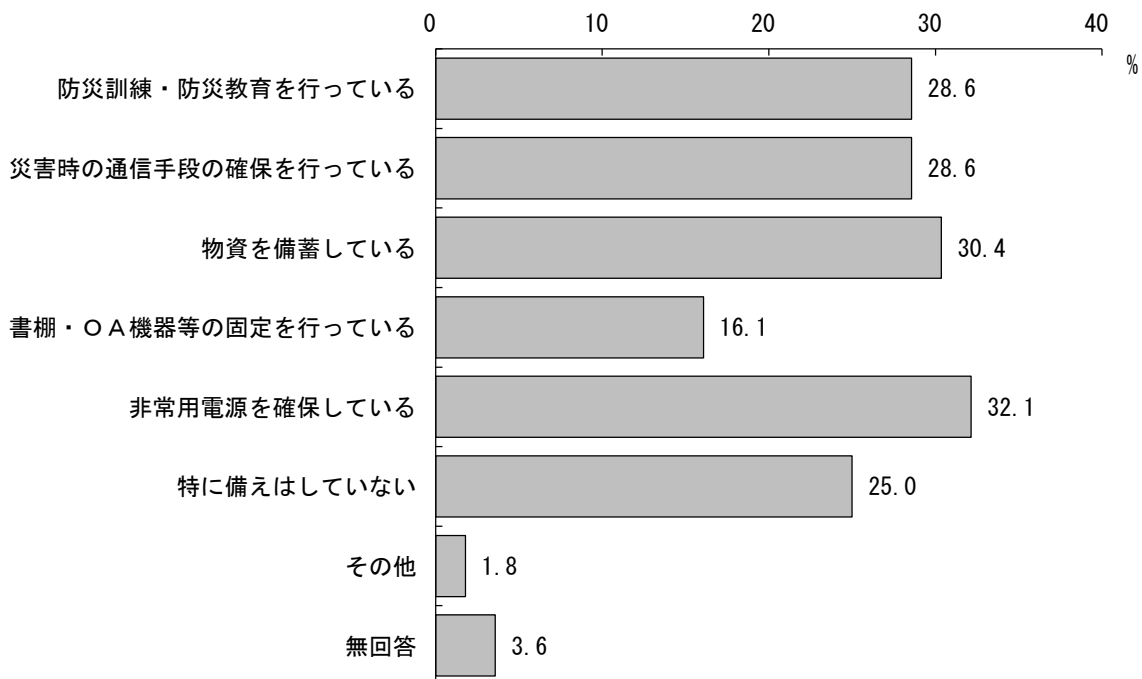


| | | 基本方針を策定し、具体的な運用体制を確立している | 基本方針は策定しているが、具体的な運用方法は未検討である | 現在検討中である | 策定していない | 無回答 |
|-----------|--------------------|--------------------------|------------------------------|------------|------------|----------|
| 全体 (n=56) | | 14 25.0 | 1 1.8 | 17 30.4 | 23 41.1 | 1 1.8 |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 1 25.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 2 50.0 | 0 0.0 |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 4 16.0 | 0 0.0 | 8 32.0 | 13 52.0 | 0 0.0 |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 4 28.6 | 1 7.1 | 2 14.3 | 6 42.9 | 1 7.1 |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 2 20.0 | 0 0.0 | 6 60.0 | 2 20.0 | 0 0.0 |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 500名以上 (n=1) | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問9 貴社は、自然災害等に備えて、導入している対策はありますか。(〇はいくつでも)

自然災害等に備え、導入している対策は、「非常用電源を確保している」が32.1%で最も多く、「物資を備蓄している」が30.4%、「防災訓練・防災教育を行っている」と「災害時の通信手段の確保を行っている」が28.6%となっています。一方で、「特に備えはしていない」は25.0%となっています。

図表 4-9 自然災害等に備え、導入している対策 (MA)

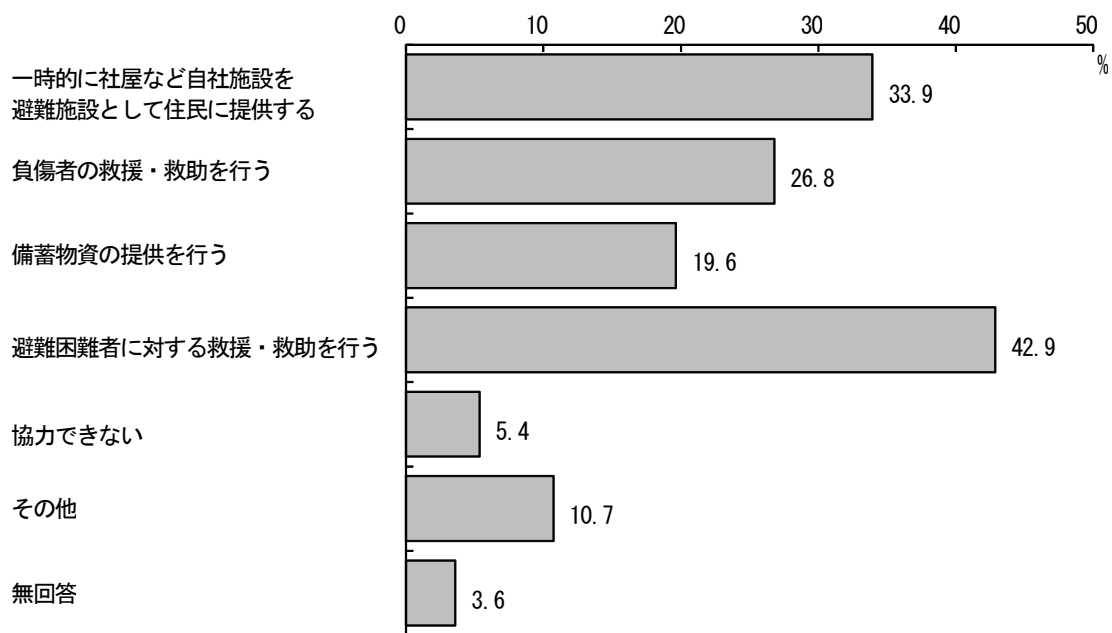


| | | 防災訓練・防災教育を行っている | 災害時の通信手段の確保を行っている | 物資を備蓄している | 書棚・OA機器等の固定を行っている | 非常用電源を確保している | 特に備えはしていない | その他 | 無回答 |
|-----------|--------------------|-----------------|-------------------|------------|-------------------|--------------|------------|----------|----------|
| 全体 (n=56) | | 16 28.6 | 16 28.6 | 17 30.4 | 9 16.1 | 18 32.1 | 14 25.0 | 1 1.8 | 2 3.6 |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 1 25.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 5 20.0 | 5 20.0 | 8 32.0 | 3 12.0 | 3 12.0 | 9 36.0 | 0 0.0 | 1 4.0 |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 4 28.6 | 5 35.7 | 4 28.6 | 3 21.4 | 4 28.6 | 3 21.4 | 1 7.1 | 1 7.1 |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 7 70.0 | 3 30.0 | 3 30.0 | 1 10.0 | 7 70.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 0 0.0 | 2 100.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 500名以上 (n=1) | 0 0.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問 10 大規模自然災害が起こったとき、貴社は地域との連携・協力についてどのようなことが行えるとお考えですか。(〇はいくつでも)

大規模自然災害に対する地域との連携・協力については、「避難困難者に対する救援・救助を行う」が42.9%で最も多く、「一時的に社屋など自社施設を避難施設として住民に提供する」が33.9%、「負傷者の救援・救助を行う」が26.8%となっており、多くの企業が何らかの連携・協力について回答しています。なお、「その他」の10.7%の回答では、「インフラの復旧」などが挙げられています。

図表 4-10 大規模自然災害に対する地域との連携・協力 (MA)

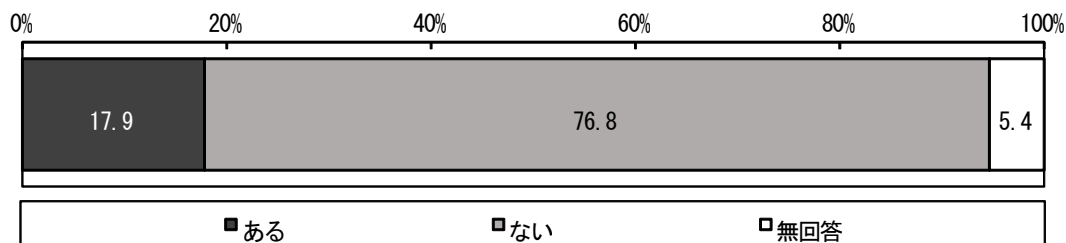


| | | 一時的に社屋など自社施設を避難施設として住民に提供する | 負傷者の救援・救助を行う | 備蓄物資の提供を行う | 避難困難者に対する救援・救助を行う | 協力できない | その他 | 無回答 |
|-------------------|--------------------|-----------------------------|--------------|------------|-------------------|--------|------|-----|
| 全体 | (n=56) | 19 | 15 | 11 | 24 | 3 | 6 | 2 |
| | | 33.9 | 26.8 | 19.6 | 42.9 | 5.4 | 10.7 | 3.6 |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| | | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 |
| | 10名～50名未満 (n=25) | 8 | 6 | 5 | 9 | 3 | 1 | 1 |
| | | 32.0 | 24.0 | 20.0 | 36.0 | 12.0 | 4.0 | 4.0 |
| | 50名～100名未満 (n=14) | 5 | 3 | 3 | 5 | 0 | 2 | 1 |
| | | 35.7 | 21.4 | 21.4 | 35.7 | 0.0 | 14.3 | 7.1 |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 5 | 3 | 0 | 5 | 0 | 2 | 0 |
| | | 50.0 | 30.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 |
| 300名～500名未満 (n=2) | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | |
| | 0.0 | 100.0 | 50.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 500名以上 (n=1) | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | 0.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 無回答 (n=0) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

問 11 貴社では、災害時における企業間の協定等を結んでいますか。(○は1つ)
 ※複数の企業等からなる団体間の協定等を含みます。

災害時に備えた企業間の協定等の有無については、「ある」が17.9%、「ない」が76.8%となっています。

図表 4-11 災害時における企業間の協定の有無 (SA)



| | | ある | ない | 無回答 |
|--------------|-----------------------|------------|------------|------------|
| 全体 (n=56) | | 10 17.9 | 43 76.8 | 3 5.4 |
| 従業員数 | 10名未満 (n=4) | 1 25.0 | 3 75.0 | 0 0.0 |
| | 10名～50名 (n=25) | 2 8.0 | 21 84.0 | 2 8.0 |
| | 50名～100名 (n=14) | 5 35.7 | 9 64.3 | 0 0.0 |
| | 100名～300名未満 (n=10) | 1 10.0 | 9 90.0 | 0 0.0 |
| | 300名～500名未満 (n=2) | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 |
| | 500名以上 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 |
| | 無回答 (n=0) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

オ 自由意見

問 12 貴社の立場から、これからのまちづくりへのご意見やご提案がありましたら、自由に記入してください。

10社から、延べ20件のご意見・ご提案がありました。いただいたご意見・ご提案を内容別に分類した件数と主な意見は、下記のとおりとなっています。

<主な意見>

○経済・産業について 4件

・ 中心市街地の活性化に関する事、観光客の誘致など観光振興に関する事などとなっています。

○福祉・防災について 5件

・ 子育て支援に関する事、高齢者福祉に関する事、防災に関する事などとなっています。

○都市整備について 4件

・ コンパクトなまちづくりに関する事、道路交通ネットワークの強化、港湾・空港の整備に関する事などとなっています。

○環境・教育・文化などについて 2件

・ 高等教育機関の充実に関する事などとなっています。

○市民協働・行財政運営などについて 4件

- ・市の財政運営に関する事などとなっています。

○上記に該当しないもの 1件

なお、自由記述意見の一覧については、資料編に掲載しています。

5. 各種団体アンケート調査

(1) 調査概要

① 調査の目的

このアンケートは、「釧路市まちづくり基本構想」等の策定にあたり、市政に対する市民の意見を反映させ、市民が主体のまちづくりを一層発展させるために、各種団体を対象に実施したものです。

② 調査対象

釧路市内で活動する各種団体 178 団体

③ 調査時期

平成 28 年 7 月

④ 調査方法

郵送配付・郵送回収

⑤ 調査項目

- ア 回答者の属性
- イ まちづくりについて
- ウ 釧路市が重点的に取り組むべきもの
- エ 自由意見

⑥ 回答状況

配付数：178団体
回答数：111団体
回答率：62.4%

⑦ 集計・分析上の留意点

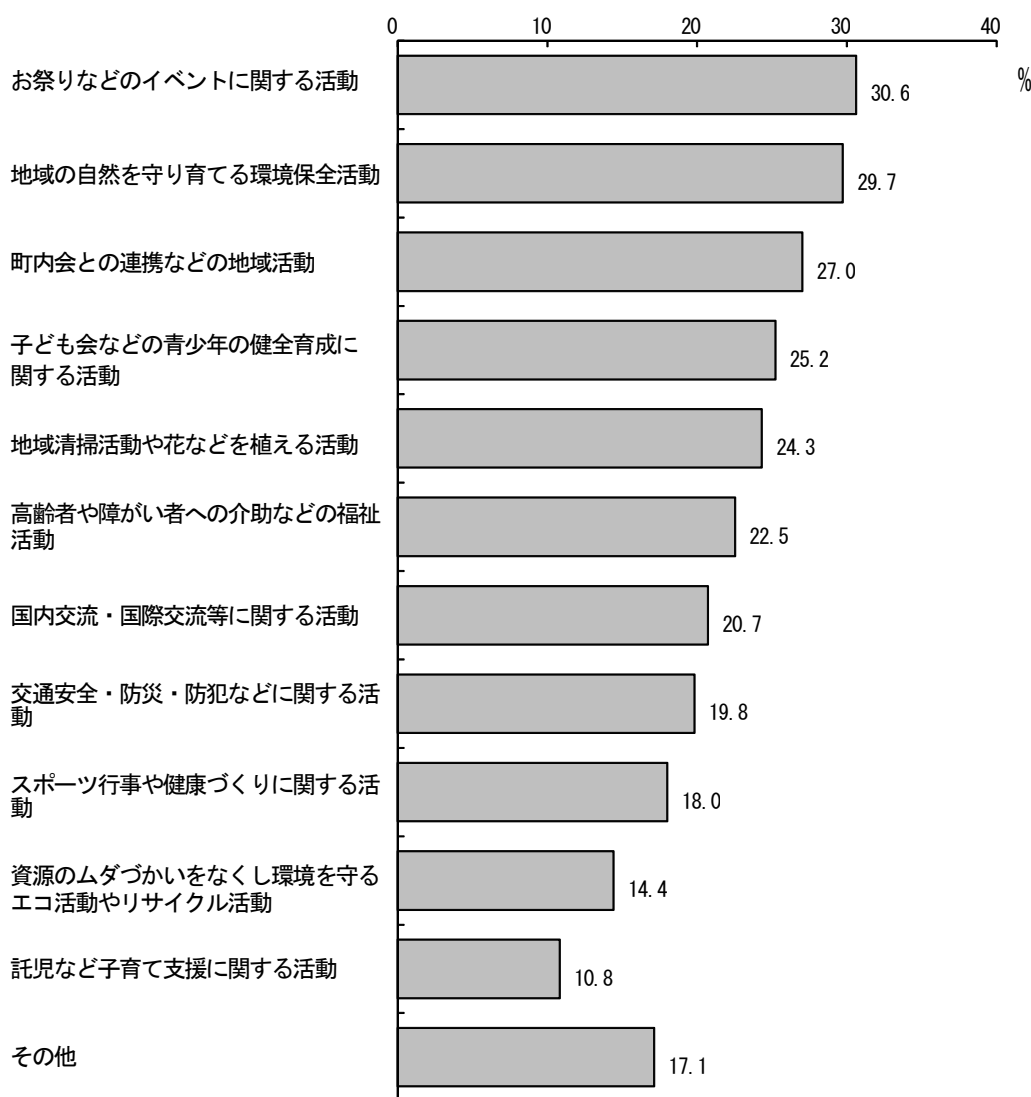
- ア 図表中の上段は回答者数、下段は構成比 (%) を表しています
- イ 図表中の「SA」は単数回答、「MA」は複数回答を表しています
- ウ 図表中の構成比 (%) については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は100.0%にならない場合があります

(2) 調査結果概要

①地域活動への参加について

～お祭りなどのイベントに関する活動、地域の自然を守り育てる環境保全活動、町内会との連携などの地域活動が多くなっています～

今後参加したい活動 (MA)



- 今後参加したい活動について、「お祭りなどのイベントに関する活動」が30.6%で最も多く、「地域の自然を守り育てる環境保全活動」が29.7%、「町内会との連携などの地域活動」が27.0%、「子ども会などの青少年の健全育成に関する活動」が25.2%、「地域清掃活動や花などを植える活動」が24.3%などとなっています。

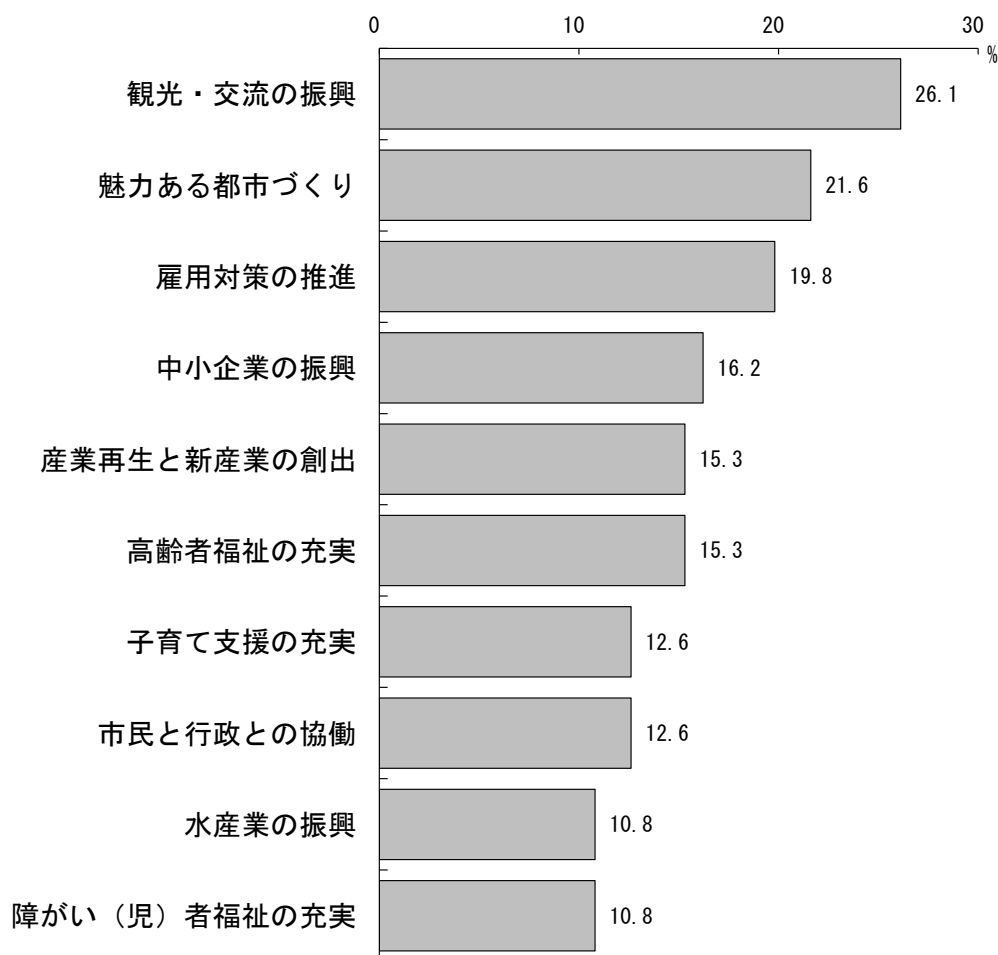
②釧路市が重点的に取り組むべきもの

～観光・交流の振興、魅力ある都市づくり、

「『わかもの』の希望がかなうまち」が重要との回答が多くなっています～

今後釧路市が特に重点的に取り組むべきだと思うもの（MA）

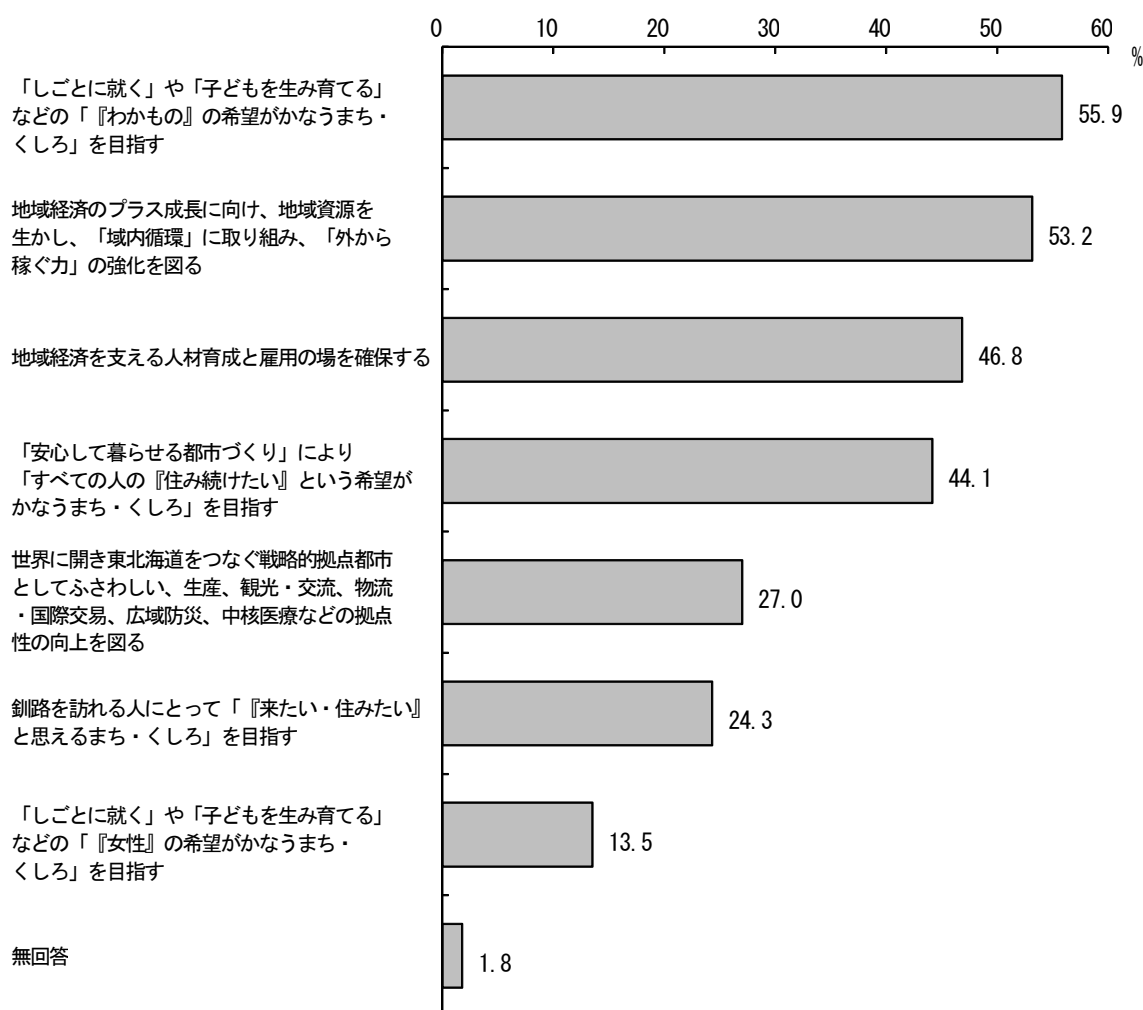
<上位10項目を掲載（全36項目）>



- 今後、釧路市が特に力を入れて取り組むべきだと思うものについて、「観光・交流の振興」が26.1%で最も多く、「魅力ある都市づくり」が21.6%、「雇用対策の推進」が19.8%などとなっています。

釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、今後、特に重要だと思うもの

(MA)



- 現在、重点的に取り組んでいる分野のうち、今後、特に力を入れて取り組むべきだと思うものについては、“「しごとに就く」や「子どもを育てる」などの「『わかもの』の希望がかなうまち・くしろ」を目指す”が55.9%で最も多く、次いで“地域経済のプラス成長に向け、地域資源を生かし、「域内循環」に取り組み、「外から稼ぐ力」の強化を図る”が53.2%、“地域経済を支える人材育成と雇用の場を確保する”が46.8%となっています。

(3) 調査結果

ア 回答者の属性

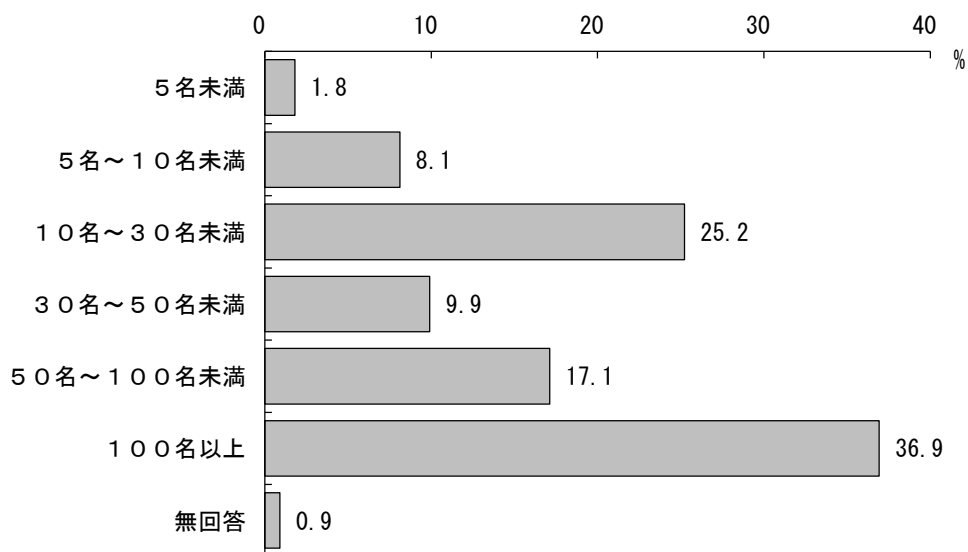
問1 団体名とご連絡先をお答えください。

(非公表)

問2 今年4月1日現在の団体登録人数をお答えください。

団体登録人数は、「100名以上」が36.9%と最も多く、「10名～30名未満」が25.2%、「50名～100名未満」が17.1%となっています。

図表 5-1 団体登録人数 (SA)



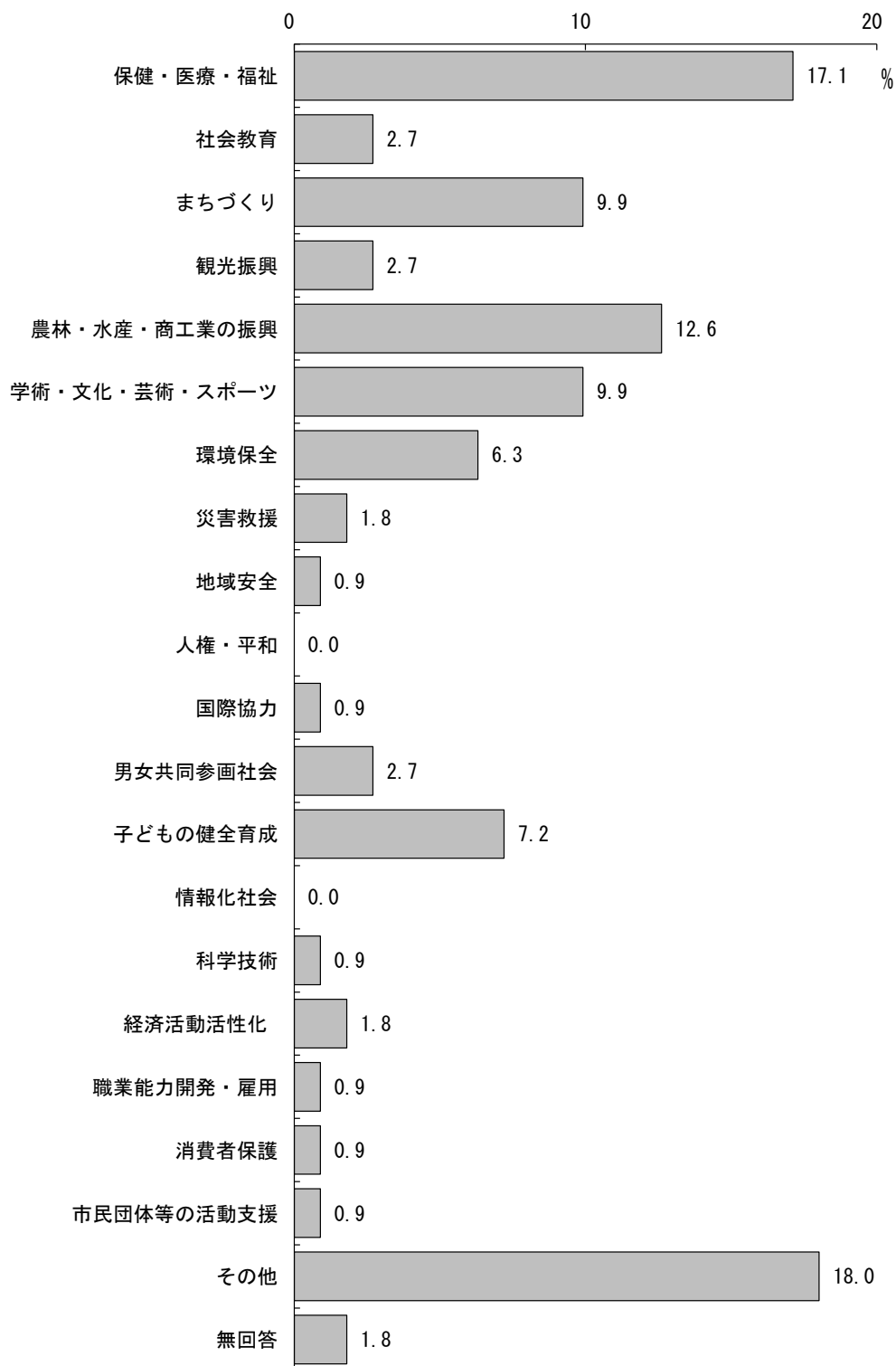
| | 5名未満 | 5名～10名未満 | 10名～30名未満 | 30名～50名未満 | 50名～100名未満 | 100名以上 | 無回答 |
|------------|----------|----------|------------|-----------|------------|------------|----------|
| 全体 (n=111) | 2 1.8 | 9 8.1 | 28 25.2 | 11 9.9 | 19 17.1 | 41 36.9 | 1 0.9 |

問3 貴団体の主な活動内容は何か。(○は1つ)

団体の主な活動内容は、「保健・医療・福祉」が17.1%で最も多く、「農林・水産・商工業の振興」が12.6%、「まちづくり」と「学術・文化・芸術・スポーツ」が9.9%となっています。

なお、「その他」の回答では、「ひとり親支援など」、「中小企業の福利厚生」、「生物多様性保全」などが挙げられています。

図表 5-2 主な活動内容 (SA)

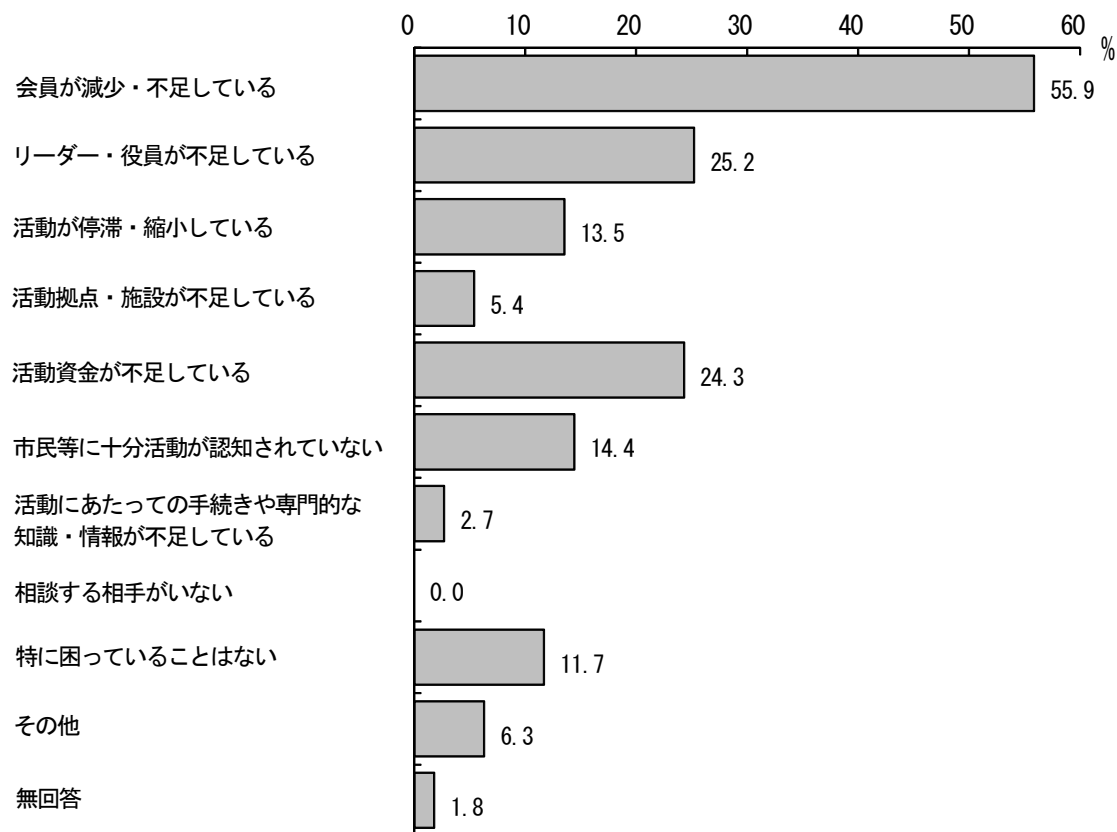


| | | 保健医療福祉 | 社会教育 | まちづくり | 観光振興 | 農林水産商工業の振興 | 学術文化芸術スポーツ | 環境保全 | 災害救援 |
|------------|-------------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|----------|
| 全体 (n=111) | | 19 17.1 | 3 2.7 | 11 9.9 | 3 2.7 | 14 12.6 | 11 9.9 | 7 6.3 | 2 1.8 |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 1 11.1 | 1 11.1 | 2 22.2 | 0 0.0 | 3 33.3 | 0 0.0 | 2 22.2 | 0 0.0 |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 5 17.9 | 1 3.6 | 2 7.1 | 2 7.1 | 4 14.3 | 2 7.1 | 3 10.7 | 0 0.0 |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 3 27.3 | 1 9.1 | 1 9.1 | 0 0.0 | 1 9.1 | 2 18.2 | 0 0.0 | 1 9.1 |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 4 21.1 | 0 0.0 | 2 10.5 | 1 5.3 | 1 5.3 | 2 10.5 | 1 5.3 | 0 0.0 |
| | 100名以上 (n=41) | 6 14.6 | 0 0.0 | 3 7.3 | 0 0.0 | 4 9.8 | 5 12.2 | 1 2.4 | 1 2.4 |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | 地域安全 | 人権平和 | 国際協力 | 男女共同参画社会 | 子どもの健全育成 | 情報社会 | 科学技術 |
| 全体 (n=111) | | 1 0.9 | 0 0.0 | 1 0.9 | 3 2.7 | 8 7.2 | 0 0.0 | 1 0.9 | 2 1.8 |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 10.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 7.1 |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 9.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 1 5.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 10.5 | 2 10.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 100名以上 (n=41) | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 2.4 | 1 2.4 | 2 4.9 | 0 0.0 | 1 2.4 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | 職業能力開発・雇用 | 消費者保護 | 市民団体等の活動支援 | その他 | 無回答 | | |
| 全体 (n=111) | | 1 0.9 | 1 0.9 | 1 0.9 | 20 18.0 | 2 1.8 | | | |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | | |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | | |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 1 3.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 7.1 | 1 3.6 | | | |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 9.1 | 0 0.0 | | | |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 15.8 | 0 0.0 | | | |
| | 100名以上 (n=41) | 0 0.0 | 1 2.4 | 1 2.4 | 14 34.1 | 0 0.0 | | | |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | | | |

問4 貴団体の活動に関し、現在特に困っていることはどのようなことですか。(〇は2つまで)

活動において困っていることは、「会員が減少・不足している」が55.9%で最も多く、「リーダー・役員が不足している」が25.2%、「活動資金が不足している」が24.3%となっています。

図表 5-3 活動において困っていること (MA)



| | | 会員が減少・不足している | リーダー・役員が不足している | 活動が停滞・縮小している | 活動拠点・施設が不足している | 活動資金が不足している | 市民等に十分活動が認知されていない | 活動にあたっての手続きや専門的な知識・情報が不足している |
|------------|-------------------|--------------|----------------|--------------|----------------|-------------|-------------------|------------------------------|
| 全体 (n=111) | | 62 55.9 | 28 25.2 | 15 13.5 | 6 5.4 | 27 24.3 | 16 14.4 | 3 2.7 |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 4 44.4 | 2 22.2 | 2 22.2 | 0 0.0 | 2 22.2 | 1 11.1 | 1 11.1 |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 16 57.1 | 6 21.4 | 5 17.9 | 0 0.0 | 6 21.4 | 5 17.9 | 2 7.1 |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 7 63.6 | 4 36.4 | 2 18.2 | 1 9.1 | 2 18.2 | 1 9.1 | 0 0.0 |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 9 47.4 | 2 10.5 | 3 15.8 | 1 5.3 | 7 36.8 | 3 15.8 | 0 0.0 |
| | 100名以上 (n=41) | 25 61.0 | 14 34.1 | 3 7.3 | 4 9.8 | 9 22.0 | 6 14.6 | 0 0.0 |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | 相談する相手がない | 特に困っていることはない | その他 | 無回答 | | |
| 全体 (n=111) | | 0 0.0 | 13 11.7 | 7 6.3 | 2 1.8 | | | |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | | |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 0 0.0 | 1 11.1 | 0 0.0 | 1 11.1 | | | |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 0 0.0 | 4 14.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | | | |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 0 0.0 | 1 9.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | | | |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 0 0.0 | 3 15.8 | 3 15.8 | 0 0.0 | | | |
| | 100名以上 (n=41) | 0 0.0 | 3 7.3 | 4 9.8 | 0 0.0 | | | |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | | | |

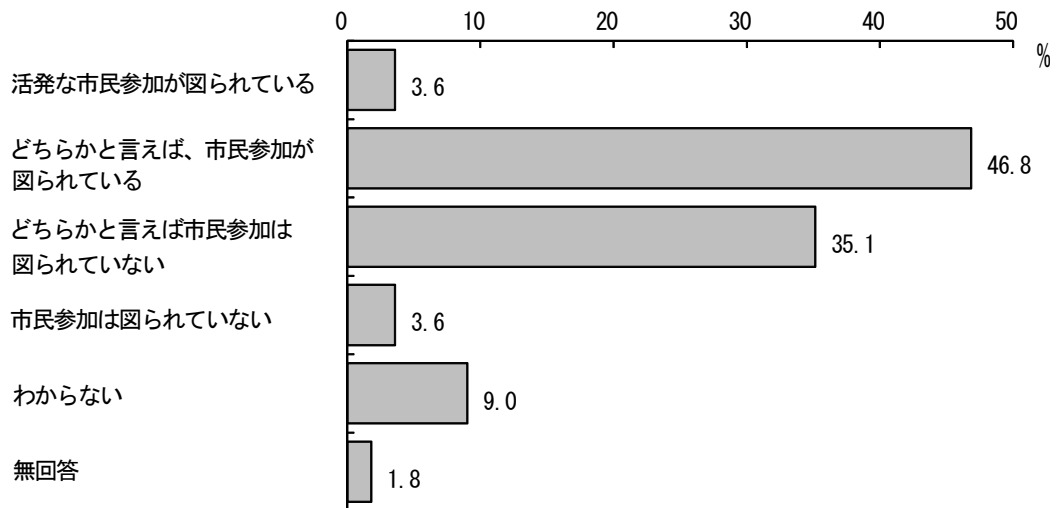
イ まちづくりについて

問5 現在、まちづくりへの市民参加の状況についてどう感じていますか。(〇は1つ)

現在のまちづくりに対する市民の参加状況は、「どちらかと言えば、市民参加が図られている」が46.8%に上り、以下、「どちらかと言えば、市民参加は図られていない」が35.1%、「わからない」が9.0%となっています。

「活発な市民参加が図られている」と「どちらかと言えば、市民参加が図られている」を合わせると50.4%となっています。

図表 5-4 まちづくりへの市民の参加状況 (SA)



| | | 活発な市民参加が図られている | どちらかと言えば、市民参加が図られている | どちらかと言えば、市民参加は図られていない | 市民参加は図られていない | わからない | 無回答 |
|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-----------------------|--------------|-------|-----|
| 全体 (n=111) | | 4 | 52 | 39 | 4 | 10 | 2 |
| | | 3.6 | 46.8 | 35.1 | 3.6 | 9.0 | 1.8 |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 0 | 6 | 1 | 0 | 2 | 0 |
| | | 0.0 | 66.7 | 11.1 | 0.0 | 22.2 | 0.0 |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 1 | 14 | 8 | 1 | 4 | 0 |
| | | 3.6 | 50.0 | 28.6 | 3.6 | 14.3 | 0.0 |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 1 | 3 | 6 | 0 | 1 | 0 |
| | | 9.1 | 27.3 | 54.5 | 0.0 | 9.1 | 0.0 |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 1 | 5 | 10 | 1 | 2 | 0 |
| | 5.3 | 26.3 | 52.6 | 5.3 | 10.5 | 0.0 | |
| 100名以上 (n=41) | 1 | 22 | 14 | 2 | 1 | 1 | |
| | 2.4 | 53.7 | 34.1 | 4.9 | 2.4 | 2.4 | |
| 無回答 (n=1) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | |

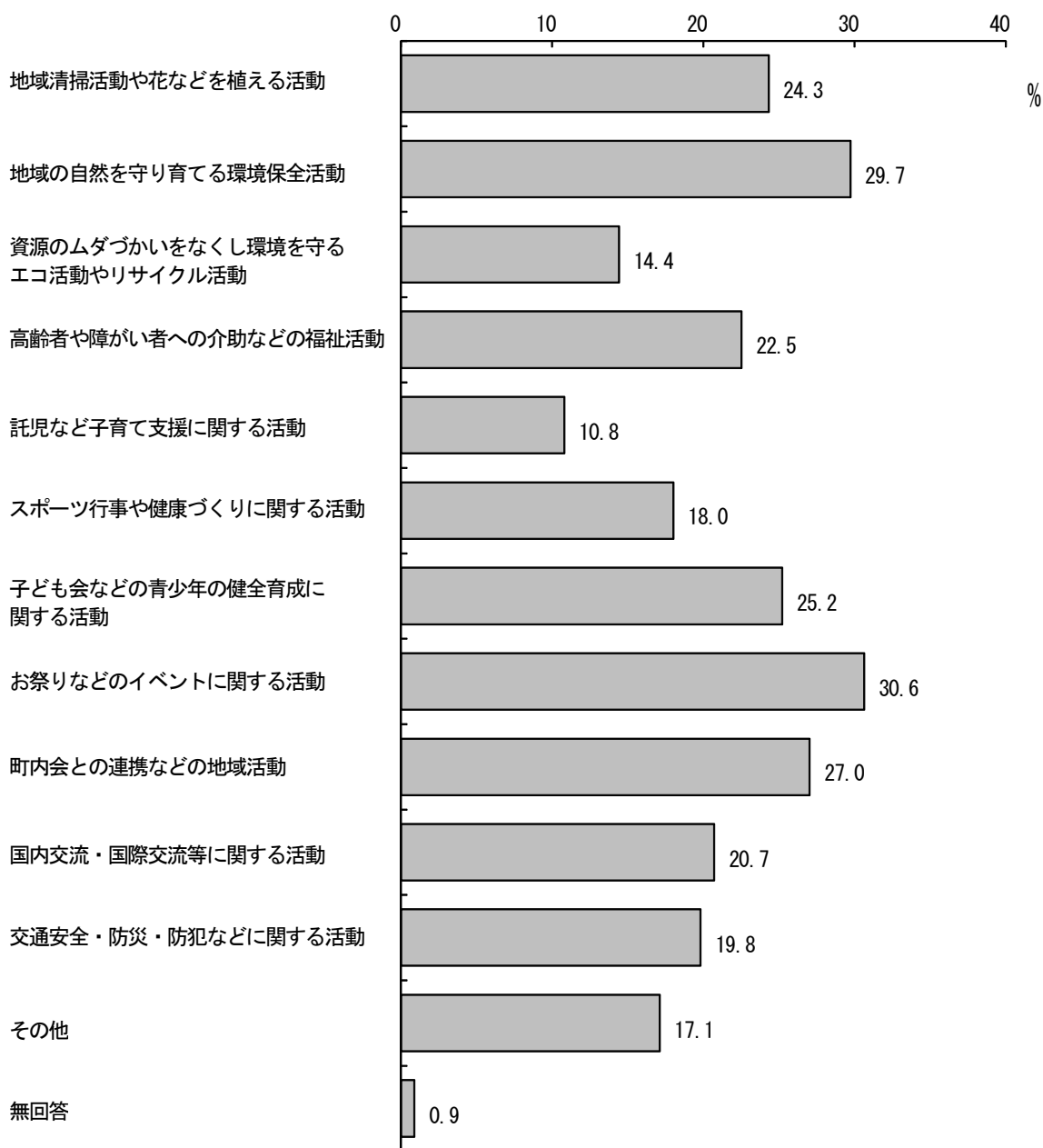
各種団体アンケート

問6 貴団体では、今後どのような活動に参加したいですか。(〇はいくつでも)

今後参加したい地域の活動については、「お祭りなどのイベントに関する活動」が30.6%で最も多く、以下、「地域の自然を守り育てる環境保全活動」が29.7%、「町内会との連携などの地域活動」が27.0%となっています。

なお、「その他」17.1%の回答では、「学校との連携による非行防止、健全育成」、「人材の域内循環を図る活動」などが挙げられています。

図表 5-5 今後参加したい活動 (MA)



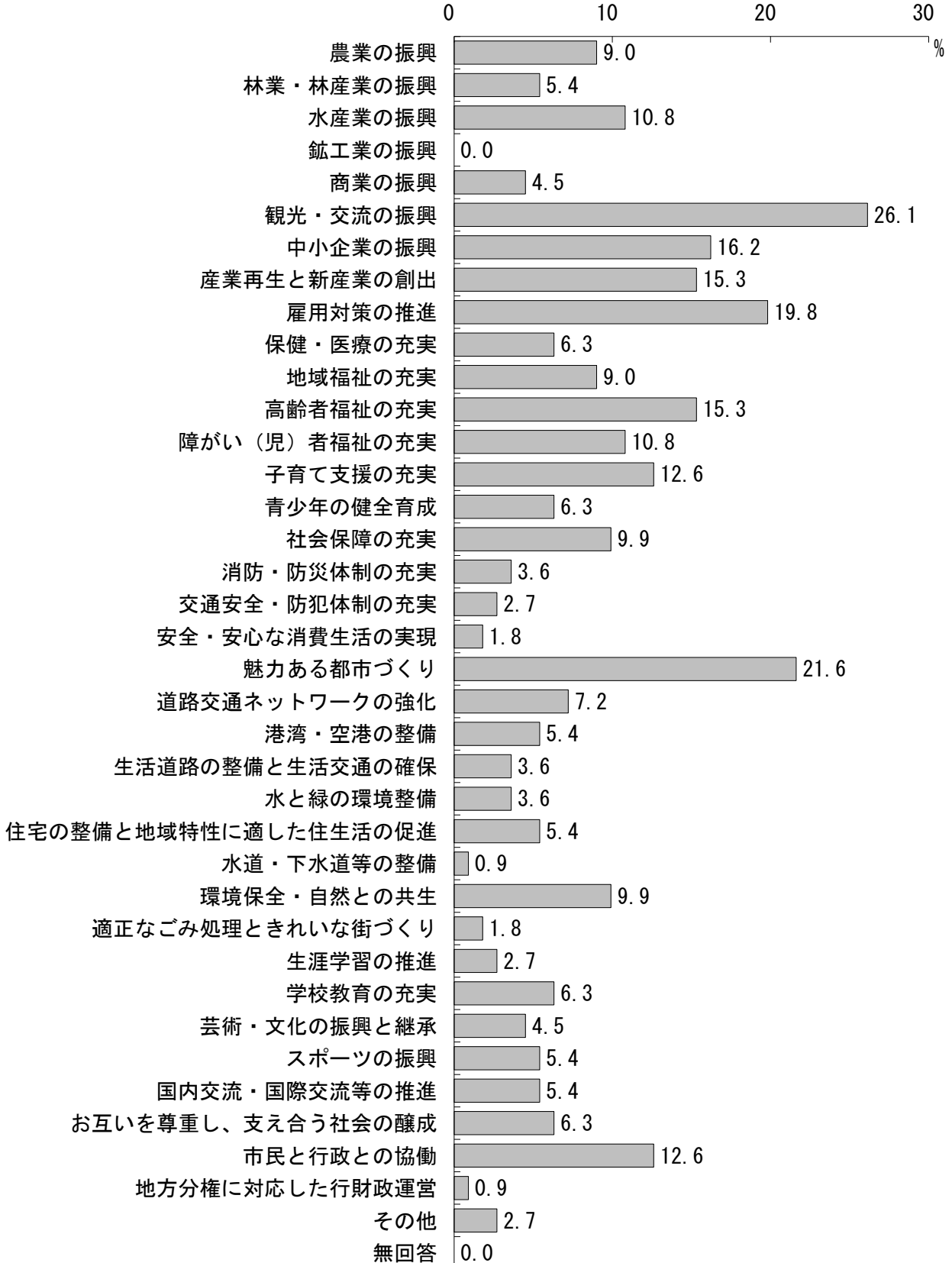
| | | 地域清掃活動や花などを植える活動 | 地域の自然を守り育てる環境保全活動 | 資源のムダづかいをなくし環境を守るエコ活動やリサイクル活動 | 高齢者や障がい者への介助などの福祉活動 | 託児など子育て支援に関する活動 | スポーツ行事や健康づくりに関する活動 | 子ども会などの青少年の健全育成に関する活動 |
|------------|-------------------|------------------|-------------------|-------------------------------|---------------------|-----------------|--------------------|-----------------------|
| 全体 (n=111) | | 27 24.3 | 33 29.7 | 16 14.4 | 25 22.5 | 12 10.8 | 20 18.0 | 28 25.2 |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 3 33.3 | 5 55.6 | 2 22.2 | 1 11.1 | 0 0.0 | 2 22.2 | 1 11.1 |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 11 39.3 | 11 39.3 | 4 14.3 | 6 21.4 | 2 7.1 | 3 10.7 | 4 14.3 |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 0 0.0 | 1 9.1 | 1 9.1 | 3 27.3 | 2 18.2 | 2 18.2 | 0 0.0 |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 0 0.0 | 3 15.8 | 2 10.5 | 4 21.1 | 2 10.5 | 1 5.3 | 7 36.8 |
| | 100名以上 (n=41) | 12 29.3 | 12 29.3 | 7 17.1 | 11 26.8 | 6 14.6 | 12 29.3 | 16 39.0 |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 全体 (n=111) | | 34 30.6 | 30 27.0 | 23 20.7 | 22 19.8 | 19 17.1 | 1 0.9 |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 2 22.2 | 0 0.0 | 2 22.2 | 3 33.3 | 1 11.1 | 0 0.0 | |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 12 42.9 | 7 25.0 | 5 17.9 | 2 7.1 | 5 17.9 | 0 0.0 | |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 3 27.3 | 2 18.2 | 4 36.4 | 3 27.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 6 31.6 | 3 15.8 | 5 26.3 | 2 10.5 | 4 21.1 | 0 0.0 | |
| | 100名以上 (n=41) | 11 26.8 | 17 41.5 | 7 17.1 | 12 29.3 | 8 19.5 | 0 0.0 | |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | |

ウ 釧路市が重点的に取り組むべきもの

問7 今後釧路市が特に力を入れて取り組むべきだと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

釧路市が重点的に取り組むべき分野については、「観光・交流の振興」が26.1%と最も多く、「魅力のある都市づくり」が21.6%、「雇用対策の推進」が19.8%となっています。

図表 5-6 今後釧路市が特に重点的に取り組むべきだと考えるもの (MA)

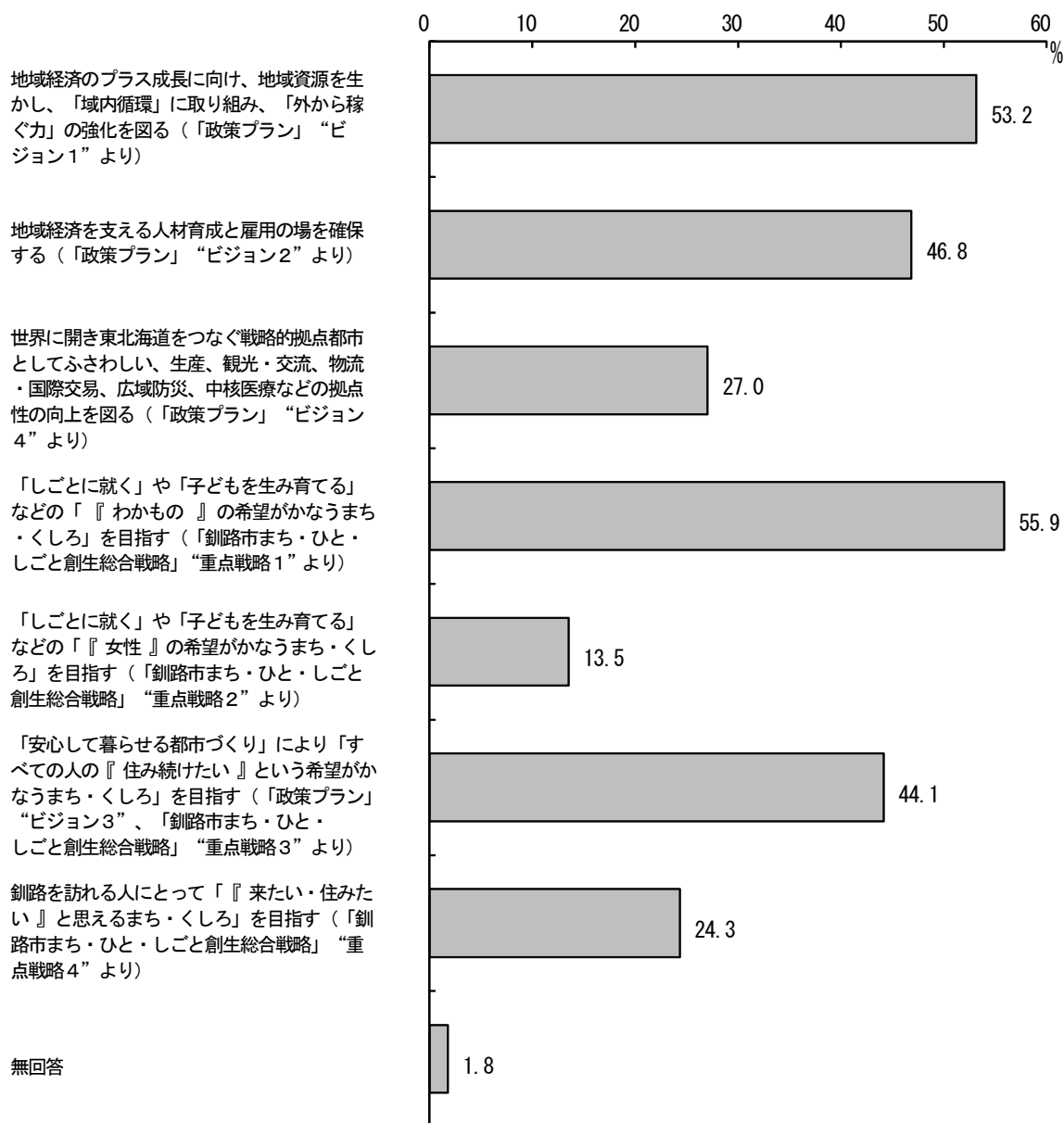


| | | 農業の振興 | 林業・林産業の振興 | 水産業の振興 | 鉱工業の振興 | 商業の振興 | 観光・交流の振興 | 中小企業の振興 | 産業再生と新産業の創出 | 雇用対策の推進 | 保健・医療の充実 |
|------------|-------------------|------------|---------------|------------|-----------------|-------------------|----------------------|---------------|-------------|------------------|---------------|
| 全体 (n=111) | | 10 9.0 | 6 5.4 | 12 10.8 | 0 0.0 | 5 4.5 | 29 26.1 | 18 16.2 | 17 15.3 | 22 19.8 | 7 6.3 |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 3 33.3 | 2 22.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 11.1 | 5 55.6 | 1 11.1 | 0 0.0 | 2 22.2 | 1 11.1 |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 2 7.1 | 1 3.6 | 1 3.6 | 0 0.0 | 1 3.6 | 8 28.6 | 7 25.0 | 6 21.4 | 5 17.9 | 1 3.6 |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 2 18.2 | 1 9.1 | 2 18.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 36.4 | 2 18.2 | 0 0.0 | 4 36.4 | 2 18.2 |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 15.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 6 31.6 | 2 10.5 | 3 15.8 | 4 21.1 | 1 5.3 |
| | 100名以上 (n=41) | 3 7.3 | 1 2.4 | 5 12.2 | 0 0.0 | 3 7.3 | 5 12.2 | 6 14.6 | 7 17.1 | 7 17.1 | 2 4.9 |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | 地域福祉の充実 | 高齢者福祉の充実 | 障がい(児)者福祉の充実 | 子育て支援の充実 | 青少年の健全育成 | 社会保障の充実 | 消防・防災体制の充実 | 交通安全・防犯体制の充実 | 安全・安心な消費生活の実現 |
| 全体 (n=111) | | 10 9.0 | 17 15.3 | 12 10.8 | 14 12.6 | 7 6.3 | 11 9.9 | 4 3.6 | 3 2.7 | 2 1.8 | 24 21.6 |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 11.1 | 2 22.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 11.1 |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 3 10.7 | 4 14.3 | 3 10.7 | 4 14.3 | 2 7.1 | 2 7.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 3.6 | 6 21.4 |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 1 9.1 | 4 36.4 | 1 9.1 | 2 18.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 9.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 18.2 |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 2 10.5 | 1 5.3 | 4 21.1 | 1 5.3 | 2 10.5 | 3 15.8 | 0 0.0 | 1 5.3 | 0 0.0 | 3 15.8 |
| | 100名以上 (n=41) | 3 7.3 | 8 19.5 | 4 9.8 | 6 14.6 | 3 7.3 | 5 12.2 | 1 2.4 | 2 4.9 | 1 2.4 | 12 29.3 |
| | 無回答 (n=1) | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | 道路交通ネットワークの強化 | 港湾・空港の整備 | 生活道路の整備と生活交通の確保 | 水と緑の環境整備 | 住宅の整備と地域特性に適した住生活の促進 | 水道・下水道等の整備 | 環境保全・自然との共生 | 適正なごみ処理ときれいな街づくり | 生涯学習の推進 |
| 全体 (n=111) | | 8 7.2 | 6 5.4 | 4 3.6 | 4 3.6 | 6 5.4 | 1 0.9 | 11 9.9 | 2 1.8 | 3 2.7 | 7 6.3 |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 1 11.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 11.1 | 1 11.1 | 0 0.0 | 3 33.3 | 1 11.1 | 0 0.0 | 1 11.1 |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 2 7.1 | 2 7.1 | 1 3.6 | 2 7.1 | 1 3.6 | 1 3.6 | 3 10.7 | 1 3.6 | 1 3.6 | 1 3.6 |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 1 9.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 2 10.5 | 2 10.5 | 2 10.5 | 0 0.0 | 2 10.5 | 0 0.0 | 2 10.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 10.5 |
| | 100名以上 (n=41) | 2 4.9 | 2 4.9 | 1 2.4 | 1 2.4 | 2 4.9 | 0 0.0 | 3 7.3 | 0 0.0 | 2 4.9 | 2 4.9 |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 |
| | | | 芸術・文化の振興と継承 | スポーツの振興 | 国内交流・国際交流等の推進 | お互いを尊重し、支え合う社会の醸成 | 市民と行政との協働 | 地方分権に対応した行政運営 | その他 | 無回答 | |
| 全体 (n=111) | | 5 4.5 | 6 5.4 | 6 5.4 | 7 6.3 | 14 12.6 | 1 0.9 | 3 2.7 | 0 0.0 | | |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 1 3.6 | 1 3.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 5 17.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 0 0.0 | 1 9.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 2 10.5 | 1 5.3 | 3 15.8 | 1 5.3 | 2 10.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |
| | 100名以上 (n=41) | 2 4.9 | 3 7.3 | 3 7.3 | 6 14.6 | 7 17.1 | 0 0.0 | 3 7.3 | 0 0.0 | | |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | | |

問8 現在、釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、今後、特に力を入れて取り組むべきだと思うものはどれですか（〇は3つまで）

釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、特に重要だと思うものは、“「しごとに就く」や「子どもを生き育てる」などの『わかもの』の希望がかなうまち・くしろ」を目指す”が55.9%で最も多く、「地域経済のプラス成長に向け、地域資源を生かし、『域内循環』に取り組み、『外から稼ぐ力』の強化を図る」が53.2%、「地域経済を支える人材育成と雇用の場を確保する」が46.8%となっています。

図表 5-7 釧路市が重点的に取り組んでいる分野のうち、今後、特に重要だと考えるもの（MA）



各種団体アンケート

| | | 「地域経済を支える人材育成と雇用の場を確保する（「政策プラン」 「ビジョン2」より）」 | 「世界に開き東北海道をつなぐ戦略的拠点都市としてふさわしい、生 産、観光・交流、物流・国際交易、広域防災、中核医療などの拠点 性の向上を図る（「政策プラン」 「ビジョン4」より）」 | 「しごとに就く」や「子どもを生み育てる」などの「わかも の希望がかなうまち・くしろ」を指す（「釧路市まち・ひと・し ごと創生総合戦略」 「重点戦略1」より）」 | 「しごとに就く」や「子どもを生み育てる」などの「女性」の希 望がかなうまち・くしろ」を指す（「釧路市まち・ひと・しごと 創生総合戦略」 「重点戦略2」より）」 | 「安心して暮らせる都市づくり」により「すべての人の「住み続け たい」という希望がかなうまち・くしろ」を指す（「政策プラン」 「ビジョン3」 「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 「重点戦略3」より）」 | 「釧路を訪れる人にとつて「来たい・住みたい」と思えるまち・く しろ」を指す（「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 「重点戦略4」より）」 | 無回答 | |
|------|----------------------|--|---|--|--|--|--|------------|----------|
| 全体 | (n=111) | 59 53.2 | 52 46.8 | 30 27.0 | 62 55.9 | 15 13.5 | 49 44.1 | 27 24.3 | 2 1.8 |
| 登録人数 | 5名未満 (n=2) | 2 100.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 5名～10名未満 (n=9) | 4 44.4 | 6 66.7 | 3 33.3 | 4 44.4 | 2 22.2 | 3 33.3 | 4 44.4 | 0 0.0 |
| | 10名～30名未満 (n=28) | 19 67.9 | 14 50.0 | 5 17.9 | 15 53.6 | 1 3.6 | 14 50.0 | 7 25.0 | 0 0.0 |
| | 30名～50名未満 (n=11) | 4 36.4 | 6 54.5 | 4 36.4 | 7 63.6 | 3 27.3 | 5 45.5 | 2 18.2 | 0 0.0 |
| | 50名～100名未満 (n=19) | 10 52.6 | 10 52.6 | 8 42.1 | 9 47.4 | 2 10.5 | 5 26.3 | 3 15.8 | 1 5.3 |
| | 100名以上 (n=41) | 20 48.8 | 16 39.0 | 9 22.0 | 26 63.4 | 6 14.6 | 20 48.8 | 11 26.8 | 1 2.4 |
| | 無回答 (n=1) | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

各種団体アンケート

エ 自由意見

問9 貴団体の立場から、これからのまちづくりへのご意見やご提案を自由にお書きください。

40 団体から、延べ 53 件のご意見・ご提案がありました。いただいたご意見・ご提案を内容別に分類した件数と主な意見は、下記のとおりとなっています。

<主な意見>

○経済・産業について 12 件

- ・地域資源を生かして「外から稼ぐ力」の強化や雇用の場を増やすなど地域経済の活性化に関する事などとなっています。

○福祉・防災について 11 件

- ・障がい者福祉に関する事、市民の防災意識や防災力の向上に関する事、交通安全に関する事などとなっています。

○都市整備について 8 件

- ・バスの充実など公共交通機関に関する事、線路の高架化など駅周辺事業に関する事、廃校の有効活用に関する事などとなっています。

○環境・教育・文化などについて 13 件

- ・家庭教育に関する事、自然保護に関する事、アイヌ文化に関する事などとなっています。

○市民協働・行財政運営などについて 6 件

- ・釧路市のまちづくりに関する事などとなっています。

○上記に該当しないもの 3 件

なお、自由記述意見の一覧については、資料編に掲載しています。

6. 長期滞在者アンケート調査

(1) 調査概要

① 調査の目的

このアンケートは、「釧路市まちづくり基本構想」等の策定にあたり、釧路市の長期滞在者を対象に、釧路市に対する客観的な評価や居住地と釧路市を比較した新たな視点からの意見を求めるために実施したものです。

② 調査対象

釧路市内の長期滞在者 153 人

③ 調査時期

平成 28 年 6 月～9 月

④ 調査方法

市役所及び市内の宿泊施設等より配付し、対象者が持参

⑤ 調査項目

- ア 釧路市の住みやすさ
- イ 釧路市の魅力
- ウ 釧路市の情報の入手方法
- エ 自由意見

⑥ 回答状況

配付数：153人

回答数：51人

回答率：33.3%

⑦ 回答者の内訳

| | | 合計 | 60代 | 70代 | 80代 | 無回答 |
|-------------|----|-------|------|------|-----|------|
| 全体 | | 51 | 17 | 17 | 2 | 15 |
| | | 100.0 | 33.3 | 33.3 | 3.9 | 29.4 |
| 性別 | 男性 | 24 | 12 | 10 | 2 | 0 |
| | | 100.0 | 50.0 | 41.7 | 8.3 | 0.0 |
| | 女性 | 10 | 4 | 5 | 0 | 1 |
| | | 100.0 | 40.0 | 50.0 | 0.0 | 10.0 |
| 無回答 ・夫婦等 | | 17 | 1 | 2 | 0 | 14 |
| | | 100.0 | 5.9 | 11.8 | 0.0 | 82.4 |

⑧ 集計・分析上の留意点

ア 図表中の上段は回答者数、下段は構成比 (%) を表しています

イ 図表中の「SA」は単数回答、「MA」は複数回答を表しています

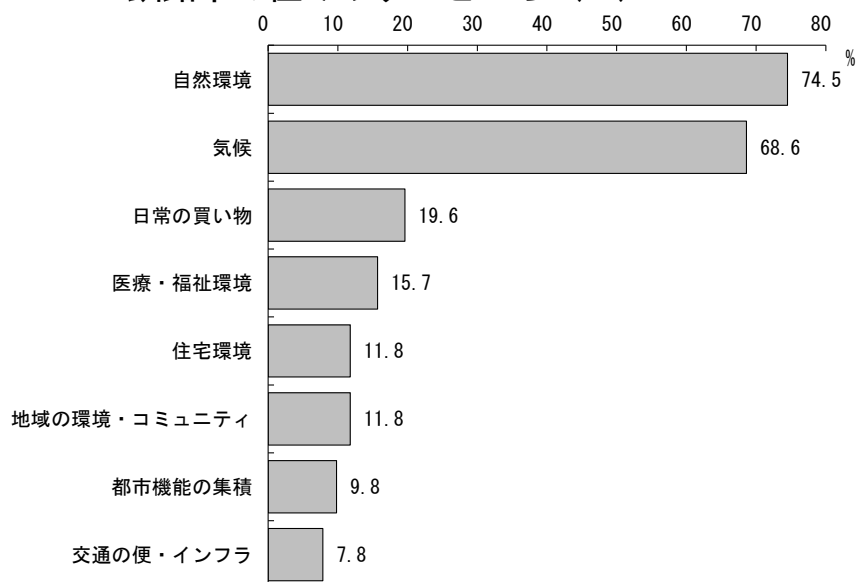
ウ 図表中の構成比 (%) については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は100.0%にならない場合があります

(2) 調査結果概要

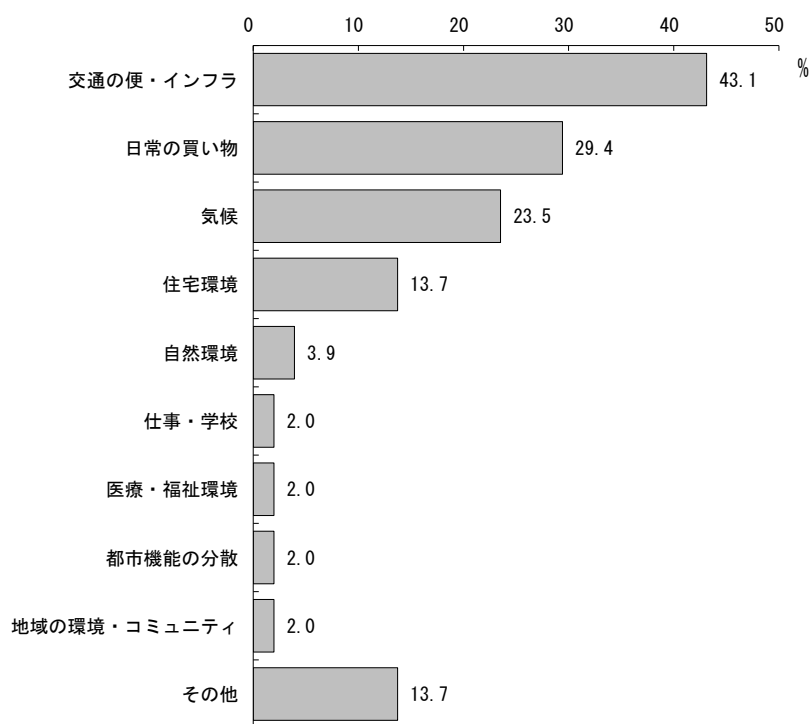
① 釧路市の住みやすさについて

～自然環境、気候について住みやすいと感じ、
交通の便、日常の買い物について住みにくいと感じています～

釧路市の住みやすいところ (MA)



釧路市の住みにくいところ (MA)

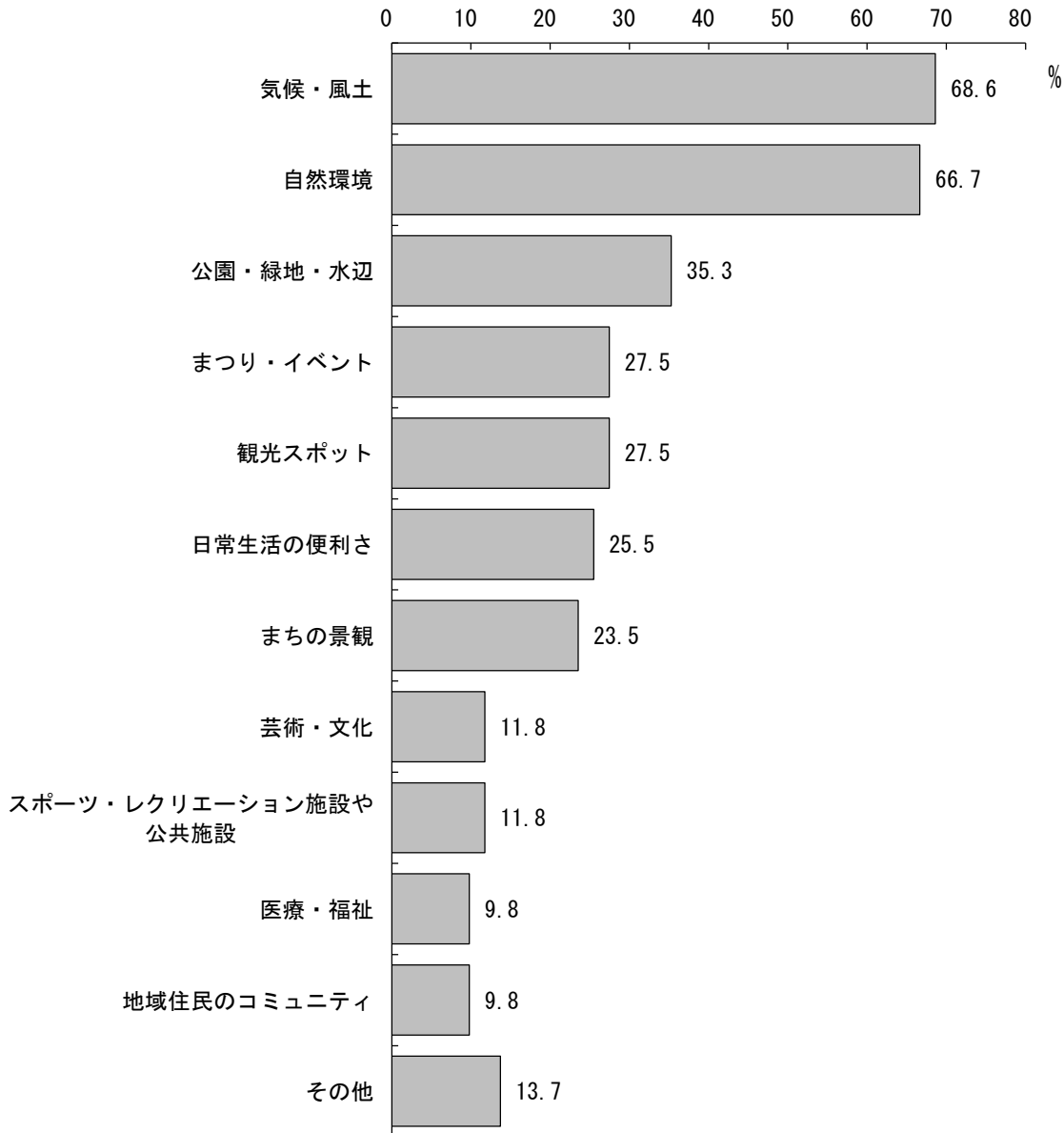


- 住みやすいと感じるところは、「自然環境」が 74.5%、「気候」が 68.6%であり、この2つが非常に多くなっています。
- 住みにくいとと感じるところは、「交通の便・インフラ」が 43.1%で最も多く、次いで「日常の買い物」が 29.4%、「気候」が 23.5%などとなっています。

②釧路市で魅力的に感じること

～気候・風土、自然環境や公園・緑地・水辺などに魅力を感じています～

釧路市で魅力を感じること (MA)



- 魅力的に感じることは、「気候・風土」が68.6%で最も多く、次いで「自然環境」が66.7%、「公園・緑地・水辺」が35.3%、「まつり・イベント」と「観光スポット」が27.5%など、自然に関する回答が多くなっています。

(3) 調査結果

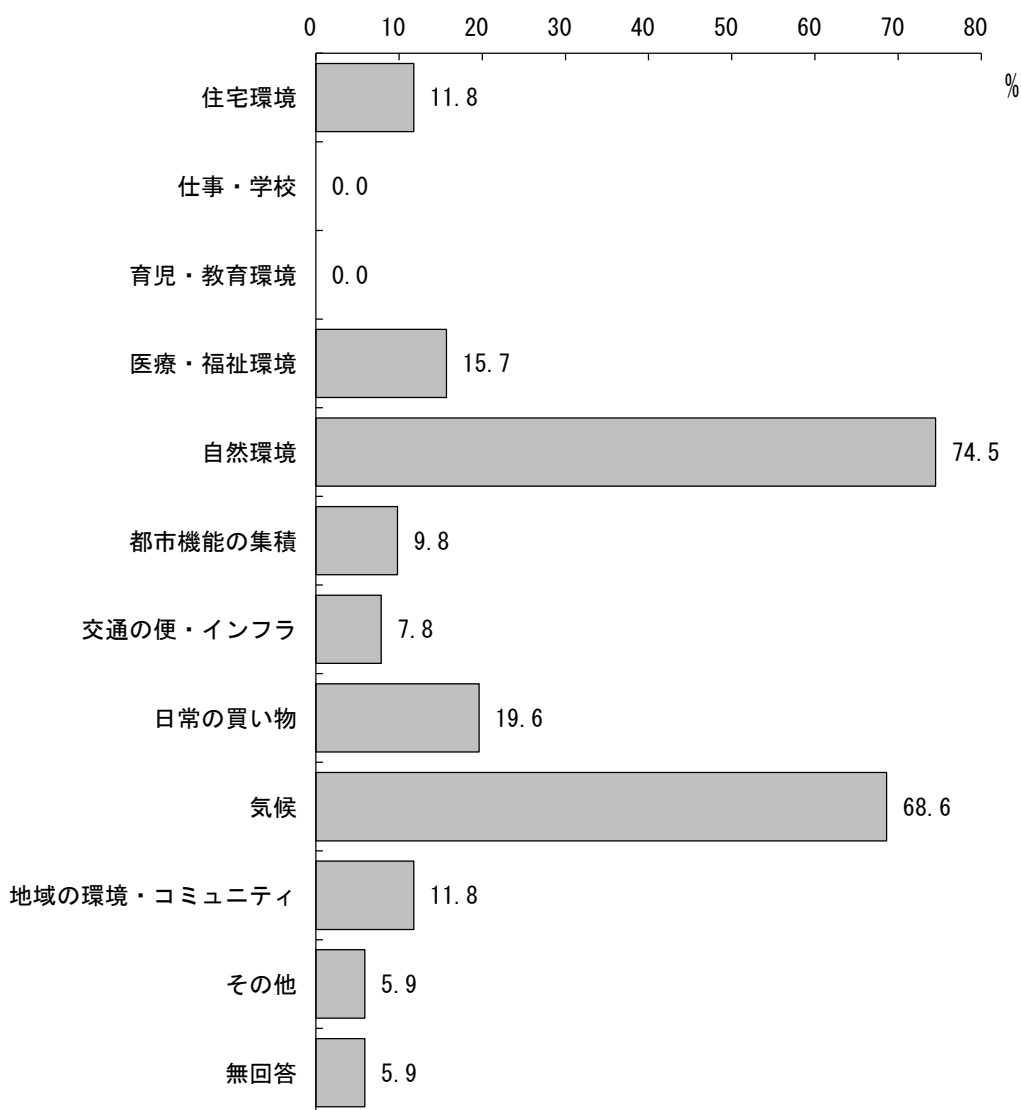
ア 釧路市の住みやすさ

問1 あなたが釧路市の住みやすいと感じるところは何ですか。(〇は3つまで)

釧路市の住みやすいと感じるところは、「自然環境」が74.5%、「気候」が68.6%でこの2項目が非常に多くなっています。次いで「日常の買い物」が19.6%となっています。

なお、「その他」5.9%には、「新鮮な食材」、「ロケーションが良い」などがありました。

図表 6-1 釧路市の住みやすいところ (MA)



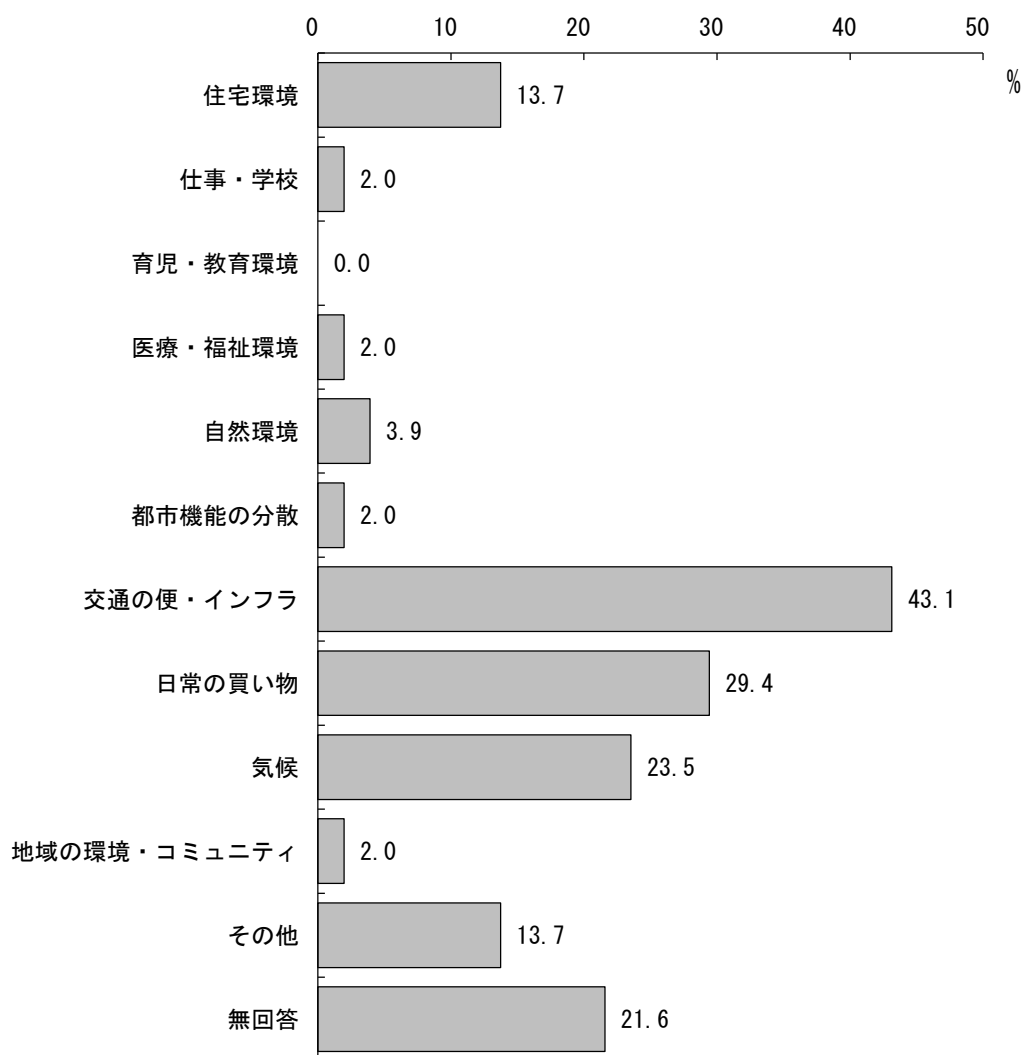
| | 住宅環境 | 仕事 学校 | 育児 教育環境 | 医療 福祉環境 | 自然環境 | 都市機能 の集積 | 交通の便 インフラ | 日常の買 い物 | 気候 | 地域の環 境 コミュニ ティ | その他 | 無回答 |
|--------------|-----------|----------|------------|------------|------------|-------------|--------------|------------|------------|-------------------------|----------|----------|
| 全体 (n=51) | 6 11.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 8 15.7 | 38 74.5 | 5 9.8 | 4 7.8 | 10 19.6 | 35 68.6 | 6 11.8 | 3 5.9 | 3 5.9 |

問2 あなたが釧路市の住みにくいと感じるところは何ですか。(〇は3つまで)

釧路市の住みにくさを感じる場所は、「交通の便・インフラ」が43.1%で最も多く、以下「日常の買い物」が29.4%、「気候」が23.5%となっています。

なお、「その他」13.7%では、「案内が分かりにくい」、「歩道の悪さ」などが挙げられています。

図表 6-2 釧路市の住みにくいところ (MA)



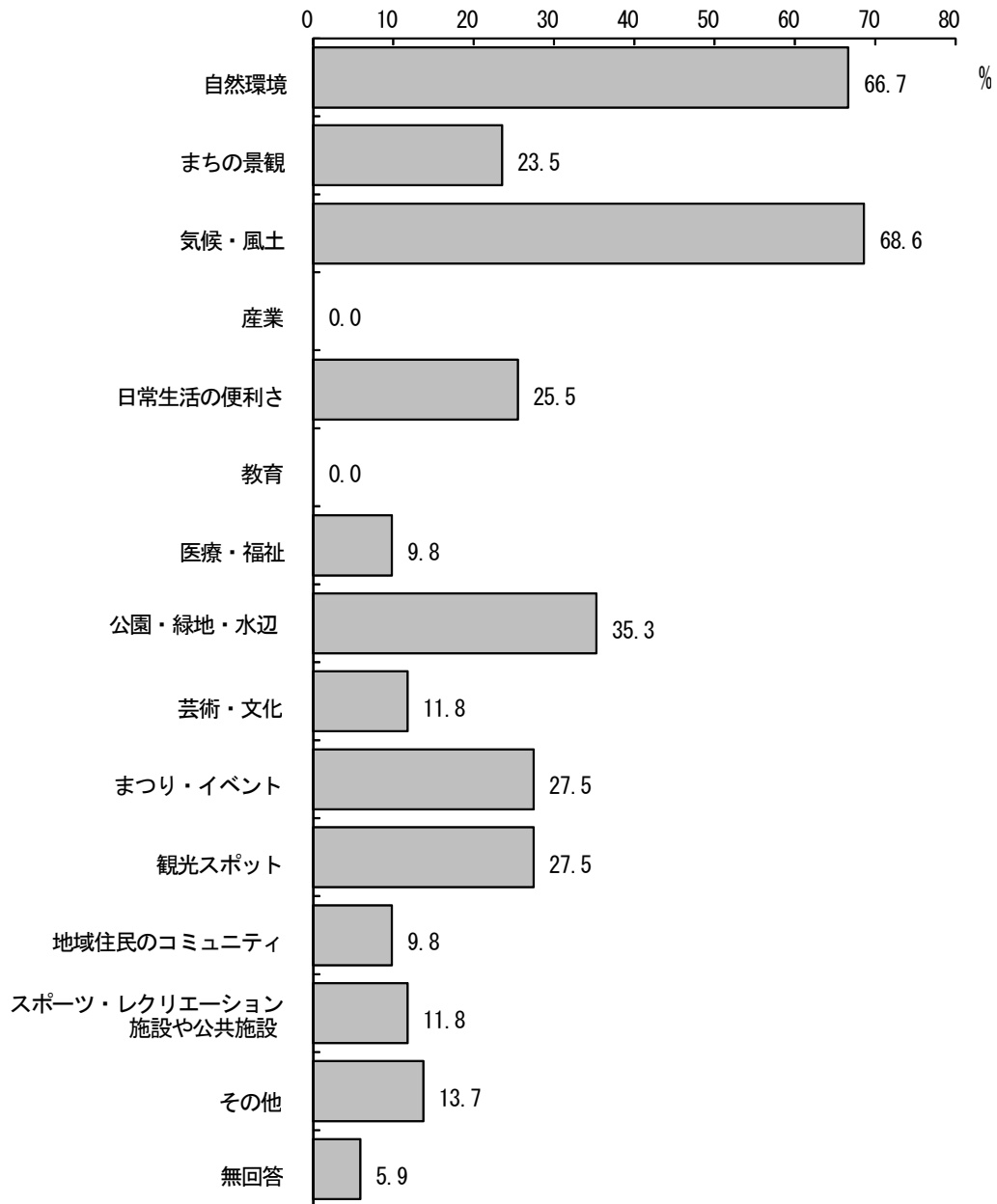
| | 住宅環境 | 仕事 学校 | 育児 教育環境 | 医療 福祉環境 | 自然環境 | 都市機能 の分散 | 交通の便 インフラ | 日常の買 い物 | 気候 | 地域の環 境 コミュニ ティ | その他 | 無回答 |
|--------------|-----------|----------|------------|------------|----------|-------------|--------------|------------|------------|-------------------------|-----------|------------|
| 全体 (n=51) | 7 13.7 | 1 2.0 | 0 0.0 | 1 2.0 | 2 3.9 | 1 2.0 | 22 43.1 | 15 29.4 | 12 23.5 | 1 2.0 | 7 13.7 | 11 21.6 |

イ 釧路市の魅力

問3 あなたが釧路市で魅力的に感じることは何ですか。また、具体的な例をお答えください。(〇はいくつでも)

釧路市で魅力を感じることは、「気候・風土」が68.6%で最も多く、次いで「自然環境」が66.7%、「公園・緑地・水辺」35.3%、「まつり・イベント」と「観光スポット」が27.5%など、自然に関する回答が多くなっています。

図表 6-3 釧路市で魅力を感じること (MA)



| | 自然環境 | まちの景観 | 気候風土 | 産業 | 日常生活の便利さ | 教育 | 医療福祉 | 公園緑地水辺 |
|--------------|------------|------------|------------|-------------|----------------------|-----------|----------|------------|
| 全体 (n=51) | 34 66.7 | 12 23.5 | 35 68.6 | 0 0.0 | 13 25.5 | 0 0.0 | 5 9.8 | 18 35.3 |
| | 芸術文化 | まつりイベント | 観光スポット | 地域住民のコミュニティ | スポーツ・レクリエーション施設や公共施設 | その他 | 無回答 | |
| 全体 (n=51) | 6 11.8 | 14 27.5 | 14 27.5 | 5 9.8 | 6 11.8 | 7 13.7 | 3 5.9 | |

<釧路市で魅力を感じることの具体例についての主な回答内容>

○自然環境（選択した34人のうち8人が回答）

回答内容：豊かな自然（緑）（6件）、涼しい（1件）、海、川が近い（1件）

○まちの景観（選択した12人のうち3人が回答）

回答内容：看板が少ない（2件）、ネオン、電柱が少なく美しい（1件）

○気候・風土（選択した35人のうち12人が回答）

回答内容：夏が涼しい（12件）、秋、冬は晴れの日が多い（2件）

○産業

選択者なし

○日常生活の便利さ（選択した13人のうち3人が回答）

回答内容：買い物の利便性（1件）、コンパクトな街並み（1件）、全天候型の商業施設がある（1件）

○教育

選択者なし

○医療・福祉

回答内容：なし

○公園・緑地・水辺（選択した18人のうち4人が回答）

回答内容：春採湖（2件）、幣舞橋付近（1件）、釧路川（1件）、柳町公園（1件）、公園が広くゆったりしている（1件）

○芸術・文化（選択した6人のうち2人が回答）

回答内容：市民会館やまなぼっと（1件）、美術館、画廊など（1件）

○まつり・イベント（選択した14人のうち3人が回答）

回答内容：港まつり（2件）、夏期のイベントが多い（1件）、どんぼく（1件）

○観光スポット（選択した14人のうち5人が回答）

回答内容：釧路湿原（2件）、湿原の植物（1件）、オンネトー（1件）、阿寒（1件）、丹頂鶴自然公園（1件）

○地域住民のコミュニティ（選択した5人のうち1人が回答）

回答内容：キロロ・ウタラサークル（1件）

○スポーツ・レクリエーション施設や公共施設（選択した6人のうち2人が回答）

回答内容：利用しやすい（1件）、湿原の風アリーナ（1件）

○その他（選択した7人のうち3人が回答）

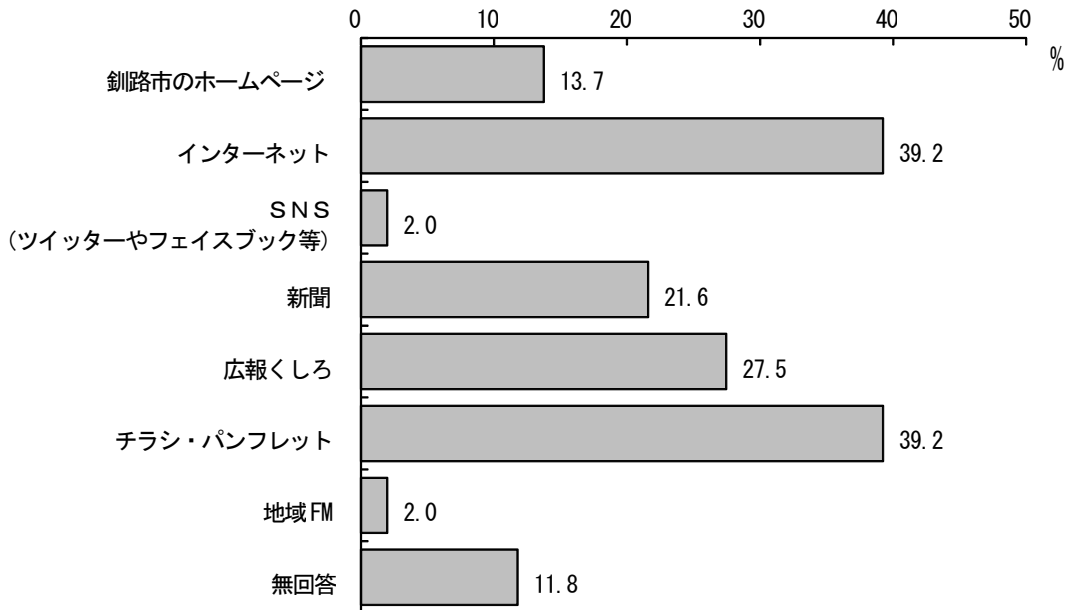
回答内容：食べ物がおいしい（1件）、住民の方々の暖かさ、親切さ（1件）、市が長期滞在者に力をいれている（1件）

ウ 釧路市の情報の入手方法

問4 あなたは、釧路市に滞在中に、釧路市の情報を主に何から得ていますか（または、得る予定ですか）。（〇は2つまで）

釧路市の情報の入手先は、「インターネット」と「チラシ・パンフレット」が39.2%で最も多く、「広報くしろ」が27.5%となっています。「広報くしろ」と「新聞」が多かった市民アンケート調査結果（問12、本報告書34ページ参照）とは異なる傾向が見られました。

図表 6-4 釧路市の情報の入手先 (MA)



| | 釧路市のホームページ | インターネット | SNS (ツイッターやフェイスブック等) | 新聞 | 広報くしろ | チラシ・パンフレット | 地域FM | 無回答 |
|-----------|------------|------------|----------------------|------------|------------|------------|----------|-----------|
| 全体 (n=51) | 7 13.7 | 20 39.2 | 1 2.0 | 11 21.6 | 14 27.5 | 20 39.2 | 1 2.0 | 6 11.8 |

エ 自由意見

問5 あなたの居住地と釧路市を比較して、釧路市が今後特に力を入れるべきだと思うことはどのようなことですか。自由に記入してください。

38人から、延べ62件のご意見・ご提案がありました。いただいたご意見・ご提案を内容別に分類した件数と主な意見は、下記のとおりとなっています。

<主な意見>

○経済・産業について 25件

- ・Wi-Fi環境の整備や新しい「食」を開発してPRするなど観光振興に関する事、北大通りの再開発など中心市街地の活性化に関する事などとなっています。

○福祉・防災について 2件

- ・子育て支援に関する事などとなっています。

○都市整備について 19件

- ・道路(歩道)の整備に関する事、路線バスの増便など公共交通機関に関する事などとなっています。

○環境・教育・文化などについて 11件

- ・滞在施設の充実や涼しい気候を生かすなど長期滞在事業の推進に関する事などとなっています。

○市民協働・行財政運営などについて 3件

- ・市の情報発信に関する事などとなっています。

○上記に該当しないもの 2件

なお、自由記述意見の一覧については、資料編に掲載しています。

